臺灣時報

内容目録記入済

二月號

MAR 5 1926

大武山（一〇六六五尺）

臺灣時報發行所

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報發行の趣旨

政事、時事、農事、工事、商事、學術技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況竝に南支南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す。（發行規定第一條）

臺灣時報發行所役員

評議員長　後藤文夫

評議員（以下イロハ順）

石坂莊作　今井周三郎　井村大吉　伊藤兼吉　岩本多助　西川利藤太　堀内次雄（醫學博士）　富地近思　陳鴻鳴　陳中和　林熊徵　林獻堂　林烈堂　林鶴壽　李延禧　大竹勝一郎　大島金太郎（農學博士）　大越大藏　大賀蕭作

太田吾一　渡邊金造　川崎軍治　舘期山　片山三郎　吉岡荒造　楊吉臣　高木友枝（醫學博士）　田村武七　田村藤四郎　田賀奈良吉　高山仰　瀧田傳吉　武田英一　津田毅一　津久井誠一郎　鼓包美　妻木栗造　永田隼之輔

宇賀四郎　草鹿砥祐吉　倉岡彥助　日下操　久米孝藏　松岡富雄　牧山清砂　松本晃吉　藤野幹　古木章光　小松吉久　吳昌才　辜顯榮　古賀三千人　黃欣　吳汝祥　黃春帆　後藤和佐二　枝德二　江口良三郎　鄭神寶　赤石定藏　赤司初太郎　後宮信太郎　阿部滂　荒卷鐵之助　相原祐彌　淺田知定

近江時五郎　坂本素魯哉　佐々木紀綱　柵瀨軍之佐　皿谷廣次　蔡蓮舫　坂本森一　齋藤透　佐藤得太郎　木村匡　木村久太郎　木村泰治　許廷光　北村吉之助　喜多孝治　木下信　三好德三郎　三浦碌郎　生野團六　白勢黎吉　徐杰夫　遠藤所六　平山寅次郎　森廣藏　本山文平　鈴木重臣　諏訪禮次郎

編纂委員

猪股松之助　今川淵　生駒高常　服部武彦

林田軍五郎　原口竹次郎　富田松彦　大澤清高

常務員

大竹勇　和田一次　和田博　鎌田正威　横光吉規　田端幸三郎　中瀨拙夫　中田榮次郎　中田秀造　內田隆

深川繁治　古山榮三郎　青木敬一　淺野安吉　佐藤續　水越幸一　下村充郎　城間垣人　平山泰

編輯係

泰滿　鷹取田一郎　泉芳德　尾崎保正　葉山石雲

栗山新造　眞倉民治　安藤泰夫　鈴木重男　伊藤憐之助

大正十五年二月十三日印刷
大正十五年二月十五日發行（每月一回十五日發行）

（定價一部郵稅共金三十五錢）
（廣告料一頁金二十圓）

發行所　臺灣總督府內
臺灣時報發行所
振替貯金口座臺灣二〇七〇番
電話總督府內第八九番

編輯兼發行人　臺北市新榮町一丁目十一番地
伊藤憐之助

印刷者　臺北市本町一丁目十九番地
中村誠道

印刷所　臺北市榮町一丁目二十七二十八番地
松浦屋印刷部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三井物産株式會社臺北臺南支店

出張所、出張員

廈門　福州

基隆　高雄

臺中

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報大正十五年二月號 目次

口繪 嘉南大圳烏山頭堤防工事狀況

パインアップル事業の將來に就て……中瀨拙夫 一

爪哇及比島糖業と臺灣糖業……土井季太郎 一六

日月潭電力と其消化問題……高木友枝 三七

時報……四一

各州協議會の開催▼文教局設置決定と澎湖廳の新設▼督府豫算の發表▼後藤長官の歸府▼島都の新年▼新春を壽ぐ臺北官民の賀宴▼米穀大會今春臺灣に開催▼鵞鑾鼻無線開局▼昨年中の總貿易額二億五千萬圓突破▼新記錄を作つた移出米▼紀元節當日の建國祭

寄書

臺灣は樂土なり……野呂寧 四三

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

說苑

家計調査の概要……長澤柳作 四九

臺灣理蕃政策の失敗……越村生譯 六三

調査研究

佛領印度支那老撾の經濟的價値(下)……永嶺一虎譯 七三

島情……一〇七

臺灣金融統計……財務局金融課 一〇七

臺灣貿易統計……總督府稅關 一一五

大正十四年度後期分州稅徵收成績……內務局地方課 一二三

臺灣日誌▼人事消息▼任命▼寄贈書目……一二五

支那及南洋情報……總督官房調查課 一一六

支那及南洋其他重要記事索引……同上 一一五

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺北市北門町七番地

株式會社 鈴木商店臺北支店

電話 四九番・六八〇番
二三四番・一〇五〇番

臺南市花園町二丁目廿一番地

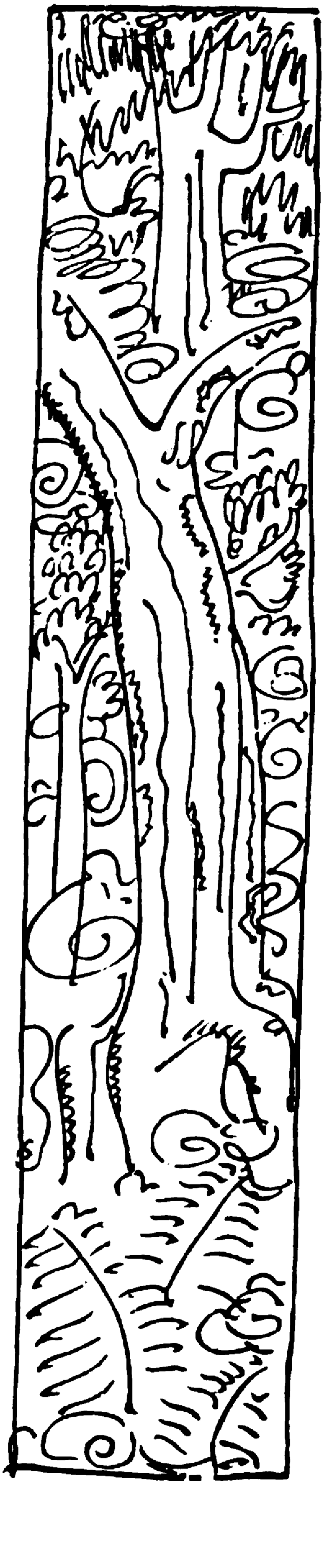
株式會社 鈴木商店臺南出張所

電話 二一九番・六〇五番
四七九番・七六九番

嘉南大圳烏山頭堤防工事狀況

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



パインアップル事業の將來に就て

殖産局特産課長　中瀬拙夫

一、緒言

由來本島は熱帶圏內に跨り氣候四時烜燠にして降雨又適順なるが故に、植物の生育旺盛を極め、多種多様の芳醇なる美果山野に累穰するの狀は將に我が帝國の一大温室なるの感あり。就中パインアップルは芳烈なる獨特の香氣と、甘美多漿の果肉を有するが故に熱帶果實中最も廣く世人に賞美せられ、殊に罐詰原料として今や最も重要なる産業の一となれり。

抑もパインアップルは熱帶亞米利加に原産し、漸次南洋・歐・亞竝に大洋洲等の暖熱地帶に傳播せられたるものにして、本島に於ける起原は詳らかならずと雖も、口碑竝に文献に徵するに、今を去る二百年前既に其

の栽植を見たるもの丶如く、五十年前には全島到る處廣く栽植せられたること明らなる事實なり。而してパインアップル罐詰事業は明治三十五年三月故岡村庄太郎氏が高雄州鳳山街に該事業を創設したるを嚆矢とし、爾來幾多の興廢を經、大正八、九年より稍興隆の機運に向ひ工場數漸增しつ丶ありしが、昨大正十四年に入りては俄かに活況を呈し今や工場數三十三を數ふるに至れり。

二、品種及栽培の現況

本島に栽培せらる丶パインアップルの品種は何れも其の果肉纖維多く、適度の酸味と甘味を缺ぎ、且つ果肉内に種子の深く埋沒するの缺點あり。唯其の色相は歐洲市場に於て最も歡迎せらる丶所謂ゴールデンカラーを有すれども、優良外國種の甘酸適度にして纖維少く、種子の埋沒淺きに比すべくもあらず。全く長年間の放任的栽培により退化せる野生種と稱するも過言にあらざるなり。

今本島に栽培せらる丶所謂臺灣在來種を見るに大別して無刺及有刺の二種と爲すことを得べし。而して無刺紅皮種は葉は稍や暗紫色を呈し刺を有せず、葉の裏面に白粉を裝ひ、顆は其色橙黃色を呈し形比較的大にして重量大なるものは四百匁以上に及ぶものあり。有刺種は分ちて三とすべく(一)、「紅皮種」は葉綠色の地に暗紫色の縱線あり、裏面に少しく白粉を裝ひ、果皮は帶紅黃色にして一顆の重量三百匁内外にして時として大なるものは四百匁以上の上るものあり、本島一般に最も廣く栽培せらる丶品種なり。(二)、「黃皮種」は葉黃綠色にして、果肉淡黃色、大形にして前者と等しく一般に廣く栽培せらる。(三)、「烏皮種」は葉暗綠色を呈し果實は成熟前果皮暗綠色を呈す。今前記各品種に對する中央研究所嘉義農事試驗支所の調査成績を左に揭げん。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

品種名	反當收量	果實一箇の平均重量	果肉步合	果汁濃度	小果の數と其外形	品質其他
有刺紅皮	貫 三七六・五	匁 三六一	% 五七	ボーメ 五・五	七八面平	果肉硬く纖維多し果皮紅色を呈す
無刺紅皮	四〇〇・〇	三八一	五七	六・七	九七面平	有刺紅皮種に似たり
有刺黃皮	四六八・〇	三九六	五五	五・〇	九五面平	品質良好ならざるも最も强健にして乾燥に耐ゆ、果肉黃色
有刺烏皮	三一五・〇	二五七	―	―	七四面平	果汁最も多く纖維少く在來種中品質良好、果肉青黑色

次に本島に於ける外國種パインアップルを始めて輸入せるは明治四十二、三年頃高雄州蕃界隘寮溪原野に布哇種を栽植せるを嚆矢とし、明治四十四年には花蓮港賀田村鹽糖農場に同じく布哇種五十本を栽植せり、隘寮溪に栽植せしものは交通の不便と圃場の荒廢の爲め今や全く其跡を見る能はざるも賀田村に栽植せしものは今尙幾分を殘存せりと云ふ。而して大正二、三年以後は中央研究所士林園藝試驗支所並に同嘉義農事試驗支所に爪哇・新嘉坡・比律賓・布哇島の諸地方より種苗を輸入試作し、其他臺南州嘉義街野々村國吉氏が大正三、四年の交ボルネオよりサラワツク種を輸入し、爾後繁殖に努めたる結果數萬本の種苗を得今や島內各地に繁殖配布しつゝあり。

而して大正十一年以來外國種パインアップルの品質收量共に優良にして商品としての價値大なるを認められ、各罐詰工場は擧つて其の輸入に力め大正十二年に於て八萬二千本、十三年に於て三十一萬二千本餘、更に十四年に於ては數十萬本の外國種苗を輸入するに到りぬ。而して外國種中最も多く輸入せるはスムース・カイエン種にして主として布哇より輸入せらる、本種は顆形大にして、重量五封度乃至八封度あり、形狀長方形にして、果皮黃色、葉は名の如く無刺なり。彼の世界第一の產額を擧げつゝある布哇パインアップル罐詰原料は本種の果實にして、殖產局に於ても此際特に本種を獎勵品種とし、大正十四年度より新設せる高雄州鳳山郡大樹庄所在の鳳梨種苗養成所に於て十萬本を輸入し目下鋭意蕃殖中なり。

その他外國種としてはシンガポール・モリシヤス・サラワツク等の品種あれども玆に詳述せず、唯嘉義農事試驗支所に於て外國種竝に在來種に就て收量及品質試驗を爲したる結果を揭げて當業者の參考に供せん。

品種名	反當收量	收量順位	大一箇の重量	品質其他
スムース・カイエン	五六八・八〇〇斤	一	五六三匁	良、目淺く纖維少し
モーリシヤス	三六一・二〇〇	二	三一七	不良目深く纖維多し
鳳山	三六〇・四〇〇	三	三一七	同
黃皮	三五八・八〇〇	四	三九六	同
無刺紅皮	三五六・四〇〇	五	三八一	同
紅皮	三二七・六〇〇	六	三六一	同
サラワツク	二八〇・八〇〇	七	三三一	同
シンガポール	二七五・四〇〇	八	二五〇	最良、目淺く纖維少く香氣高し
烏皮	二四八・四〇〇	九	二五七	稍良、目淺く纖維稍少し

品種對食用部と廢棄部との重量步合

品種名	供試果實十箇の重量	食用部（果肉）重量	廢棄部（果皮、心）重量	百分率 食用部	百分率 廢棄部
シンガポール	二・五〇〇貫	一・八二五貫	〇・六七五貫	七三・〇〇%	二七・〇〇%
スムース・カイエン	五六三〇	三・九九七	一・六三三	七一・〇〇	二九・〇〇
紅皮種	三六二〇	二・〇二六	〇・四五一	五七・〇六	四二・九四

元來パインアップルは熱帶植物なるが故に、其の栽培は特に高温を必要とす。世界に於ける栽培地帶も從つて赤道を中心として南北緯三〇度以內とす。又一日中に於ける氣温及月別氣温の較差少きを可とし、高温なればなる丈け生育良好なり。世界に於けるパインアップル栽培に好適せる地方の温度は攝氏二十四度より二十七度なり。温氣及雨量も亦パインアップル栽培上特に考慮を要すべき問題にして、過度の温氣は果實を

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

腐敗せしめ、排水良好なるにあらざれば降雨に依り著しき被害を受く。又土壌は排水可良なる砂質壌土を最適とす。

本島に於ける栽培地は何れも排水良好なる傾斜地にして、近時外國種の輸入と共に平地栽培亦行はるゝに到れり。

三、生産高

本島パインアップルの生産高は大正元年に於ては一千萬斤、價額參拾萬圓内外にして爾來著しき增加を示すことなかりしが、最近罐詰工場の勃興に伴ひ著しき發展を示すに到れり。今明治四十二年以降大正十四年に到る過去十七箇年間の栽培面積、生産高竝に價額を見るに左の如し。

年次	栽培樹數（本）	作付面積（甲）	生産高（斤）	生産價額（円）
明治四二年	三、三四二、四二六	一、三二四	一三、六三三、〇九八	二四三、八六六
同　四三年	九、七九〇、八一七	九七九	一一、九六二、三六四	三三一、五二六
同　四四年	八、七五三、八二〇	八七五	一一、〇一三、五四三	四〇三、五〇〇
大正元年	八、六四八、六四八	八六五	一〇、四三九、一〇〇	三〇八、五九七
同　二年	九、〇〇九、八〇八	九〇一	七、二一〇、三五八	三四九、〇四八
同　三年	八、八〇三、四〇七	八八一	七、〇二〇、三二九	二七二、七九〇
同　四年	八、六〇六、三八八	八六一	七、二四二、八五五	二五〇、九六七
同　五年	九、〇三四、八六六	九〇四	七、九七三、六七〇	三五八、一七九
同　六年	九、四二一、四〇五	九四一	七、八六八、五〇六	三六三、九一八
同　七年	八、八九〇、七〇一	八八九	七、八六七、八一四	四一六、七五八
同　八年	九、七五〇、五三七	九七五	八、〇五八、八二四	五〇六、九〇〇
同　九年	八、八三八、七九四	八八四	六、〇八四、一一八	二〇五、五八二

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大正十年	一三、〇七五、四九八	一、三〇八	八、九四八、〇七四	二六七、八一〇
同十一年	一二、三六六、六〇五	一、三二七	九、〇五三、九〇七	二七二、一三
同十二年	一六、九二一、〇一七	一、六九一	一一、九二四、七六五	三三五、七八七
同十三年	一八、九三六、七七五	一、八九四	一〇、九九七、四六一	五八一、八七九
同十四年	二〇、八一六、〇七六	一、九一二	一三、三八八、二六五	—

備考　大正十四年は豫想高を示す。

右に依れば作付面積及收量に於て明治四十二年に比し昨大正十四年は僅かに二倍の增加を示せるに過ぎず。他の一般農作物が同期間に於て數十倍の增加の趨勢を示せるに比すれば、其の發達の顯著ならざるを知るべし。之れパインアップルは青果として島内に消費せらるゝ外、果實の性質上青果の儘島外に搬出すること頗る困難なりとせられたり。又輸移出數量極めて少なかりしため、本島罐詰事業も未だ世人一般の認むる處とならざりき。近時文化の進步と生活の向上に伴ひ殊にパインアップル罐詰は獨特の高き芳香と甘酸適度にして多漿の美味を有するに依り、一般世人の嗜好に適し頗る歡迎せらるゝに至り、今や歐米各國を始め東洋各國に於ける消費額は逐年增加し、果實罐詰界に重きを爲すに到りしが故に、近時本島事業界に於ても俄かに事業家の活目する處となり、大正十三、四年に入り作付面積俄かに激增し今後著しき發展を見んとする形勢にあり。

而して本島パインアップルの生産地は中南部地方にして北部地方に生育し能はざるにあらざるも品質收量共に著しく劣等なり。今大正十四年に於ける州別作付面積竝に生産高等を見るに左の如し。

州廳名	栽培本數	作付面積（甲）	收穫高（擔）
臺北	一、三六〇、四六六	一四三・六六〇	七八五、九一五
新竹	一七一、二六三	一九・四六〇	一六七、六六九
臺中	八、〇四五、〇〇〇	四四六・七〇〇	六、三一六、〇〇〇
臺南	一、三五九、四一三	一一七・八五〇	七〇〇、三五二
高雄	九、七三九、二〇〇	一、一七七・九八〇	五、三八二、四七〇
臺東	三五、六三六	三・五四〇	二四、九四四
花蓮港	一五、〇七九	一・三二〇	一一、〇三五
計	二〇、八一六、〇七六	一、九一〇・五一〇	一三、三八八、二六五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

右に依れば產額に於ては臺中州下の六百三十一萬六千箇最も多く、高雄州の五百三十八萬二千餘箇之に次ぐ、而して高雄州下が作付面積に於て全島第一位にあるも生產高少き所以は一見奇異なる如きも、同州下は最近の植付に係るもの多く、而も外國種パインアップルを栽植せるもの多きが故に今後一、二年にして恐らく全島最大の生產地たるに到らん。

四、罐詰工業の現況

本島パインアップル罐詰事業は明治三十五年三月故岡本庄太郎氏が其の有望なるを着眼し斯業を經營せるを嚆矢とす。爾來幾多の變遷を經たれども時運到らず著しき發展を見る事能はざりしが、會々歐洲大戰の餘波はパインアップル罐詰事業に好影響を與へ、稍活況を呈し生產の增加を見るに到り、大正十年には工場數八、生產高百六十萬罐を超ゆるに到り、更に大正十二年に入りては工場數十四、製產高三百萬罐に近からんとするの盛況を呈し、大正十三年に於ては工場數十九、製造高四百六十萬罐に達するに到れり。殊に昨大正十四年に入りては工場の創設せらるゝもの十三、工場數合計三十三を數へ、加之、高雄州潮州郡內埔庄老埤に於て臺灣鳳梨栽培株式會社が一千甲步の土地をトしてパインアップルを栽培し、高雄市附近に於て一大工場を設立せんとし其他同州下に於て辜顯榮氏等亦大に之が栽培を計畫せるあり。臺南州斗六郡崁頭厝に於て三菱事務所も亦大規模の栽培を爲さんとしつゝあるなど頗る活況を呈しつゝあり。蓋し今後の發展は俄かに端倪を許さゞるものあらん。今大正元年以降大正十三年末に到る工場數竝に罐詰生產高等を見るに左の如し。

年次	工場數	生產數量（個）	價額（円）	年次	工場數	生產數量（個）	價額（円）
大正元年	六	六五四、八〇〇	一一〇、五五〇	大正三年	七	八六二、三四四	一三四、八六八
同　二年	六	一、一三〇、五五九	二〇六、七四五	同　四年	七	六八三、三五五	一〇一、七六八

大正五年	六	九二一、八四	一三七、六三四
同六年	五	八一三、三三九	一九一、三五八
同七年	六	九三九、三五四	二三八、一二八
同八年	五	一、一四三、三八五	三四六、八八二
同九年	六	一、一〇八、四三七	三三一、三三五
大正十年	八	一、六二五、八〇三	五三七、三二四
同十一年	二	一、六九九、三五二	四八六、〇七五
同十二年	一四	二、六五〇、二二九	七〇四、三八五
同十三年	一九	四、三九七、六九五	一、一八一、三三九
同十四年	三三	—	—

而して大正十四年現在罐詰工場を見るに左の如し。

	工場名	所在地	組織	代表者	創立年月日
臺北州	泰芳商會鳳梨罐詰工場	臺北市宮前町二四一、二四二	個人	葉金塗	明治四十四年四月
	士林罐詰商會	臺北州七星郡士林庄士林九六	合資	林清淡	大正十一年六月
臺中州	草屯罐詰製造株式會社	臺中州南投郡草屯庄月眉厝	株式	李崋竹	大正十四年六月
	義泉罐詰製造株式會社	臺中州彰化郡彰化街北門外三八	株式	楊宗城	同年五月
	彰成鳳梨罐詰工場	同州同郡同街北門一一四	個人	徐水潘	同年七月
	協成鳳梨罐詰工場	臺中州彰化郡彰化街東門一五三	個人	世碧成	同年七月
	振興果物罐詰工場	同　三七九	組合	杜福星	同年四月
	南華公司	臺中州彰化郡南郭庄南郭三六一	同	趙木水	同年七月
	員林商事株式會社	臺中州員林郡員林街員林五九三	株式	張海林	同年三月
	芳利公司	臺中州員林郡二水庄二水一七九ノ一	組合	王金水	同年六月
	阿辻商會罐詰二水分工場	同　一四九ノ一	同	阿辻廣	同年七月
	臺灣果物製造公司	臺中州大甲郡沙鹿庄沙鹿	同	陳添丁	大正十三年十一月
	和成罐詰工場	臺中州彰化郡彰化街字北門	個人	莊傑南	同年四年
	濱口合名會社鳳梨罐詰工場	臺中州員林郡員林街員林五一四	合資	濱口留三郎	明治四十年三月
	(徳)鳳梨罐詰工場	同　四一一	個人	早坂峯太郎	大正元年十二月
	泰芳商會鳳梨罐詰員林工場	同　五四	同	葉金塗	大正八年二月
	振興商會鳳梨罐詰工場	同　三塊厝九七	同	黄天送	大正十一年十一月

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

	高湖鳳梨罐詰工場	臺中州員林郡員林街湖水坑六四二	組合	黃璧〓	大正十二年十二月
	員林名產罐詰製造公司罐詰工場	同　員林五七	同	盧福來	同　年十月
	南投果物販賣組合	臺中州南投郡南投街南投	同	葉在濤	同　年九月
臺南	竹崎鳳梨罐詰合資會社嘉義工場	臺南州嘉義郡嘉義街字北門外	合資	王景游	大正十三年七月
	廣田工場	臺南市本町四丁目一九二	個人	廣田蕃	大正十四年六月
高雄	臺灣鳳梨罐詰株式會社	高雄州鳳山郡鳳山街	株式	佐々木紀綱	明治四十五年三月
	阿辻商會罐詰所	同	個人	阿辻廣	大正九年六月
	榮豐鳳梨罐詰商會	同	合資	朱印	大正十四年六月
	㊣谷鳳梨罐詰工場	同	同	馬場一夫	大正十三年五月
	株式會社浦谷商會臺灣工場	同	株式	高谷岩松	大正十一年五月
	濱口鳳梨株式會社臺灣事務所	同　字九曲堂	同	櫻井芳之助	大正九年四月
	德田鳳梨罐詰工場	同	個人	米坂峯太郎	大正九年五月
	黃清廷鳳梨罐詰工場	同　九曲堂	同	黃清廷	大正十三年一月
	泰芳商會鳳梨罐詰工場九曲堂第三工場	同	同	葉金塗	大正十五年五月
	士林鳳梨罐詰商會第二工場	同　大埔庄	合資	李鄒林	大正十五年五月
	臺灣鳳梨株式會社	高雄市哨船頭一二三	株式	高木拾郎	大正十五年五月
	計　三三				

右の如く大正十四年末に於てはパインアップル罐詰工場數三十三、之等工場への投資額八十九萬五千圓、一日の製造能力十五萬罐に達し、目下南部各地に於て事業の計劃に著手せんとしつゝあるもの多く今後數年[illegible]本島パインアップル罐詰工業は一大發展の機運に向はんとしつゝあり。然れども惜むらくは本島[illegible]罐詰工業は何れも人力に待つ事多く機械の設備不完全、全く幼稚にして原始的の域を脱する[illegible]從つて製品の統一を缺ぎ大量生産を爲す能はず。又往々粗製品を市場に出して本島罐詰の[illegible]ことなす。此の秋に當り一は本島斯業者の自衛上一は海外に向つて優良品を輸出し以

てパインアップル工業の健實なる發展を謀らんが爲め近く鳳梨罐詰同業組合の設立せられんとするは斯業の發展上眞に慶賀に堪へず、願はくば斯業發展の爲め該組合將來の活動を望みて止まざる次第なり。

五、貿易の現況

元來パインアップル罐詰は最初内地移出の目的にて製造せられたるものにして從つて、其の貿易も内地移出に端を發す。稅關統計に據れば明治三十五年の移出額は金額に於て僅々七百六十圓に過ぎず、三十六、七年には移出全く無く三十八年に一千百四十四圓に達せしに過ぎざりしが、明治四十年以降は漸次增加の趨勢を示すに到り歐洲大戰の勃發と共に内地需要の增加に伴ひ移出額又激增するに到り大正十三年に入りては一躍一百萬圓を突破するに到りぬ。而して輸出は明治四十四年に始まり爾後每年多少の貿易を見るも甚だ不振の狀態にあり、移出仕向地の重なるものは大阪・神戶・東京・名古屋・小樽・橫濱・函館等にして、輸出は殆ど支那及關東州に限らる。今明治四十年以降昨大正十四年に到るパインアップル罐詰の輸移出狀況並に仕向地別表を左に揭げん。

年次	輸出 數量	輸出 價額	移出 數量	移出 價額	合計 數量	合計 價額
	打	円	打	円	打	円
明治四十年	—	—	六、二三九	一八、六三九	六、二三九	一八、六三九
同　四十一年	—	—	二二、二五六	六六、五一二	二二、二五六	六六、五一二
同　四十二年	—	—	一九、七五〇	五九、九〇六	一九、七五〇	五九、九〇五
同　四十三年	—	—	一三、七八五	三七、七七九	一三、七八五	三七、七七九
同　四十四年	九	一二〇	二九、五四三	七四、九〇七	二九、五五二	七四、九二七
大正元年	二九	六九	五〇、五二〇	一二一、一五一	五〇、五四九	一二一、二二〇
同　二年	三〇五	六六四	六六、二一八	一五八、三九六	六六、五二三	一五九、〇六〇

大正三年	一六	四〇	六三、六二二	一三〇、五四〇	六三、六二八	一三〇、四九〇
同四年	八四五	一、四六九	六五、五七〇	一三九、四七六	六六、四一五	一四〇、九四五
同五年	二六八	三六八	九〇、五九八	一九五、二三三	九〇、八六六	一九五、八〇〇
同六年	一、七一七	六、六七〇	九〇、六一五	二六四、二二七	九二、三三三	二七〇、八九七
同七年	一、三三六	五、四一八	一〇七、七一三	三八二、六〇九	一〇九、二四八	三八八、〇三七
同八年	二、九七五	四三、〇九七	一四九、〇六〇	五二四、八八七	一六一、〇五五	五五七、九八四
同九年	一、六五九	八、二五九	一五九、二〇八	八三〇、一三八	一六二、五三〇	八四七、七九一
同十年	—	—	二〇九、八二六	八六五、四四六	二〇九、八二六	八六五、四四六
同十一年	一六三	八五六	二一〇、〇三四	八六〇、四一〇	二一〇、一八七	八六一、二八六
同十二年	三〇三	一、二八三	二七九、四四二	九二五、三六九	二七九、七四五	九二六、七五二
同十三年	三六一	一、五〇六	四二一、四七二	一、三五〇、九六八	四二一、四三三	一、三五二、四七四
同十四年	二、九三五	一〇、七七〇	五〇三、八〇二	一、九一七、三六四	五〇六、七三七	一、九二八、三三四

パインアップル罐詰輸移出仕向地別表（最近五箇年間）

輸出

仕向地／年別	大正十三年		大正十二年		大正十一年		大正十年		大正九年	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
	打	円	打	円	打	円	打	円	打	円
支那	三三八	八九二	三〇	一八〇	三二	一五一	—	—	五九	二二九
關東州	二〇	五〇〇	二七三	一、一〇三	一三一	七〇五	—	—	一、六〇〇	八、〇三〇
香港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
米國	三	一一四	—	—	—	—	—	—	—	—
計	三六一	一、五〇六	三〇三	一、二八三	一六三	八五六	—	—	一、六五九	八、二五九

移出

仕向地／年別	大正十三年		大正十二年		大正十一年		大正十年		大正九年	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
	打	円	打	円	打	円	打	円	打	円
小樽	一六、四七四	五四、九九二	三、三〇八	一〇、二〇五	二、八〇〇	一〇、七〇〇	二、五五九	一二、五九七	一、三二四	五、四〇〇

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

函館	一〇,〇四〇	三〇,八九八	五,四三三	一六,〇四九	一〇,九〇〇	四〇,六五〇	六,三三〇	二六,一七〇	二,五三六	一三,五五〇
東京	六五,八七八	三五九,四三六	二三,〇〇八	七六,七七三	二三,一九六	一〇九,六二八	一三,四七七	五五,五七六	八,二九七	五一,三五〇
横濱	一一,五七四	三七,五五八	六,八九四	二一,七八六	一三,三三〇	四六,三三〇	一,四一七	六,二九五	一三〇	五五〇
名古屋	二四,四一七	七八,七八二	六,二二〇	一九,一九〇	二,〇〇九	八,八一四	二,八七八	九,一九九	—	—
大阪	一八二,三三三	五八七,三〇五	一五四,八〇四	五五三,三三四	一〇四,八二一	三九五,九〇一	一一七,九一七	四七九,一四九	九一,一八〇	四三七,四八九
神戸	八三,四九一	二六八,三三一	六六,一六八	二三,八二五	四八,八七一	二三七,三五一	五九,一七四	二四七,六六七	四七,五四一	二七五,六九七
宇品	四三〇	一,三五〇	—	—	—	—	—	—	—	—
下關	三,九〇四	一三,六八七	三,九四二	一三,五八九	八〇四	三,一一六	一,八九六	八,〇一八	一三〇	五四〇
門司	四,四五八	一四,四四一	五,〇三九	一五,七四三	四,三八二	一七,九三〇	五,一四四	二一,六三八	八,〇三〇	四五,二九二
鹿兒島	一一四	三九九	—	—	—	—	—	—	—	—
那覇	二〇	五五	—	—	—	—	—	—	二〇	九〇
宮古(沖繩)	二六	四六	—	—	—	—	二〇	八一	—	一八〇
八重山	三〇	五九	四二	一二五	—	—	二四	九六	四〇	—
三池	—	—	三〇	一一〇	—	—	—	—	—	—
長崎	—	—	四	一二	—	—	—	—	—	—
仁川	一,六二六	五,〇四七	五六〇	一,九八〇	—	—	—	—	—	—
釜山	三,〇三〇	一〇,二四五	三,七五四	二,九四三	—	—	—	—	—	—
京城	—	—	三〇	六〇	—	—	—	—	—	—
其他(朝鮮)	三,四四〇	一〇,九〇八	—	—	—	—	—	—	—	—
其他各地	一八八	五九九	三六	六八七	—	—	—	—	—	—
計	四二一,四七三	一,三五〇,九六八	二七九,四四三	九三五,三六九	二一〇,三〇四	八六〇,四四〇	二〇九,八二六	八六五,四四六	一五九,二〇八	八三〇,一三六

前表に依れば本島より内地へ移出するパインアップル罐詰數量は、大正九年に於ては八十三萬餘圓に過ぎざりしも、大正十四年に入りては百九十二萬餘圓の巨額に達し之に外國よりの輸入高を合算し内地に於ける消費高は年額十五萬箱に達し而も年々增加の趨勢を示しつゝあり。而して其の消費地別狀況を見るに全需要高の七割は主として、關東及北海道方面にして殘餘の三割は關西地方に消費せらるゝものゝ如し。之れに依

りて見るも將來に於けるパインアップル罐詰の大需要地は內地・關東以北・朝鮮・關東州・滿洲並露領沿海州等寒冷の地方に振向け得らるゝ可能性比較的多きを知るべし。

六、パインアップル事業の奬勵

前述の如く本島パインアップル事業は自然の天惠を受け、指導奬勵の宜きを得ば將來砂糖業に次ぐ一大產業たり得る可能性ありと雖も、惜むらくは現在に於ては品種の不良なる、栽培管理の不完全なる、罐詰工場の設備不備なる、製品の不統一なる、販路擴張及宣傳に等閑なる等遺憾の點少からず。爲めに販路の開拓意の如くならず動もすれば生產過剩の聲を聞くは斯業將來の發展上眞に寒心に堪へざる次第なりと云はざる可からず。

試みに先づ本島パインアップルの適地面積を見んに

州名	既墾地（甲）	未墾地（甲）	計（甲）
臺北	二六八・四〇	三七三・四〇	六四一・八〇
新竹	二,一〇〇・〇〇	一,〇〇〇・〇〇	三,一〇〇・〇〇
臺中	四,九六〇・〇〇	一三,七九〇・〇〇	一八,七五〇・〇〇
臺南	九,四三一・〇〇	一六,七六二・〇〇	二六,一九三・〇〇
高雄	—	一〇,二〇〇・〇〇	一〇,二〇〇・〇〇
臺東	八五六・五〇	八,七四三・五〇	九,六〇〇・〇〇
花蓮港	—	四,三五六・〇〇	四,三五六・〇〇
計	一七,六一五・九〇	五五,二二四・九〇	七二,七四〇・八〇

卽ち臺南州下の適地面積二萬六千甲を筆頭として臺中州下の一萬八千甲、高雄州下の一萬甲、臺東廳下の九千甲等順次之に次ぎ合計七萬二千七百四十甲に達す。由來パインアップルは從來不毛地として顧みられざりし傾斜地又は原野を利用し從來の作物と敢て衝突する事なく而も新に土地を利用し新產業を起し得るの特點あり、前記適地面積も卽ち主として本島中南部地方に於ける不毛の平原又は傾斜地にして今後之等の面積に悉く栽培せらるゝに到らば荒地は變じて稠々たる果園と化し砂糖工業に亞ぐの一大產業たるに到らん。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

抑も世界に於けるパインアップル罐詰の生産高は一函二打入りとして約一千萬函に達すと云ふ。內最も多量の生産を爲すは布哇にして六百萬函、次はシンガポールの七十萬函にして殘餘の三百三十萬函は南亞弗利加・比律賓・南支那及我臺灣等とす。而して本島に於けるパインアップル罐詰事業の將來を論ずるに當り調査研究の對照たるべきは布哇及シンガポールの二箇所とす。之れ、布哇に於けるパインアップルの生産高は其の數量多量なれども其の八割は米國に消費せられ、殘餘の僅に二割が歐洲市場へ輸出せらるゝに過ぎず、而して倫敦其他歐洲市場に於ては右布哇産の外熱帶亞弗利加、シンガポール等の製品主として消費せられ居る狀態なり。次に東洋殊に支那に於てはシンガポール品最も優勢にして殘餘は汕頭以南の各地に生産せらるゝ劣惡底廉のもの消費せらる。之に依り先づ本島として第一に注目すべきは支那及東洋各地に於けるシンガポール産を目安とし之れと競爭すべき立場にあり。今後罐詰原料たるパインアップルの品質更新せられ優良のものが多量に而も統一ある生産を擧ぐるを得るに到れば、此の時に於て始めて歐洲市場に於て各地の製品と競爭し得べし。此の意味に於て本島パインアップル罐詰事業の對照は第一に新嘉坡産なりとす。

布哇は從來有名なる糖業地なりしもパインアップル事業の勃興と共に傾斜地の利用行はれ、今や世界的大産業たるの地歩を確保するに到れり。新嘉坡は主としてゴム園の副業として行はれしに依り護謨の價格騰貴すれば即ちパインアップルを放任して省みず過去十數年來一進一退の狀勢を保てり、されば相當の奬勵指導を怠らざるに於ては近き將來に於て我パインアップル罐詰事業は之と競爭し得るに至るは明なり。

又生産費に就て見るも、果實並に罐詰何れも世界パインアップルの牛耳を握れる布哇のそれに比し本島は最も優越の地位にあり、而も其の作付面積は十萬甲を算し、當業者の自覺に依り本島製罐詰の品質向上と、統一を計り、大量生産を爲すと共に一方販路の擴張を行ふに於ては世界市場に於て外國産パインアップルと相

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

角逐し商戰場裡の優勝者たるに到るべし。

而して現在に到る迄本島パインアップル罐詰事業の不振なりし所以は、其の栽培が全く在來式にして肥培管理並に品種の改良等栽培技術上に何等留意する處なく唯自然に山間に放任栽培し、無肥料を以て連年收穫を續け之れを罐詰工場又は生果用として一般の需要に應じたると、罐詰事業は全く其の對照を內地に置き、內地移出向きとして成る可く低廉なる製品を供給する事に腐心し爲めに製品は不良、不統一に傾き到底海外優良品と競爭し能はざりしに依るものにして、此の際吾人は、先づ徹底的に品種の改良を行ひ、優良外國種を一般農民に栽培せしめ、以て果實の改良を計ると共に一方新式罐詰機械を使用して生產費の低減を計り、檢査を勵行して品質を統一し等級別に取引するの制となすと共に更に大量生產を爲し限り無き世界の需要に應せしめざるべからず。而して此の際注意すべきは投資家にしてパインアップル栽培を爲し罐詰工場を設立せんとするものには出來得る限り便宜を與ふると共に其の指導に力めざるべからざる事なり。

此の意味に於て總督府は大正十四年度より高雄州下鳳山郡大埔庄に鳳梨種苗養成所を設置し、優良外國種種苗を島內に普及せしめ品種の改良を計ると共に一方海外販路の擴張、宣傳、調査の爲め適當の努力を爲しつゝあり。民間に於ても近く罐詰同業組合設立せられんとするは眞に時宜に適せる者と云ふべく、將來本島斯業發展の爲め充分活動し得る樣努めざるべからず。殊に今後本島に於けるパインアップル罐詰の販路は內地・朝鮮・對岸支那・露領沿海洲地方を第一とし次で販路を歐洲に求め粗製低廉の支那罐詰並に優良なる布哇・新嘉坡の製品と相角逐し優勝の地步を固むる事に力めざるべからず。

斯くて自然の天惠と人爲の最善を盡すに於ては從來利用されざりし土地を利用して新產業を起し以て砂糖工業と相竝ぶ一大產業たるに到るべく、本島產業發展と斯業の發達は誠に有望なりと謂ふべし。

爪哇及比島糖業と臺灣糖業

臺灣總督府技師　土井季太郎

本篇は臺灣總督府技師土井季太郎氏が官房調査課主催の講演會に於ける講演筆記であり官房調査課の好意に依り、茲に採錄したのである。

私は斯う云ふ處で水を呑むことは生れて始めてゞあります。況んや演説をやつたことなどはないのであります。どうか不味い所は充分に御含みを願ひます。

演題は爪哇及比島の糖業と臺灣糖業と云ふ大きな題でございますが、臺灣糖業は御承知の通りで皆さんの方が詳しい筈でございます。爪哇糖業は最近澤山の知名の士が行かれまして其御土産は到る處に述べられて居りますから、分けて私の如き訥辯の者がお話しなければならぬ程面白い材料がある譯でも御座いません。唯斯う云ふ變屈な技術者が行つてどう見て來たかと云ふ事を一寸お話を致して見たいと思ふのであります。臺灣糖業に付きましては別に大したことは申上げません。皆さん方で適當に御比較下さる樣お願ひいたします。それから比島の方は餘り今までに紹介されてないやうに思ひますから、之れは時間がございますれば少しお話して見たいと思ふて居ります。何分皆さんも時間外で御勞かれの所でもあり、本人も斯う云ふ所で御話をすると云ふので昨夜は不眠性に罹つて居るやうな次第でありますから、餘り下手な演説を永くやるまい思とひます。尚ほ御斷りしなければならぬことは私は技術屋でございまして、法律上のことは能く判つて居

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

りません。爪哇の話の中には法律上の言葉が這入るのであります。「トンチンカン」をやるかも知れませんが、御諒察を願ひます。順序として申述べますが、私は大正十四年九月に當地を出發しまして先づ爪哇に九月下旬から約四十日間、比島には十二月初旬から約二週間滯在して居ました。

爪哇は御承知の通りに南緯五度乃至九度位の所にあります。此地とは氣候が反對であります。赤道に近いから非常に暑いだらうと考へますが、私も非常に暑いと思つて參りました所が斯う云ふことを今度の旅行で熟々發見致しました。即ち熱帶は温度が何時も平均して居る、そうして年中夏である。けれども此方や內地の夏の如く、非常に暑いことはないと云ふことで、これは人から聞いて參つたのでありましたが今度行つて見ると全く其通りでありました。香港を出たのが九月の十日頃で夫れから新嘉坡迄は五日間費りました。さて新嘉坡の九月の中頃と申せば太陽が眞上に來てゐて、最も暑い時分でなければならぬ譯です。然るに香港を出た日には部屋の中で「ファン」を掛けて窓を明けて居つたのに、明くる日は「ファン」を止め、其次の日には更に窓を締めなければならず、新嘉坡に著きました時分には非常に涼しいと云ふ樣な次第でした、私は其晩或知人の家へ招かれましたが、「チリ」の御馳走をすると云ふので火爐に火を起しましたが決して暑いとは思ひませんでした。其日は或は特に涼しかつたのか知れませんが、九月の中頃と言へば太陽が眞上に居るから非常に暑い筈であるのに却つて涼しいのには驚きました。又光線でありますが……爪哇で寫眞を撮る時に熱帶であるから餘程早くやらなければならぬと思ひまして始めはタイムを短くやつた所が寫つて居ない、不思議で仕方がありませんので寫眞屋に聞いた所が、寫眞屋の言ふのには皆さんが寫眞を撮られるには最初は光線が强いだらうと思はれてよく失敗されます、爪哇は臺灣よりも感光が遲いのです、それは空氣中に水分が多い、爲めに光線が遮られて却つて弱いのです。米國のロス・アンジェルス等の樣に乾燥してゐるところでは大分早

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

く感ずるのであります、と申しました。これに依つて私は必ずしも赤道に近いから早く感ずると云ふ譯ではないと云ふことを教へられました。

爪哇の住民は唯今は「マドウラ」を併せて三千五百萬人で殆んど植民地では一番人口の稠密な處であります。此所で爪哇人の國民性を御披露申したいと思ひます。爪哇は御承知の通り天惠の非常に豐な處でありまして臺灣の如く暴風のある譯ではなし、颱風は少しもありません。それから土地は肥沃であり植付放して相當に稔るし、年中溫度は八十五度内外である爲めに、著物としては「サロン」一、二枚もあれば充分暮して行ける。又住家といたしましても、風の心配がありませんから家の建方も簡單で所謂竹の柱に椰子の葉で屋根を葺き、竹の網代で壁を造るれば充分であります。

爪哇人は多年かゝる自然の恩惠に甘へた結果、向上心もなければ理想もなく、單に慾望としては目前の慾望ばかりで其所に自制心が乏しい、半年後の百圓よりも只今の十圓をとり此れを以て享樂せんとする者が多いのであります。其上に爪哇人は他人種によつて征服され通しであります。紀元五百年か六百年頃最初這入つて來た人種は「ヒンヅウ」人でありまして、爪哇人は其の宗教「ヒンヅウ」教に靡いたのであります。此「ヒンヅウ」教は非常に階級觀念の強い宗教で、僧侶・軍人・百姓それから奴隷、此四つの階級が嚴然として存在してをる。そう云ふ階級の念の強い宗教に依つて征服されたのでありますが、此れが未だに殘つて居て白晳人及び日本人に對しては非常に禮が厚いのです。私が或日爪哇の總代をやつて居ります者の處に爪哇人の住居の狀態を見に行つたのでありますが、其時に「コーヒー」を出しましたが、臭くて何んだか口の中に殘つて食べられませんでしたが……其家の主人たる老人は吾々に對しまして土間の上に胡座をかいて座つて居りました、それは土下座と言つて非常に敬意を拂つて居るのであるそうです、かく爪哇人は一般に禮儀が正しい

のです。「ホテル」に行きましても給仕人は皆風呂敷のやうなものを折り疊んだ帽子を被つて給仕をします。此帽子は非常に敬意を拂つたものであつて、帽子がなくては、ものが言へないのであります、或人が遲く自動車で歸つて門番を起した所其番人は寢て居たが慌てゝ帽子を被つて出て來た、そう云ふ場合でも帽子がなくては出て來ない、非常に禮儀が正しいのです。話は横に反れましたが、其次に爪哇へ這入つて來たのは佛致であります、御承知の如く之れは平等主義でありますから容易に布致したのでありますが「ヒンヅウ」致と餘り衝突もなくよく混淆したそうで、今もあの偉大なる佛蹟を觀れば其れが明に判るそうであります。其後十六七世紀以後は歐洲人に征服せられ今日に到つて居るのでありますから、他人に征服せらるゝことは何等意に介せない樣で、從つて非常に治めよい人種であると思ひます。歐羅巴人が此南洋の方に目を付けて來た重なる目的は歐洲市場に於て有利なる香料の獲得であります。最初に爪哇を占領したのは和蘭人でありますが、貿易上の利益を得んが爲めに東印度會社と云ふのを一千六百二年に起したのであります。此の東印度會社は二百年で倒れたのでありました。其後和蘭では大奈翁があの邊で戰爭をやつた時代で費用が要りますのみならず、爪哇でも土人の征服又は外領の統治の爲めに澤山の金が要つたが、然し本國は到底之れを援助することが出來ないのみならず却つて金を要する情態でしたから、何とかして爪哇から富を吸收する方法はないかと頻りに考へました。其方法を考へ出したのは「ファン・デン・ボッシュ」(Van den Bosch)と云ふ總督であります。其總督は非常に有名な强制耕作を行つた人で、此爪哇のお話をするのにはどうしても强制耕作のお話をしなければならぬ。前に申上げました通りの爪哇人でありまして、そう云ふ遊惰な民を相手にして産業をやるのには何等かの力を以てしなければやれるものでない、此れに最も適當したのは强制耕作でありまして、一千八百三十年に創められたのであります。

要點としましては各部落民は其の所有する土地の五分の一に政府の指定する作物を作つて納めろ、と云ふ譯である、政府の指定する作物は收穫して歐羅巴に持つて行つて賣れるものである。卽ち「珈琲とか甘蔗とか藍とかと云ふやうなものであります。政府は之れを五分の一の土地に植えさせて充分に監督し管理し、遺憾なくやるのであります。土人は嫌でも應でも言はれる儘に此土地を耕作しなければならぬ、此れが著しく效果がありまして爪哇の豐土を遺憾なく利用するを得、本國へは莫大なる富を吸收することが出來ましたが、千八百七十年頃漸次之れが廢止された後の今日にあつても尙爪哇に於ける農業の進步發達が跛になつてをることを痛切に感ずるのでありまして爪哇に行つて見まして、非常に之れは面白く感ずるのであります、汽車の窓から見ましても煙草や甘蔗は非常に良く出來て居るが、稻や玉蜀黍などは非常に出來が惡い、之れは强制耕作の結果特種作物に付ては能く訓練せられて居るが從來の土人の作物に付ては非常に憐れなものであると云ふことを表現するものであります。次に爪哇の糖業政策竝に糖業組織に付て一寸お話をしたいと思ひます、爪哇の糖業政策の基準と致しましては爪哇に於ける食糧問題が中心になつて居るのであります、政策は皆食糧問題から割出されて居ります。糖業を盛り立てゝ行く政策と云ふものは何等ないのであります、卽ち具體的に申しますれば工場を此所に一つ建てたいと云ふ場合、土人の土地を借りてやるのでありましたならば斯く〳〵と自分の計畫を具して、是れ〳〵の部落を自分の原料を得る地域として此所に工場を建てると云ふことを願ひ出て內務省長官の許可を受ける、若し此の出願にして土人の產業に惡影響を與ふることなく、且つ地方の食糧に支障もなく適當と見れば許可せられる、そうすると許可の指令として、條項と致しましては色々の條項がありますが特に擧げるものは其の地域の利用に當つて何々村落を原料採收の區域とすること竝に最大植付面積指定及び其前々年に甘蔗を作つた所には甘蔗を作つてはいけない、等と云ふ條項が付いて許可せられ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る。之れ等が工場令の示す主なるものであります、夫れから爪哇糖業政策の一番に特色のあるものは土地令であります、爪哇の土地令に中々面白い所がございます、一千八百七十年に出ましたが、其後ちよい〳〵改正して居ります、其要點を申しますと、土地令發布當時に土人の耕作して居る土地は土人に所有させ、其以外のものは全部國有にしてしまつた。そうして土人以外のものには、土地の所有を許さぬと云ふことであります、非土人が(和蘭臣民、和蘭の住民、蘭印住民竝に和蘭又は蘭印に設定せられたる會社)仕事をしたいと云ふ場合には今までの荒地、荒蕪地を開墾してやる場合には永租借權を與へてもらう、七十五年間の永租借權を得るのである。次に土人の土地を借りて何か仕事をする場合、例へば製糖會社を建てる場合には借地令に依つて仕事をしなければならぬ、借地令の規定の重なるものを申上げますと云ふと、部落の三分の一以上の土地を借りることが出來ぬ、詰り三分の一以上の土地を借りる契約をやつても無效になる、其契約は地方長官の面前でやつて居りますから無理やりに押し付けてやる譯にはいかない。借りる期限は公地は一年又は一收穫年、私有地の水田は三年半、畑は十二年、鐵道の如き公共的の事業は二十五年の期限を許されるのであります。然し特別の規定の下には三年半の期間は之れを二十一年半迄長期に亙り借り得るのであります、假令借りても十八箇月すれば一應は百姓に返さなければならぬ、非常に窮屈のやうでありますが相手が土人でありますゝ然も非常に從順な土人でございますし特に強制耕作が行はれて居つた後のことであるから其邊の所は何等痛痒を感じないでやつて居ります。そこで三年半以上借りる場合は政府が定めた最低借地料を拂はなければならぬ、最低借地料は過去の米收穫の實績によりて割出された土地の賃貸價値を地方長官で決定した土地借地料でありまして、五年每に其時代の物價に應じて地代を變へなければならぬ、又借地契約は實際使用前十五箇月以前に爲してはならないとか、色々面倒な規則があつて表面土人の保護をやつて居る樣であります。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

前に申しました通りに前々年に甘蔗を作つた所は作れない、部落の三分の一以上を借りる事は出來ない、斯う云ふやうに縛られて居るから勢ひどうしても三年待つて一回しか作れないのであります、此の故に三年輪作は割合に巧妙く行はれて居ります、而して植付面積も毎年大體變化がないのであります。

以上申し述べました如く爪哇の製糖業が巧妙く行くのでありますが、之れは詰り土地の借入が都合よく出來、從つて甘蔗の耕作は全部製糖會社が自分の手でやり、其の結果其所に管理が巧妙く行くと云ふことが一つの原因であるのであります、尙ほ前に申上げました通りに此他に敵作物が非常に貧弱である、其の結果は土地の地代が安く從つて借地料が安くなる、夫れから土地は土人以外に賣買が出來ないから其土地の値が上らない、等云ふ樣な色々の條件がありますから甘蔗の生産が非常に安く行く、從つて之等が生産費の安い大きな原因であります、勿論、自然の恩惠の大なることと工賃の安きこと等は主なる原因たることは云ふ迄もありません。爪哇の糖業政策の基準は食糧政策に「スタート」して居ると申しましたが私は現在の狀態を見て非常に不可解でしようがありません。それは何かと申しまするど爪哇に於て甘蔗を植えて居る面積は毎年約二十三萬「バウ」內外ございます、一方水田の面積は稻の植えてありますのが四百二十萬「バウ」ありますから、甘蔗を植え付けてある面積は僅かに二十分の一であります。假令甘蔗耕作には多くの灌漑水を要するとは云へ、大局より見て二十分の一の面積が食糧問題に八釜敷いと云ふことが一寸不可解である、何故に澤山ある水田に對しもう少し收量を上げることをやらないのであろうかと思ふ、一寸數字を示しますと爪哇で每年水田より出來る米が五千萬擔であります、それから陸稻が四百萬擔、外國から這入つて來る米が七百萬擔でありますそう云ふ澤山の土地を有つて居りながら外國から米を取らなければならぬのである。水田一町步當りの收穫が僅かに七石である、彼の如き豐土で七石しか採れない、臺灣は約十石採れます、若し臺灣位に採ることになり

ますれば爪哇の土地は食糧を自給した上に現在の植付け面積よりも優に三倍位の甘蔗の植付が出來ると思ひます、尤も之れには充分なる灌漑水を要しますがそうすれば何も製糖會社を食糧問題から制限しないでも宜しいと思ふのであります。何故に米の奬勵をやらないのであるかそれが非常に疑問であります、私は或消息通に聞きましたら其人の言ふには、和蘭人はそう云ふ事はやらない唯生活を享樂して居れば良いのだ、そう云ふ勉强するものは居ない、勉强しない國民であると云ふ一言の下に回答を得たのでありますが、果して然るか否や存じませんが洵に惜しいものと思ひます。

次に爪哇に於ける色々の糖業機關を申上げますと、皆さん御承知でありますから餘り詳しいことは申上げません、先づ糖業研究所組合、夫れから「シンジケート」此二つの團體がございます。此研究所組合の經費は各工場の植付面積一千七百五十「バウ」以内に於ては、一「バウ」に付て四盾五十仙と云ふ金を徴收して之れに充て丶居る。即ち一年に百二十萬盾位各製糖會社が出し合つて色々の研究をやつて居ります。「シンジケート」は製糖業者が政治及び經濟上の利益を擁護する機關であります、其費用として前同樣一バウ當一盾二十五仙づ丶出してやつて居ります。此二つの團體は組織は別箇なるも同じやうなものでございまして、會長も「テルマ」氏が一人で兼ねて居ります。

其次は「トラスト」でございます、之れは爪哇で作つた砂糖を共同販賣する生産組合であります。爪哇糖が戰時船復缺乏に際し輸出不可能となり從つて糖價の暴落を來し非常に困つた際に作つたものであります、之れが非常に爪哇の糖業に良い結果を與へたのである、日本も都合良く感じて居る樣です。

尙ほ此外に傭主組合・從業員組合等がありますが永くなるから此の位にしておきます。兎に角爪哇の糖業發達は糖業者の聯合による努力の結果が與つて力があると斷言して憚からないのであります。次に私の見ま

した工場の特色をば一寸お話をしたいと思ひます、餘り深く這入りますと面白くないと思ひますから大體の事を申上げます。此間爪哇から臺灣製糖會社の依頼に依りまして「ニッチマン」と云ふ人が來られました、其人は農業上有益なる「アドバイス」をして歸りましたが、臺灣の製糖會社の一部の人は非常に得る所があつた、と云ふことであります、即ち今までの耕作法、特に排水は形式的で其精神を得て居なかつたと云ふことを深く「ニッチマン」氏に指摘せられ、得る所があつたと云ふことであります。「ニッチマン」氏が臺灣の工場を見向ふに歸つて（歸つて間もなく死なれたそうですが）からの話を聞きますと爪哇の工場は臺灣の製糖工場の機械方面に比し半世紀遲れて居ることを説破したそうであります。それは其筈であります、爪哇の工場の歴史が百年以上も經つて居る工場が澤山あります、繼ぎ足し〳〵をやつて今日に到つて居りますから無理はありません、其代り良い所もあります。そう云ふ風に繼ぎ足しをやつた工場でありますから非常に金がかゝつて居りません、金は實は掛つて居りますが帳簿上の金が掛つて居りません、利益があつたら其の金で工場を建てると云ふ工合で帳簿上の資本は非常に少ない。最も良い有力なる「ハー・フエ・アー」（H・V・A）と云ふ會社は多くの工場を有して居ますが各工場の帳簿の價格が一「ギルダー」單に一圓と云ふことになつて居ります、非常に帳簿上の金が少ない。私が「ペカロンガン」と云ふ所の一番新しい「チョマル」と云ふ工場を見ましたが非常に立派なもので私は生れて始めて斯う云ふ立派な工場を見ました、それは八百萬「ギルダー」で新しく建てた工場であります。こゝでは砂糖は年四十萬「ピクル」製出して居る、斯く大金を投じて而かも僅かに四十萬擔砂糖を作つて居つてどうして引合ふかと尋ねますと、金はちやんと積んで置いて建てたのである、故に金利を拂ふ心配は更らにないと。そう云ふやうに金を見た上で作つて居りまして非常に經營が樂である。次に、繼ぎ足し〳〵と云ふやうにやつて居る結果、機械や建築方面に於ても面白い方面に發達して居ります、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

卽ち擴張は立體的にやるのは面倒である、矢張り平面的に繼ぎ足すのが樂でありますから、此等の關係でもありますが工場は皆平面的になつて居り且つ、非常に廣い面積を取つて居ります。之れは面白い問題であります、或は管理が能く行かない、或は蒸氣「パイプ」が長くなつて蒸汽を送るのに金が掛かる等の缺點がありますが、一方特長としては暑い所でやるには此方が樂であります。臺灣などでは四五月頃になると暑くて仕方がありません、曾つて四月に攝政宮殿下が阿緱の製糖工場を御覽になつた時には、百十何度とかであつたと云ふことであります、そう云ふ處で若し年中製糖作業を爲なければならぬと云ふ場合に、現在のやうな工場では充分な仕事は出來ません。臺北の製糖工場の夏季の作業では結晶罐あたりでは職工が襯衣の汗を絞つて仕事をやつて居る、そう云ふ樣子では能率が上らない、爪哇の製糖は一概に古いと言ふが、臺灣の工場建築に當つて此等も相等研究すべき問題であります。又壓搾機の如きも古いものを幾個も繼ぎ足して一連の壓搾機とし各機に夫れ〲一つ宛の「エンジン」がある故に、「クラッシャー」付四重壓搾機にあつては「エンジン」が五臺あるのであります。臺灣では「クラッシャー」付四重壓搾機では「エンジン」は二つでやつて居ります、五と二と取扱ふにどちらが經濟であるかと云ふことは說明するに及ばないのであります。爪哇の「エンジニア」は如何してもそうで無ければならぬと言つて居ります。私は到る處で、そんな莫迦なことをしないで聯成式でやつたら宜しいではないかと言ふと、此方は之れが新式であると云ふて聽入れません、之れは先入主となつてゐるようですが考へてみると之れにも色々の理屈があるようで一概に論せられませぬ。次に爪哇の工場では人力を省く方面には餘り考へて居ないかの如く考へられます。茲に述べました「チョマル」工場でも設備なり、機械なりは如何にも完備してをりますが工賃を減じ、人力を省くと云ふ設備は餘り出來て居ないと見て參りました。私がそれを申しますと、僕の處は非常に「レーバー」が安いからそう云ふことは構はないと

答へて居りました、之れは職業問題・社會問題を特別に考慮してやつてゐるものではなかろうと思ひます。

爪哇の工場では年々白砂糖製造が段々殖えて居ります、約總生產の六割位の白砂糖が出來ます。臺灣でも年々增加の傾向があり特に精製糖に比し耕地白糖は割合に安く出來ます、けれども臺灣の白砂糖と爪哇の白砂糖とは非常に違ふ所があるのであります、卽ち臺灣の白砂糖は非常に白くなければならぬ、それは何故かと申しますと內地では今の所精製糖能力が非常に過剩で、半年仕事をすれば供給が充分である位に多くの精製糖工場を有つて居ります。それで競爭が盛んに起る、然らば何で競爭するかと云ふと品物の良いもので競爭する、消費稅の關係で白い良いものでも、少し位灰色でも和蘭標本二十一號以上のものは九圓の稅金をとられる、同じ九圓の稅金を拂ふならば、うんと白い雪のやうなものを製造した方が販賣上利益である。それで白くなる一方であり、臺灣では之れと對抗上耕地白糖は其上に白くなければならぬ、然るに爪哇の白砂糖は和蘭標本の二十五號以上であれば宜いと云ふことであります。「トラスト」が出來まして以來二十五號以上如何に白かつた所で値段はちつとも變らない矢張り同じ割戾が來るのであります、だから白砂糖工場は出來るだけ色を低くして步留を良くする、卽ち爪哇の方の白砂糖は際どい所まで低下するのであります。爪哇では白砂糖を作るに炭酸瓦斯法と亞硫酸瓦斯法と二つの方法があります、亞硫酸瓦斯法は品物は惡いが安上りであります、爪哇では近頃亞硫酸瓦斯法がどん／＼採用せられて居ますが臺灣では亞硫酸法が皆失敗して全部炭酸瓦斯法でなければならぬと云ふ事になつてゐますのは以上の理由によるのであります。爪哇では糖業の研究組織が前に述べました研究所組合によつて巧妙く行はれて居ります、組合員たる工場は有の儘のものを一定の形式に從つて報告し之れを比較研究して相互に成績の向上に努めて居ます、臺灣の如きは未だに各會社が技術上のことは發表しない、向ふではそう云ふことは開けつ放しで外國人にも色々の比較表をどん／＼呉れま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

す、そう云ふ所は非常に氣持が良い、夫れが段々發達する所以であります。研究にも能率が非常に良い、臺灣は同じやうなことを皆がやつて研究して居ります、それを纏めて一箇所でやれば費用が少なくて濟み效果が擧がると思ふ、特に私の見た中で非常に良い效果を擧げて居ると思ひましたのは甘蔗搾殼(バカス)の利用であります、向ふでは數年前から搾殼の利用を如何にするかと云ふことに付て研究したと云ふことであります。其結果、之れを持ち運ぶに宜いやうにするに如くはないと云ふので搾殼を固める「バカス・プレッシング・マシン」と云ふものを備へ付けて工場から出る餘つた搾殼を「プレッス」して(一尺角、長さ一尺五寸位のもの)とし之れを一本か二本の針金でしばり適當な場所に積んで置き、翌年製糖の始めの時卽ち燃料の少い時に之れを補ふて焚くのであります、尚ほ搾殼を剩さん爲めに平素甘蔗の枯葉を工場に運んで燃料の代りに焚いて過剩の「バカス」は「プレス」して貯藏してをるのであります。

爪哇の燃料に就て感心する所は此れのみではありません。試驗場が中心となつて燃料の管理がよく行き屆いてゐることで各工場から報告して來るものを集めて研究所では色々のものを比較して彼處の「ボイラー」の能率は如何と云ふことが判るやうになつてゐます。臺灣の甘蔗は今の所世界で一番搾殼の多い甘蔗である、非常に搾殼が多い、其搾殼をどう云ふやうに利用するかと絕えず考へたが良い方法がない、搾殼壓縮も一、二試みましたが甘く行かない、餘り搾殼が餘計に出來ますので金目のものでありますがそれを處理するには金が掛るので出來るだけ汽罐の中で焚く、或は蒸氣を捨てるやうなことをやつたのでございます。之れは實に怪しからぬ話であります、搾粕の利用方法さへ巧妙く付きますればもう少し熱の方の「エコノミー」を充分に研究することが出來るのであります。私の計算致した所に依て云ひますと、一昨年の砂糖は臺灣で七百三十八萬擔造つて居ります、砂糖一擔に付て燃料費は平均拾錢四厘七毛掛つて居ります、澤山の搾殼がありなが

ら石炭、或は薪を焚くのは不思議ではないかと云ふ議論もあるが當り前であります。製糖初期は甘蔗が若い爲めに燃料が入る又段々熟して來ると搾殼が多いが處分に金がかゝるから燃やすと云ふ次第である。「バカス・プレッシング・マシン」を使用するのは、例へば大きな池を掘つて池の中に水を溜めて置いて旱魃が續けば其池から供給すると云ふのと同じやうなものでありまして、此搾殼の利用に依つて勘定致しますと昨年の甘蔗では纖維分が十五・四%あり假りに二・五%の纖維が過剩となるとせば約一年間には百貳拾萬圓位のものは利用が出來る筈です。其の上に又今まで使つて居た七十五萬圓程の金が浮ぶ勘定になりますが、幾分の割引をしても搾殼の壓縮利用と云ふ事は面白い事だと思ひます。尤も今後は大莖種が水田用甘蔗として殖えて參り、「バカス」も數年前の事情とは違つて出來る樣でありますから、一層燃料の研究、汽罐能率の增進を計ると同時に過剩なる時の「バカス」利用の必要を痛切に感ずるのであります、此れは(寫眞を示す)其機械の寫眞であります、此入口は「バカス」が落ちて來ます所で此所で搾殼を「プレッス」する。茲で十四番乃至十六番の針金を掛けて縛るのであります、これは「スラバヤ」のプラート會社製の機械でありまして一日に二三千箇の「ベール」を造ることが出來ます、一立方尺の目方が五十封度位に壓縮出來ます。

臺灣は今酒精製造に多くの燃料を使用するのでありますが、製糖期中には會社から蒸氣を供給して居りますが製糖が濟みますと石炭を焚いて居ります、それで「プレッス」が出來ますれば之れを使用して安價な燃料を使用し得るのであります、機關車でも短距離ならば充分使用出來ます。又蔗園で「スチーム・プレラオ」に使ふにも非常に都合が良いのであります、此機械は五千圓位のものでありますが此方に持つて來て据え付けるには、七八千圓から壹萬圓位で充分であると思ひます、別段特許品でありませんから、當地でも製作が出來ると思ひます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

先づ爪哇の方は此位にして御免を蒙りまして比島のお話を致します。比島は爪哇とは反對側の赤道より北側に在ります、糖業の中心は「ネグロス」と云ふ島で約北緯十度、此邊であります（地圖説明）全部で製糖工場卽ち「セントラル」が十八あります、又呂宋に八工場あります、孰れも隨分大きな工場であります（「ネグロス」「ラ・カ・ロッター」は四千五百噸）。比島人は御承知でせうが西班牙文明を受けましてハイカラで夜は「ダンス」をやる、夫れから所謂女尊男卑の甚しい所でありまして女に對し全然男は頭があがらないことは一寸不思議に思ひます、亞米利加人が……（彼方の統治者は亞米利加人であります）……比律賓の婦人に對して非常に敬意を拂ふ、偶々昇降機等で「タイピスト」などゝ一所になることがあります、そう云ふ時に此方から帽子をとらなければならぬ、莫迦臭いからと云つて帽子を取らないと比律賓人が彼れは野蠻人だと申します、帽子を取らない爲めに野蠻人扱を受けるも困ると思ふ、日本人はどうも帽子脱ぐのは嫌だと云ふので始めから帽子を着けずに自動車に乘つて通ふ人もある。女に頭が上がらない所はどうも實力はないやうな氣が致します、口が八釜敷い、實に議論好きで、然し決して手出しはしない、日本は之れと反對の樣ですが……從來より比律賓の獨立問題が八釜敷く議論されて居りますが愈々獨立すると云ふことになつたら、如何であろうかと思はざるを得ない、唯今では日本人に對し非常に厚意を有つて居りますが、愈々亞米利加より離れた場合にはどうなるでせうか。

然し私が工場を見に行きましたが、比律賓人に逢ふと向ふは何か賴みはしないかと待つて居る、若し私が何か賴んだ場合には極度に喜んで他の仕事を止めてやつて呉れると云ふ風であります。向ふの大臣は比律賓人であります、私も二三會つて來ましたが非常に丁寧で賴むことは特別にやつて「タイプライト」して送つて呉れると云ふ風でありました。先刻お話したやうに「ネグロス」と云ふ島は糖業の中心であつて、此處に大き

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

な會社があります、其中でも西北半の「オキシデンタル・ネグロス」は恰かも小玖馬と云ふて良い様な所でこゝに大部分の工場があるのでありますが、土地が非常に良くて而も風はなし、太陽の恩惠は充分である關係上非常に歩留も良い、將來恐るべき所と思ひます、呂宋の方は未だ〳〵土地は澤山ありますが此土地は臺灣と能く似た所で暴風も時々ある、土地は瘦せて居ります、歩留もネグロスに比して低い。此歩留と云ふ點でありますが、今年は爪哇は歩留が非常に良い、一割二分五厘で、甘蔗一千斤に對し砂糖百二十五斤で、かゝることは一寸ないそうであります。爪哇の砂糖が一割四分增收したのは歩留の良かつたのが其の大原因であります、「ネグロス」は非常に歩留が良く、平均一割一分五厘から一割二分五厘であります。臺灣は平均一割に行かない有様ですから、そうすると砂糖の總出來高から云ふと二割五分違ふ勘定であります、之れは非常に生產費に影響のある點で御座います。比律賓は全體皆分糖法でやつて居りますが、分配割合は呂宋では工場が五十%、甘蔗「プランター」が五十%である、甘蔗は收穫して線路の傍まで持て來る、後は工場が負擔でありまして砂糖の出來た半分を「プランター」にやる、「ネグロス」の方は「プランター」は率が良い、工場の所得が四十五%、「プランター」は五十五%であります。一般に土地を借りた場合には地代は耕作者より全製產糖の八%乃至十二%を地主に渡します、又「プランター」は各「セントラル」每に「アッソシエーション」を組織して居て其の經費は全製產糖の一%を出し合ふて共同の利益を圖つて居ります。比律賓の糖業から學ぶべきものが多々ありますが特に御披露するのは砂糖の買收方法は、前述の如く全部分糖法であります、其分糖法も甘蔗の目方に依つて分配するのでなく砂糖の出來高に依つて分けるのであります。臺灣での買收方法は原料の目方千斤幾何として甘蔗の目方に依つて買收するのであつて砂糖は幾ら出來ても之れを問はず甘蔗の斤量本位である以上、供給者は何とか目方を多くして水や泥等を甘蔗の中に含ませても、只管斤量の多からん事を

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

望むのは人情として止むを得ざる所であります。比律賓では原料を壓搾機で搾つて出來た汁を計つて其汁に依つて砂糖が幾ら出來るか直に勘定する、而して一方車の番號を調べて耕作者を知るのであります。尤も比島では「プランター」は大きな面積を有つて居つて、此所のやうな一甲歩とか五分とか云ふやうなものではなく、品種も大體一定して居りまして重に「ネグロス・パープル」とか「ルソン・パープル」とか云ふやうな、品種が一定して居ります關係上、そう云ふことも出來るのであります。臺灣の歩留の惡いのは買收方法が惡いと云ふことが一つ原因であると熟々感じました。斯く砂糖を出來高本位によつて買收することは餘程困難かも知れませんが何等かの方法を以て漸次斯う云ふやうにしてやらなければ歩留は向上しないと思ひます。又會社の農場に致しましても其の買收方法を斤量本位にせよ、砂糖本位にせよと同じ會計だから構はないやうなものでありますが、砂糖の出來高に依つて買收をするとせば、甘蔗の調製や收穫運搬と云ふやうなものが非常に違つて來ると思はれる、之れも大いに考ふべきものと思ひます。臺灣では各會社の買收價格が高いとか安いとか申しますが果して眞に高いか安いかは砂糖の出來高によつて見なければ判りません、同じ千斤の原料より或る工場は百十斤の砂糖がとれ或る工場は八十斤しか取れぬと云ふ樣に違ふから、砂糖一擔當りの原料代は直ちに高下を論ずることは出來ないのであります。それからもう一つ感じたことは生産費の割出し方に就てゞありますが、比島では流石米國式で思ひ切つて償却する。臺灣の償却は仕事をして利益があれば償却する利益がなければ使ひ放しである。比律賓では利益があるなしに係はらず償却は當然支出として計上して居ります、即ち生産費中に含まれて居るのであります。

臺灣ではそろ〳〵古い工場の中には償却期限に近寄つて居るものがあります。大正十二年の調べでありますが全工場平均經過年數は十一箇年であります、故に二十年で償却するものとせば已に五五%の償却をしてな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

くてはならないのです。正規の償却割合を百%としますれば實際の償却率は僅かに三十六%しかないのであります、斯う云ふことでは迚も將來、世界の糖業戰に當つて優秀の位置を占めることは出來ないと思ふ、殊に昨今の八釜敷い思想問題があります。折柄もう少し會社の內容を良くして償却をどん／＼やるやうな狀態にならなければならぬと思ひます。次に包裝問題でありますが、御承知でありませうが、去年から砂糖の包裝を從來「アンペラ」であつたものを「ガンニー」袋にしたと云ふことで八釜敷く消費者側が反對しまして總督府の方へも嘆願書が參りました。其理由の一つは百五十斤入は目方が二十四貫あり、田舍の方のものは僅かの數量に對しても運搬に二人の手をからなければならぬので甚だ困ると云ふのであります。精製糖工場の如き纒つた需要筋では問題になりませんが、斯樣な次第で包裝には少し氣を付けて居りました。然るに比律賓では「フキヂイ」布を買つて「ミシン」で縫ふて居ります、即ち幅四十五吋長さ一千碼のものから一碼宛を切つて二つ折りとし、「ミシン」で縫合して百二十五封度入(九十五斤)として居ますが、何んとかすれば百斤入を作れるかと思ひます。此の袋一枚の費用が二十四仙から三十一仙かゝつてゐます、若し之れを百斤入に換算致しますと最高關稅込邦價四十一錢になります、現在「ガンニー」袋は約八十錢でありますから百斤入に換算して五十三錢につく故に其差は十二錢であります。尤も布は少々弱いと思ひますが目方が輕くなるならば充分耐へらるゝだろうと思ひます、相場によつて一概にも云へませんが、八百萬俵(ベール)に對して大方百萬圓位の相違でありますから當業者の御一考を煩はし度いと思ひます。

次に生產費の問題でありますが、比律賓の生產費竝に爪哇の生產費と臺灣の生產費とを比べてどうなるかと云ふと御注意迄に申上げますが、爪哇の一擔は百三十六封度即ち百二斤九分で臺灣は百一斤半、比島の一擔は百三十九封度即ち百五斤であり夫れ／＼多少異つてゐますが、僅かでありますから之れを勘定に入れず

に比較致しますと爪哇の生産費は最近中双又は黄双一擔約八「ギルダー」（爪哇積出港に於ける生産費）臺灣は十三年度は十圓五十錢であります（內地市場に於ける生産費）爪哇の生産費八「ギルダー」は平調の爲替で行きますと六圓四十錢に相當し臺灣より非常に安い。比律賓の方はどうかと申しますと比律賓は糖業の盛んになつたのは極最近であります。一千九百二十一年頃から大きな會社が出來ました。そうして產額の殖えたことは著しいものでありまして丁度昨年の製糖高が臺灣と同じ位であります。生産費が之れ又年々非常に下つて行きます。之れは一例でありますが向ふで「バンク・セントラル」とて六つの大工場がございますがそれの生産費（比島積出港に於ける生産費）が一千九百二十一年から二十二年に於て一擔當り十六ペソ六十一仙、夫れから二十二年から二十三年には十五ペソ十三仙二十三年から二十四年が十二ペソ十二仙二十四年から二十五年には九ペソ七十三仙、斯う云ふ風に毎年、二ペソ位づゝ下つて行つてゐます、此等の生産費は直ちに臺灣と比較する譯には參りません何となれば政府は「ナショナルバンク」をして一千九百二十一年に金を出させまして耕作者を主として六つの「セントラル」を作らせました其の中の五つは「ネグロス」に一つは「呂宋」にあります。其の資本金は全部「ナショナル・バンク」からの借入金で後程お話し申しまするが、只今大問題になつて居りまして實に四千二百萬ペソと云ふ金であります。從つて之に對する金利の負擔並に多大の償却が此の生産費中に含まれて居りまして此の儘臺灣と比較することが出來ないのであります。それで私は一寸之れを直して見ましたが資本金は能力噸當二千ペソと見做し不足の金は銀行から七分の利子で借りたと云ふ條件の下に生産費を割出し且つ償却を含めないとせば、最近の生産費九ペソ七三は僅かに六ペソ八七となります。爲替の平調な時はペソは約圓と同等ですから甚だ安いものとなります。以上は比律賓の六つの大きな會社の成績で之れは良くない部類の會社であります。之れは餘談になりますが、先程申しました「ナショナル・バンク」と云ふの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は臺灣銀行のやうな紙幣發行銀行でありますが、其の銀行が過去に於て非常な放慢なる貸出しをし、製糖事業以外にも不良の貸付があり目下資金難に陷つて居ります。從つて製糖會社へ融通する資金の缺乏から目下耕作者は收穫に要する資金の融通を受ける途がなく從つて順調に工場作業を繼續することが出來ない狀態になり非常に困つて居ります。私が行きました時には製糖が巧妙くやれない、苦力の供給が出來ない所もあり全能力を發揮してない所がありました。且つ本年は向ふでは氣候が惡いので昨年に比べて全島產糖高が約百萬擔減るらしいやうに聞きました。尙ほ之れに附け込んで米國の「ボストン」の銀行家の「ハードン」氏が來まして之れを狙つて居ります。私の出立します時分には「ネグロス」の五つのセントラル投資金約三千七百萬ペソのものを二千六百五十萬ペソで買はうとして問題になつて居りました、銀行の方では賣りたいらしいが茲に政治問題がありまして比律賓人の經營して居ります「セントラル」を「ヤンキー」に取られてはいけないと云ふので中々問題らしい。非常に有望であるならば日本人が買つたらどうかと云ふことになりますが、比律賓は御承知の通り蘭領等と違つて餘程國際關係を考慮しなければなりませぬから急には應じられません。若し假りに比律賓が獨立を致しますと云ふと米國との砂糖貿易關係は今迄に享けて居たような有利な關税保護を期待することが出來ますまい。非常に都合が好くても玖馬と同じやうな關税の狀態になると思ひます。亞米利加の砂糖關税は只今では百封度に對し二弗二仙で比島から米國へは無税でありますから其れ丈け保護を受けて居ります、若し獨立して玖馬と同樣にならば其の八割を失ふことになるのであります。そう云ふ關係であるのを見ましても吾々としては容易に手を出す譯にゆかぬと思ひます。つい話が橫道へ入りましたが生產費にかへります。今申しました「バンク・セントラルス」は先づ高い方の部類に屬するものであります、其他の工場は皆何れも生產費が安い「ラ・カル・ロッター」と云ふ工場は八十萬擔出來て六ペソ、次に同じく「デル・カ

ルメン」が五ペソ三九、四十萬擔内外出來る「ルソン」の「キャランバ」は七・四七ペソと云ふ狀態であります、此等は何れも償却を含んでをる最近の數字で最も良好の狀態にあつた時であります。如斯比島の糖業は短期間に順調なる發達をして來ましたものでありまして、云はゞ溫室育ちでありますから他國糖業の如く苦勞が足りないものと思へますが中々油斷なりません。幸ひこゝの砂糖は米國關稅の關係で「アメリカ」へ這入つて參りますから、東洋市場を脅すことはありますまい。然し玖馬は米國の資本が多く比島は比島人の資本が多い、從つて外國の資本の多い比島の糖業を玖馬よりも多く保護する必要はないと云ふ議論も本國である樣です、兎に角今後比島糖業は注目に價するものと思はれます。

夫れから最後に臺灣の糖業であります。御承知の通り臺灣では採收區域がございますが時々採收區域撤廢等と云ふ議論があるやうであります。然し私は世界の甘蔗糖業地を視ましても區域と云ふものは斯う云ふ腐敗し易い原料を以てやる工業に於きましては區域は中々必要なものであると思ひます。特に最も經濟的に多大の生產をやるためにはそれが法律によつて決められると否とを問はず何等かの方法に於て區域を設けることは絕對に必要である。然るに我が臺灣糖業は區域制度によつて今日の發達を來たし又將來とても其の發達には區域制度の存續を必要とする事情は異らないと思ひます。故に若し區域に缺點がありますならば之れを整理し缺點を成るべく除去することに努めなければならぬが決して撤廢をやるべきものではないと思ひます。

次に分糖法は從來より之を臺灣にやつたらどうかと云ふ議論がありますが假りに十三年期の成績に就いて勘定して見ますと若し分糖率を世間並の割合でやつたならば工場の側の生產費は現在よりも減つて來ると思ひます。十三年期全島平均の生產費は十圓五十錢でありますから若し半々に分ければ、工場側生產費は約七圓二三十錢になり一方耕作者側の生產費は約十三圓七八十錢になります（勿論之れは概括しました數字であり

まして各工場夫れ〳〵特別の事情があり一概に云へませぬが……)。然し夫れでは耕作者の方が現在の如き糖價では引合はない爲めに植付をしないでそれよりも有利なる他作物を植ゑるのであります。卽ち之は糖價によりて植付が增減する結果となります、それでは會社としては適確なる製糖計劃を立てられないのでありま す、故に臺灣の如き敵作物の存在して居る所では分糖法は中々困難であると思ひます、玖馬や「ネグロス」に於きましては甘蔗より他に有利な作物はありません、そこで分糖法のやうなものは遺憾なく行はれて居るのであります。餘り晩くなりましたから此位にして御免を蒙ります。(終り)

日月潭電力と其の消化問題

臺灣電力株式會社々長　高木友枝

一　臺灣電力株式會社設立

本島の中部、海拔二千四百尺の高所に、四時水を湛ふる日月潭を利用して、水力電氣を起さんとする考案は、可なり久しく官民の間に提唱されたが、大正六年總督府技師の詳細なる調査報告に依つて、始めて問題が具體化するやうになり、總督府は大正七年度の豫算に工事費として四千三百五十萬圓を計上して、之が資源を公債に求めんことを時の中央政府に要求した。

然るに政府は事業の極めて有利なることは認めながらも、當時財政上の一般募債計畫に累することを慮つて之を許さなかつた。此の間に內閣の交迭があつて、中央政府の方針が變更して「斯の如き事業は、民間に委すべきものである」といふことになつた。併しながら土地が臺灣のことであり、且つ番界に渉つての事業であるから、全然民營として投資を求むることは不可能であつたので、種々審議の末、畢に總督府は從來經營し來つた電氣瓦斯事業を擧げて出資に供し、他は民間に募集して、一大株式會社を設くるといふ共同企業の方策を議決し、之に關する法令案を中央政府に提出した。此の結果大正八年四月二十五日に律令第一號「臺灣電力株式會社令」の發令となり、會社は同年七月設立され、現在資本金三千萬圓(內政府出資千二百萬圓)を以て、臺灣南投廳日月潭其他の所要地に於て電氣を發成せしめ、之が販賣供給を目的とし、瓦斯事業をも併せ營んで居る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二　日月潭水力發電工事の梗概

本工事は、中部臺灣を橫斷する濁水溪の上流、姉妹ヶ原附近に取入口を設け、隧道十二箇所、暗渠五、開渠九、水橋六と延長約五里二町餘の導水路を築造して日月潭に引入れ、之を貯水池となし、此の貯水池の水を更に水壓隧道及鐵管によつて水裡溪に落し、此處に有效落差千百尺を得、一箇地點で十四萬馬力と云ふ世界有數の一大水電事業を起さんとするものである。而して此の日月潭の天然湖水は海拔二千四百尺の高處に在つて、周圍六里その水面積五百九十三町步、之を坪數に直せば百七十四萬坪であるが、此の天與の湖水は周圍山を以て圍まれ、其の沿岸低部二箇地點に堰堤を設け、滿水面を現在より八十五尺高め、水面積を八百四十八町步即ち二百四十九萬坪に擴めることになつて居る。其處で此の水面積に如何程の水を貯へ得るかと云ふに、實に六十六億三千萬立方尺の巨大なる水量に達するのである。其處から水壓管により發電所へ水を落し、斯くて發生した十四萬馬力の電力は、十五萬四千「ヴォルト」の電壓で、南方百哩に位置する高雄、北方百二十五哩に位置する臺北へ輸送し、臺灣西海岸の各方面へ低廉にして而かも豐富なる電力を供給し、專ら農業のみに依賴して居つた本島產業界に一大革新を畫し、更に進んでは南支南洋に對する經濟發展に資せんとするに外ならぬ。

三　日月潭工事中止理由

本工事は、大正八年會社創立と同時に著手したが、當時の工事費豫算は、戰時財界好況の影響を蒙り物價勞銀等の騰貴と、他方工事設計の一部變更等に因つて可成超過するの已むなきに至つた。

然るに工事は著々進捗し、資金の需要は益々急を要するやうになつた、しかし其の大部を低利な社債に求めようとする最初の計畫は、四圍の狀勢其の實行を困難ならしめた、即ち當時(大正十一年三四月頃)の財界は金融梗塞の關係上、强いて募債すれば益々事業費を膨脹せしむべく、終局に於て不利を貽すの憂あると共

に、他方早晩緩和の時機が來ることを期待したので、一先社債の募集を見合せ、工事未着手の部分を一年間延期することゝした。それと同時に政府に陳情して援助を仰ぎ、漸くこれが解決を見、大正十二年六月再び工事を繼續することになり、丁度其の準備を了へた折柄、偶々九月一日關東地方に大震災があつた爲め、資金調達上再び一頓挫を來し、復々工事を中止するの餘儀なきに至つた。

併しながら此の工事は、既に巨額の資金を投下した國家事業であるから、永く中止の狀態に放置することは絕體に出來ない、依つて其の後百方資金調達に腐心すると共に、總督府の援助を懇願して一日も速く解決するやう努力して居るから、遠からず工事を繼續することが出來ることゝ信じて居る。

四　日月潭電力の消化

今後の電力需要の自然增加數を豫想することは頗る困難であるが、過去の實驗に徵するに、會社創立當時財界の好況時代には、電熱電力共に目覺しい好成績を以て增進した、けれども其後歐洲戰亂終息し、財界が反動的沈滯を呈するに及んで逐次增加率を減退し今日では其の極に達し、殊に日月潭工事の繰延べ以來、會社は極めて消極的販賣政策を採つて來た。しかしそれにも拘はらず尙相當の成績を擧げて居り、また今日まで大口の申込を受けたけれども、電力不足の爲め餘義なく謝絕したことも一再に止まらぬ。

斯くの如き狀態であるから、今後日月潭水力電氣工事が完成して、安價なる電力を以て積極的に需要を喚起するなれば、本島文化の發達と相俟つて、益々其の需用を增大すべきことは蓋し疑ひなき所と信ずる、而して該工事完成の曉は、電力需用の自然增加以外に新に企業せらるべく豫想さるゝのは、肥料工業・製紙工業・曹達工業・纖維工業・製鐵・銅業・窯業・セメント業・製粉工業・豆糟製造・製氷及冷藏・灌漑用動力・鐵等電化・電氣オスモーゼ・アルコール醋酸等の各事業で、これ等各事業に振向けらるゝ電力は、約一二九、〇〇〇キロワット以上なるべく、日月潭電力の消化によつて本島の產業は躍進的發達を爲すであらう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時報

各州協議會の開催

新竹・臺中・高雄の各州協議會は舊臘十四日より臺南は同十五日臺北は同十六日より開催され大正十五年の豫算を審議し其議了と共に孰れも無事に閉會した。

文教局設置決定と澎湖廳の新設

舊臘十八日の閣議に於て臺灣總督府文教局設置の決定を見た。總督府は來年度豫算にこれが經費六萬圓を計上し、現在の文教課を中心として學務・社會教育・督學の三分課となし、以て文教政策に新生面を開き、學校教育其他社會教育等の方面に亙り之が實質上の大刷新を期せんとするのである。蓋し沈滯した本島教育界を刷新するには絶好の機會であらう、尚外に來年度より澎湖島に澎湖廳新設を決定し之が經費四萬圓餘を豫算に計上した。

督府豫算の發表

大正十五年度督府特別會計豫算は舊臘二十日總督府より發表された、その中には文教局の設置、澎湖廳の新設・臺灣大學の創設・臺南高商の新設・鐵道改良・縱貫道路橋梁費・臺北郵便局の新築・嘉南大圳工事貸付等重大事項を含んでゐる。猶歳出總額は九九、七七五、二六六圓に達し、本年度に比し實に九百九十餘萬圓の増加を示してゐる。

後藤長官の歸府

中央政府と折衝の結果、督府が要求した豫算の殆んど全部が承認され、滿足して退京、舊臘二十八日無事歸臺された。

島都の新年

改隷以來の大更迭と言はれた行政整理ありて既に一年、その間官民も漸く其居に安んずると共に内外頗る多事の一年を過し茲に一陽來復して多望なる新春を迎えた。殊に島都臺北の元旦は前夜來の雨瀟々として淸氣漲る中に、臺灣神社の初詣者前夜より相次ぎ時刻の進むと共に男女の群益々繁く勅使街道に續き雨の大直山は彌が上に瑞雲みなぎつたのである。總督府の拜賀式は午前十時四十五分から同會議室に擧行され、伊澤總督・後藤長官始め官僚一同御眞影を奉拜し、式後酒饌を賜り聖壽無疆の萬歳を三唱して退出し、一方軍司令部臺北軍部に於ても午前八時菅野司令官以下出頭、御眞影を奉拜し、式後階行社に於

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て現役將校・在鄕將校聯合の新年祝賀會を開催し、軍司令官以下三百名出席を見、頗る盛會を極めた。同州廳に於ても同九時州廳會議室に於て奉賀式開催、九時半に式を閉じた。越えて三日午前八時より臺灣神社に於ては元始祭いと嚴肅に執行され、伊澤總督・後藤長官始め臺北の名士百二十餘名の參拜あつて九時式を閉じた。朝來好天氣であつたから、一般參拜者頗る多く午後五時迄には五千人と註せられた。四日の御用始めは午前十時一同初登廳、督府會議室では伊澤總督の訓示あり後藤長官答辭を述べて式を終り、次で各課に於ては課長より新年の挨拶ありて一同退出した。恒例による總督官邸の新年宴會は五日午後五時半から開催せられ、官民約七十餘名參會、伊澤總督の挨拶ありて陛下の萬歳を三唱し菅野司令官、亞米利加領事の謝辭ありて閉宴、尙も歡談に時を移して散會した。斯くて島都の新年は平穩且つ益々革新の意氣旺盛裡に祝福されたのである。

新春を壽ぐ臺北官民の賀宴

大臺北市民の新年交禮會は恒例により一日午前十時から鐵道ホテルの大廣場に開催された。參會者二千餘名を算し、さしもの大會場も立錐の餘地なき盛況であつた。太田市尹發起人を代表し、皇室の御繁榮、御惠澤と與に年頭の挨拶があつた。宴酣にして後藤長官の發聲にて聖壽の萬歳を高唱し和氣藹々裡に目出度十時三十分散會した。

米穀大會今春臺灣に開催

大日本米穀會では今年臺灣に於て大會を開催すべく兼て關係方面に交涉中の處其議熟し愈移出米商組合主催の下に四月二十三・四・五の三日間に亙り我臺北に於て開催する事に決定した。會場は未定なるも全國各地の米商其他關係者二百名參會する豫定であつて、近來本島米產業の發達目覺しく特に內地種米の普及增產は母國の食糧調節上重大なる關係もあり、此機會に米穀會大會を我臺灣に開催し臺灣の實情を內地に紹介することは頗る有意義なりとして同業者は勿論臺北の官民側でも大いに期待してゐる樣である。

鵞鑾鼻無線開局

本邦最南端の通信上に大使命を帶びる鵞鑾鼻無線電信局は愈々開局の運びとなり一月十六日午後四時鵞鑾鼻燈臺を距る約二十町の處に位置する無線局廳舍內に於て、生野交通局總長、三浦知事等の出席裡に盛大なる開局式を擧行した。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

昨年中の總貿易額二億五千萬圓突破

基隆港昨年中の內外貿易は通計二億五千萬圓を突破せる旨を報じてゐる。これ一昨年に比し五千五百九十餘萬圓の增加にして本島貿易の將來亦益々多望なりといふべきである。

新記錄を作つた移出米

昨年中の移出米は三百六十餘萬袋に達し一昨年に比し七十四萬餘袋の大增加を示し、その原因は一に內地種米の大增產に因るものと言はる、臺灣米の內地移出史上特記すべき新記錄である。

紀元節當日の建國祭

本月十一日紀元節の佳日をトし擧行される第一回建國祭は東京二重橋前廣場に於て烽火を上げると同時に全國の津々浦々擧つてこの意義ある祭典を催すことゝなつた。時や神武恢弘の偉績を回顧すべき我國特有の大祀紀元節、我國民總動員建國の大精神に立還り新日本建設の精神に更生するの信念を養ふと共に祖先の偉業に應えこれを子孫に傳ふるの大祭典建國祭は我臺灣に於ても嚴肅且つ盛大に擧行し以て皇國の使命を高唱せることゝなつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣は樂土なり

野呂寧

臺灣、我が最も親愛敬慕する臺灣、夫れは三十二歳の壯年より耳順に近き五十七歳迄、二十五年間の人生最働き盛の中年强健時代を熱心に誠實に全力を傾けて奉仕した、懷かしき故郷にも優る臺灣は、思へば實に樂土である。

僕が渡臺した明治三十二年の頃は決して樂土ではなかつた。土匪は所在猖獗を極め蕃害は各所に相次で慘害を逞ふし、マラリヤ、ペスト、赤痢等の惡疫は各地を襲ふて流行を恣にし、併かも總督府の歳計は收支償はず、中央政府より巨額の補給を仰ぎ、當局の苦心慘憺たるもの尠からずして渡臺者は全く命掛けの覺悟を要し、少くも新に生命保險に加入し夫れも掛金の割增を必要としたのであつて、臺灣出稼は鄉黨の間に多少侮蔑を以て送られまだ臺灣に行く程落魄ぶれぬと云はれた程であつた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

僕は渡臺の始めから臺灣引揚の昨大正十三年の暮迄、始終土地關係の職務に沒頭したので全臺各地山となく野となく蕃地も平地も殆んど全く足跡の至らぬ所なく、隨分まめに陬から陬迄危險の地區迄も跋渉したのである。從て恐ろしき目にも遭ひ、死生の間に彷徨したことも屢々であつたが、又色々な樂しき場合にも際會し、雄偉な絶景にも接し心神を喜ばせ大に修養に資したことも多かつた。實に臺灣の山野は僕をして人たらしめて大過なからしめた恩地である。昨年十二月十六日蓬萊丸は僕を乘せて基隆を解纜し親しき幾多の友と涙の別れを惜ませつゝも遠慮もなく全速力で神戸に運び去り、玆に一年東京に寂しき日を送つて思出多き一周年を迎へたのである。噫我親愛敬慕する臺灣、雨に風に寒に暑に其の健全な發達を祈らぬ日とてはなく、時折り臺灣緣故の諸同人と會しては、其の繁榮を語り合ふのである。

懷しき臺灣、彼は當局其の人を得、在臺四百萬の民草が能く一致して官廳と呼應し、全く官民一致協力して其の成育に盡したので進歩發達は實に驚くべきものである。土匪……支那政府時代三百年を通じて如何ともすることの出來なかつた土匪は早く既に之を剿滅して、夜戸を鎖さぬ平和を致し、生蕃は殆んど全く歸順して中央山脈の奥深く危險なしに出入することが出來るようになり、只僅に一小部分に充分の解決を見ぬものがあるばかりで馘首の害は絶えて甚だ稀に其の報を傳ふるばかりである。兇賊の警の如き此頃內地に頻發せるが如き慘害は曾て聽くことなく、實に天下太平と云ふべきである。

衛生施設は能く行屆き、都市の下水工事の如き內地に其比を見ぬ程の清潔完美を保ち、道路も立派であり心地よきこと云ふばかりなし。東京の道路には泥餡が躍りて沼田のようで、其の補裝も忽ちに破壞されて凹凸甚しく危險極まりなきと雲泥の差あり。ペストは早く絶滅して全く其根を斷ちマラリヤ防遏は行はれて效果著しく、今では僻遠の地に其の病毒を殘すのみで都市は全く其痕跡なきに至つた。コレラも嚴重な海港檢

疫に流行を免れ、之れが爲に人口統計は年々增加率を增して今年の國勢調査には三百九十九萬を算し、第一回臨時臺灣戶口調査の行はれた明治三十八年の年末現在三百十二萬に比して增加の著しきを示した。

產業は優々として發展し殊に水田には內地種米の植付成功して純良な內地種米の收穫を增加し、往年二百餘萬石の米產額は本年六百萬石に上り、尙僕の算する所に依れば河川整理の結果、廢川敷地の新生地や、砂防林成功に依る新生地遠淺の沿海地の干拓に依る新生地、又灌漑排水の施設が完成せられて地位向上に依るもの、收約農法の進步等を考慮して近き將來に八百萬石を收穫するは困難でないことを斷言する。砂糖も亦近年の進步著しく來期は八百萬擔を算する。茶は山地茶園の增加に其增產と品質の向上を示し、果實には蕉實丈でも內地移出千五百萬圓を超へ、鳳梨殊に布哇種の優良品が盛に栽培せられて品質の向上と數量の大增加を來たし其罐詰業頓に勃興し、柑橘木瓜等の美味は內地人の涎を流す所、漁業の進步は著しく其漁獲高の年々の增加は驚くべきもので、內地各地方に臺灣產魚を販賣せらるゝものも少くない。內地人は臺灣に來て臺灣の魚は不味いと云ふが、豈計らんや其人が東京で臺灣の「あかいたい」や「かじき」に舌皷を打つの笑ふべきを。尙近頃は珊瑚が花を咲かせ又石炭も豐富である。金も出る銀も銅も石油も亦望みある。そうして山には檜其他の用材に富む。僕は一々統計的に數字を擧げるの煩を避けた、臺灣時報の讀者は蓋し皆之を知悉せられ無味な數字を厭れると信ずるからである。

文化的方面の施設は著々實行せられ、行樂の機關も調へられ、温泉に海水浴に遊步に運動に又各種の觀覽に最平民的に一日一夕慰安を得るの便は各所に在りて家庭の樂を享くるに不足なし。只多くの人は臺灣の苦熱を厭ふ。實に回歸線が中央を通ずる臺灣は熱帶より亞熱帶に位置して嚴寒の冬季なく長き夏を有し殆んど落葉期を見ずして、四時花ありて春の久しきを覺ゆ。夏は長きも其最高温度は九十五度內外を常とし九十七、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

八度に上るは稀で、內地の最高と甲乙がない。只一日の中高温の時間永く一年の中高温季永きの差あるのみで內地人とても堪へ難き苦熱と云ふべきでない。寧ろ酷寒なく冬衣の輕くして單衣期が長く輕裝の生活に便なるを幸とすべきである。

教育機關の如き年々整美を告げ、愈明年度よりは大學校の創設に著手せられ、大學、高等專門學校、高等學校、中等學校、實業學校、小公學校等より施設は完全し、子弟は教育に不便を感ずることなきに至つた。

最後に臺灣總督府の歲計は明治三十年代に內地の補給を受け貳千萬圓內外であつたのが、大正十五年度には自力で九拾九百萬圓を計上して綽々たる有樣で、別に地方費は國庫補助金の外に千參百萬圓を支出せられんとし、臺灣の政費合計壹億千餘萬圓に上る。將來の進步想豫に餘りあると云ふべきである。今や內地は至る所思想の惡化を傳へ、盛に惡宣傳が行はれ物騷千萬であり、强盜沙汰や放火脅迫殺傷事件の頻出に警察は眼を廻はして、しかも容易に檢擧せられず世人に不安を與ふること甚しく、物價は高くして不景氣は更に回復せず失職者續出して生活難の絕頂に達し、尙ほ中々安全の曙光を認むるに至らない。商人も苦めば俸給生活者は尙ほ甚しい。農民は到底勘定に合はず、小作人は滿足に地主に租米を納めず、地主も泣けば小作人も泣く、農作を止めて都會に自轉車を飛ばして日傭稼をするの利を說く。百姓は昔の木綿の粗服に麥飯薯飯に濁酒に飽足らずして米飯に肴を副へ、淸酒麥酒に、卷煙草では到底水田米作では追着かず副業を求めて辛ふじて暮すのである。小作爭議も尤で遂には田園荒廢を免れぬであろう。經世家は大に思を致さねばならぬ。

人心は全く荒んで居る。誰人も生きんが爲に血眼である利を漁り職を求め終る營々として夜に及び、しかも職に在る者責任感の薄きを見る。人動もすれば植民地人の荒怠を唱ふ、僕は却て都人士の荒怠を疾呼する。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣の官も民も其職務に忠實にて勤勉なる都人士は到底及びもつかぬ。蓋し都人士は打算に專にして奉仕的忠實を缺く者が多いのであらう。誠に憤慨に堪へないものである。

內地の事列べ立てると固より善き事も多いが厭ふべき事の少くないのは前に述ぶる通りである。都會の紛亂は勿論田舍でも決して樂土ではない。臺灣は如何。先第一に生活は比較的大に易い。物價も低い。內地移入品の高いのは勿論だが夫は衣類を除けば多くは生活必需品ではない。臺灣產米を食ひ其の魚菜を用ゆれば甚しく低きを見る。衣類とても冬の重着時季短くして其數少くて足るが故に著しく費を省くべく、車賃も安ければ薪炭費も多くを要せぬ。夏の氷と電扇は臺灣に多かるべきも內地の冬の保温費よりも廉である。

學校の月謝其の他の費用は安く租稅も低し。家賃も東京大阪などに比して臺北の方安し。殊に內地で驚くのは醫療費である。多くの私立病院は何々博士を標榜して診察料を貪り成るべく永く留めて多くの入院料を取る。一朝病氣に罹れば數百圓の金は立所ろに消へる。之が爲に病院通、醫者通は最困難でしかも容易に治らぬよりして、比較的大に手輕く又往々にして奇效を奏するよりして各種の精神的療法の繁昌夥しく、各所に何靈氣療法、血液循環療法、何心靈學介杯と稱して退職軍人官吏其他の失職者の看板を擧ぐるもの雨後の筍の如くである。勿論中には相當權威者で大に信用を博し奇功顯著のもあるが、いかさまものも甚多い。此病者の苦痛臺灣ではとても思ひよらぬところであらう。

臺灣、敬愛すべき臺灣には、雄大なる海洋の眺めもあり偉大なる高山の美もある。殊に此山島美は其秀靈優大なる內地の夫れに優るとも劣ることはない、そうして一萬餘尺の山嶺四十七座を算し高山國の名空しからず。從て平地の熱帶よりて山巓に寒帶を現はし、植物帶は熱温寒三帶の各種を網羅し、植物學上大に高望せられて居り、又避暑地帶を爲して海拔を利用して愉快な夏季の行樂地を與ふ。阿里山・霧社・角板山の如きは

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

就中便利な地である。

思當つた點を列擧しざつと以上の如くであり、何れも臺灣の樂土であることを證據立てる。永住すべきかな臺灣。臺灣は實に吾人の永住すべき樂土である。只人其の境遇に依て永住する能はざる者あるは止むを得ぬ事であつて、又氣の毒の次第である。僕の如き全く永住を欲して永住し能はぬである。しかも今から先は其心配もないのである。僕は實に多くの子女の敎育上臺灣を去るの余儀なくされたのである。僕の長男次男等の敎育の爲には内地住を要したのである。然り其當時は臺灣に中學校あるのみで高等學校なく大學は尙更である。而して長男は高等學校に進む年となつた止むなく家族を擧て東京に移住せしめたのは大正八年の春であつた。爾後子弟は内地の學校に學び、僕は獨り臺灣に住みて其勤に服して居たのであつたが、昨暮官を辭するや臺灣の獨居は意義なきに至り内地去て家族と同棲するの余儀なきに至たので此樂しき臺灣に別れたのである。併かし日夜思は臺灣に馳せて、中夜屢々夢に臺灣に遊ぶのである。思出多き二十五年住慣れた臺灣は終生忘れることの出來ぬ最懷しき鄕土である。在臺諸君今は高等學校もあり高等專門學校もあり大學も近く開設せられんとする。敎育機關は整ひ、生活は安定し、衞生も整ひ、娯樂機關にも不足なき愉快な臺灣は諸君の永住に適す。健在で大に臺灣の向上に努力せられんことを望むや切なり。離臺一週年に當り所感を記して諸君に告げ重ねて臺灣は樂土なりと疾呼する。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家計調査の概要

長澤柳作

全國的家計調査は、現下の重大問題たる社會問題解決の資料として、最も重要なるものゝ一つであつて、從來東京其他の都市に於ては、部分的の調査を行つたことはあるが、未だ全國的家計調査は實施の運びに至らない。然るに政府は、大正十五年度豫算に之が所要經費を計上し、豫算案議會通過の上は、多年の懸案であつた全國的家計調査が愈々實施さるゝことゝなる。この家計調査に關する長澤柳作氏の論文（統計集誌第百三十三號所載家計調査の概要）は、家計調査の必要及效果其他を知るに極めて有益なものであるから、これを左に轉載することゝした。

一　緒言

全國樞要の地に亘り、國家に依りて組織あり統一ある家計調査を施行し、以て現時緊急なる社會問題解決の資料たらしむるの計畫は、夙に國勢院第一部に立案したるも國勢院の廢止と共に勞働統計課は社會局に移

管せられた。社會局に於て之が施行に要する經費を要求し二箇年繼續費二十六萬餘圓の豫算成立し、大正十三年より施行する計畫なりしも、關東大震災の爲延期せられて今日に及んだのである。然るに本年又勞働統計課が內閣統計局に移管せらるゝに及び、下條統計局長以下內閣統計局諸公の努力及大藏當局の了解に依り、再び大正十五年度豫算案に計上せらるゝに至つたことは、國家の爲幸慶に堪へざる次第である。頃日前統計局長たりし牛塚現群馬縣知事より「深く御關係御苦心の家計調査の豫算編入の運と相成候趣私かに御滿足のことゝ御祝申上候」の御來翰を辱ふせる際、統計協會より家計調査に關することを統計集誌に掲載せよとの注文に接したので、取り敢へず家計調査の必要及範圍方法上の諸問題に關する梗概を最も通略的に述べることゝする。（尙卑見に關しては統計局編纂統計講習會演錄（大正十一年、大正十二年 大正十三年近く公刊の書）地方行政十三年七月及八月號、統計時報第二號・第五號・第六號參照）。

二　家計調査の必要及其の效果

吾人は家を生活の根據とし家を中心として各般の社會活動を營んで居る。而して各家に於ては各其分に應じ入るを計りて出づるを制し一家收入の範圍內に於て生活上の各種の欲望を滿足して行くのである。家計調査は此吾人の家事經濟上に於ける欲望滿足の狀態を精密に觀察計量し、以て社會各階級の生活狀態の眞相を窺知せんとするのである。卽一家の收入は如何なる種類成分より成るか、而して之を如何なる種類の消費、換言すれば欲望滿足に充當して居るかを數量的に觀察し以て生計の實情を究め、生計の健否・難易・差異等を窺ひ、兼ひて生計上に存する通理通則をも知らうとするのである。

人類の生活は畢竟ずるに、欲望充足の狀態とも謂ひ得る、各種の經濟的活動は元より倫理的道德行爲も自

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

己又は他人の欲求滿足に外ならぬ、人類が進化して食なくして生き、人類の思想感情が絶滅して凡て無求の神とならざる限り、人類社會と欲望滿足とを切り離して考案することは出來ぬ。朝に夙に起きて所定の勞働時間を働き、夕に殘業に從事して遲く歸るも、愛しき妻子と共により能く欲望を充足するの資源を得る爲ではないか。炎熱燒くが如き日に流汗淋漓として炎天に働き寒風酷烈なる原野に鋤くも、一家一族の欲望をより能く滿足せしめんが爲ではないか。歲末に愛兒に一枚の著物を買ひ與へ、妙齡の子女にコートを與へんが爲には疲れし身體を驅りて尙勞働に從事するものもあらう。夕に最愛の妻子と共に一盃を傾け、時に觀劇に其喜びを別たんが爲には、汚塵に汚れて過激の勞働に從事するをも辭せぬであらう。欲望の滿足は凡ゆる社會現象の源泉であると謂ふても差支あるまい。勞働問題は資本主義的經濟組織となり、資本主は大なる欲望を滿足し得ないことから出發し、凡百の社會問題は社會の或る部分と他の部分との間に於て欲望滿足の公平を缺くより起るのが大部分である。衣食足りて眞に禮節を知るのである。社會の秩序も倫理道德も、將た亦社會の向上進步も凡て此人類の欲望滿足が源泉となり指針となり刺戟となるのである。

然も欲望の種類は頗る複雜多岐であつて、常に進化向上する性質を有する。食に關する欲望は生命を支ふべき第一次的のものであるが、一定時に於ては一定量を以て直に滿足せらるゝと共に其質に對しては常に向上性を有し、衣住に關する欲望も寒暑を凌ぐべき第一次的最小限度のものより保健的、衛生的、奢侈的に進むの傾向を有し、一定度の欲望滿足せらるゝときは常に其上の欲望を生ずるのが常である。故に欲望は時と場所とにより異なり境遇・地位・風俗・習慣・收入・資產等の異なるに從ひて相同じくない。然も欲望の滿足を支配する重大なる要素は其の收入資產である。自己の手中に在る資源に依りて制限せられ、其の資源の外には如何に强烈なる欲望ありとも滿足することは出來ぬのである。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

故に各個人の生計狀態を仔細に解剖するときは、各其の境遇・地位・收入・資產の異なるに從ひ如何に其の欲望滿足の狀態卽生活狀態に差異あるかを窺知することが出來る。或階級は家族の生命を維持するに足る丈けの生活必需費すら不足せる窮迫せる狀態に在るか、或は生活必需費の外に相當身分的欲望をも滿足し得る生活をして居るか、將た又奢侈的享樂的欲望をも滿足し得るの餘裕ある生活をして居るか、又食費は全生活費の何割を占め衣住其の他の費用の割合は如何になつて居るか、何人の家族を養ひ、如何なる職業に依り、幾何の賃銀を得て、如何なる欲望滿足に充當して居るか、或は主人の收入のみにて一家を支へ居るか、幼少の子女も生活補助の爲働いて居るか、等生計狀態の實情は凡て家計の精密なる調査の結果に依りて始めて窺知することが出來るのである。之等の觀察は最低生活費、保健的生活費の觀察上必須の資料となり、最低賃銀決定の標準となり、賃金值上要求の適否を判斷する重要なる資料となるのである。

然も物價騰貴の生活費に及ぼす影響は如何であるか、物價騰貴に因る生活費の膨脹と其賃銀增加との割合は如何、賃銀增加の割合が物價騰貴の割合に伴はないときは如何なる方面に於て生活を切り詰めたか、生活必需費すら不足の狀態となり、生計難に陷りはせぬか、爲に勞働能力・保健狀態に惡影響はないか、又賃銀增加の割合が多いときは其餘裕は如何なる方面に振り向けたか、從來欲しくて求め得ざりしものを買ひしか、生活向上の資に振り向けたか、或は貯蓄保險に振り向けたか將た又之を酒色に投じて過度の享樂的費用に浪費して居りはせぬか等の觀察は勞働問題、社會問題の解決上最も重要なる資料となるのである。

加之、多數國民の消費貨物の種類・數量を知るは產業計畫の基礎となり、國民經濟政策上重要なる資料となるべく、又直接稅、間稅接の負擔の輕重を觀察することは稅制又は租稅政策の基礎的重要の資料となるのである。大は國家諸般の施設對策の資料より、小は個人・學者・實際家の各種の參考資料として、家計調查の

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

結果に待つべきものは頗る多いのである。

右は家計調査の結果より得べき效果の概要であるが、尙一つ家計調査の施行其者より得べき一の大切な效果ある事を忘れてはならぬ。夫れは家計の觀念を養成し、家計の改善進歩を計らしめ、以て健全なる社會分子を造る上に於て最も大切なる效果を收むべきことである。現時の家計調査は一定の家計簿に日々の收入支出を漏なく誤りなく僞りなく事實有の儘を記入せしめ、之を多數集め、其の結果より各階級の生計狀態を知らんとするのである。然も日々の收入を記帳することは家計調査を施行しないでも、家計に對する自覺ある人は自發的に實行して居るのである。斯くの如き記帳は貸借關係の備忘に出發したとしても、一歩を進めて凡ての收支を日々漏れなく記帳する目的は、其の記錄の跡を尋ねて將來の生計豫算の參考とし、比較的不要無價値の消費を抑制して有效適切なる消費に向け、以て生活の向上進歩を計るの資となさぬ限り殆ど其意義を想像することが出來ぬのである。太古の生活簡易なる時代はいざ知らず、人口增加して生活複雜となれる現代に於ては武士は食はねど高楊子、宵越の錢を持たぬ江戶子氣風は、到底維持困難たるを免れない。入るを計りて出づるを制し、一定計畫の下に家計を立つることは、國に豫算を立て、各種の事業を施行すると同じく、家計を齊へる上に於て缺くべからざるの要件で、日々の收支を記帳し、其跡を尋ねて無價値の欲望を抑へ、有效適切なる欲望滿足に振り向けることは、家計の改善進歩を計る上に於て最も重要なる要件である。家計簿式家計調査は一面斯くの如き慣習を養成し、以て其施行は容易且有效ならしむることが必要である。故に家計調査の效果を收めんとせば家計に對する自覺を喚起するの要あるべく、家計に對する自覺を喚起し入るを計りて出づるを制し、一家の經濟を安固ならしめ生活の向上を計らしむるは卽家を齊へ健全なる社會分子を養成することになるのである。消費節儉の宣傳元より可なり。然も出來ぬ節儉を强ゆるを得ない。夫れよりも猶一歩を

進めて家計に對する自覺を喚起し入るを計つて出づるを知り、價値少なき欲望滿足を價値多き欲望滿足に充當せしむる事が、家を齊へ生活の改善進歩を計らしむるに於て、一層根本的合理的の措置である。故に家計調査の施行其者に依り社會問題の根幹に向つて先づ頗る有意義なる解決の一彈を投ずることゝなるのである。

三　家計調査の理論及方法

家計調査は上述の如き必要及效果あるも、何故に日々の收支を漏なく有の儘に記帳すれば斯かる效果があるのか、人類の欲望と言ふものは前述の如く向上的、無限的性質を有するも各個の欲望には一定の限度があり又强弱の程度を異にし其の最も强烈なるものを先に滿足せんとするものである。而して各個人の消費は其の收入資産に依りて制限せらるゝから、社會中資產收入の略々同一なる階級は其の消費狀態も略々同一類似の性質を有する。故に之等同一階級に屬する者の生計狀態を調査するときは、衣食住第一次的需要も略々同一の程度に表はるべく、財產の限界的效用も略々同一なるを以て、之等の人に付き欲望の種類と其の滿足する程度を計量するときは、當該社會階級の生活狀態を知ることが出來、之を他の階級又は時を異にする同一階級に對比すれば其差異變遷を究むることが出來るのである。

然れ共同一社會階級と雖も其數非常に多きのみならず性質慣習等必ずしも同一でない。故に其中の少數の家族に付て日々の收支を知つても、之を以て階級全體を律することは出來ぬが、多數の家計を集め其の綜合平均を求むる時は、大數の法則に依り其階級中の特殊の事情は相殺せられ、一般的恒常的の狀態が表はれる故に之に依りて多數に通ずる生計狀態を觀察する事が出來るのである。併し日々の收支は家計の異なるに依りて異なるのみならず、日に依り月に依りて異なり季節に依りても異なるのみならず、或種の費用は一度支出せ

ば相當長期間利用し得るものがある。故に短期間の收支を觀察した丈けでは足らない。どうしても相當長期間に亘り日々の收支を漏なく觀察して季節に依る變化をも觀察する必要がある。而して吾人の家計は大體一箇年の內には循環するものと看得べきを以て、少くとも一箇年の期間に亘り日々の收支を觀察すれば、大體吾人の生計狀態を判斷し得ると謂ふのである。

斯くの如く日々の些細な收支を洩れなく一箇年の長期に亘り記帳するものを多數に求むることは、非常に困難であるが、複雜多岐なる社會階級にも自から其代表的、標準的の家族がある故に、同一社會階級に屬するもの全部を調査しなくとも、其の內の最も通常の狀態にある標準的家族を可成多く記帳せしむることに依りて大體其の目的を達することが出來るのである。然らば其標準的、典型的家族とは如何なるものか。一八五三年ブラッセルに開かれた第一回萬國統計會議に於ては父母及十六・十二・六・二の年齡に在る四人の子供を有するものとし米國に於ては父母及十四歲以下の子供三人を有する家族等と定めたのであるが、斯くの如き窮窟なる標準を設くるは宜しくない。家計調査は家計の秘面をも僞はらず、有の儘を記入せしむることが必要であるから、法令を以て强制しては效果が擧らない。何うしても家計に對する自覺ある人を募集して任意に記入せしむることが必要である。記入者を募集して施行するとすれば右の如き窮窟なる標準に當てはまる人は非常に少なくなる。夫れよりも少し位右の如き標準に外れても正確なる記入を長期間爲し得る人を可成澤山集めた方が餘程效果が擧るのである。故に三人以上六人とか大體の標準を設けて、最も通常の狀態に在るものと看得べき家族を可成多數に集め、此家計簿の收支費目を分類彙集し、支途を計量し、綜合平均を求むるときは大體に於て其階級の生計狀態を窺知することが出來るのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四　何故に國で行ふ必要があるか

經濟組織一變して、資本主義的經濟組織となり、資本主對勞働者の利害衝突から所謂勞働問題起るに及び、之が解決の資料として勞働者階級の家計を調査する實際上の必要に迫られ、各國相率ひて公私の機關に依り幾多の家計調査が行なはれたのである。我國に於ても大正五年の高野博士の調査を始めとし、大正八年大阪市役所の工場勞働者の家計調査、內務省舊社會局の東京市內細民の家計調査、農商務省の工場、鑛山勞働者の家計調査、財團法人協調會の全國に亘る家計調査、東京府社會局の中等階級の家計調査、其の他公私の機關に依り幾多の家計調査が行はれ、其結果表も公表せらるゝに至り、南滿洲鐵道株式會社、北海道石炭鑛業會社の鑛夫の家計調査、兵庫縣米田村日本毛織株式會社工手部の工手生計調査等、現に施行中のものもあるのみならず、鐵道省に於ても現業員の家計を調査するの必要を認め、經費五萬餘圓を計上せるも豫算緊縮の爲中止して居る等各所に於て幾多の調査が行はれ、又行はんとして居るのである。斯くの如き情勢の下に於て何故に更に國家に依りて施行するの必要ありやと問ふものがあるであらう。併し吾人は斯くの如き情勢となれるが故に一層國家の機關に依りて施行するの必要ありと唱ふるのである。公私の機關に依り頻々として調査を施行するに至れるは、各種階級の生計狀態を觀察することが現時に社會に於て緊急なる實際上の必要に迫られたる結果と看ることが出來るのである。然も家計狀態は部分的斷片的の短期間の調査に在りては、特殊の地方少數の者の或る時期に於ける生計狀態の大様を窺知し得べけんも、之を以て當該階級の生計狀態を律し彼此對照して正確公平に生計狀態の眞相を窮ふことは出來ない。どうしても全國各地に亘り組織ある統一ある調査を施行し日々の調査を漏なく誤りなく僞りなく長期に亘りて記入するものを多數に集め、地理的・

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

經濟的の條件の差異其の他微細の點に亘りて、綿密公平なる大數的の觀察を遂ぐることが必要である。然るに斯くの如き大規模の調査は到底公私機關の調査に期待することは出來ぬ。是非共、國家の手に依りて施行するを要するのである。故に各地に於て頻々と家計調査を施行するに至れるは、益々國家の手に依りて組織あり統一ある大規模の調査を遂げ權威ある結果を齎らすべき社會實際上の緊急なる必要を促進せるものと觀ることが出來るのである。

五　調査及編整上の諸問題

國家に依りて組織ある統一ある大規模の調査を遂げ權威ある結果を得、以て生計狀態の眞相を究明せんとせば、其の調査の施行及編整に關し精密なる注意研究を要すべき幾多の問題がある。其の第一は調査の規模の決定である。如何なる地域に於て如何なる社會階級を如何程調査すべきやの問題である。

施行地域は(イ)地理的經濟的に各地方を代表すべき地なること。(ロ)可成生產經濟と消費經濟とが分離せる地域なること。(ハ)分散的地域を避け集團的地域を選定することを必要とする。記入者の數多からざる場合多數の地域に施行して、一地方少數の家計を集むるよりも、地域の數を減じて一地方に於ける記入者を相當多數集むることが最も必要である。一地方僅か二、三少數の家計を集むるも之を以て其地方當該階級の生計狀態を律することは危險であるからである。次に地域を標準として各地に於て各種の階級を調査すべきか、各種の階級を標準とし其分布狀態に依りて施行地域を選ぶべきかの問題がある。之は各種の階級の種類性質に依りて一樣に論ずるを得ない。農民・鑛山鑛夫を俸給生活者各種の勞働者等と同一地域に選ぶことの不可

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

なる場合あるは勿論のことなるも、給料生活者各種勞働者と更に職業細分類に依りて區別し、之を標準として施行地域を選ぶべきか、其細分の程度を如何にすべきかは、調査施行上の便否、編整表章上の點を考慮に加へて決定すべき問題である。

被調査者の範圍決定の標準は、勞働問題社會問題等時代の對象となれる階級又は國民の多數を占むる階級であつて、勞働者階級を除外するを得ざるは勿論なるも勞働者と謂ふも工場・鑛山・交通・自由等各種の種類を包含し、其細分の程度及調査の範圍を如何にすべきは經費勞力に依りて理想を制限せらる。右は給料生活者、中等階級に付ても同樣である。農民の生計を調査することの必要なるは異論なき所であるが、現時の農民に關する諸問題解決の資料としては單に農民の生計狀態のみならず、農業經營狀態其の他の事項をも調査する必要があらう。只之を同一調査とすべきや、別個の調査とすべきやは統計學上の理論としては家計調査は家計調査の範圍に止め、農業經營狀態等は一般の產業經營調査と共に別箇に施行すべきものであることに於て多く論議を要しない問題であるが、實行問題としては農民に限り農民の家計と密接重要なる特殊の事項を少數附加することは尙考究の餘地があらう。何れにせよ其の家計を調査すとせば貨物收支が生計費の大半を占め、都會地の給料生活者工場勞働者等の家計とは大に其の趣を異にする點、特に注意を要すべく、別箇特殊の家計簿を使ふべきか、他の階級と適切なる比較を遂げ得べき長期正確なる記入者を如何にして相當多數選定すべきか等特に考究を要すべき點がある。

次に被調査世帶の數は出來る丈け多きを理想とするも、之を又經費勞力に依り大に制限せらるゝ只一地方一階級の家計一、二に過ぎざるが如き結果を來すべきことは注意して避くるを要する。

第二は記入者の資格及選定である。記入者は當該社會階級の最も通常狀態にあるものが最も代表的價値あ

るものと觀ることが出來よう。而して右選定の標準としては收入金額、世帶人員の數又は收入の種類及其の割合、世帶人員の質、調査の難易（例へば生產經濟と消費經濟との不分離、營業經濟と家事經濟との混淆、不宿人、半獨立又は出入多き同居人ある世帶等）等で、之等に付大體の標準を定むることが必要である。而して一箇年の長期に亙り日々の徵細なる收支を事實有の儘に記入するもの多數を集むることが必要であるから、記入者は之等の條件を滿たすに最も適當なるものを選定するを要する。又如何なる方法に依りて記入者は募集するや、調査の趣旨目的は如何にして宣傳周知せしむるや、記入者に對する報酬は如何にすべきや又其の種類を如何にすべきや等も考究を要する問題である。

第三は調査の事項家計簿の樣式及記入取扱方法である。日々の收支の外、如何なる事項を調査すべきや。世帶人員・職業・住居等生計狀態と密接不可離の事項は必ず同時に調査するを要するを以て、其の種類範圍を如何に定むべきかを始めとし、家計簿の樣式は如何にせば記入及編整の上に最も便利適切なるや、日々の收支は現金の收支、實物の收支・掛買・賦拂・自作物・贈答品・廉賣品・繰越品等の記入欄又は記入方法及其の數量用途等の記入方法等を一定すると共に懇切叮嚀なる說明を付し以て記入の容易正確統一を計ることが必要である。

第四は調査時期及記入期間の問題である。現時の家計調査に於ける記入期間は一箇年を理想とすべきこと既述の如くなるも、右の一箇年は繼續せる期間にあらざれば無意義である。又始期は一月一日等特殊の事情ある時は適當ならざると共に、四季別觀察の要求に應ずる爲には三月・六月・九月・十二月・等各季節の始めを選ぶを便とする。但し豫習又は準備調査は何時始めても差支ない。

第五は調査機關の整備である。瞬間的の靜態調査に於てすら調査員は往々にして終始一貫の努力を繼續し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

難いものである。況して一箇年の長期に亙り日々の收支を漏れなく正確に記入せしむる爲の努力又は指導監督は決して容易の業ではない。故に調査員たるものは相當調査に興味を有し、調査の趣旨目的を理解し、調査上の智識を備ふるものたるを要し、調査員の訓練指揮監督等に當る調査機關を適切ならしむる等調査機關の組織は最も能く整備し、調査の統一連絡、趣旨目的、取扱方法等の徹底を計ると共に家計簿の配付・蒐集・整理の順序手續等をも定め置くを必要とする、次に編整上の諸問題は最も大切である。

編整上第一に定むべきは、收入支出の分類である。收入は世帶主・配偶者・兒女等人に依る分類の外、勤勞・營業財産其他の收入、經常臨時の收入、主收入副收入等に依りて區別し得べく、支出は食料・被服・住居・交際・衛生等各種の費目に分類し得ると共に食料と雖も、米・麥・魚・肉・大根・葱・煙草等幾多の細分を示し得る。其の分類の標準及程度は觀察の目的如何に依りて同じからざると共に、同一種類の支出も甲乙何れに編入すべきか疑義ある場合多きを以て、仔細に研究し置くを必要とする。第二は收入支出の取扱方法である。例へば時價十圓五十錢の米三斗を傭主より三圓にて供給され、其の內二斗を消費し一斗を四圓で賣却せし場合ありとせんか、之を單に金三圓米代の支出、金四圓米一斗賣却代の收入として整理するの不適當なるは固より云ふを要せない。傭主が時價十圓五十錢のものを三圓にて供給するは勞働に對する賃銀の補足か又は賞與贈與等の性質を有するもので何れにせよ十圓五十錢の價値あるものが家事經濟に入りたるものである。故に右に對する支出三圓との差額七圓五十錢は一種の收入と見るべきものである。而して消費せる米二斗は時價に依りて七圓の價値あるのを消費したるものなる故、七圓を米代の支出とすべく、賣却せる一斗は三圓五十錢のものを四圓にて賣却せるものなるを以て差額五十錢は賣却益金と觀るべきものである。又六疊三室ある家を三十圓の家賃にて借り其の內一室十五圓宛で二室を又貸したる場合、家賃三十圓貸間收入三十圓とするは誤であ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る。借家人は其の一室しか自己の住居に使用して居ないのであるから、各室同一價値と看れば其の人の住宅費は一室の借貸十圓である。而して又貸せる二室は原價二十圓のものを三十圓で貸したるものなるを以て差額十圓が貸間收入と看るべきものである。

右の外借入金・質入金等は一の收入なるも又出て行く性質を有し、純然たる實收入と大に其の性質を異にする。同樣に貯金引出、貸金の如きも之を純然たる消費と同一視し難い。故に斯くの如き貨幣の移出、移入に過ぎざるものは之を帳簿上の收支としての實際上の收支と別箇に取扱ふべきである。其他掛賣の一部支拂・賦拂・營利行爲と家事行爲とに依る取扱上の區別、自作物其の他の實物收支の取扱、調査期前よりの繰越調査期中購入せる消費せざりしもの、調査期前の負債の償却等整理の實際問題として輕卒に取扱を許さゞる幾多の難があるのである。

第三は結果表章上の問題である。之れ家計調査終局の目的たる家計觀察の基礎たるべきものであつて、先づ各種の社會階級即職業の差異に依りて分類するを要す。次に同一職業の內に於ても收入の高及世帶の人員の多少に依りて生計狀態を異にするから之等の差異による分類を施し、各其の經濟條件を同じくせるを集め然らざるものを分つの求心的、遠心的作業を必要とする。而して職業は農工商等の大分類より自作・小作・鑄物工・針製造・眼鏡販賣等幾多の細別を爲し得べく、細別多ければ多き程整理集計の勞費を要し表章益々複雜となる。又世帶人員の大小も單に其の頭數に依らんか、大人と子供、女子と男子に依る消費量の差異を適當に表はすことを得ない。故に其差異を除去し同一單位として觀察する爲如何なる標準に依り消費單位（Quet）を定むべきやの問題が起る。又收入の高に依る分類に於ても貯金の引出質入金等を含む所謂總收入に依るべきか將た之等の帳簿上の收入を除外せる純收入に依るべきか、之に依りて同一階級も其所屬を異にする樣に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

なる。蓋し收入の高を標準として分類するは、消費卽生計狀態は收入の高に依りて差異あるが爲にして、消費の正當經常的なる資源は其家族の實收入である。故に收入階級分類の標準は、須く其の眞の經濟力に根據を置き、其の實收入に依るべく總收入に依るの不可なることはワルターシャフの痛論せる所で明である。

右の外月に依る收入支出、季節又は地方の差異に依る生計狀態の異同等も以上各種の事項と關聯して觀察するを必要とする。之等に關し各種の要求を滿たすべき結果、表の立案竝に之が編整上の取扱は、專門の智識經驗ある人に待つべきの要一層大となるのである。尙製表の技術に付ても幾多考案を要すべき問題がある。然も斯くの如き微細なる研究及取扱を施すことに依りてのみ公平適實なる生計狀態の眞相を窺知し得るのである。（完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣の理蕃政策の失敗

（ラッター氏「臺灣を來遊して」の一節）

越村生譯

余は前項に於て臺灣の蕃人とボルネオの蕃人との言語・風俗・習慣の酷似してることを或程度詳述したが、要するに其目的は、從來紹介されたことがないので人類學者や人種學者に多少裨益する所があると云ふのでは決してなくして、唯だボルネオの蕃族取締上有效と認められた統治の方法は又移して以て臺灣に適用し同樣效果あるべしと考へられたからである。相似たる狀態の下に風土を同じくする土地に生住する類似の人種なりとせば、同一の統治形式よりして得らるゝ成績も亦た同一なるべきことは決して期待し得ざるものではない。

日本人が從來臺灣の蕃人に對して採り來つた統治方針は彼等日本人自身も認めるやふに決して成功しては居ない、而して此失敗は日本に採つて重大なる意味を有して居る。何故なれば豐富な未開發の資源を包藏し、更に年々增加する農民を容易に維持し得るが如き七千方哩の大地域を徒らに蕃人をして專有せしむるが如き贅澤な領土を所有して居らないからだ。謂はんや其蕃人の蟠居する其地域は貴重な樟樹及び鑛物の大富源の藏するに於てをやだ。

然るに今日の臺灣の實情は卽ち蕃人が日本人の權威を無視してるので、日本人は電流を通じたる鐵條網を

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

張り廻し森の子を其内部に幽閉して始めて自己の生命の安全を期してる有樣で實に之こそ恥辱的狀態だ。

日本人の説明に依ると彼等は最善を盡したと云つてるが、實際に於て此の處女林鬱蒼たる山丘地方を開發するに如何なる努力を惜んで居らない、又た巨額の費用を投じ幾多の人命を犧牲にしてる。而して一方頑冥な馘首蕃人を威壓し他方之を撫育するの兩種の方法を試みてる。然し支那政府の如く彼等を虐遇して居らぬ、勿論折々嚴格を極めたことはあるが——例へばマクガヴアン夫人は防備のない部落に爆彈を投下したと記載してる——然し一度政府に歸順したるものは、之を好遇して居る、卽ち同化政策と稱してるものが之れだ。今日厄介な問題は、三十年を經たる今日に於て未だ猶ほ多數の蕃人は全然屈服を肯せないことだ。

日本人は臺灣に於て商工、經濟及び科學的企業の方面に大成功を收めてるが、唯だ此一問題卽ち理蕃問題の解決に失敗してるが其理由は如何。

其主なる理由は同情心の缺除だと信ずる。日本人が初めて臺灣に渡來した當時植民地統治に全然無經驗だつたので、未だ曾つて逢著したことのない幾多の問題を解決せねばならなかつた。而して其問題の多くを解決せんが爲めに、他國より其解決方法を修得した。卽ち植民地統治眞髓を會得せん爲め、日本は官民多數を夫等の國に派遣したと云ふものがあるが、事實としては日本人は彼等の知らんと欲した事柄を研究會得し更に進んで其得たる知識を夫々實行した。

然るに此際日本人が修得しなかつた一事があつた、夫れは臺灣の山丘地方に散在する（威壓政策が却つて彼等を統御し難き猛惡なるものたらしめたが）原始的住民に對する對策であつた。恐らく日本人は當時餘りに修得すべき事項の多くて此理蕃政策を等閑に附したものかも知れぬが、然し余は日本人は其對策の必要を輕視して更に問題を忽諸に附したものと思ふ。當時日本人は陸軍を有して居たので一大隊位の兵員を以てせ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は少數の蕃人を征服し得ることは尋常の茶飯事だと恐らく豫想したに相違ない。卽ち蕃人の實力のみならず、其不屈不撓の性質を輕視した。實際日本人は彼等蕃人を邪魔物とより外に決して認めなかつたのだ。

余は臺灣に滯在中此問題に關して多くの日本人官吏に質問したが、彼等も余と同樣の印象を抱き該問題を余と同一の論點見解より觀察したと異口同音に答へて居た。蕃人は途中の邪魔者で、當時旣に其勢力の侮るべからざるを知り初めたるに拘らず、日本人は彼等を「生蕃」と蔑視した。

日本人は全然蕃人と友好關係を結ぶ才能を有せないやふに見えた、否此事を恐らく日本人が考へたことがなかつたやふに思はれる。

勞働會社の人間は一度出世すると、曾つて同輩だつた連中を輕視することは往々見受ける所だが又一方身分の高い人連は勞働者に對し親密に談り合ふことを恐らく二度と考へないだらう。此事は從來の日本の地位に比すべきもので、別に此ふ云つたとて敢て感情を害せしめんとて云ふのではない。彼等日本人は最近指配者の地位にある人種となつたので、到底其邪魔になるものに腰を屈して寛度を示すだけの修養が出來て居ない。恰かも之れは一歐洲人勞働者又は機械職工が、部下を取扱ふの經驗なきに拘らず、東洋に來りて一の良好なる地位に選ばれて多くの土人を統御する場合にも例へんが、彼は兎角土人を黑人又はニグロと輕蔑して、實際に殘酷に取扱はずとも、自己の同情又は愛情に價せざる遙かに自分に劣れるものとして取扱ふに例へることが出來る。

日本人は從來臺灣の蕃人を實際虐待し居らざるも、同情を以て接しなかつたことは余の斷言し得る所である。而かも服從したる蕃人をすら日本人は同化せんとし、彼等に日本語を敎へ、日本の風習を模倣せしめてる、けれども、是等蕃人は完全なる一言語、獨特の良風習を有してることを意識して居ないのは寧ろ滑稽だ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

若し讀者諸君にして一種族の個性を傷くるに於ては、卽ち致命的負傷を與ふるものにて、其死は時間の問題に過ぎない。臺灣總督府は熟練なる行政官を派遣して蕃語を研究せしめやうとせないで蕃人に日本語を强制的に學習せしめてる、卽ち蕃人種族の精神を助長せしめないで之を破壞してる。之れ卽ち蕃人の容易に日本の勢力に屈服しない理由で又た一方日本人が蕃人政策に失敗した理由だ。

*　※　*　※

臺灣總督府が若し他の方法を採用したとしたならば恐らく今よりも良好な成績を擧げたかも知れない。如何にして一國又は一民族を統治すべきかに就いて自己の獨斷を下すことは容易だと思ふ、然し余は今日、日本人が臺灣に於て當面してると同様の問題に當面した一政府に數年間勤務した關係上、本問題に關して卑見を述ぶる資格がある。其當時余は機械の一齒車として右の問題を解決するに相當努力した。

英領北ボルネオ會社が四十四年前蘇蘭の面積に等しき北ボルネオを獲得した當時恰かも日本人が臺灣の山丘地方を發見したと殆んご同様の狀態であつた。當時北ボルネオでは蕃人は海岸に居住せる馬來人の爲め久しく壓迫され居たる爲め、異國人を疑ひ、他方自己種族間相互に絶えず爭鬪を繰返して居た。當時何ら組織立てる政府なくして、ボルネオにて最も低廉なる物品は人命であつた。地は熱帶的の煙雨瘴癘に滿てる土地にして、道路なく、蕃人の伐採せるものを除いて到る處藪林繁茂して居た。然るに少數の歐洲人官吏と印度人及土人憲兵を以て、背後に富裕なる財政上の援助なかりしに拘らず十箇年經たずして北ボルネオの大半を開發し、政府の統治下に齊し、藪林地帶の隘路をしてボルモルの舖道のやうに坦々たる大道たらしむるまでに蕃人を統御した。今日蕃人は馘首を中止し、平和に住居し、其數は年々增加し居りて、政府は彼等に對して同情と理解を以て接し、其權利及び風習を尊敬し、全然之に干渉し居らざるを以て、彼等蕃人はデイスト

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

リクト・オフイサーを目して指導者、智者及び友人と崇めてる。又た來りて郡長の裁判を仰いだり、醫療を求めたり、更に甚しきは邪惡なる妻に對する忠告をさへ求むるものがある。然し事茲に到るまでには忍耐、手腕及び勇氣の必要なりしこと勿論にして、其結果今日充分に其成果の認められたのである。適才に之を爲さしめんか、臺灣に於ても今日此事は爲され得るならんと信ずる。

日本人は此點に於て臺灣領有後間もなく相當體驗したけれども、不幸にして斯くまでに徹底してやらなかつた。番界には夫々官吏を派遣して、番人と親密に接觸せしめ、其言語及風習を修得し、蕃人の信用を得せしめた然し是等の官吏に充分の優遇をなし又は行政上の手腕の確實なる人才を派遣しなかつたのみならず、政府は此の地位を輕視して、下級官吏を任命した、其地位及俸給は書記より稍々良い位のものだつた。更に官吏の交迭頻々たるものがあつた上に、警察官に對する指揮權を與へられなかつたし更に此實驗は成功しなかつたので、一八九八年(明治三十一年)此の制度を廢し、爾來蕃人統治は全然警察の手に委ねられて居る。

此事たるや明かに本問題を解決し得るの適策でなかつたのだ。總ての點より見て日本人警察官は蕃人の待遇良好で卽ち蕃人の間に住居し、其言語を談り、蕃人より愛敬されてる。然しながら警察官は上級官吏の爲すように出來ない、蕃人は小兒と余り隔がなくて、實際に於て彼等を取扱ふに當り世人は彼等種族を嬰兒時代に取扱つてる。故に蕃人を蕃人としてゞなく、寧ろ小兒として取扱ふべきである。彼蕃人は小兒と同じく偏見を抱き易く、本能的に好、不好あり又た小兒と同じく不安、謬信及び恐怖を抱き又た直ちに嫌惡憤恚に走り又は突然不信を抱く、一方哄笑し又は愛情に謝つることが早い。其心は蠟の如く、感じ易く、狡猾に對しては狡猾を以てし、勇敢に對しては尊敬を以てし、又た太陽に向つて花の開く如く、同情に對して、進んで好感を抱くを常としてる。所謂規律なることは蕃人には全然缺如して居るから漸次之を强制せねばならぬ。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

然るに蕃人は强制を怒り、脅威に對して憤恚し、詐欺的行爲を嫌惡する。だから彼等は爆彈又は通流鐵條網を一種の詭計とのみ認むるは當然の事だ。

然と雖も余は決して蕃人を放任して彼等の欲する所に趣かしむべしと說くものではない。元來蕃人なるものは正義と剛毅を賞揚し、之を根本精神と見做してるから、此基礎精神の上に堅牢なる家屋を建てるには世人は人道てふ漆喰を使用せねばならぬ。此事柄は臺灣の蕃人を取扱ふ上に於て殊に必要なるを認める、蓋し臺灣の蕃人は數世紀の間支那民族から虐遇され來てるので今日恰かもいぢけた犬の樣で、自分に親切にして異れる人にさへ直ぐ敵對せんとする。臺灣の蕃人は正當に待遇するときは日本人が屢々批難する如き頑冥な人種でないと云ふ證據を示す必要がある。卽ち之れは和蘭人及び其他の歐洲人が示す證據で、蕃人は白人連の統治を受けた際に從順であつたと云ふことで、之に對してマク・ガバーン夫人も其著書中に和蘭人統治の時代を蕃人は今日猶ほ一種の黃金時代と考へてると書いて居る。更に一支那人すら蕃人の敬愛を受けた例が幾多あるが、其一例として伍鳳と云ふ一支那人が一世紀前阿里山麓に住む馘首蕃人と交通して蕃語と蕃情に通じて居た(伍鳳の話は略す)。

伍鳳は實に幼稚なる民族を取扱ふ上に缺くべからざる人としての好模範だ、勿論其政策としては採るべきではないが。近年一度蕃人の信用を博せば、今日ボルネオのムルット人の如く親しく交通する事が出來ると云ふ言葉が喧傳されて來てる。ピクリン氏は臺灣旅行中二十種以上の蕃人を歷訪して交通して、其都度彼等蕃人の好遇を受け、彼等の性質の順良なる事を知つたと記述してる。更に彼等蕃人の尊敬をすら受け得たと稱してる。同氏曰く「余が新嘉坡に住して後約二年を經て或日余は一紳士の訪問を受けたが、右紳士は自分は臺灣の南端に燈臺を建設する爲めに滯在した事がある、其間蕃人及び其地方の首長と交際したが、自分の

英國に歸ると聞いて蕃人百名以上から成る一隊は自分を歡待して再び臺灣に歸來するやふに懇願したと話した事がある」と。

又極く最近マク・ガバーン夫人は日本官憲の警告あつたに拘らず蕃人と交通したが、彼等の害を受ける所か或時など同夫人が漲り流れてる河底からタイヤル族の一村落に現れたとき「我等の愛する昔の白人統治者の一人の靈が歸來したのだ」と云つて歡喜して挨拶したと云ふ。蓋しタイヤル族は今日に於て猶ほ昔の白人先祖——和蘭人の靈を祈願して居るからだ。

大體臺灣の蕃人は亞細亞人種の指配を受くる時に於てすら、正當なる待遇には服從するものだとは明白に窺ひ得るやふだ。更に明白なる事實は白人種に對して偏頗的の好感を抱いてることだ。だから若し臺灣總督府が蕃人統治の經驗ある若き英國人二十名を募集するときは、數十人の應募者があるだらふ其内から選拔して臺灣の蕃界に派遣するときは、全蕃界は五年ならずして開發し得べしと余は確信する。

然し此解決方法は仲々採用されそうにも見えぬ。日本人は今日自負心が強くて到底他人種をして己が失敗せる事業をやらす事はない。夫れも決して惡いとは云はぬ、大體各國民は自分自身の問題は自ら解決すべきものだから。

竹越氏は異なつた解決策を提供してる。蕃人に就いて同氏曰く『蕃人が野蠻主義を放棄して友誼と好意の感情を我等に即時而かも誠心誠意抱かしむるまでじつと之を待つわけには行かない。だから彼等の領域に侵入して總ての不用地に文明を樹立することは遙かに好いことであり又た極めて必要のことだ。然し之れを最も良く完成する策は如何。即ち現在の隘勇線を漸次進めるか又は今日英領北ボルネオ及びロデシアで英國の實施してる方法を用ひて、ある私立會社に或種の特權を許與し、或る一定期間行政及司法兩方面の權利を與ふる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ことだ。……故に余は衷心希ふ所のものは、總督主催の下に英國の例に慣つて臺灣の蕃地開發に從事する一特許會社を設立し、或る特定期間例へば二三十年間右會社に統治、採鑛、伐材、農耕及び築港、島內交通促進上道路開設等萬班に關する全權を委任することだ。又た此會社に蕃人を教育するの義務を附與し、若し蕃人にして反抗するときは必要なる一切の措置を講ずるの自由を有せしめる。で若し全蕃界を一會社に委任することの賢明ならずとせば、蕃界を二三區に分割し、其區數に應じて異なれる會社をして開發せしむべし』と。然し日本政府の失敗せる土地に於て日本人より成る特許會社が必ず成功すべしと竹越氏は想像するだらふか。

右の一文を拔萃せる所以は、右の提言は一日本人より出でたると雖も特に興味あるものがあるからだ。然らば平和的の目的で土地を開發するてふ適法なる動機以外に、金錢上の動機を有せざる政府が今日嚴充に門戶を閉鎖するときに當りて、配當を目的とする一會社に突如門戶を開放すべしとは到底考へ得られぬ。一特許會社は政府の失敗を償ふやも計られんも、常に猜疑の眼を以て見られるだらふ。

此點より見て一政府は背後に信賴と權力を有する關係上未知の土地を開發する上に於て一會社以上に容易なること言を俟たない。

日本が今日既に開始せる事業は當然終了せねばならぬ。之れが爲めには適任者を選びて事情を同じくする英領ボルネオ、馬來聯邦州又は比島に派遣して、既に實驗し成果の舉がれる行政方法を研究せしめ、彼等が修得するに及んで地方官として各地方を統治せしむる外適策がない。

斯る官吏は志願者たるを條件とする、蓋し彼等は娛樂、果た健康を、更に中には生命すら犧牲とせねばならぬ。彼等は幼稚なる蕃人に伍して其言語を修得し、習俗に通じ、信用を博するやうに努め、而して正義あり慈愛深き統治下にあることの利益を蕃人に教ふることが必要だ。又ボルネオの地方官の如く村から村へ山

丘を跋渉し、一二の巡査を具して蕃屋に宿泊し、謝願を裁斷し、爭論を判決し、親交を結ぶやう勸說し、代償金制度に依り現在の馘首の弊風を矯正せしめ、多年の敵對行爲を蕃人式の誓言に依りて和睦を爲さしめなければならぬ——蓋し一度誓言したる以上彼等蕃人は性來約束を實行する習慣だから決して破棄せないだらふ。彼等官吏は蕃人の習慣を尊敬し、蕃人の虐使されざるよう注意し、蕃人の權利を保護し一度其蕃地の開發さるゝときは、蕃人の所有地及其他の財產が無法なる商人又は投機者流より掠奪されざるやふ注意せねばならぬ。地方官の行く處信用の種を蒔くときは、漸次好情生ずるに至るべく、然るときは曾つては野蠻なる彼等も惡を善に矯正せん爲め、又た日常の些細なる事件に就ても地方官の意見を訊す爲めに自ら進んで來るに至るだらふ。

されど此事たるや容易なることとなりと自ら稱するものでない、失敗もあるだらふ、失望も又た危險も生ずるだらふ。或は馘首の生ずることも、鎮定するに困難なる蕃人の反抗も起るべし。然し終局に於ては適任の人は成功すると確信するものにて、此方法に依りて初めて蕃人撲滅は問題外として其地方に平和を與ふることを得べしと確信する。

佛領印度支那 老撾の經濟的價値（下）

永嶺一虎

六 織物纖維

クロタレール(La Crotalaire)(Koh Thuong) 本纖維は英領印度をこれが原產地とする纖維植物にして織物材料として戰時中特に名聲を擧げ、質に於ても蕁麻の上位に位し、現今多大の信用を獲得し居るものである。木は高さ約二米突半を出でざる一年性の細木にして、幹には纖毛を有す。

一九〇三年オートフォーイーユ氏(M. Hautefeuille)印度よりこれが種子を輸入し、その栽培を行ひたる處良好なる成績を收め得たることあるにも不拘、以後これが栽培に關しては何等顧られる事なく、そのまゝ放擲されてしまつた樣である。

又一九二〇年サヴアナケ州より河內の展覽會へ送付し來りたるクロタレール纖維は、審査の結果、商品陳列館長クレボスト氏(M. Crévost)に依り老撾土產の種子と共に完全にその優良品たることが認められ、又北部安南の栽培業者に依つて爲された試驗成績に於ても同樣の結果を齎してゐる。

然れ共老撾に於ける本植物に就ては未だ何等の移植問題すら起つてゐない有樣なるが故に、此地に於けるクロタレール栽培は依然として家內的の城を脫せず、土人は唯彼等自身の需要に沿ふ程度に於ての栽培を行

つてゐるに過ぎない。

本纎維は頗る強靱なるを以て彼等土人は非常に之を珍重し、これが栽培に從事するも、彼等の用途は主として漁獲用網及綱の製作に之を利用するに在る。

クロタレール纎維の特徴は、その非常に丈夫なること、又蕁麻の如く多くの木質部を含有せぬ事及殆んど腐朽するの惧なき事等にして、然もその長さは平均約一米突半に達してゐる。尙本植物はその栽培頗る容易なるのみならず、土壤の如きも、極く稀薄なるものを除き、あらゆる土壤に順應するの特徴がある。

老撾人は雨季に相當する七月の終り若くは八月の初め(彼等の暦にての月、卽舊暦)に之が播種を行ひ、同年の十一月之を收穫す。けれ共採種用株は、その苅入後、尙一月若くは一月半そのまゝ殘し、充分結實するを待つて收穫するのであるが其間栽培上に於ける注意・手入れ等は何等之を施されることなく、又その必要もない。而して開花し始むる頃これが苅入れを行ふ。丁度その頃が纎維摘出に好適する故である。然して開花後の植物より採つた纎維は、幾分品質低下するも尙その強靱さは之を失ふことなし。然れ共既に結實せる植物より採取したるものは最早や之を纎維として利用するに堪え得ない。

纎維の採取方法は、先づ纎維採取を容易ならしむるが爲めに纎維を含有する莖を二三日太陽に曝露せしめ、次に出來得る限り同じ長さのものを集めて束となし、之を水に浸漬す。浸漬時間は少くとも四十八時間を必要とする。さもなくば十分なる浸漬の效果が現はれない。而して水中より採り上げられた纎維は輕く之を水洗し、乾燥せしむるのであるが、これは可成日光乾燥を可とす。

今迄に一度も大量生産の經驗なき土人達は、單に植物の樹皮を剝ぎ、次で庖刀を以てその背を削るに止まる。斯して出來上つた纎維も矢張りその強靱さは之を失はざるも、水漬して作りたるものに比する時は、本

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

質部非常に多く、且色は暗灰色を呈してゐる。

サヴアナケに於て行はれたる本植物の栽培試驗は、何等土壤に栽培上の準備を施さず、又耕耘及土人の爲すが如き畠削りをも行はず、全く殆んど何等の手入れ・準備をも施さずして行はれしも、その成績は一エクタール當り平均一噸といふ收穫を見たのである。

植栽は五月の中旬之を行ふ方が七月の終りに之を行ふものよりも稍良好の樣である。蓋し前者より採つた纖維は後者のそれの約二倍の長さに達するものが屢々在る。而してこの二作は年々同じ土地に於て行ふことが出來る。

再び言ふ。クロタレール栽培は最も有望なる事業である。然して、老撾中殆んど到る處の土地は本植物の栽培に適してゐる。前述せるが如く、この栽培は頗る容易であり且それに伴ふ勞苦も僅少なるが故に、土人にこの栽培が非常に利益あるものなることを示すならば、土人の爭ふて本植物の栽培に從事することは決して疑ふの餘地がないのである。

現今、クロタレール纖維の商業的價値は頗る嘖々たるものなるが故に、我老撾に於て、これが完成に努力するならば、その需要高の非常に多大なるものあることは容易に首肯し得られるのである。

尙本纖維は我印度支那に於て十分なる生産を擧げ得ることの出來ない蕁麻に代用することの出來るものである。けれども住民には未だその間の消息がよく知られてゐないのみならず、印度支那が年々頗る多量に需要する袋や荷造用布の製造に利用さるゝものなることをも彼等は全く知らないのである。

Hibiscus Cannabinus L. (Po-Keo) 本纖維は英領印度に於てはデュカン蕁麻(Jute de Decan)の名の下に商業上重要なる位置を占めてゐるものである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

この木も一年生の綱木にして、高さ、二米突乃至三米突位に達し、纖維は白色且絨毛を有し、蕁麻よりも木化質多く且非常に强靱である。

一九〇五年、オートフォーイーユ氏この纖維に着目し、遂に印度よりその種子を持ち來り東京に於てその栽培試驗を行ひたるが、それに就ては何等確たる決定を見なかつた樣である。事實東京は此植物の栽培には土地不適なるに依り、これが移植はそのまゝ放棄されたるものゝ樣である。

一方老撾に於ては、每年殆んど全土人擧つて本植物を栽培し、然も彼等は可成りの產額を擧げてゐる。彼等の用途はクロタレール纖維のそれを略同樣にして、又栽培上に於てもクロタレール纖維と同じく殆んど家內的のものであるが、兎に角彼等土人は本纖維の栽培に全く馴致してゐることは事實である。

彼等の栽培方法は先づ土地の除草を行ひ、四五月の終りから六月の終りにかけて播種する。而して莖の高さ五十乃至六十糎位に達せば、梢芽の一叢を殘し他のすべての葉を摘み取るのであるが、本作業は植物が成熟する迄に三度適當な間隔を置いて行ふ。但し、採種用株は唯一度之を行ふのみである。

十一月若しくは十二月頃收穫が始まり、莖は根元地際から苅り倒され、木の頂きは鋏樣のもので截切される。此等の作業は蕁麻の摘葉等に比較する時は頗る容易且簡單なるものである。次に之等收穫したる莖は、可成同等の大きさの各束となし水に浸漬することクロタレールと同じである。

併れ共栽培量至極僅少なる老撾人中には只樹皮を剝ぎ之れを纖維とするのみにて滿足し、何等水漬法を行はないのがある。この方法によつても又十分强い纖維を生產し得るも、柔軟性少く、且色は暗灰色を成す。

浸漬期間は五六日にて十分容易に纖維を引き拔く事が出來る。之を水洗し乾燥せしむれば茲に完全なる纖維となる。白色、柔軟性の有る頗る美しいものである。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本纖維植物の栽培試驗が嘗てサヴアナケ州に於て行はれたる所その結果は完全なる成功を收めた。本試驗は、各土壤を異にし、小さく區切りて播種したるものなるが、纖維の收穫は、一エクタール當り、九〇〇—一八〇〇基瓦の間に於て種々であつた。然も之に利用したる土壤は頗る質惡しく且一度も施肥されずして之を行つたのである。尙又Po-Keoの試驗をも行はれた。本植物の栽培は土地を著しく荒瘠せしむるものにして、同地に於てこれが二箇年間の繼續栽培は殆んど不可である。尤もその栽培地には何等眞面目なる手入れを施さないものとしての話である。因にこのポーケオは動物が食餌として非常に好む植物である。

要之、本纖維もクロタレールと同樣に、その栽培が利益あることを彼等土人に知らしめたならば、彼等は喜んでこれが栽培に從事するに至るべき事は明かである。本纖維は一九二〇年、アーブル(Havre)に送付し、その鑑定を求めたる所、一噸當り二千法の價値あるものだと評價されてゐる。依つて以後この價値は著しき比例を以て增加されてゐることは當然である。

これとても老撾に於ては到る處に栽培されてゐるが、輸送機關の缺如せる爲めその發達は阻止され、是又遺憾なる狀態に在る。

Le "Po Lom Pom"—Thespesia-Hibiscus Lampas. この植物は木芙蓉屬の一種にして、濕潤の低地を好む植物である。サヴアナケ州下の、Se-Sang-Xoi及Se Tchampone二河の會流する地點には本植物非常に多く、一面に叢生す。この地點は每年二河の氾濫する渺茫たる廣地である。而して本植物は何等土人のこれを栽培するものに非ずして唯野生するに任し然も彼等はこれより採れる纖維を手廣く利用してゐるのである。本纖維も亦非常に強く且外見も頗る立派にして、如何見るも所謂土人流の作り方で、作つたものとは思へない位である。且本植物は頗る生活力の旺盛な植物で、每年氾濫季には、この植物は全く河水の覆ふ所となり、時には

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

そのまゝ數箇月に亘ることあるも、何等そのために苦しんでゐる樣に見えない。加之乾季になれば土人は彼等の家畜に木の新芽を與へんがために本植物の叢林を燒き拂ふのであるが、爲めに各木は根元迄すつかり燒かれてしまふのにも不拘、第一の雨季に入るに及び、再び從前通り生々と成長し始めるのである。以て如何に本植物の生活力旺盛なるかは之を首肯し得らるであらう。然るに家畜はこの木の新芽を非常に好むので、その殆んど大部分のものが、滅茶々々に破壞されてしまふのである。

土人の纖維を採取する方法は、先づこの灌木を根元から苅り取り、小枝を拂ひ落し之を十日間水漬したる後纖維を引き拔くのである。

以前には單に樹皮を剝取するのみにてこれを纖維としてゐたが、この方法によつて採取したるものは十分使用には堪え得るも灰色を呈し、柔軟性少し。

尙本植物は高さ二米突若しくば夫以上に達し、幾多の枝を叢出する灌木にして、雨季の始まる頃から（五月から六月にかけ）木は漸次成長し、十月に至り開花す。次で果實は正月に至る間に成熟し、破裂してその邊りに種子を撒布する。

この植物をボロムボム纖維として收穫するに就ては實の處未だ定見がないのである。實際に本植物の栽培に從事するもの丶ないのは此れに基因するも、土人達の實際に行つてゐる所を見れば、必ずしも本植物栽培を以てあながち全然見込みなしとは斷じ難いのである。蓋しこれが栽培は直ちに莫大なる收穫を擧げ得ると共に、本植物をして急速に繁殖せしめ得ることは事實である。

若し之栽培が一般に普及するに至るならば、恐らく、このボロムボム纖維の將來は實に赫々たるものがあると共に、クロタレールの如き非常に強靭なるものが生産される樣になり、印度支那が年々多量に需要する

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

荷造り用布袋等の製造に於てもクロタレールに代用する立派な纖維たり得べきことは容易に之を首肯し得るのである。

現在に於ては遺憾ながら土人が收穫せるのみにて、何等その輸送は實現されてゐない。苧麻(La Ramie.—Bochmeria Mivea.) 本植物も老撾を通じて、各少量宛ではあるが栽培されてゐるものにして、リュアンプラヴァン(Luang-Prabang)ヴィアンチィアーヌの二州には少量、タッケ及サヴアナケの各州には相當の產額を見る。又サラヴァーン州下に於てはボロヴァン高地及その低地々方に於てこれが栽培廣く行はれてゐるが此地方は、尙十分發達の見込みがある。

以下揭ぐる所は、ラミー栽培に關してサラヴアン州知事ヴィトリィ氏(M. Vitry)氏の所説である。

この植物を植付けんとする土地は先づ特殊の畦に切り、畑燒きを行ひ、然る後乾燥期の終りに於て除草するのみにて、耕耘・中耕・施肥は何れも之を行はずして、雨季の來るのを待ちて播種するのである。植付時期は一般に七月迄續く。

播種後七日乃至八日にして、一小山當り二乃至五の發芽を見る。かくて十月の終りに至り植物は完全に成長するのであるがその間栽培上の手入れとしては除草以外には何等行はれない。

地質良好なる處に於ては莖の高さ一米突十から一米突二十五位迄達するを普通とするも最初は地上二乃至三糎の箇所からすべてを切斷し、その切斷したるものはそのまゝ木の生えてゐる傍に棄てゝ置くのである。蓋し、この最初に生長する木は何等纖維としての效果を齎さないが故にである。かくて次に切株より新芽出ずるや、この新芽は急速に生長し、正月には完全に成育し、玆に始めて纖維材料としての截切に適するに至る。此後の莖は最初に生育せるものに比し著しく强靭である。如斯行程を經て收穫されたる莖は束にされ、

栽培者の家に運ばれ、直ちに或は其後何れにしてもそのまゝ水に漬けるのである。然して水漬後庖刀を以て之が剝皮を行ふ。

纖維質は言ふ迄もなくこの樹皮中に存するのであるが是又同じく庖刀を用ひて纖維の分離を行ふのである。次に分離したる纖維は注意して之を太陽に乾し、乾燥するを待ち土人は之を枠に卷き取る。

一般に賣買の目的となる纖維は如上の工程を經て造られるのであるが、纖維の長さは約一米突位を普通とする。

第三回目の截切は八月の半頃から終りにかけて行はれる。此時分の發育は雨量少きが故に最も緩慢なる狀態を示すも、收穫の上には何等の支障を伴はない。

收穫は四年間引續いて十月・一月・八月といふ順序に週期的に行はれ、尙良質の土地に於ては五年間同樣の週期を以て收穫されるのである。けれども之等の長い期間中に於ても何等栽培上の手入れを施さない事は前述の通りであるが、只苗の成育期間に於けると同樣に寄生植物の摘取を行ひ、然もその草はそのまゝ土上に拔き放しにして置く。

截切から截切の間に於ける新芽は益々增加するも完全に第六年目が終れば一般に莖の長さは減少する。而して莖が六五―七〇糎にしか達しない際はもうその植付けてある畦は植物の生育に十分なる養分を供することの出來なくなつたことを示すもので、從つて其の根を新しい土地へ植替へるの必要がある。

又一截切に一ミュン（十二基瓦）の纖維を得んとするには、良地にて平均約二七〇平方米突の地所を必要とするが故に、之が栽培者はその地所の殆んど大部分を之が栽培に當てゝゐる次第である。

次に生産者はこの收穫する苧麻の賣捌きに就ては些の心配も無用にして、毎年十月頃になれば商人入來り

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

之を購ふ。相場は卽刻其場で十二基瓦當り五弗であるが、この數年來は何れも七ピアストルを稱えてゐる。

實に本纖維に對する絕えざる需要は彼等商人をして際限なく之を購はしむるの現狀なるが故に、これが價格は上るとも決して下る惧れは無く、生產者に於ても際限なく之を栽培し得るの立場に在るのであるが、この利益といふ好餌を以てしても、彼等土人に採りては、何等これが栽培上に於ける活動の原動力にはならないのである。然り彼等の或種の者は、富を造るよりも蓋ろ安逸に暮した方がよいといふ、卽金よりも日々の逸樂の方をより以上に之を求むといふ頗る呑氣な且手の附けられない人生觀を有するが故に、これが生產を奬勵せんとするの努力も結局、彼等の人生觀により報ひらるゝの外はないのである。

次に老撾全體の土壤が苧麻栽培に適せるや否やを考ふるに、全部の土地が苧麻栽培に好適するとは斷じ難ひのである。蓋ろ比較的この地の高度又濕度は、共に本植物に重要なる效果を齎すものとは見えない樣である。而してこの栽培はボロバン高地の北部並に北西部一帶及セドウヌ(Sedone)谿谷に連る數世紀を經たる崩壞土層地方に於て行はれてゐる。この土壤は厚き層を爲し、著しく碎け易く且滲透性の土壤にして、所謂交趾支那赤土と呼ばれてゐる赤土の樣に思はれるのであるが、この赤土壤は本植物栽培上十分なる濕氣を必要とすると共に唯一の成功條件となつてゐるのである。

尙これが生產される土地の大部は、海拔二〇〇乃至五〇〇米突の間に於ける地所に限られ、然して老撾に於けるこれが生產高は、每年平均二十噸に達してゐる。

ポピエ(Le Popiet)(野生の Kondzon にして學名 Pueraria Phaseloides Benth) 本植物も全老撾を通じ普く汎布されてゐるものにして匍匐ひ葛の一種である。森林中に成育し、生氣頗る旺盛な植物にして長さは六、七米突時には十米突に達するのも珍しくはない。然してこれには赤及白色の二種類存し、赤色のものはそのま

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

丶利用し得られ、纖維頗る強く且殆んど四季を通じて收穫を見る。纖維の摘出は至極簡單なる方法にて、纖も非常に長いものを摘出し得。卽先づ纖維の摘出を容易ならしむる爲めに莖の節々より切り離し、庖刀を用ひて剝皮するのであるが、かくするときは纖維は容易に現はれるのである。纖維は頗る輕く、且長さは節々間の間隔の長さを超過することのないのは勿論である。平均〇米突四〇から〇米突五〇位を普通とし、尙幅平均三―四粍のリボン狀を爲してゐる。纖維の分離作業は可成りの長時間を要し、土人は一日漸く一基瓦を分離するといふ狀態である。

土人は此纖維にて、投網及其他漁獵用網・其他等を造る。

ポピエ纖維の美とその强靭さは嘗てマルセイユに開催されたる博覽會に於て工業上頗る注目されたるも、殘念ながら長さの短かいことはこれが利用範圍を狹め、從つてこれに依る收益は可成り困難なるもの丶如く思惟されるも、瑞西の或工業家はこれが見本の送付方を依賴して來た、果して何に之を利用するのか今の處分明しない。

この纖維の價格は一基瓦當り九十セント乃至一弗二十セントの間に於て區々であるが。要之一旦緩急の場合、老撾は比較的多量に本纖維を供給する事の出來る事を忘れてはならない。

蕁麻(黃麻)(Jute—Chorchorus Capsularis)(Kok Pan Nom)　老撾人は本植物も之を栽培してゐない。が然し決して彼等はこの蕁麻の何たるやを知らないといふのではない。蕁麻は少し濕氣ある土地の到る處に豐富に野生す。彼等は本纖維の頗る丈夫なることは之を熟知し居るも、何分他の纖維が豐富にして何時如何なる場合に於ても容易に之れを手に入れることが出來る爲めに本纖維の利用等に關しては未だ深く考へられゐないのである。尙この野生の蕁麻纖維は栽培蕁麻に比し、强度少く且長さに於ても短かい樣である。

老撾產蕁麻は莖の高さ一米突を超ゆる事なきも、頗るよく成育し、殊に岩鹽の採れるサヴアナケ州の高地附近は之が成育に好適せるもの丶樣である。兎に角老撾は本植物栽培に好適せるは事實にして、乾期より雨期に入らんとする季節に於ては不思議な程にこれが栽培に好結果を齎す。

ラオバオ(Laobao)及サヴアナケ州の傾斜地に於て行はれたるこれが栽培試驗は共に非常な好成績を收め、頗る良質の纖維を收穫してゐる。特にサヴアナケに於ける試驗には栽培地に對しては何等の手入れをも施されずして、五月末播種し、只一回の耕耘後、除草も行はず、且栽培理論上に何等の根據を置かずして只向ふ見ずに行はれたのである。然るに成育狀況は頗る順調にして極く僅かの苗を滅失したのみにて、八月の廿日頃纖維の長さ平均二米突といふ實に堂々たる收穫が行はれた。若し栽培上相當の配慮が加へられてゐたならば異常なる成績を擧げ得たであらうとは誰しも想像し得る處であつた。

一方ラオバオに於ては毎年雨季の襲來頗る遲き故に六月末これが播種行はれ、尙栽培上に於ても種々の配慮が加へられたのであるが結果は素晴らしい成績となり、纖維の長さは平均二米突半を超過したのである。依是見之老撾に於ても蕁麻は十分に成育し、然も立派な收穫を齎すべき事は容易に推斷し得る。少くとも安南及東京に於て栽培されるものよりも以上の好成績を擧げ得ることを豫期し得るのである。

椰子纖維(Le Cocotier)　椰子は到る處に於て必ず人家附近に之を見受けることが出來るが、メーコン河岸のリユアンプラバン地方の村落には殊に多い樣である。

けれども彼等老撾人はこの纖維に就ては何等之が利用方法を講ずることなく、單にコプラを採取したる後、殼は之を放棄してしまふのが常である。

唯サヴアナケに於ては、本纖維を紡績し、又スパルト纖維製造の部分材料を作つてゐるが、これとても彼

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

等老撾人には適當してゐない。即ち彼等の氣風としてかういふ秩序的な工業上の仕事に從事する樣な趣味の持合せがないのである。故に現在迄漸く續けて來てはゐるもの丶、やがては中止さるに至るべしと觀察されてゐる。

如上の次第なる故、此國の椰子纖維は何等の貨幣價値なく、之れ一企業家の玆に著目する處となり、老撾に一椰子纖維工場を設立せるを以て近く相當の收益を見るに至るであらう。

龍舌蘭纖維(Le Agare) この植物は未だ土人のよく知らない植物であるが、全老撾を通じ是亦到る處に見受けられ、然も他の植物とは孤立して存せるも、この植物が何所から本國に入り來つたかといふ本植物の沿革に就ては誰も之を知るものがないのである。

トユラナン州知事バルテルミイ氏(Barthélemy)は永年本植物の試驗栽培に從事してゐるが常に結果は頗る良好である。

於是老撾特にトユラナン州は之が栽培に好適する事が分明し、既に有力なる一會社はこれが栽培を行つてゐる。確かに南部安南に於ける龍舌蘭の收穫に比し、此地の收穫は優るとも劣ることは萬なき樣に思惟されるのである。

大麻(Le chanvre) 本植物はトユラナン州下に於てメオ(Meos)人之を栽培するも、單に彼等が自家用に供する程度のものである。纖維摘出は頗る簡單、所謂土人式のものである、彼等メオ人は水漬法を知らない。

本植物の栽培は高地々方に於て發達の可能性を持つ。

この大麻も等しく老撾の到る處に發見する植物にして且その幾らかは栽培されてゐるが土人の本植物栽培

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の目的は纖維採取に非ずしてその葉を收穫せんがための栽培である。蓋し、老撾人の或種族はこの葉を乾燥して煙草の中に之を混入し使用するが故にである。

La Po Nha Khat 本植物は村落附近等に野生する灌木にして、殆んど一年に一米突から一米突半の高さとなる。收穫は八月から十二月にかけて行はれ、纖維摘出法としては水漬法も行はれるが一般に概して土人式の乾燥法による。

本纖維は頗る強靱にして、老撾人は之れを以て彼等日用の網、紐等を造つてゐる。

本植物もこれが栽培が一般に利益あるものなりとするならば、土人は喜んでこれが栽培に從事するに至るべきは明かにして、現在に於てはその產出量は制限され居るも、容易に增加せしむる可能性を有す。

Le Po Phan は森林中に野生する細木にして、特に低地若しくは濕地を好む、高さは二乃至三米突に達し、根元の直徑は約〇・五〇—〇・二〇糎にして、その成長は頗る速かである。

木の分蘖中より良き枝を選んで刈入れ纖維を採る。收穫は開花前卽六月から十一月迄の間に行はれる。

纖維の摘出方法は一般土人式のものであるが、纖維は非常に強靱である。木は森林中に頗る豐富に存し、然もこれが栽培は至極容易なるを以て、本纖維が有望なるものなりとせば直ちに廣汎に栽培される可能性がある。

Le Po Khi on は Po Nha Khat と同種屬の灌木にして、成育地も又その成育狀態も之れと相等しい。又纖維摘出方法も之に同じ。用途は牛馬牽引用の綱を作るに在る。

Le Po Dan 本纖維は高さ六乃至十米突許りの木より採取する纖維にして、本植物は概して山地若しくは高地の密林中に生育す。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

纖維摘出方法は次の如きものである。

五月乃至六月頃、木の根元地際より苅り取り、之を長さ二米突のものに小割し、次で纖維を含む苞を引離すためにこれが樹皮を剝ぐのであるが、その剝皮方法は棒にて樹を叩きつけて剝皮する。次で尙之れを柔軟ならしめんがために、打叩き、然る後之を强く捩捻する。これは樹液を搾出せんがために行ふ。然して之を太陽に曝露せしめ乾燥す。

本纖維も頗る强く、用途は Po Khi on に同じ。

本纖維に就ても今の處何等商業上の利用方法認められざる故木はそのまゝ森林中に繁殖するに任せてゐる。

Le Po Phai　本植物も亦 Po dan と同一場所に生育し、量に於ても相等しい。且纖維摘出方法も略同じであるが、只少し異なる點は、小割りにした木は先づその剝皮するに先つて十日間許り水中に漬けるのである。この纖維も頗る强く且耐久力强し、用途は前述の二者に同じ。

Le Po Phon　は大きな葛より採れる纖維にして、本植物も亦森林中廣汎に亘り成育する植物である。纖維は葛の若枝より之を採り、摘出方法は單に纖維剝離を容易ならしむる爲めに之を捩捻するに過ぎぬ。土人はこの纖維を以て頗る耐久力の强い綱を作る。賣價は一尋一セント位である。

Le Po Deng　本植物は高地の可成り硬土質の土地に成育する野生の細木である。根元より苅り取り、これを割つて土人式の摘出法に依り纖維を採る。この植物は種子に因り益々繁殖しつゝある。この纖維も亦强靱である。

Le Samo　この植物は前述のものと同種である。土人はこれを水漬法により纖維を分離す。是復頗る耐久力

强し。

Le Po Sen phan　本植物も森林中に豊富に生育してゐる葛である。頗る强靱の纎維が採れるが、土人はこれを非常に多く利用してゐる。

七　塡充及編物材料

棉花(Coton)(Fai)　棉花も全老撾を通じて土人栽培上の目的物たり得るものなるも、是又今の處は單に彼等の需要を充たす程度に止る。されどサヴアナケ州下に於ては頗る多量に栽培されてゐる。然し、その收穫の三分の二は之を暹羅との國境河岸の支那人の購ふ處となる。每年の收穫總量は一五〇噸乃至二〇〇噸を算す。

老撾に於て栽培される棉花は先づ之を二種に分類し得。

一、レイ棉花(Le Coton de "Ray")　本種は纎維短かく、且つ固く種子に粘着し、作業上困難なる種類である。このレイ棉花は殆んど印度支那到る處に見受けられる。

栽培法は頗る簡單にして、四月頃土人がレイ種米の播種を行ふ頃、このレイ棉花種を種米に混じて同時に且同地に播くのである。植物は雨季を通じて生長し、高さは屢二米突或はより以上に達することがある。收穫期は十一月なるもその間何等の手入を施すことなし。

土人はこれにて彼等の衣服材料たる粗布を織る。

二、はサヴアナケ州の南部地方に栽培される種類で Gossypium Herbaceum, Var. Hirsutum として世に知られてゐるものである。

本種は一年性のもので高さは一米突から一米突五〇を出でず、且木質部僅少、纖維は頗る固く密着せるも作業上に於ても、又土人の手工業としても共に頗る容易である。

本棉花の栽培は、Se-Bang-Hieng河の沿岸の沖積土より成る堤防上に獨占的に植栽され、又メーコン河岸上にも稀に植付けられてゐる。

けれどもこの栽培に就て特に注意すべきは東方に面せる河岸には何等植付が行はれてゐないのである。蓋し栽培に適しないのである。故にこの點に於て惠まれてゐない暹羅側沿岸の住民は、惠まれてゐる我國側沿岸を得んとして、毎年來りて我國側住民と我沿岸を爭ふのは此の理由からである。

九月の下旬、メーコン河水の減水し始めるや否や、彼等土人は兼てより選定せる土地の除草を行ふ。耕耘は何等行はれない。但し二、三土人の中簡單たる耕耘をなすのもある。何れにせよ、家畜等の糞尿は絶對に施されることはない。

種子はこれを二十四時間灰を混入せる水中に漬したる後播種するのであるが、その方法は一穴當り五―六箇宛と播く。各穴間の距離頗る近接す。かくて播種後十日にして發芽するや以後は急速に生長する。

樹が〇米突三十に達する頃、間引きを行ふのであるが、この作業を終れば彼等土人はもうそのまゝやり放しにして何等の手入れも施さない。沖積土上に成育さるこの棉花樹は濕度及營養は十分である。只棉花畑は單に野獸及家畜等の害を防禦する爲めに、垣を作るに過ぎない。

かくて二月から收穫が始まる、一般に雨季に入る前卽三月之を終るを普通とする。

が然し、この栽培方法は重大なる不都合を伴ふ場合がある。卽河水氾濫する場合は既に播種せる畑を浚去せることあるのみならず、一季節に於て、雨季の到來遲く、且次雨季の襲來早かりし場合、其の間に於ては栽培

期間短かき爲めに棉花樹は十分に成熟せず、爲めに棉花の品質を惡くし、價格を失墜せしむることがある。故にこの棉花栽培に關しては、從來幾多の試驗的栽培を行ひ、土人に之が良成績を明示してゐる。卽五月乃至六月の頃高地の良質土壤に播種すれば、最も良好の狀態に於て結實するのであるが、彼等土人は尙彼等在來の本栽培法に固執し、之を改め樣とはしないのである。

東埔寨棉花の栽培試驗がサヴアナケ州に於て行はれたことがある。これは高地に於て向きの良い土地を選び、栽培上の手入れも十分施し、之に播種したものであるがその結果棉花は頗る良好の成育を見たのである。けれども、如斯この高地栽培法は相當栽培上の手入れ及配慮を必要とする。卽施肥、栽培樹木の營養狀態等であるが之到底土人の受入れ難き煩雜さである。にも不拘我々は飽迄土人に本栽培法を奬勵するの必要があるだらうか。卽棉花以外の纖維材料にて、何等耕作上の煩雜なる手入れも施すことなく、收穫は確たるを期し得、然して重要なる財源たり得るもの他に數種を擧げ得るにも不拘、この複雜せる土人の迎合せざる、少くとも射幸的なるを免れ得ない棉花栽培を彼等に奬勵しなければならないだらうか、これ一考を要すべきと信ずるが、余は矢張り彼等に棉花栽培を奬勵し、直ちにこの方法を實行せしむべきを至當と信ず。彼等は卽座に之を拒絕せるは明かなるも飽迄彼等の蒙を啓き、この方法に彼等を誘導すべきである。なれど全く彼等が自發的に之の方法を行ふ迄には恐らく永らくの期間を經なければならないだらう。

カポック(Kapok)　老撾に於ける顚充材料たるカポックには三種存す。

第一は1° Eriodendron Aufractuosum 老撾人の Kok Ngin Ban と稱する種類にして、彼等は之れを彼等の村落附近に栽培してゐる。此種は、良質なるが故又球果の收穫確實且極めて容易なるが爲め最も普遍的に使用されてゐるものである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

尙東埔寨から輸入されてゐる種類等も之を老撾に於て栽培する時は、頗る良き收穫を擧げ得る可能性がある。

老撾人はこれを塡充材料として蒲團・枕・敷物・其他此に類するものを造るに一様無差別に利用してゐる。價格は種子附著せるもの十二基瓦當り一弗、脫種せるもの同じく一弗五十セント見當である。因みにこの產物は比較的重要なる輸出物たり得るものである。

第二種に屬するものは Bombax Malabaricum 卽ち土語にて Kok Nga Pa といふ種族で、これは栽培されてゐない、單に野生なるも、頗るその成育範圍廣く且生產量も大である。

第三種は、球果の生產少なき Kok Ngin Pha と稱する種類なるが、本種は土人も殆んど顧みるもののなき種類である。

籐(Rotins) 老撾在來の籐はその種類頗る多い。

ステッキ、籐製家具の骨組となるもの、机・椅子・肱掛椅子其他の脚部をなすに必要なる太き籐は森林の到る處に之を發見することが出來る。價格は一米突、一セントから三セントの間である。

細籐は主として老撾人家屋の支柱を結えるに利用すると共に又同じく籠・笊・呉蓙等の製造に之を利用す、この細性のものは太性の籐の所在する箇所と同じ場處に生育するも、より以上に濕氣の場所を好む様である。價格は十二基瓦三十セント乃至五十セント見當の相場である。

籐は目下之が送付方法無き故、商業上の對象にはなつてゐないが、輸送方法さへつけば、生產量は頗る豐富なるを以て、有望且賣行範圍の廣い商品たり得る可能性を有するものである。

藺(Jonc)(Lai) 老撾には良質の藺比較的豐富に所在す。土人は主として此にて呉蓙を作つてゐるが、尙笊

類の製作にも之を利用し得る確實性を有す。泥地附近に成育す。

ローレル(Laurier)(Lui) これは印度支那全國に汎布されてゐるものなるが、殊に老撾に於てその生產量大なりとす。ヴイアンティアン州に於ては數年來、これが比較的重要なる輸出品を爲す。輸出先はすべて香港である。

これは主としてステッキ製造に利用され、然も本ステッキの價格は相當なものである。其他蝙蝠傘の柄等にも利用されその範圍は頗る廣い。

竹(Bamlono) 老撾產の竹にはあらゆる種類を網羅し、且家屋の建築材料から食用に至る迄あらゆる用途に利用されてゐる。けれども商品としては單に地方的のものに制限さる。竹の輸出を空想なりとするは誤りである、現今この利用範圍は頗る廣大なるものがある。

老撾人は竹を笊・籠又その他種々の製作材料とするが、その出來上つたものは頗る優美且見事なものがある。蓋し、この手工は彼等の獨特のものであると言得る。

八 養蠶

養蠶は老撾人に採りては主要なる家內工業となしてゐる。從つて桑樹の栽培は一般に行はれ、少くとも家族の衣類・肩掛等日用品の材料絹を得んとするものは桑樹の栽培を行つてゐる。加之或地方に於ける絹の生產はその量頗る少からざると共に之等は何れも商業上の對象として僅かではあるが認められてゐる。然して老撾の土人職工は巧妙なる交織技量を有し、色合等の調節もよくその織布は實に美麗である。

若し彼等土人が桑樹を小河邊りの沖積土上に栽培するならば桑樹は立派に發育するにも不拘、彼等土人は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

住家附近の地域に之が栽培を行つてゐる。

然して養蠶一切の世話は老撾女の仕事にして蠶卵は單に竹編製の平たい大笊中に入れ置き、蠅其他の蟲害を防ぐ爲めに布で覆つて置くに過ぎない。且蠶に對する注意は概して不十分なるにも不拘、蟲病害等は頗る稀である。尙彼等の作る繭は平均して殆んど一五—二〇基死を出でない。

繭作りは飼養笊と同樣の笊中に於て行はれ繭作り終れば之を太陽に曝露せしめ、時としては竈の上に置いて繭中の蛹を殺す。而して次に直ちに絲繰りを行ふのであるが、その方法は印度支那の他の諸國に於て行はれるものと全く同樣にして、薪を燃しその上に絲繰用鍋を置く。從つて鍋中の湯は決して溫度の一定することがない。繭を鍋中に投げ入れ攪拌しつゝ被膜を捕え、縮れを延ばし、之を小さき廻轉關木に卷く。この廻轉關木は手傳の者が動かす。如斯絲繰は至極簡單な然も何等の注意施されることなくして行はれるが故に、多くの絲の切目等に於ける接合方法も不十分にして出來上りし糸は不規則な節を有し且縒りを缺き、爲めに單に土人工業に利用さるゝに過ぎない狀態である。

於是從來の土人式養蠶法及絲繰法を改良し、我進歩した佛蘭西式方法に爲さんが爲めに、サヴアナケ州に於ては種々研究したる結果、一九一七年一養蠶所の設置を見るに至つたのである。卽、見習者をプノムペンに送り養蠶術を習得せしめ、その歸國するやその者を敎師となし、土人女十人の一組宛を養蠶所に招きて養蠶術を敎授せしむ。老撾女は一般に總明なるを以て直ちに養蠶術を覺え込み、斯くて約四十日後彼等は各自絲繰機械(無報酬貸與)精選蠶卵とを持つて歸宅するのである。故に老撾には我々佛蘭西式養蠶術に精通する幾多の女居住するにも不拘、實際我式に依るものは頗る少ないといふ現象を示す。

然らば彼等が我々の方法を實施したい理由如何といふに、唯彼等は我々の方法は繭より摘出する絲の量を

減少せしむるものとして之を排斥する。蓋し彼等土人は絲に重要なる品位を與える繭の精製作業を行はないのである。

要之現在の處、彼等の蒙を啓くことは明に困難なる實狀にあるも余は決して斯業の前途を悲觀するものに非ずしてこの努力に報ひられる日の來るべきを信ずるものである。如何といふに老撾に於ける斯業は頗る多望なるのみならず一方勞働組織の行はれてゐる地方に於ては事實上この方法の實施されつゝあるを知るが故にである。

老撾に於て栽培される桑樹は丈夫な小木にして高さ約三米突に達し、幾重にも分蘖せるが故に葉は比較的多量のものを收穫するを得。土人は河岸の氾濫が構生する沖積土上を選んで之を栽培するも、必ずしも此處に限らず、何處の土地も只手入れさへ良ければこれが栽培に適應する。土地の手入れ良好なる所に栽培さる或種の桑樹は毎年地表より苅取るにも不拘尚六、七年間保つものがある。然して老撾に於ては十二月から三月迄の乾燥期に於て尚桑樹に殘葉ある時は最大限一年に六乃至七回、時には十回の養蠶を爲し得る。

且老撾の蠶種は所謂ポリイヴォルタン(Polyvoltin)系のものにして、蠶は小さいが繭は頗る大きく平均重量五八七グレーンである。故に佛蘭西式の紡績にて一基瓦の生絲を作らんとするには約二三―二四基瓦の繭を要し尚且生絲の質に於ても最上等絹に匹敵するものを得ることが出來る。

然して老撾蠶は概して强健にして各種病害に罹されること殆んどなく、淸潔・衞生方面へ簡單なる注意を拂えば蓋しこれ等の病害はこれを根絶せしむることを得。

要之老撾は良質の絹を生產し得るも今の處何れも土人のみの需要を充たす程度の產額あるに過ぎない。されど或地方に於ける生產絹は僅かではあるが之を商品として取扱はれてゐる處がある(殆んど織物にして)。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

老撾生絲の價格は一基瓦當り八乃至十五弗の間にして、これを美服に仕立てたるものは一枚の價格二十乃至三十弗に達するのがある。

又老撾は東京產生絲を若干輸入してゐるが、東京產のものは絲の紡ぎ方良き故一般に好評の樣である。尙サラヴアーンにも一養蠶所設置されサヴアナケのそれと同等の業績を收めてゐる。

商業上より見て老撾絹は將來實に多望なるものと言得べく然も斯業遂行上重要なる要素を構成するものとを見るべきは、此地の養蠶は至極容易なること及老撾女の斯業に從事する歷史的慣習あること等である。然し乍ら現在に於ては土人の無頓著と呑氣さとが斯業の發達上過ひを爲す。

九　香料

安息香(Benjoin)

全世界を通じて消費されてゐる安息香の大部のものは之れを老撾のサムノウ(Samneua)州下に產す。每年暹羅人來りその大部分を購ひ、之を盤谷に輸送し、次で之を暹羅より佛蘭西へ輸出する。從つて佛商人は印度支那產のものを頗る高價に購つてゐるといふ譯である。

安息香は一種の芳香性樹脂にして殆んど齋墩果(エゴノキ)屬の Benjoin Dryander より採取されるものにして、この木は印度支那の北部地方殊に前記サムノウ州下に多く野生する木である。土人は斧の如きものを用ひて木に切口を作り、之を採取するも、あまりに甚しく木を傷ける時は木を枯死せしむる惧れがある。

木に切口を附するのは一般に七月の中頃からこれを行ひ、樹脂は十一月之を採取する。採取方法は至極簡單にして單に安息香樹脂の固塊を木よりむしり取るに過ぎない、產額は每年約三十噸、而してその平均價額

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は一ピクル(六十基瓦)六十弗と評價されてゐる。

白豆蔲(Cardamome)(Mak Neng)　老撾産の白豆蔲には二種存す。

一、はElettaria Cardamomumにして本種はボロヴアン高地々方に栽培さるゝものにして本地方はこれが栽培に好適す。本種は商品としてもその販路頗る廣く、價格は一ピクル、三〇弗から一三〇弗である。

二、は柬埔寨のAmomum Tomreyにして之は又老撾の到る處に野生する植物である。本種白豆蔲の收穫は八―九月之を行ふも、商品として重要なる位置を占むるが故に收穫されたる殆んどすべてのものは支那商人の購ふ處となり、彼等は之をショロンへ輸送するのである。價格は一ピクル二〇弗乃至二五弗である。

高良薑(Galanga)(Mak Kha)　本植物は生姜の種類にして是又老撾の到る處に野生す。その香氣ある根莖は漢方醫藥として殆んど使用され、時には酒の香付けに使用す。

收穫高は頗る多量に上るも商品としては未ださして重要なるものではない。一ピクル一弗五十セントより二弗見當である。

生姜(Gingembre)　高さ約一米突許りの草であるが、その根莖及莖を以て印度支那人は香料若しくは藥種として使用する。

この根莖は生の儘若しくは簡單に乾燥せしめ賣買され、支那人の非常に多く消費するものであるが、商品としては單に地方的に止まる。

シトロネラ(Le Citronnelle)　本植物は非常に生活力の旺盛な禾本科植物にして稀に栽培されあるを見るも、野生する量は頗る多く、老撾中到る處に之を見出すことが出來る。

土人のこれを消費する量亦頗る多く、某歐洲人も之を香料として使用してゐる。彼等はこのシトロネラの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

エッセンスを採取し、之れにて香水・石鹼製造の材料に供す。老撾の本植物は亦多望なりと言得るも、今の處商品としては未だ取るに足らず且又地方的のものである。

肉桂(Cannelle)(Kôk Khé)　肉桂樹は全老撾を通じ森林中に豐富に生育するも、殊にヴィアンティアーヌ・タック・サヴァナケ・トユラナンの各州を主たる產地とす。肉桂の產額は現今非常に減少し、目下全老撾を通じて恐らく十噸許りのものであらう。

肉桂はすべて支那人之を購ひ、藥劑方に使用す。價格は一ピクル二五弗乃至三〇弗である。

蕃鬱金(Galanga, Faux)(Van Hom)　且又老撾を通じ到る處に野生する草にしてその量は莫大なものである。

土人は之を傷藥若しくは皮膚病藥として使用してゐる。

十　嗜好及藥用植物其他

甘蔗(La Canne à Sucre)(Oï)　甘蔗の栽培されてゐる量は少ない。唯單に老撾人各自の要求に沿ふ程度のものにしてその栽培範圍は頗る制限されてゐる。

栽培は主としてヴィアンティアーヌ及サヴァナケ州下に行はれ、尙此等の地方にては不十分ながら粗糖を造つてゐるが、これは歐人がジャム製造に使用してゐるのである。

栽培されてゐる甘蔗はその步留り非常に高率である。故に後日砂糖に對する需要旺なる場合に於てはこの甘蔗の栽培は非常なる勢を以て汎がる可能性がある。

尙支那人は種々の食料品製造上砂糖の必要あるを以て、殘部はすべて支那人之を購ふ。要之目下の處商品

としては見るべきものがない。

砂糖椰子(Le palmier à Sucre)(Kok Ton)砂糖椰子はサヴァナケ州下に多く生育し、頗る立派なものであるが土人としては本植物の栽培に從事するもの無し。

收穫方法は柬埔寨にて行はれてゐるものと同種にして、開花し始めるや直ちに花軸を截斷し、樹の組織を破壞しその液を採るのである。木の截口に水を滿たせる竹筒を置き、次で傷口を新しく傷けると共に液汁を收受する空の竹筒を取附け、以て多量の液汁を採取するのである。

ある種の土人はこの液汁を以て彼等の日常愛飲する酒を作る。この液は急速に醱酵するものなるを以て砂糖を作るには簡單に液汁を煮沸せしめて作るのであるが、これは冷却後凝結して砂糖を作るのである。

この砂糖椰子は高さ凡そ二十米突許りに達する樹木にして、低地老撾地方に生育してゐる。

煙草(Tabac)　老撾人は實に慢性の喫煙者にして、その愛喫する樣は全く痼疾的である。故に煙草の栽培は頗る廣く且盛んに行はれてゐるが、その栽培密度は地方によりて多種多樣である。然して彼等家族內での需要を充たす程度に栽培し居ることは他と同じ。

煙草は主としてメーコン及其他の大河岸邊に栽培され、殊にヴイアンテイアーヌ・タツケ・サヴアナケ・バクセ・サラヴアヌ各州は少からざる生產を擧げてゐる。然しメーコン河岸栽培のものは頗る尊重されてゐる。且老撾人は煙草を沖積土を選んで專ら栽培する、この沖積土は植物の生長期間中十分必要とするだけの濕氣を蓄えてゐるからであるが、この點に於てはメーコン河中の小島は殊に惠まれてゐるものと見ることが出來る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

開花し始めるや否や葉に力づける爲めに樹頭を剪切ると共に無駄芽摘み等も行はれ、葉の黄色ばみ始める頃收穫が始まるのである。

收穫したる葉は竹に刺し、日陰に懸垂して乾燥せしむるのであるが、多くは家屋内にて乾燥す。乾燥仕切るを待つて葉十枚位宛を螺旋狀に卷きて陽乾す。斯する時は六、七日間の中に煙草は一種の醱酵作用を受くるのである。次で之を細かく刻み三、四日間尙太陽に曝露せしむ。

以上の作業終れば直ちに煙草として各自の需要に應ずるのである。而して之を竹籠に入れ商品と成す。各籠は刻煙草十二基瓦宛を收容し、價格は二弗五十セント乃至三弗五十セントの間である。

老撾に於ける多量の煙草收穫は之を期する事困難なりとするも、兎に角斯業も見捨てることの出來ぬ事業の一つなりと言得ることが出來る。

生產される煙草の若干は東埔寨竝に交趾支那へ輸送されてゐるが、メーコンの左岸より輸出される煙草の量は實際よりもずつと少く見積りて七、八百噸は確かであると言はれてゐる。

河内煙草工場支配人の意見の下に雨季を通じサヴアナケ州に於て煙草栽培試驗が試みられた。それは一九二四年五月に播種し、六月の終りに之が移植を行ひしが、この煙草收穫は頗る良好なる成績を收めたのである。卽植物の高さは二米突五十に達し、長さ〇米突六十からある葉を收穫することが出來た、以て老撾に於ける煙草栽培は殆んど萬全を期し得られるものと見て差支えないであらう。又販路も確實なるを以て本產物は資本を注入せばするだけの利益を擧げ得る可能性がある。されど土人の作る煙草は歐洲人には不向きなるを以て、適當なる煙草を作らんとするにはどうしてもその生產場所へ出張するの必要があると共に、一方若し確實なる金錢上の利益あることを彼等土人に知らしむるならば、彼等土人は爭つて之を栽培し、その栽培

區域は何等躊躇されることなく增大するに至るべきことは明かである。

薬用植物　老撾人は數多の草木を藥用に供してゐるが此等植物の大部は植物學的に未だ名の知られてゐないものにして且その效能も種々論議される處である。

且それは一般に何れも煎藥・水藥、若しくは乾燥せしめ、これを搗き碎き藥劑とするが、兎に角醫藥上の見地よりすれば、興味ある問題なりとするも、商業上より見れば何等この藥用植物に就ては興味なきものなりと言得べきである。

十一　畜産其他

この畜産も又老撾の富の中最も重要なるものゝ一部を存す。

各種の畜産最も豐富なる州はサヴアナケ、タツケ、サラヴアーン及パクセであるが此等の畜産は後日異常なる發達を遂ぐる可能性を有するも、右以外の各州は今の處接近すること困難なるを以て斯業發達の如きも全く不可能事とされてゐる。

老撾人は全く牧畜等に就ては沒交渉の頭を有するもこれが收益を齎すことは確かなりと斷言し得るものである。老撾に於ける家畜は只勝手に生れ、繁殖し、死すといふだけでその間何等特に牧畜業上の手入れと施すことなく、全くのやり放しの狀態である。爲めに牛の如きも決して家畜小屋に居ることなく、所有者もそのまゝ放牧を爲すを以て、一度之を捕獲するが如き場合には事實上狩獵を爲すの餘儀なき場合屢起るのである。

如斯有樣なるを以て土人達は現在牧畜業としては家畜の貨貸位を實際に於て最も大切なるものと看做し、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

牧畜業の眞意、利益を全く知らないのである。然るに家畜增加率は莫大なるが故に、殊に合理的の畜産法、又系統的な獸醫學業も必要であるが、彼等が今少し牧畜の爲めに僅かの努力を惜しまなかつたならば斯業の發達は實に目覺しいもの丶あることは確實である。殊に雨季の牧畜は有望にして森材中には羊の非常に好む一種の草叢生し、彼等に採つては缺くべからざる食糧を爲してゐるのである。然れ共三月から五月に掛けてはこれが乾燥し火災頻々として起り草木のすべてを奪ふことがある。又其他の高原に於ても同期中は水の缺乏を告ぐること頻繁なるが故に若し大牧畜業を起さんとするならば必ず如何なることありても涸喝の惧なき大河附近に於て之を爲すの必要がある。然るに河川は老撾に普く所在するのみならず牧畜に好適する地域範圍も亦頗る廣汎に亙つているが故に斯業の前途は實に赫々たるものがあるのである。

老撾牛は野營すること前述の通りであるが、その肉は概して良質にして一頭の目方平均二〇〇乃至二五〇基瓦、價格は一二弗一五セントから十六弗前後である、病氣としては風土病的の鵞口瘡性熱病及牛ペストがある。前者は輕微なるものにして唯老いたるものが斃死するのみ、且斯病は殆んど毎年起る樣であるがこれも僅かな範圍に限られてゐる。反之後者は恐怖すべき損害を釀す病氣である。このペストは急速に蔓延する恐ろしいものであるが幸ひにも此處永くの間は斯病の勃發に遭遇しない樣である。

然して老撾人は全く之等の病害に對しては無關心なるを以て此等傳染病に對して種々對策を講ずることはこ丶暫くの間全く不可能なりと言得らる。

老撾家畜に對して開かれてゐる販路は三、卽東埔寨及交趾支那・暹羅・安南の三販路を有するもその中暹羅は老撾の斯業に採りては最も收益の多い販路にして、本市場は同國人によつて取扱はれてゐるが勞苦・障碍の如きも極く少く、殆んど完全に安全狀態の下に取引されてゐる。次に安南方面を見るにこの方面は北部安南

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を除けば羊に對する需要は頗る少ないが、他ののあらゆる種類の家畜が多量に毎年ナペ(Nape)を經て送付される。

然して又中央老撾より東京及北部安南方面への家畜補充も頗る有望である。要之老撾人をしてこの牧畜をして彼等の主たる富源の一部たらしめ、以てその利益の莫大なるを知らしむる樣に薫陶することが目下の急務である。

●豚(Porcs)　豚は特に安南に對して商業上頗る活氣ある產物を爲す。安南人は仔豚を購ひに來り、それを安南に於て高價に又賣する。卽老撾に於て仔豚一頭當り四十セントにて購ひ安南にて之を二弗に賣却するのであるがこの老撾產の豚は概して印度支那を通じて飼養されてゐるものと種類を同じくするも北部地方產のものは南部產のものに比し、ずつと脊高く且よく肥えてゐる。

●羊(Monton)　試驗によれば、羊は直ちに老撾の風土に順馴する樣である。シャンクーアン(Xieng-Khouang)は昔より盛に羊の飼養されてゐる處であるが羊毛製造の爲め種類の改良に主力を沿ひでゐる。又タッケに於ては雲南種の羊が立派に飼育され、サヴアナケに於てもケランタン種の各種を飼つてゐるが是又何等困難なる條件を伴ふことなく、何れも壯健、雨季に際しても何等の害を受けない。且體は小なるも肉は非常に良質である。

老撾に於ける畜產は商業上重要なる對象物たることは既述の通りであるが、今若し交通路完成せる曉には本商業は異常なる發達を遂げ得ることは誰しも否定し得ることの出來ない事實である。又此等畜產の副產物中第一に推すべきものは獸皮及骨角類にして、老撾人は性質狩獵の民なる上その到る處に鹿・野豚・牛・水牛等幾多の獲物豊富なるを以て、彼等の使用する獵具は全く不完全なるにも不拘、あらゆる種類の動物を網又

は手取にしてこれを捕獲する。然もその量は非常に多いのである。

而して彼等の皮革製造方法も全く不完全なるものにして、只剝皮したるものを一度竹を以て擴げ太陽に晒し乾燥せしむるに過ぎない。

從つて粗に剝皮せるものは、後日腐敗し蟲がつく。又一度乾かしたものは賣れる迄これを疊みて家屋の隅に積重ねて置くが故にこれも永らくその儘にするならば中途にて蟲がつき、歐洲人皮革商側に於ける利用困難となる。

支那人は、あらゆる獸皮を買取りショロン或はコラットへ向け輸送するが、彼等の毎年西貢及暹羅向輸出の皮革數量は、水牛及牛皮約二百噸に達してゐる。

又鹿の皮革賣買も同樣の狀態に於て行はれてゐる。

●角類● 毎年老撾より暹羅へ向け送られる各種角類は六十噸許りあるも、就中、牛角は最も重んせられ十二基瓦、四弗五十セントである。

水牛の角は、十二基瓦當り一弗から一弗二十セント、野牛は、七弗から十弗である。

然して牡鹿の柔かい角は、漢方醫藥方に於て使用される處より重視され、一對五〇弗から百弗迄に到達してゐる。

●骨類● 獸骨は、また暹羅方面に於て商業上重要なる對象物をなし、其數量は毎年約二百噸、價格は、一ピクル當り十乃至十二ピアストルである。就中虎骨は醫藥に利用される處より價格は素晴しき高價を呼ぶ。

●鱗類● 穿山甲の一種である或動物の鱗は頗る高價なるも商業上の對象物としては制限されてゐる。その他老撾は甲殼類動物の全く棲息してゐない處であるが。龜は非常に澤山居るが此の甲羅は、殆んど用途なし。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

蜂蜜―蜜蠟　老撾人は所謂養蜂は之を行つてゐない。然し彼等はこの蜜及蠟を好み、これを珍重する様は非常なものである。

　野生の群生蜜蜂は高木の密生する地方を撰びその上部に占據す。而してこの群蜂は全老撾を通じ饒多に生息してゐるのである。土人はこの蜜を盛んに採取しこれを利用す。蜜は暗灰色にして頗る美味、採取量は概して多く蠟はその幾らかを輸出してゐる位であるが、價格は一基瓦約一弗五十セントの相場である。而して蜜は一立三十セント乃至五十セントにて賣買さる。

　又老撾にはクマバチの一種(土人は之をMimと稱す)生息し、この蜂は蜜及蠟を多量に齎す。然してこの蜂は人を刺さないので土人はこの蜜巣を發見すれば直ちに何等懸念することなく蜜を採取し得るのである。

十二　老撾の大富源森林

老撾森林はその地面の五分の三を占め、人々はこの叢林を密林及クレイリエール(Clairière)と普通呼ばれてゐる淺林とに區別してゐる、後者森林はヴイアンテイアン州下の南部に於てのみ之を見る所のものである。密林は概して河岸に沿ひて地表を蔽ひ、その範圍は實に廣汎に亘るも、處々に孤立せる叢林を取づくつてゐる。こは毎年土人が缺かさず行ふ燒林の結果の遺物である。

クレイリエール森林には、殆んど脂性木材は之を包容せざるも、尙非常に立派な樹木生育す。樹木の繁殖度は頗る稀弱であるが、若し、毎年若木が燒林のために燒失することなかりせば樹木は急速に繁殖することは疑ひの余地がない。

　老撾森林中には、あらゆる種類の樹木を包藏し、且その大部分は樹質不確定なるも頗る良質のものなるこ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

とは明かである。

然るに殆んどすべての硬木は之を筏として流すことが不可能なる故、メーコン河沿岸森林の伐材は不可能であると共に尙一方に於てメーコンの河水は乾燥期に於て水量頗る少く、增水期に於ては幾多の早瀨出現して筏流しを全く不可能ならしむる。

唯上メーコン河地方及バックレイ地方に暹羅側の森林に於けるチーク材の筏材のみが可能である。

要之この森林は實に老撾人に採りては大切な養母なりと言得べく、饑饉の場合等にもこの森林は殆んど永續的に彼等の需要を充たすものも包藏す、卽此處は殆んど無盡藏にあらゆる種類の獲物がある。

從つて彼等の中一度この生活に入りたるものはこれが爲めに、粗暴となり、その享樂性を失ふに至る位である。

されど此地方に於ける山林局設立は未だ前途頗る遼遠なりと言はなければならない。今若しこれが設立を見るとしても、成程それは便宜ではあるが唯便宜なりといふに止まり、仕事としては木材目錄を作る位が岡の山で所謂山林局としての仕事としては現狀では仲々困難なるものがある。從つて老撾森林は只將來に於ける保留物として考へるより他に道がない。それだけ老撾森林地帶は未開であり且大富源を包有す。

最上の木材としてその重要なるものを擧ぐれば次の如きものである。

Le Mai Khen (安南語にて Sao といふ)　本樹は老撾中到る處に生育するも殊にタック州下に豐富にして、用途は建築材料・木細工材料として獨占的に使用され、價格は皮附丸太一米突立方當り十ピアストル乃至十五ピアストルである。

Le Mai Du (安南語 Giang Huong)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

この木は赤色の頗る美しい木にして木理頗る立派なるも又非常に固く作業上困難なりと見られる。本樹も老撾の殆んど到る處に生育し土人は之を家屋の柱材・家具・室内装飾品等に利用してゐる、價格は一立方米突當り一二―一八ピアストルである。

Mai-Kha-Nhung (Deng 或 Dam) 木理の色により赤色或は黑色をなし、且い非常に美しい木である。土人はこれを種々の用具に利用してゐるが、非常な硬木なるが故に是又作業上困難である。

用途は、柱材・彫刻木材・家具・室内装飾品材等にして價格は一八―二〇ピアストルの間である。

Mai Deng (安南話 Can-Xé) 薔薇色の頗る美しい木なるも是亦固くて作業上困難であり。これも老撾中廣汎に生育してゐる。用途は Mai Du と同樣。價格は一二―一五ピアストル。

Mai Nhom (桃花心木に類似せる木) 美麗な、柔らかい然も輕い木で色は暗桃色を爲す。本樹木も土人家屋内の家具としてあらゆるものに利用され、又シガー入箱にも利用されてゐる、この木は殊に、ヴィアンテイアーヌ・タツケ州下に多く產し、價格は、一六―一八ピアストルの相場である。

Mai Puei (Cang Lang) この木も全老撾を通じて汎布されてゐるが繁殖力又頗る盛である。柔かく、色は灰色をなし、屈曲し易い木にして、火にかざせば容易に屈曲せる。用途は家具・車等の製造に利用されてゐるが、戰時中は銃尾の製造にも利用されてゐたことがある。

Mai Nlang (Bay Dau) これも中々立派な木で高さは三十乃至五十米突に達し、根元に於て直徑一米突五〇から二米突位ある木である。この木より採取される油は土人の珍重するものであるが又この木も室内装飾用家具としての利用多く、價格は十弗から十二弗である。

要之老撾森林の富源は實に偉大なるものにして殊にトュラナン州の如きは松・落葉松・樅・栗其他あらゆる

種類の樹木豊富に繁殖するも、殘念ながら此の樹木を一々列擧することは現在の處不可能とされてゐる。從つてそれだけ此地方の樹林に就てはなすべき仕事の大なるものがある譯である。

十三 鑛　產

最近數年來、老撾に於て採掘を見たる鑛脈はその數頗る多く、且又人々は老撾は幾多の鑛脈を包藏するものと信じてゐる。それ即ち老撾を鑛業上より見たる實情なるも、鑛山の採掘はよく眞面目にその收獲を確かめたる後鑛脈を掘り當てるに非れば少しく射幸的であるのみならず、此地には又鑛物の運送上容易に解決し難き難問題所在するを以て、それだけ老撾の鑛業に就ては愼重なる態度が必要である。

錫採鑛を目的とする有力なる一會社がバンタクア(Ban Ta Kua)に設立されたが、同處はタツケ州下のハンブウン(Hin Boun)附近なるも、今若し本會社にて採掘される鑛物が都合よく捌けるならば本會社の前途は實に素晴らしいものと言得らる。因みに本鑛山は多數の沖積土より成るも眞實山狀を形造り、尙本會社工場は一日七、八百噸の採鑛能力ある機械裝置を具備するものである。然し、現在に於ける採鑛は六十噸位にして、粗鑛はこれを精製せんが爲めに新嘉坡へ送らる。此處には精製上の特殊工場所在するが故にである。尙この粗鑛中の純金屬の含有量は六五%と言はれてゐる。

其他鑛業上有望なる鑛物としては次の如きものが注目されてゐる。即ち銅・錫・鉛・金なるもその中特に金は最も重要視されてゐるものである。

リユアンプラバンからアトポウにかけてのメーコン河沿岸沖積土のすべては之の金を含有し、殊にアトポウ地方には昔時採掘を見たる二三の金鑛所在するも、其後中止されてゐる處である。然し住民は其後も尙採

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

掘を續けてゐる。

サヴアナケ・タッケ・ヴイアンテイアンの諸州に於ける住民は、各河流に於て沖積土を洗滌し、砂金を採取してゐる。

次に鐵鑛はリユアンプラバン及トユラナン州下に所在し特に後者地方は豐富である。又石炭はリユアンプラバン及ヴイアンテイアン地方、銅はサヴアナケ・サラヴアン・ナムバ(Nam Bac)盆地及ナムフウ(Nam Hou)の流域地方が有名である。

如上の如きを以て老撾は將來鑛業上思ひがけない利益を擧げ得ることを豫期することが出來るのである。尙現今眞面目な踏査者の老撾探險が企圖され居るを以て近く彼等の努力に報ゆるものあるべきことは疑ひの餘地がない。

次に石灰石は老撾の到る處に之を見受けられるが殊にタッケ州下は之が生產豐富なる所にして、この地方の石灰はナムバン州下のタンホア及アロン灣岸產のものと匹敵し得る石灰系統に屬す。土人はこれにより盛んに生石灰を作り老撾を通じての建築材料としてゐる。

石膏(Gype)　石膏脈はタッケ及サヴアナケ州下に所在し、然もこれ等の鑛脈は頗るその量豐富なると共に將來非常に有望なるものである。從つてセメント製造は何等の支障なく目下盛んに行はれてゐる。

硝石(Salpêtre)　老撾を通じてすべての洞窟といふ洞窟殊に石灰石の採れる地方に於けるものはこの硝石の含有量非常に豐富である。土人は之れに依つて煙火・小銃用火藥等の製造に利用してゐる。

(終り)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

島情

臺灣金融統計（大正十四年十月）

財務局金融課

□種類別島內各銀行預金貸出金殘高

大正十四年十月末島內各銀行預金貸出金殘高左の如し

種類	金額	種類	金額
公金預金	四、六九八、九六五円	預金手形	二、七〇五、九〇三円
當座預金	一二、六八三、四九六	日本銀行預金	四、六四二、〇九一
特別當座預金	四一、二五一、三九八	貯蓄預金	四、七四五、三三九
通知預金	二、〇二七、二七八	合計	一〇八、九〇三、九二一
定期預金	三二、三四五、七六六	前月	一〇七、六〇三、五六七
別段預金	四、八〇三、六九五	前年同月	八九、八四四、三三三

備考 日本勸業銀行貸付ニハ臺灣銀行取扱ノ代理貸付ヲ含ム

種類	金額	種類	金額
證書貸付	六七、七四六、四七二円	買入外國爲替	三、一〇四、五三九円
手形貸付	四六、九九九、九〇六	日本勸業銀行貸付	四一、九七三、五五五
當座貸越	三、〇五九、一四八	貯蓄銀計貸付	一、八五六、四六二
割引手形	一〇二、一五六、八九六	合計	二七一、二七四、三五八
荷付爲替手形	三、一二五、一六二	前月	二六九、四二六、九二五
利付爲替手形	一、二六二、二一八	前年同月	二六八、一一三、八〇八

□地方別島內各銀行預金貸出金殘高

州廳別	預金	貸出金
臺北州	五四,三四六,九五〇円	一七五,五六〇,八七五円
新竹州	六,五五〇,一〇五	一九,一八五,〇五〇
臺中州	一三,一九三,〇六一	二七,三〇三,四七四
臺南州	一六,六三一,〇八三	三一,一〇五,〇九五
高雄州	六,六一八,一七一円	一四,七二四,四七五円
臺東廳	四二三,七〇八	二,四五九,一四三
花蓮港廳	一,〇五一,八四六	一,〇三七,二四八
合計	一〇八,九〇三,九二一	二七一,一七四,三五八

□銀行別重要物産放資殘高 (單位圓)

銀行名	大正十四年十月末 金額	大正十四年十月末 千分比	前月末 金額	前月末 千分比	前年同月末 金額	前年同月末 千分比
臺灣銀行	四五七,六一八,六五〇	七五一	四三六,一一一,三三三	七四〇	五一一,三四〇,一一四	七六一
商工銀行	五五,五四九,五七〇	九〇	三八,四三三,四〇五	六五	四七,三二一,四三〇	七〇
華南銀行	四一,二八五,〇九七	六七	七四,八三〇,〇〇二	一二七	五七,七七〇,〇三三	八五
彰化銀行	三〇,〇九〇,七六一	四九	一七,三九八,八二八	二九	一八,五五三,二八四	二八
三十四銀行	二七,八六〇,六二一	四四	二二,九二二,四三七	三九	三〇,三一一,九七五	四六
合計	六一三,三四九,六八九	一,〇〇〇	五八九,九六九,九〇五	一,〇〇〇	六七一,二四九,七三六	一,〇〇〇

□重要物産別放資殘高 (單位圓)

品名	大正十四年十月末 金額	大正十四年十月末 千分比	前月末 金額	前月末 千分比	前年同月末 金額	前年同月末 千分比
砂糖	三八六,六五六,四三七	六二一	三一〇,六七一,六六一	五三七	三五七,一五〇,八七四	五三六
米	一二三,五〇三,六三〇	一九八	一七七,三八一,三一一	三〇一	一八二,三九二,〇三三	二七一
茶	三四,九二一,七四八	五五	二七,八一〇,〇九九	四七	三三,三四九,〇一一	五〇
樟腦	一三,五六〇,六二四	二二	一二,三一一,四九一	二一	一四,一八一,一三七	二二

金塊	三八六,五九三	六	三六三,二九二	六	四一四,四八一	六
酒精	三四七,一八五	五	三七四,九七九	六	三三六,六四二	六
石炭	六,五〇二,四七二	一〇三	五,四二八,〇七〇	九二	七,六八八,一七八	一一四
合計	六三,二四九,六八九	一,〇〇〇	五八,九六九,九〇五	一,〇〇〇	六七,一四九,七三六	一,〇〇〇

□銀行別重要物産放資總額及累計 （單位圓）

銀行名	大正十四年十月中	前月中	前年同月中	大正十四年十月迄累計	前年十月迄累計
臺銀	一五,二〇五,二〇三	一六,一五〇,〇三二	一三,八二三,七〇三	一九七,〇三三,八二七	一八九,二二七,二八七
商工	一,九〇五,二二〇	五,八八一,六八三	一,四五四,一二三	二四,〇八二,一二六	一六,七二一,四三六
華南	三,八二一,六七九	五,三五六,三四三	四,八八〇,六八一	六二,三六七,一一三	五五,六〇二,七一三
彰化	六八一,〇五七	三,〇一九,七二五	一,七七六,一一七	三三,〇七三,四九〇	一三,四三九,二〇七
三十四	二,五二一,七九一	二,一〇五,一四九	二,二七〇,四七四	二六,〇〇五,一五六	二一,七〇二,三四五
合計	二四,一三四,九五〇	三二,五一二,九三二	二四,二〇五,〇九八	三四二,五六一,七一二	二九六,六九二,九八八

□重要物産別銀行放資總額及累計 （單位圓）

品名	大正十四年十月中	前月中	前年同月中	大正十四年十月迄累計	前年十月迄累計
砂糖	一〇,七五一,一七八	一四,六三五,四二二	八,三九六,五三三	一五〇,八一〇,〇四九	一三九,〇九二,七四三
米	九,六四〇,一九五	一一,八〇〇,二九〇	一〇,九二六,四〇二	一二六,三八二,六二八	一〇五,八四一,〇八〇
茶	一,二七一,七四〇	二,〇五七,三八九	一,〇二八,九〇一	一二,八七四,七六九	一四,六〇七,一〇七
樟腦	一三八,五八二	八四六,七七二	二二〇,六一六	五,五九六,七二七	四,八一七,〇二七
金塊	三八一,七九六	一三八,七二〇	三三〇,七九七	二,六八六,六九二	三,三五一,九六二
酒精	三三五,九六〇	二八七,〇二九	二五八,六九二	二,七四二,〇八一	三,一四一,〇八一
石炭	一,七〇五,四八九	二,七九七,二三〇	二,〇三三,一五六	二一,五〇八,七六五	二五,八四一,九六八

合計	二四、二二四、九四〇	三三、五二二、九二三	二四、二〇五、〇九七	三三、二五六、一七二	二九六、六九二、九八八

□市街地信用組合事業一覽表（大正十四年十一月末日現在）

（資産）

州廳別＼種別	組合數	組合員數	出資口數	未拂込出資金	貸付金	土地建物什器	有價證券	預金	假拂金	手形割引	其他	現金	計
臺北	九	五、三四一	四六、三八五	一〇三、六五〇円	四、九六四、八一四円	一〇五、八五九円	六八〇、〇七三円	一、六〇九、〇九七円	七、二〇三円	一六五、三四八円	—円	五六、二七〇円	七、六九二、四一八円
新竹	一	六三七	六、九四一	九、〇三七	六二一、七八〇	一四一、六三一	九七七	四五八、八七七	一、一〇七	—	一九、八三一	三〇、六四四	一、一二八、八三九
臺中	二	一、一三三	五、四一九	二、二五三	六六七、五九六	一七、七五九	一、一七二	三九三、〇三六	九、八三四	—	一七、三〇四	七、八六〇	一、一二六、八一六
臺南	五	二、五二三	一四、〇六四	一〇一、三二八	一、七五九、五三七	六一、三七五	八九、一四七	四六三、三〇七	八、七一〇	一八〇、八三二	四一、三七五	二三、六六四	二、七一八、二六九
高雄	一	三六一	一、一七〇	五〇〇	二九七、二四六	三三、六七八	二二五	二八、三一七	—	—	一〇、五一三	三〇三	三六九、七八四
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	一	一九七	四、六五〇	—	二八七、二六七	九九八	—	二六、一八一	四〇六	三二、六九八	—	一、三六九	三四九、一八九
合計	一九	一〇、〇八〇	七八、六六七	二一六、七六八	八、五六八、二四一	三三一、八三三	七七一、五九六	二、九七八、八一七	二七、二六一	三七九、一四八	八九、〇二五	八一、六三三	一三、三六五、三三七
前月末合計	一九	一〇、〇四四	七八、六九九	二三三、〇四四	八、三五九、九〇七	三二〇、〇四五	七七二、九六六	三、四二三、一三四	三〇、七八四	三五七、一七一	八九、二七五	八三、六六一	一三、五九〇、九九〇
増△ハ減	—	三六	△三二	△一六、二七六	二〇八、三三四	一一、七八八	△一、三七〇	△四四四、三一七	△三、五二三	二一、九七七	△二五〇	△二、〇二八	△二二五、六五三

（負債）

州廳別＼種別	出資金	貯金	準備金	各種積立金	未拂配當金	借入金	假受入金	其他	剩餘金	計
臺北	一、五六五、八〇〇円	五、〇二六、五三三円	五一四、二四一円	一七六、五八〇円	九、四〇五円	七三、九一三円	四、八〇六円	八、六三五円	三一三、七二二円	七、六九二、四一八円
新竹	一七三、五一五	七五八、五五一	九八、〇七九	三八、八五一	三二七	—	五、一一三	一、八三九	四三、六四二	一、一二八、八三九
臺中	二七〇、九五〇	六一七、四九五	九四、九二二	五三、二四七	二、七六六	—	一三、二一〇	—	六四、二三四	一、一二六、八一六

臺南	七〇三,一〇〇	一,五一四,二八二	三三八,四一二	三三,〇四八	二,七四九	三三,四一二	四九,二一八	三〇,四〇七	一二四,五四六	二,七一八,二八九
高雄	五八,五〇〇	二四二,一三四	四七,二九〇	一三三	—	一六,〇〇〇	—	—	五,六七六	三六九,七八四
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	九三,〇〇〇	一六四,四九一	三五,三三〇	一五,九一三	—	二〇,〇〇〇	二,三七二	—	一八,一九二	三四九,一八九
合計	二,八六四,九七五	八,三三三,三六八	一,〇一八,一一七	三一七,八六五	一五,一四九	一四一,三二六	七四,七三八	四〇,八八二	五六九,〇〇三	一三,三六五,三三七
前月末合計	二,八六八,二一〇	八,六六九,七七五	一,〇一七,四七六	三一七,九五九	一五,八八八	九六,九三三	五九,六七三	三五,九二九	五三九,一八四	一三,五九〇,九九〇
△ハ減	△三,二三五	△三三六,四〇七	六四〇	△九四	△七三九	四四,三九二	一五,〇六五	四,九五三	二九,八二六	△二二五,六五三

（貯金內譯）

種別／州廳別	貯金內譯 組合員貯金 円	貯金內譯 第一條第三項貯金 円	貯金內譯 第一條第四項貯金 円	貯金內譯 加入豫約者貯金 円	計 円	貸付金利率 最高 銭厘	貸付金利率 最低 銭厘	貯金利率 最高 銭厘	貯金利率 最低 銭厘	借入金利率 最高 銭厘	借入金利率 最低 銭厘	手形割引步合 最高 銭厘	手形割引步合 最低 銭厘
臺北	一,五六八,二九〇	二,〇五六,五八一	一,三八一,四四〇	—	五,〇〇六,三一一	四五	二〇	二八	八	三五	一八	四一	三三
新竹	三〇三,三五三	三二八,四八八	一二六,七一〇	—	七五八,五五一	三五	三五	二一	八	—	—	—	—
臺中	一五四,三七三	四〇〇,四〇一	六二,七二〇	—	六一七,四九五	三九	三三	三〇	三三	—	—	—	—
臺南	七一二,三八五	六四二,九九六	一五八,八九九	—	一,五一四,二八二	五〇	二八	二五	九	二八	二六	二八	三四
高雄	一一九,五八五	七四,三四三	四八,二〇六	—	二四二,一三四	四八	二八	二五	二〇	三五	二六	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	九五,二九六	二一,四六二	四七,七三三	—	一六四,四九一	三七	三五	三三	一八	二六	二四	三七	三七
合計	二,九七三,二八五	三,五二四,二七二	一,八二五,七一二	—	八,三三三,三六八	五〇	二〇	三〇	八	三五	一八	四一	三三
前月末合計	三,〇五三,〇六四	三,六七六,二〇〇	一,九二一,四七〇	—	八,六六九,七三五	五〇	二〇	二八	八	三五	一八	四一	三三
△ハ減	△七八,七七九	△一五一,九二八	△八五,七五九	—	△三三六,四六七	—	—	二	—	—	—	—	—

□島內各銀行內外爲替取組高表

（大正十四年十月中）（單位圓）

摘要	收入 島内 口數	收入 島内 金額	收入 内地 口數	收入 内地 金額	收入 外國 口數	收入 外國 金額	支出 島内 口數	支出 島内 金額	支出 内地 口數	支出 内地 金額	支出 外國 口數	支出 外國 金額	收支(△)超過 島内	收支(△)超過 内地	收支(△)超過 外國
送金爲替	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
割引手形	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	―	―	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
荷付爲替手形	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
買入外國爲替	―	―	―	―	[illegible]	[illegible]	―	―	―	―	[illegible]	[illegible]	―	△―	[illegible]
利付爲替手形	―	―	―	―	[illegible]	[illegible]	―	―	―	―	[illegible]	[illegible]	―	△―	[illegible]
代金取立	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
前月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
前年同月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
本年本月累計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
前年同月累計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

□手形交換高表（大正十四年十一月分）

所在地	手形枚數	交換金額	交換差額	交換枚數一枚ニ對スル平均金額
基隆	五,七九一枚	二,二一六,四八八円	五一五,六九五円	三八二円
臺北	二三,六九八	一二,一六六,七一六	三,五二三,六一五	五一三
臺中	二,二三三	二,一五三,九五五	九二七,〇五四	九六四
臺南	一三,五五三	三,二八三,二六三	九一三,七六五	二四二
高雄	三,五一四枚	一,二四九,四一七円	四九二,一二九円	三五五円
計	四八,七八九	二一,〇六九,八三九	六,三七二,二五八	四三二
前月	四四,一四六	一九,九五九,五〇五	七,一五六,七一八	四五二
前年同月	四五,七四二	一九,四九七,二〇八	六,六八一,二二四	四二六

□通貨在高（單位圓）（大正十四年十月末）

區分	正貨 金貨	補助貨 銀貨	補助貨 白銅貨	補助貨 青銅貨	補助貨 計	銀行券 臺灣銀行券	銀行券 日本銀行券	銀行券 計	合計
本月末	七七,六三〇	二,八〇三,〇二一	五錢一,〇〇八,〇二五 十錢二,四八〇,〇〇〇	七三五,四六一	七,〇一六,五〇七	四八,九三二,〇八一	四四三,八二六	四九,三七五,九〇七	五六,三九二,四一四
前月末	七七,六三〇	二,五〇三,〇二一	五錢一,〇〇八,〇二五 十錢二,一三〇,〇〇〇	七三五,四六一	六,三七六,五〇七	四九,三三三,九二二	四三〇,七七八	四九,七六四,七〇〇	五六,一四八,八〇七
前年同月末	七七,六三〇	二,四一四,〇二一	五錢一,〇三五,五二五 十錢二,〇一〇,〇〇〇	七三四,三二一	六,一九三,八五七	四七,一二八,九三一 三七,八五三,九四四	四二八,七五九 四二七,六七八	四七,五五七,六九〇 三八	五三,八二九,一七七

備考 一、通貨在高ニハ臺灣銀行券ノ兌換準備ニ充テタル分ヲ除ク
一、通貨在高ニハ各銀行所有ノ分ト銀行外各人所有ノ分トヲ合算ス但銀行外各人所有ノ分ハ大正三年五月末ノ推定高ニ依ル

□臺灣銀行券發行高及準備高　（單位圓）（大正十四年十月末）

區分	發行高	正貨準備 金貨及金地金	正貨準備 銀地金	保證準備 諸公債	保證準備 商業手形
本月末	四八,九三二,〇八一	一四,九二六,六四六	六,四〇八,九一三	—	二七,五九六,五二三
前月末	四九,三三三,九二二	一四,九二六,六四六	六,一七〇,六九四	—	二八,二三六,五八二
前年同月末	四一,九三四,〇八九	一一,一七三,四六四	五,五九三,五二〇	—	二五,一六七,一〇五

□臺北物價指數表　（大正十四年十一月末）

品目	本月	前月	前年同月
白米	(+)二六七,四四	二六四,五三	二九六,五一
玄米	(+)二一四,〇三	二一三,一五	二一五,七九
清酒	三二一,四二	三二一,四二	三四二,八六
麥酒	一六四,〇〇	一六四,〇〇	一六四,〇〇
紅酒	三三三,三三	三三三,三三	三三三,三三
澤庵漬	(−)一七九,四八	一八五,一八	二八四,九〇
小麥粉	(+)一八三,〇二	一七九,二四	一九六,一三
砂糖	(+)一四三,四八	一四〇,九六	一六〇,八五
鰹節	二八〇,五四	二八〇,五四	三〇九,〇九
味噌	(−)一六一,五四	一六三,〇七	一六一,五四

醬油	一七〇、四五	一七〇、四五	二〇〇、〇〇
鴨卵	二六一、四三	二六一、四三	二三七、一四
火油	一七六、九二	一七六、九二	一五八、九七
鹽	一四〇、九一	一四〇、九一	一四〇、九一
煙草	(+)一八〇、〇〇	一五〇、〇〇	一五〇、〇〇
烏龍茶	七七、七九	七七、七九	七四、〇〇
包種茶	一三七、九三	一三七、九三	一三七、九三
白木綿	(−)二二〇、三三	二一八、二五	二三三、〇二
綿布	(−)一七九、五一	一八三、一五	一九八、八〇
洋紙	二〇八、六九	二〇八、六九	二一一、三〇
日本紙	二三三、三三	二三三、三三	二二七、七八
杉板	三四二、二三	三四二、二三	三一三、三三
杉材	二八三、八七	二八三、八七	二五八、〇六
洋鐵	一八四、二一	一八四、二一	一七八、三三
鉛	二〇〇、〇〇	二〇〇、〇〇	二〇〇、〇〇
銅	一三八、七七	一三八、七七	一三二、六五
煉瓦	二〇八、七〇	二〇八、七〇	二〇八、七〇
日本瓦	一一〇、〇〇	一一〇、〇〇	一一〇、〇〇
板硝子	(+)一六二、五〇	一五六、二五	一五六、二五
セメント	一七六、四七	一七六、四七	一六七、六四
燐寸	二三七、一六	二三七、一六	二一九、一三
石油	一六八、一八	一六八、一八	一八一、八二
石炭	一三〇、〇〇	一三〇、〇〇	一四二、五〇
木炭	二四六、六六	二四六、六六	二四〇、〇〇
薪	二三八、五七	二三八、五七	二二四、二九
平均	(+)二〇〇、九三	二〇〇、一五	二〇五、〇一

備考　本表ハ大正三年七月ノ物價ヲ一〇〇トシテ計上セリ（+）印ハ騰貴（−）印ハ低下

平均指數五箇年對照表

月次	十四年	十三年	十二年	十一年	十年
一月	二〇三、三三	一九一、八二	一九一、六四	二〇三、六一	二二五、五四
二月	二〇三、三〇	一九一、九四	一九五、三三	二〇〇、一五	二一一、四三
三月	二〇〇、六〇	一九一、三三	一九六、〇六	一九九、四一	二〇一、二五
四月	二〇〇、三三	一九一、三九	一九六、〇一	一九九、二五	一九八、五〇
五月	一九九、〇一	一九四、一六	一九五、二七	二〇〇、〇三	一八九、八三
六月	一九九、三八	一九二、七五	一九五、〇七	二〇一、九三	一九一、〇三
七月	一九九、八四	一九一、六一	一九〇、八六	二〇二、八九	一九二、四六
八月	二〇一、七八	一九三、九二	一九〇、五六	二〇二、五四	一九二、六六
九月	二〇三、四〇	一九八、三〇	一九二、〇四	二〇一、三三	一九七、四〇
十月	二〇〇、一五	二〇二、四一	一九〇、三三	一九六、六一	二〇〇、七八
十一月	二〇〇、九三	二〇五、〇一	一九二、三八	一九七、三九	二〇二、一〇
十二月	—	二〇三、三三	一九二、六六	一九六、四〇	二〇〇、四一

各年月ヲ一〇〇トセル本月平均指數

基隆年月	十四年十月	十三年十一月	十二年十一月	十一年十一月	十年十一月
本月平均	一〇〇,二八	九八,〇〇	一〇四,四四	一〇一,七九	九九,四三

臺灣貿易統計（大正十四年十二月）

臺灣總督府税關

□貿易額

外國貿易	十四年十二月	十三年十二月	十四年累計	十三年累計	増減（●）
輸出	四,八三八,一六〇円	三,四三七,六三九円	四七,九六五,八四四円	四二,五七五,九五三円	五,三八九,八九一円
輸入	九,三七六,〇七五	七,〇一三,七六八	五六,四八九,〇六〇	四六,四二四,〇三六	一〇,〇六五,〇二四
計	一四,二一四,二三五	一〇,四四一,四〇七	一〇四,四五四,九〇四	八八,九九九,九八九	一五,四五一,九一五
輸出（入）超過	（入）四,五三七,九一五	（入）八,五八六,一二九	（入）八,五二三,二一六	（入）三,八四八,〇八三	―

内地貿易	十四年十二月	十三年十二月	十四年累計	十三年累計	増減（●）
移出	一九,一〇七,六五六円	二五,〇八三,一〇八円	二一五,二四八,八〇七円	二一一,〇九八,二二三円	四,一五〇,五八四円
移入	一一,六二九,二一二	九,九九〇,四〇〇	一二九,九〇六,二八〇	八六,六〇二,〇六〇	四三,三〇四,二二〇
計	三〇,七三六,八六八	三五,〇七三,五〇八	三四五,一五五,〇八七	二九七,七〇〇,二八三	四七,四五四,八〇四
移出（入）超過	七,四七八,四四四	一五,〇九二,七〇八	八五,三四二,五二七	一二四,四九六,一六三	―

□輸出品

		十二月		十四年累計		十三年累計		増減（●）	
		數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
石炭	噸	七三,二〇四	七七九,四四九円	七〇〇,五九三	七,四四八,二六九円	六七一,二三六	七,三〇五,二九八円	二九,三五七	一四二,九七一円
包種茶	斤	五八五,九八六	四六二,〇一九	七,七八五,四一九	六,一七二,七八四	七,〇一六,〇二七	五,四四五,二二九	七六九,三九二	七二七,五五五
砂糖	同	三,八〇八,〇九〇	三三二,〇四六	四一,四六〇,三七一	五,八八七,九三九	四一,八三六,八一八	五,九九四,二四三	●三七六,四四七	●一〇六,三〇四

品名	単位	十二月 数量	十二月 価額(円)	十四年累計 数量	十四年累計 価額(円)	十三年累計 数量	十三年累計 価額(円)	増減(●) 数量	増減(●) 価額(円)
烏龍茶	同	九、八二〇	六、二〇一	八、〇〇四、四七七	五、二三〇、九五八	八、五一九、九〇四	四、八六四、五七八	●五一五、四二七	三六六、三八〇
綿織物	碼	二、三三六、八三六	七一五、八二六	二三、七八九、九六八	三、七六三、五五五	四、九五〇、九一一	一、四八五、五七七	一八、八三九、〇五七	二、二七七、九七八
樟脳	斤	七七、〇〇〇	一三五、一三六	二、〇五六、五二一	三、六〇九、三六六	一、五〇三、五二六	二、六三六、五一四	五五二、九九五	九七二、八五二
錫	同	二、三五七、七六一	七七七、六八四	七、八四一、一〇九	二、四六六、四二七	五、一〇七、九三六	一、五八九、一〇三	二、七三三、一七三	八七七、三二四
酒精	升	三四三、二三〇	一一〇、〇一八	六、三七三、四二〇	一、九八七、三〇一	五、六〇一、四五〇	一、六二一、一二六	七七一、九七〇	三六六、一七五
鹹魚及乾魚	斤	一、〇九二、七九九	一八五、七二〇	二、四四二、七八四	一、九四二、八九六	五、二四八、六一七	二、八五二、四九八	●二、八〇五、八三三	●九〇九、六〇二
セメント	同	八、三三三、一六三	一八〇、〇〇〇	三六、五〇〇、六九三	一、三三八、八七五	一四、二四八、四〇九	七九七、九三〇	二二、二五二、二八四	五四〇、九四五
紙	同	五三二、六六三	五〇、三三二	六、七一八、六九一	五五〇、一四二	五、三三七、〇八四	四三六、九三〇	一、四九一、六〇七	一一三、二一二
燐寸	哥	八二〇、三三三	六一、二九〇	六七七、八〇二	五一八、三九六	六八〇、七八七	五二七、七八九	●二、九八五	●九、三九三
苧麻	斤	六六六、二九九	二五七、九九五	一、二七三、四〇〇	四九七、一二五	一、〇九八、一一三	四五一、七〇七	一七五、二六八	四五、四一八
貝柱	同	三五、〇八八	三〇、五四四	二六九、〇八六	三六六、四六六	三三四、九四六	二八七、八七五	六四、一四〇	七八、五九一
硝子器	値	八九六、九八六	二四、一〇五	二、三五八、〇六七	三〇六、四九五	一〇、六八九、二四三	二七九、七二四	八六八、八三四	二六、七七一
其他諸品		—	七八一、九七三	—	五、九八八、八三〇	—	五、九九九、八一三	—	●一〇、九八三
計		—	四、八三六、一六〇	—	四七、九六五、八四四	—	四二、五七五、九五三	—	五、三八九、八九一

□輸入品

品名	単位	十二月 数量	十二月 価額(円)	十四年累計 数量	十四年累計 価額(円)	十三年累計 数量	十三年累計 価額(円)	増減(●) 数量	増減(●) 価額(円)
大豆油糟	斤	九三、四六四、八七〇	四、九三七、四〇三	三〇〇、〇六〇、〇六六	一六、七七七、七八〇	二四三、八九二、二六六	一二、六八四、〇六八	五六、一六七、八〇〇	四、〇九三、七一二
硫酸アンモニウム	同	九、六九七、四九三	一、〇七一、三二八	五〇、二四四、五四一	五、四五六、六四五	一七、九三五、二四三	一、八二五、一一七	三二、三〇九、二九八	三、六三一、五二八
砂糖	同	四、三二四、九九二	五三四、四〇八	三五、五五七、一七二	四、五八四、五三六	三〇、四九一、七一三	三、八三六、三六九	五、〇六五、四五九	七四八、一六七
大豆	同	四、七七三、五五〇	三四八、六二七	四一、一一六、六二〇	三、三二四、六三八	四〇、二六七、二七五	二、九〇三、五四九	八四九、三四五	四二一、〇八九
阿片	同	一三、〇九六	二七〇、〇〇〇	一一六、五一八	二、八一六、九〇七	五四、三一二	一、三六八、六二八	六二、二〇六	一、四四八、二七九
ガンニー嚢	個	五三〇、〇〇〇	四〇七、四〇〇	三、七八〇、〇〇〇	二、七九四、七三三	二、七八三、六六八	一、七七〇、九六九	九九六、三三二	一、〇二三、七六四
木材	値	—	三二四、四四八	—	一、七二四、六八三	—	二、四二三、五一九	—	●六九八、八三六

米（[illegible]共）	斤	七六一,五六〇	六四,五八九	一八,四六三,〇三〇	一,五五六,九〇二	六,六一六,一五六	六一四,〇〇四	二,八四六,八六四	九三二,八八八
石油	ガロン	二五八,八四〇	一六六,八九四	二,〇〇七,一五九	一,三〇七,六八七	五,九五三,七九六	一,四三三,九七四	●九二六,六三七	●一二六,二六七
包蔴	枚	四六七,五二〇	一〇二,七一五	五,四三五,二三六	一,三三三,七五九	七,〇三三,五四四	一,五一五,五九七	●一,五六八,二二八	●二六一,八三八
小麥	斤	—	—	一〇,四七二,六六六	九六八,〇七六	二,八七六,〇九四	一,四四六,九五五	●二,二〇三,四二八	●四六八,八五九
葉煙草	同	一四七,四三五	七四,〇三六	一,四六七,三四九	八一〇,八〇九	一,六五七,二二七	九五四,七四六	●一八九,八六八	●一四五,九三七
毛織物	方碼	三三,六二四	六五,二三〇	四〇四,五六四	六五三,五八七	四八七,九〇四	七三九,六五八	●八三三,三四〇	●七六,〇七一
鹹魚	斤	一,四〇二,三九一	一四八,五一四	六,六八二,〇七一	六三二,二四五	四,九六八,八八九	四七九,五三八	一七三,一八二	一五三,七三七
黃麻	同	一二二,一四六	一五,五四〇	二,八二七,二八一	三五八,四六三	三,九九四,七六七	七五四,二三七	●一,二六七,四六六	●一七五,七九四
芋麻布	方碼	一四七,六四六	二七,六三五	一,七〇五,七六五	四五四,七七二	一,三三五,六四九	三七〇,〇九八	四七〇,二二四	八四,六七四
禮拜紙	斤	一三六,四九八	四四,五六八	一,三三五,三三三	四五四,八九一	一,五一二,八六四	四四四,九七三	●一五六,五三一	●四〇,〇八二
綿絲	同	七三,〇四五	四二,九〇六	六三六,九五〇	四二九,九〇四	三四九,五六八	二六一,四四六	二六七,五六二	一六八,四五八
鐵	同	四七,〇六八	三三,四〇九	六,〇三〇,七八三	三八〇,六六〇	二,三五〇,〇二四	一七二,二六五	三,六八〇,七五九	一〇八,五三五
コンデンスドミルク	打	四,六〇〇	一四,七九三	六九,二九五	三五一,八八〇	六〇,八三五	三〇五,八四八	八,四六〇	四六,〇三二
陶磁器		—	三三,〇〇〇	—	三〇二,二二六	—	四二七,七四二	—	●一二五,五一六
唐紙	斤	三二一,二八四	三三,六七五	二,四七五,八七二	二九三,三五九	三,三四七,三〇一	三五一,九五四	●八七一,四二九	●五八,五九五
綿織物	方碼	七六,〇六八	五,六五九	三四六,六七八	二六九,五九一	七七四,五三九	五三九,三一七	●四二六,八六一	●二四九,七七六
パラフインワックス	斤	六三,五五三	一七,二四八	七三〇,三三七	二一五,五二一	四九七,四九〇	二一五,一八八	二二二,七四七	一〇〇,一三三
錫	同	六,八九〇	一三,三四〇	一〇〇,三六九	一九〇,三〇五	九六,八七二	一五二,六五八	三,四九七	三七,六四七
豆素麵	同	六三,四九三	二〇,九八一	四六八,九二〇	一七六,六三九	四三五,三〇五	一四四,五七五	三三,六一五	三三,〇六四
石炭	噸	一三,〇〇〇	一四,五〇〇	一三,四五〇	一七四,三九四	一七,四〇〇	二二八,一〇〇	●三,九五〇	●四三,八〇六
芋麻綿布	方碼	—	—	二九五,二九一	一四二,四六四	三八一,〇六六	一六七,六〇四	●八五,七七五	●二五,一四〇
機械用油	斤	一二六,七二九	二一,一五〇	七一五,五六一	一一八,一〇五	一,二五八,〇七四	一九三,二八八	●五四二,五一三	●七五,一八三
輕油	ガロン	—	—	七九,二七八	一〇五,九〇七	一五一,〇八九	一六五,八〇二	●七一,八二一	●五九,八九五
其他諸品		—	六二五,三七九	—	七,三二九,一七三	—	七,五四二,一四〇	—	●三三二,九六七
計		—	九,三七六,〇七五	—	五六,四八九,〇六〇	—	四六,四二四,〇三六	—	一〇,〇六五,〇二四

□移出品

品名	單位	十二月 數量	十二月 價額(円)	十四年累計 數量	十四年累計 價額(円)	十三年累計 數量	十三年累計 價額(円)	增減(●) 數量	增減(●) 價額(円)
砂糖	斤	四八,九九一,二四〇	六,六五三,八一六	七一七,〇一八,七七一	一〇五,六六一,一五八	七一四,〇六五,九九〇	一一九,九二一,一八七	二,九五二,七八一	●一四,二六〇,〇二九
米	同	八八,二九五,五五〇	九,七八四,三六〇	五五五,八八七,四九八	七二,一一〇,三二八	四二九,一三五,六九三	四八,四八六,二五六	一二六,七五一,八〇五	二三,六二四,〇七二
芭蕉實	同	六六,六八四,七一〇	二,五八八,六三三	一四八,二三六,一二〇	九,〇九六,三五八	一八二,八一六,九一七	一一,八一六,三〇三	●三四,五八〇,七九七	●二,七一九,九四五
酒精	同	四一三,五〇〇	二二四,五五六	七,二〇五,一六〇	三,八四四,五七八	七,三三九,四九〇	三,〇三九,六二八	●一三四,三三〇	八〇四,九五〇
木材		—	五三七,九八四	—	二,八〇〇,七六七	—	二,〇六八,八二八	—	七三一,九三九
樟腦油	斤	四三,六二三	二三〇,一〇四	五,一三一,八三三	二,四九八,〇一三	四,六三〇,九二二	二,一〇五,五三〇	五〇〇,九一一	三九二,四八三
切乾薯	同	二五六,七一〇	二三,三三三	四九,〇四五,七〇〇	一,九二〇,九二八	四一,六九五,六九九	一,三八七,五八三	●七,三五〇,〇〇一	五三三,三四五
鳳梨罐詰	打	八,七一九	二六,四一七	五〇三,八〇二	一,九一七,五六四	四一二,四七二	一,三五〇,六八八	九一,三三〇	五六六,八七六
石炭	噸	一五,六七四	一五二,四一五	一八九,六九四	一,九〇一,四七二	一九八,六一八	二,〇六五,二三六	●八,九二四	●一六三,七六四
模造パナマ帽子	個	五九八,二〇〇	一九九,四〇〇	四,一六〇,六四〇	一,三九八,六二四	一,八二〇,七二〇	九一〇,一三〇	二,三三九,九二〇	四八八,四九四
鰹節	斤	四七,九四三	七七,六六〇	一,一四七,九五三	一,三三三,三三〇	一,四〇八,〇六一	一,八九〇,一一九	●二六〇,一〇八	●五五六,七八九
食鹽	同	一八七二〇,〇〇〇	二一九,四一四	一五四,四七九,二二四	一,三三九,八七一	二一六,四〇七,八九三	一,六九九,〇三四	●六一,九二八,六六九	●三五九,一六三
樟腦	同	—	—	五二六,九二七	九一五,〇九二	二,〇八七,四八四	三,八九〇,八三二	●一,五六〇,五五七	二,九七五,七四〇
[illegible]	同	八,九〇一,二五七	一六四,八五四	三八,五九九,九二二	八三九,四五三	四〇,七七八,六三二	一,〇九三,六七二	●二,一七八,七一〇	●二五四,二一九
麻織物	碼	九七,〇三〇	三二,八九〇	二,四〇九,三三三	五七六,九三二	二,九二四,九九八	七〇一,一七〇	●五一五,六六五	●一二四,二三八
其他諸品		—	六六五,八二二	—	七,三三七,四九八	—	八,七三二,六〇七	—	●一,三九五,一〇九
計		—	一九,一〇七,六六六	—	三二五,二四八,八〇七	—	三二一,〇九八,二四三	—	四,一五〇,五六四

□移入品

品名	單位	十二月 數量	十二月 價額(円)	十四年累計 數量	十四年累計 價額(円)	十三年累計 數量	十三年累計 價額(円)	增減(●) 數量	增減(●) 價額(円)
米	石	三,〇八一	二〇,七三九	六五一,八六九	一六,八九一,七六〇	八四,八五一	二,四〇九,〇八一	五六七,〇一八	一四,四八二,六七九

絹及綿織物		—	一,六三六,九四九	—	一五,七〇八,四四九	—	七,九一五,八七〇	—	七,七九二,五七九
肥料	斤	二,四〇七,八六五	五三六,四七三	一二五,三六八,四六九	六,六九一,三五二	一一〇,四五三,一一三	六,八六〇,〇六三	四,九一五,三三六	●一六八,七四一
鹽	同	四,六三二,九八〇	二七一,三三九	四八,六四一,〇九〇	六,一一九,三九六	三六,一九九,〇九一	四,八九六,八五七	三,四四一,九九九	一,三三二,五五九
鹹乾魚	同	三,二九一,七〇〇	四六八,四九四	三八,一九六,九〇二	五,九〇五,五四九	五一,六八三,〇〇九	六,四六九,〇一五	●一三,四九六,一〇七	●五六三,四六六
小麥粉	同	三,五八一,三一九	四六六,三六五	三〇,二二七,九九八	三,九三五,五七五	二三,三九四,一六五	二,四八四,三四八	七,八三三,八三三	一,四五一,二三七
鉛	同	三,一六一,四七〇	九九一,三〇五	九,七四八,八二〇	三,五七四,三九八	三五,九一八,三七八	一,九〇八,六八六	三,八三〇,四四二	一,六六五,七二三
紙		—	三〇三,三二八	—	三,四三三,二四〇	—	二,三八七,八六九	—	一,〇三四,三七一
ガンニー嚢及黄麻嚢	箇	三六九,四〇〇	二三四,八〇〇	四,五八三,二四〇	二,七六四,四五五	四,三九七,六一七	一,六三六,九四六	一八五,六一三	一,二二七,五〇九
鐵製品		—	一七,一七五	—	二,一七三,七一〇	—	一,五三九,三六四	—	七三四,三四六
木材		—	二四九,〇四六	—	二,一九四,九四二	—	五九六,〇五五	—	一,五九八,八八七
絲類		—	一九〇,八三四	—	二,〇八二,六八七	—	一,一六二,五六五	—	九二〇,一一三
清酒	打	三三,一五五	三二二,八〇四	二二一,九七〇	一,九九九,三五一	一,九九九,五七三	一,九四四,四三〇	一三,三九七	五四,八八五
麥酒	同	七,一八〇	三四,八三〇	三六三,一四〇	一,八七二,四一五	三三五,六三五	一,五六一,〇一一	六七,五〇五	三一一,四〇四
紙卷煙草	千箇	八〇,四四〇	一九二,三四六	八一五,七〇〇	一,七五三,七四八	八〇一,八七八	一,六七八,五九九	一三,八二三	七五,一四九
メリヤス肌衣		—	三一五,一六八	—	一,六六五,三七七	—	八四〇,四七〇	—	八二四,九〇七
燐寸	哥	二三三,三三四	一五七,三八三	二,〇三〇,五〇五	一,五六六,一九九	一,七五三,八〇〇	一,三四六,四二三	二七六,七〇五	二一九,七七六
罐詰食物		—	一〇八,九一九	—	一,三九九,四二五	—	九七四,五一九	—	四二四,九〇六
自轉車同部分品及附屬品		—	一三九,七六三	—	一,三三四,五〇七	—	八二七,七三七	—	三九六,七七〇
石油	ガロン	一三三,一一〇	一二四,九五三	一,九一四,四七〇	一,一七一,五〇九	九七四,三九〇	五四七,五一四	九四〇,〇〇八	六三三,九九五
毛織物		—	一三八,六〇六	—	一,〇一八,五四〇	—	六七八,九四七	—	三三九,五九五
鐵道建設用材料	斤	五一六,五九五	三八,九四四	一〇,九六八,三四七	九二四,〇六五	八,八一八,三三四	七六一,三五五	二,一一〇,〇〇三	一六二,七二〇
菓子類		—	一〇七,一六四	—	八五四,七三七	—	六一三,八九八	—	二四一,八三九
切組板		—	六六,五三三	—	八四九,八四七	—	四〇二,二二四	—	四四七,六三五
醤油	石	七九五	五九,三〇七	一三,一七八	八〇五,九二四	一一,九〇一	七九〇,七三三	一,七七	一五,一九一
石鹸		—	五七,〇六六	—	七五六,〇六六	—	七七二,一〇三	—	●一六,〇一七

機械用油	—	一〇八,八六六	—	七四五,四五〇	—	六六八,七七六	—	七六,六九四
陶磁器	—	一〇三,〇三四	—	七二三,六五四	—	六二七,三八六	—	九六,二六三
砂糖斤	三七四,四九五	九一,〇四二	二八一,七七〇	七一三,九七一	四,〇三四,三二九	一,一〇三,五二三	●一,一三六,五五九	●三八八,五五二
セメント同	四,五六〇,三五〇	八二,三三七	三〇,〇九四,七七九	六三三,一一九	二六,九八〇,四八八	六四四,八七二	一,一一四,一九一	●一二,七四三
其他諸品	—	三,四五一,五一〇	—	三七,六六三,八六九	—	二九,五三一,八二三	—	八,二二一,〇四八
計	—	一一,六二九,三三二	—	二九,九〇六,一八〇	—	八六,六〇一,〇六〇	—	四三,三九四,三三九

□金銀

	十二月	十四年累計	十三年累計	增減(●)
	円	円	円	円
輸出	—	—	—	—
輸入	—	—	—	—
計	—	—	—	—
移出	—	—	一三〇,七二六	●一三〇,七二六
移入	—	四三〇,〇〇〇	二六一,九七五	一六八,〇二五
計	—	四三〇,〇〇〇	四一二,七〇一	一七,二九九

□仕向地及仕出地別

地名	十四年累計 輸出	十四年累計 輸入	十四年累計 計	十三年累計	增減(●)
	円	円	円	円	円
支那	二六,三四五,六七三	九,九四七,一一一	三六,二九二,七八四	三一,六三一,四〇一	四,六六一,三八三
關東州	一,一八七,八八一	二二,三二六,九七六	二三,五一四,八五七	一六,七七〇,〇八七	六,七四四,七七〇
香港	五,〇四四,四八五	六,五八六,五九一	一一,六三一,〇七六	一三,〇八八,七六八	●一,四五七,六九二
北米合衆國	七,〇三九,七九四	一,一九二,六一五	八,二三二,四〇九	七,八一八,三〇八	四一四,一〇一
蘭領印度	四,〇〇五,四五八	一,三七八,一七四	五,三八三,六三二	四,一九〇,七一七	一,一九二,九一五
英吉利	一,一〇二,三七五	四,一七八,四〇六	五,二八〇,七八一	二,五五九,六六五	二,七二一,一一六
假置場	—	三,三二〇,九四五	三,三二〇,九四五	三,三三一,六八九	●一〇,七四四
英領印度	二,七九七	二,三六六,七八八	二,三六九,五八五	一,八五四,三六八	五一五,二一七

地名	十四年累計 移出	十四年累計 移入	十四年累計 計	十三年累計	增減(●)
	円	円	円	円	円
大阪	四一,六二四,九四四	四四,五八二,六〇六	八六,二〇七,五五〇	七六,四八九,八〇〇	九,七一七,七五〇
神戸	四二,三一四,九二八	三三,三九五,五三三	七五,七一〇,四六一	六八,四九五,四四五	七,二一五,〇一六
東京	四〇,一六五,一一〇	九,八〇二,七五〇	四九,九六七,八六〇	四三,八四四,六〇二	六,一二三,二五八
門司	二四,三二七,〇六一	一〇,九四一,九四一	三五,二六九,〇〇二	三五,二六六,四六九	二,五三三
名古屋	二二,八六二,五五六	一,七七七,〇四五	二四,六三九,六〇一	二四,一九七,八七六	四四一,七二五
横濱	一六,三三七,一五八	一,二二九,〇三三	一七,五六六,一九一	一一,五七〇,二四八	五,九九五,九四三
那覇	四七三,四九八	一〇,七四九,五九〇	一一,二二三,〇八八	一,〇四一,八九二	一〇,一八一,一九六
下ノ關	五,一六三,五九六	二,七四五,八一三	七,九〇九,四〇九	九,七九八,一六五	●一,八八八,七五六

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

波斯	—	二,二二四,〇一四	二,二二四,〇一四	一,三四五,七〇三	八六八,三一一
暹羅	九九六,二一〇	五九四,七一三	一,五九〇,九二三	一,六五六,五七九	●六五,六五六
獨逸	一三四,四二八	一,一四五,六七二	一,二八〇,一〇〇	八〇二,八六八	四七七,二三二
和蘭	—	八一九,三八〇	八一九,三八〇	一七五,五八七	六四三,七九三
佛蘭西	六五八,八九二	一二,九六四	六七一,八五六	八二三,〇六二	●一五〇,二〇六
英領海峡植民地及英領ボルネオ	五〇九,九二一	四六,一六八	五五六,〇八九	四二八,三三六	一二七,七五三
濠太剌利	四六,二二五	四六二,〇五八	五〇八,二八三	九五五,〇九六	●四四六,八二三
比律賓諸島	四六二,九八四	二,七七三	四六五,七五七	五六一,〇三七	●九五,二八〇
佛領印度	一九二,八九九	九,一一六	二〇二,〇一五	六二,六三四	一三九,三八一
土耳古(欧洲)	—	一九九,七二七	一九九,七二七	—	一九九,七二七
露領亞細亞	一四三,六〇三	—	一四三,六〇三	三〇五,四九二	●一六一,八八九
布哇	—	七〇,八七五	七〇,八七五	一〇七	七〇,七六八
其他諸國	九二,二三九	七二三,九九四	八一六,二三三	七四九,四八五	六六,七三八
計	四七,九六五,八四四	五六,四八九,〇六〇	一〇四,四五四,九〇四	八八,九九九,九八九	一五,四五四,九一五

函館	一,三五三,三三九	六,〇一七,一二三	七,三七〇,四六二	五,五八二,八〇一	一,九八七,六六一
三池	四,八九三,一五八	一二四,七七七	五,〇一七,九三五	四,七八五,八一九	二三二,一一六
鹿兒島	一,三一五,三九一	二,四四四,〇七三	三,七五九,四六四	二,〇四四,五三二	一,七一四,九三二
小樽	二,八四七,八八五	二五七,五四一	三,一〇五,四二六	三,〇一九,五六七	八五,八五九
長崎	二,二五〇,三四二	七五六,三九八	三,〇〇六,七四〇	二,五八九,九五一	四一六,七八九
宇品	九三六,二七六	一,〇三九,九一四	一,九七六,一九〇	六七一,九二三	一,三〇四,二六七
尾ノ道	一,一六五,八〇八	二八九,二八八	一,四五五,〇九六	二六六,六五四	一,一八八,四四二
釜山	一,二三七,三五五	九七,三八二	一,三三四,七三七	四七九,六五六	八五五,〇八一
仁川	一,〇四一,〇四一	三,一三七	一,〇四四,一七八	八六,一四一	九五八,〇三七
勝浦	二,五二一	九一五,五五九	九一八,〇八〇	一四二,三一二	七七五,七六八
八重山	三三〇,〇三一	二五三,四五〇	五八三,四八二	六四二,〇八一	●五八,五九九
若松	—	三五四,三六五	三五四,三六五	六五,五四一	二八八,八二四
其他各地	四,六〇六,八二八	二,一二八,九五二	六,七三五,七八〇	七,三一八,七一〇	●五八二,九三〇
計	二二五,二四八,八〇七	二九,九〇六,二八〇	三四五,一五五,〇八七	二九七,七〇〇,二八三	四七,四五四,八〇四

□入港船舶

外國貿易	十四年累計		十三年累計		增減(●)	
汽船	一,三一八隻	二,二五〇,九四七噸	一,一三五隻	一,九〇四,八三九噸	一八三隻	三四六,一〇八噸
帆船	一,一五一	五五,二三六	一,一四七	五二,〇九四	四	三,一四二
計	二,四六九	二,三〇六,一八三	二,二八二	一,六五六,九三三	一八七	三四九,二五〇

內地貿易	十四年累計		十三年累計		增減(●)	
汽船	一,一四三隻	二,二九九,一八〇噸	一,一九〇隻	二,三一三,七九三噸	●四八隻	●一四,六一三噸
帆船	二	三〇九	—	—	二	三〇九
計	一,一四五	二,二九九,四八九	一,一九〇	二,三一三,七九三	●四五	●一四,三〇四

□收入額

年次	輸入稅	製茶稅	織物消費稅	砂糖消費稅	噸稅	其他諸收入	計
十四年累計	三,一六〇,三九一円	三六八,七六四円	一七〇,〇四〇円	二九,四二四円	六一,六〇四円	三七,一二七円	三,八四七,三五〇円

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十三年累計	二,六六六九,五八二	三九四,三三七	二〇八,八九〇	三七,三五一	五一,七九四	三六,四四六	三,三九八,三九一
増減(●)	四九〇,八〇九	●五,五六三	●三六,八五〇	●七,九二八	九,八一〇	六八一	四四八,九五九

□港別貿易額

港名	十四年累計 輸出	十四年累計 輸入	十四年累計 計	十三年累計	増減(●)	十四年累計 移出	十四年累計 移入	十四年累計 計	十三年累計	増減(●)
基隆	二五,七五九,七六七円	二〇,九八四,一四七円	四六,七四三,九一四円	三八,六七九,二七九円	八,〇六四,六三五円	一〇〇,九〇七,八五一円	九四,一八六,九一〇円	一九五,〇九四,七六一円	一四六,六一一,三四九円	四八,四八三,四一二円
臺北	一一,七四七,八七四	二,九一六,二三五	一四,六六四,一〇九	一四,〇三一,七七六	六三二,三三三	—	—	—	—	—
淡水	七四九,四一五	二,五六四,二九八	三,三一三,七一三	三,八三一,五八九	●五一七,八七六	—	一三,三五〇	一三,三五〇	四,〇〇〇	九,三五〇
舊港	一三七,七九五	一七八,五三一	三一六,三二六	二五二,一五二	六四,一七四	—	—	—	—	—
後龍	一六九,九二一	一四三,四五五	三一三,三七六	一七四,三八三	一三八,九九三	—	—	—	—	—
梧棲	五〇,五四五	五〇,五〇三	一〇一,〇四八	六七,六四二	三三,四〇六	—	—	—	—	—
鹿港	一四四,四六二	二四七,一五三	三九一,六一五	三六六,八三一	二四,七八四	—	—	—	—	—
東石	九七,二〇三	二一〇,六六八	三〇七,八七一	八四七,六二六	●五三九,七五五	—	—	—	—	—
安平	二九五,五五三	一,五九〇,〇六八	一,八八五,六二一	一,七四五,九四〇	一三九,六八一	六三二,一二一	一一,二八七,七八三	一一,九一九,九〇四	八,七九一,一五一	三,一二八,七五三
高雄	八,七四五,一六五	二七,五四五,〇九六	三六,二九〇,二六一	二八,八八六,三〇六	七,四〇三,九五五	一一一,九〇八,八五六	二三,八一七,三四三	一三五,七二六,一九九	一四〇,一三三,三五一	●四,四〇七,一五二
馬公	六八,一四四	五九,九一六	一二八,〇六〇	一二六,四六三	一,五九七	二五〇,〇三四	三六六,三四七	六一六,三八一	四八六,三五四	一三〇,〇二七
蘇澳	—	—	—	—	—	七六三,九一五	—	七六三,九一五	三九〇,八五一	三七三,〇六四
布袋	—	—	—	—	—	四四三,八七四	—	四四三,八七四	四九二,五五四	●四八,六八〇
北門	—	—	—	—	—	一八五,〇六〇	—	一八五,〇六〇	三七一,七八八	●一八六,七二八
大板埒	—	—	—	—	—	三〇,二八八	九,五四七	三九,八三五	一〇九,八三五	●七〇,〇〇〇
花蓮港	—	—	—	—	—	三五一,八〇八	—	三五一,八〇八	三一〇,〇五〇	四一,七五八
計	四七,九六五,八四四	五六,四八九,〇六〇	一〇四,四五四,九〇四	八八,九九九,九八九	一五,四五四,九一五	二一五,二四八,八〇七	一二九,九〇六,二八〇	三四五,一五五,〇八七	二九七,七〇〇,二八三	四七,四五四,八〇四

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大正十四年度後期分州税徴收成績

内務局地方課調

大正十四年度後期分州税徴收成績は新竹州第一位を占め高雄州、臺中州、臺南州、臺北州の順序を以て之に亞ぎ前年度同期に於ける成績に比すれば高雄州は第四位より第二位に進み臺北州は第二位より第四位に失墜し他各州は何れも前年度同様の成績を示せり各州に於ける各税別成績左の如し

□大正十四年度後期分州税徴收成績報告表（單位　圓）

州	科目	調定濟額	收入濟額 納期限迄	收入濟額 調定濟額ニ對スル歩合	收入濟額 前年度同期ニ於ケル歩合	收入濟額 歩合増△減	收入濟額 納期限後	收入未濟額
臺北州	戸税	四一、七三二	三六、〇五八	〇・八六四	〇・八〇四	〇・〇六〇	二、二八四	三、三九〇
	營業税	四九六、三八二	三八〇、七七〇	〇・七六七	〇・七五一	〇・〇一六	六二、一六六	五四、四四六
	雜種税	一七、九三三	一五、五四四	〇・八六七	〇・八〇三	〇・〇六四	九一〇	一、四六八
	計	五五六、〇三六	四三二、三七二	〇・七七七	〇・七五九	〇・〇一八	六四、三六〇	五九、三〇四
新竹州	戸税	二〇一、九四六	一九九、四七四	〇・九八七	〇・九七二	〇・〇一五	七六三	一、七〇九
	營業税	九八、五四〇	九三、四九八	〇・九四八	〇・九一二	〇・〇三六	一、八〇二	三、二四一
	雜種税	一七、六三二	一六、九六八	〇・九六〇	〇・九五三	〇・〇〇七	二四八	四一六
	計	三一八、一一八	三〇九、九〇〇	〇・九七四	〇・九五五	〇・〇一九	二、八一三	五、四〇六
臺中州	戸税	一二八、三七四	一二一、九六五	〇・九五〇	〇・九四七	〇・〇〇三	二、三二六	四、〇八三
	營業税	二三八、四一九	二二〇、八四〇	〇・九二三	〇・九〇二	〇・〇二一	五、三八六	一三、一九三
	雜種税	六、一八六	六、〇五六	〇・九七九	〇・九七六	〇・〇〇三	五〇	八〇
	計	三七二、九七九	三三八、八六一	〇・九三三	〇・九二三	〇・〇一〇	七、七六二	一六、三七六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺南州	戶稅	一五五,九八六	一四六,四〇三	〇.九三八	〇.九四三	△〇.〇〇五	五,七〇五	三,八七八
	營業稅	二七五,六九八	二五二,九七一	〇.九一七	〇.九二〇	〇.〇〇七	一三,一九三	一〇,五三四
	雜種稅	一一,六五二	一一,四〇三	〇.九七八	〇.九六九	〇.〇〇九	八八	一六一
	計	四四三,三三六	四二〇,七七七	〇.九二六	〇.九二六	—	一七,九八六	一四,五七三
高雄州	戶稅	七〇,五四六	六八,七四一	〇.九七四	〇.九一四	〇.〇六〇	三三〇	一,四八五
	營業稅	一八六,〇二二	一七八,三七九	〇.九五八	〇.八九六	〇.〇六二	三,〇四七	四,五九五
	雜種稅	一一,四四四	一一,〇四四	〇.九六五	〇.八五一	〇.一一四	一四五	二五五
	計	二六八,〇一二	二五八,一六四	〇.九六三	〇.九〇三	〇.〇六〇	三,五一二	六,三三五
合計	戶稅	五九八,五八四	五七二,六四一	〇.九五六	〇.九三四	〇.〇二二	一一,三九八	一四,五四五
	營業稅	一,二六五,〇六〇	一,一二六,四五八	〇.八六八	〇.八四二	〇.〇二六	八三,五九三	八五,〇〇九
	雜種稅	六四,八三六	六〇,九七五	〇.九四〇	〇.八九五	〇.〇四五	一,四四一	二,四三〇
	計	一,九四八,四八〇	一,七五〇,〇七四	〇.八九八	〇.八八一	〇.〇一七	九六,四三二	一〇一,九七四

備考

一、本表は定期賦課に係る年税を揭記せるものなり。

一、本表は各税共納期限十日目の現計を揭記せるものなり。

臺灣日誌

■十二月

▼十四日
□臺中州協議會本日より開催
□基隆公益社評議員會開會さる
▼十五日
□臺南州協議會
▼十六日
□臺北州協議會
□本島南端の通信上に大使命を帶びろ
□鵞鑾鼻無線開局式本日開催
▼十八日
□本日の閣議にて文教課設置に決定す
▼二十日
□督府特別會計豫算本日午後二時木下總務長官代理より發表さる
▼二十二日
□郡守の大異動本日發表
▼二十八日
□各官衙御用始

■一月

▼一日
□總督府にて新年拜賀式擧行
□臺北官民名刺交換會鐵道ホテルにて擧行せらる
▼三日
□臺灣神社元始祭奉行
▼四日
□總督府御用始
▼五日
□臺北消防出初式
▼八日
□總督官邸新年宴會
□陸軍御用始

人事消息

自大正十四年十二月十六日
至大正十五年一月二十日

▼赤司初太郎氏(本誌評議員) 十二月廿一日上京
▼北村吉之助氏(三四支店長、本誌評議員) 一月十六日發の蓬萊丸で上阪の由
▼伊澤總督 一月十六日上京
▼後藤總務長官(本誌評議員長) 同上
▼阿部滂氏(財務局長、本誌評議員) 同上
▼一戸事務官 一月十六日上京
▼井村大吉氏(本社長、本誌評議員) 一月十九日上京の途に就く

任命

自一月五日
至一月廿日

▼一月四日
視學官 若槻道隆
同 山口重知
編修官 古山榮三郎
(各通)
第五回視學講習會講師ヲ命ス

▼一月七日
公立中學校長 吉川祐戒
東京、京都、大阪、静岡、和歌山、香川、石川、千葉ノ三府五縣下ヘ出張ヲ命ス
府技師 福永金太
支那廣東ヨリ熊本縣下ヘ出張ヲ命ス

▼一月六日
法院判官 望月恒造
同 宇野庄吉
同 金子保次郎
(各通)
同 山田示元
法院判官懲戒委員ヲ命ス
法院判官 伴野喜四郎
同 堀田眞猿
(各通)
同 鈴木英男

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

法院判官豫備懲戒委員ヲ命ス

▼一月八日

殖產局長 片山三郎

滯京ヲ命ス

▼一月十一日

公立中學校教諭 渡邊末造

東京、京都、福岡、岡山、廣島ノ二府三縣へ出張ヲ命ス

地方理事官 菱村彥十郎

上京ヲ命ス

▼一月十二日

府事務官 水越幸一

英、米、獨、佛ノ四箇國竝佛領アルゼリヤ及埃及へ出張ヲ命ス

府事務官 和田一次

英、米、獨、佛ノ四箇國竝爪哇へ出張ヲ命ス

中央研究所技師 金平亮三

府在外研究員ヲ命ス

但シ一箇年間和、英、獨及南北米ノ各國ニ在留スヘシ

稅關事務官 井出季和太

府在外研究員ヲ命ス

但シ一箇年間支那ニ在留スヘシ

地方理事官 澁谷信吾

府在外研究員ヲ命ス

但シ一箇年間英、米、獨、佛ノ四箇國ニ在留スヘシ

稅關事務官 青木敬次

支那厦門、汕頭、廣東及英領香港へ出張ヲ命ス

▼一月十三日

高等商業學校教授 遠藤壽三

東京、大阪、山口、兵庫、愛知ノ二府三縣下へ出張ヲ命ス

▼一月十四日

總務長官 後藤文夫

財務局長 阿部滂

秘書官 一戶二郎

（各通）

上京ヲ命ス

▼一月十五日

法院檢察官 金子四郎

依願免本官

州警察醫 安達敬智

願ニ依リ本職ヲ免ス、任地方技師、新竹州勤務ヲ命ス

▼一月十六日

內務局長 木下信

總務長官後藤文夫不在中代理ヲ命ス

秘書官 平山泰

伊澤總督上京ニ付隨行ヲ命ス

秘書官 下村充郎

官房秘書課平山泰不在中代理ヲ命ス

▼一月十六日

地方理事官 野口滿

臺中州新高郡守ヲ命ス

同 今井昌治

新竹州苗栗郡守ヲ命ス

同 森萬吉

臺南州虎尾郡守ヲ命ス

府事務官 辰野龜男

財務局長阿部滂不在中代理ヲ命ス

同 中田榮次郎

株式會社臺灣銀行監理官阿部滂不在中代理ヲ命ス

▼一月十八日

地方理事官 澁谷信吾

上京ヲ命ス

府事務官 和田一次

東京、大阪及宮崎ノ二府一縣下へ出張ヲ命ス

同 水越幸一

東京、京都、山梨、兵庫ノ二府二縣下へ出張ヲ命ス

▼一月十九日

稅關事務官 井出季和太

東京市竝大阪、神戶、門司ノ各稅關へ出張ヲ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

命ス

歸朝ノ途次東京府及高知縣下ヘ出張ヲ命ス　　高等農林學校教授　野田幸猪

▼一月二十日

市區計畫委員會臨時委員ヲ免ス　　地方理事官　村田三郎

同　石川定俊

市區計畫委員會臨時委員ヲ命ス　　日野一郎

任醫學專門學校教授

▲一月二十一日

公立高等女學校長　井上重人

任公立高等女學校教諭、補臺北第三高等女學校教諭

交通局技師　瀧澤[illegible]

東京、名古屋及大阪ノ各遞信局管內ヘ出張ヲ命ス

▼一月二十三日

府技師　素木得一

上京ヲ命ス

府事務官　高橋親吉

大分縣下ヨリ福岡縣下ヘ出張ヲ命ス

▼一月二十六日

公立高等女學校教諭　大欣鐵馬

臺北市龍山公學校長事務取扱ヲ命ス

▼一月二十七日

府事務官　和田一夫

官房法務課長ヲ免ス

同　下村充郎

官房法務課長兼務ヲ命ス

府事務官　水越幸一

內務局地方課長ヲ免ス

同　高橋親吉

內務局地方課長兼務ヲ命ス

▼一月二十六日

專賣局書記　比嘉德

任專賣局副參事

▼一月二十七日

專賣局副參事　比嘉德

依願免本官

寄贈書目

書名		發行所
臺灣日々新報	每號	其社
臺灣新聞	同	其社
臺南新報	同	其社
臺灣經世新報	同	其社
萬朝報	同	其社
九州日々新聞	同	其社
國報	同	其社
東亞經濟研究	同	其社
實業之臺灣	同	其社
工業評論	同	其社
臺法月報	同	同發行所
糖業	同	臺灣糖業研究會
臺灣教育	同	其會
臺灣貿易表	同	臺灣總督府稅關
朝鮮	同	朝鮮總督府
臺灣民報	同	其社
臺灣鐵道	同	其會
臺灣農事報	同	臺灣農友會

向陽會報	同	向陽會
稅務月報	同	稅務職員共慰會
貿易	同	日本貿易協會
臺灣鑛業會報	同	其會
臺灣警察協會雜誌	同	其會
南洋協會雜誌	同	其會
海事新報	同	帝國海事協會
週報(上海貿易)	同	上海日本商業會議所
東洋	同	東洋協會
偕行社記事	同	陸軍偕行社
海友	同	大連海務協社
地方	同	帝國地方行政學會
臺灣パック	同	臺灣パック社
遞信協會雜誌	同	遞信協會
一味	同	本願寺臺灣開教々務所
臺灣貿易月表	同	總督府稅關
茶業界	同	靜岡縣茶業組合聯合會
臺灣醫學會雜誌	同	醫學專門學校
專賣通信	同	專賣局
臺灣之茶業	同	臺灣茶商公會
讀書會雜誌	同	滿鐵讀書會

警察要報	同	朝鮮警察協會
社會研究	同	滿洲社會事業研究會
臺灣山林會報	同	臺灣山林會
稅	同	國民租稅協會
臺灣之產業組合	同	臺灣產業組合協會
臺灣遞信協會雜誌		臺灣遞信協會
社會政策時報		財團法人協調會
臺灣詩薈		同發行所
朝鮮地方行政	同	帝國地方行政學會朝鮮本部
月報	同	大阪商業會議所
海外重要記事	同	總督府調查課
化學工藝	同	化學工藝社
蘭領印度時報	同	南洋協會爪哇支部
新高新報	同	其社
朝鮮及滿洲	同	其社
中央佛教	同	其社
研究		臺灣語通信研究會
人と人	同	協調會
海運月報	同	其社
海外時報	同	外務省情報部
發明	同	帝國發明協會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那及南洋情報

臺灣總督官房調査課

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

目次

支那

北京許新内閣員發表……一
支那關稅自主權並釐金廢止に關する決議……一
北京財政部が負へる内外債の統計……二
郭松齡反奉の末路……三
郭軍殘部收拾と魏益三・李烈鈞……五
閻朝璽反奉の原因……六
五省銀行聯立の準備……六
閩南局勢の變化……七
最近廣東政府職員錄……八
廣東海南島情報……一二
廣州市財政局の章程……一三
桂軍舊將領の內爭終熄を願ふ通電……一四
廣西の內訌未だ息まず……一五
廣西督會辦行營新條例……一五
唐繼堯代表口中の唐氏……一七
西部支那に於ける石油……一八
中華民國十一、十二年度各大礦產額一覽表……二六

比律賓

比島の石炭(上)……三五
比島の銅……四一

佛領印度支那

礦業彙報……四四

馬來半島

護謨園の賣買に關するオプション・アグリーメントに就て……五〇
一九二五年十一、十二月英領馬來護謨輸出高……五一
馬來聯邦州一九二五年一月―十月錫輸出高……五三

蘭領東印度

蘭領東印度の新立法・行政制度(上)……五三
蘭領東印度の選擧法……六三

英領印度

印度棉花の輸出激增……六五

其他

錫蘭の護謨生產概況……六五
厦門臺灣人々口統計表(大正十四年十二月分)……六七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

情報

支那

□北京許新内閣員發表

十四年十二月二十九日夕新閣員任命の發表あり。閣員人名左の如し。

國務總理　許世英
外交　王正廷　　內務　湯漪
財政　陳錦濤　　陸軍　賈德耀
司法　王寵惠　　教育　易培基
農商　于右任　　交通　龔心湛

然るに同三十一日夕に至り忽ち又變更の處あり。卽ち

內務　于右任　　海軍　杜錫珪
司法　馬君武　　農商　寇遐

餘は前發表の如し。（十二月三十一日—北京電）

□支那關稅自主權竝釐金廢止に關する決議

支那關稅自主權竝釐金廢止に關する十一月十七日分科委員會の決議は十一月十九日第二委員會に報告せられ、其の採擇を經たり。尤も右分科委員會出席國たる日英米蘭支五國以外の多數國中には本國政府の承認を條件として之に賛成したものもあつた。

右決議文は左の通である。

本會議に參列したる諸國の代表は、今後協定せらるべき他の諸事項と共に、本會議に於て調印せらるべき條約中に挿入するの目的を以て關稅自主權に關する左の條文案を採擇することを決議す。支那國以外の締約國は茲に關稅自主權を享受する支那國の權利を承認し、支那と締約各國間の現行條約中に包含せらるゝ關稅上の制限を撤廢するに同意し、且千九百二十九年一月一日より支那國定稅率法の實施せらるべきことに同意す。支那共和國政府は釐金は支那國定稅率法の實施と同時に廢止せらるべきことを聲明し、更に右釐金廢止は支那共和國十八年一月一日

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(千九百二十九年一月一日)迄に有效に實行せらるべきことを聲明す。(大正十四年十一月二十日―外務省)

□北京財政部が現に負へる内外債の統計

北京財政部の公債司が編製せる該部の管轄に屬せる各種内外公債の區分表は大體に於て確實なる擔保あると確實なる擔保なきとの二種に大別し、その決算方法は十四年十一月三十日以前の事實を以て根據と爲し、昨年十二月三十一日に溯るを以て限と爲す。原表の編製は數箇月の久しきに亘り、數日前に至りて始めて竣成を告げたり。誠に綱擧り目張り頗る完善なりと稱す。茲に各項の債款中現に負債に屬せる數目を左に摘錄せん。

(甲)確實なる擔保を有する内國公債にして現に負債に屬せる純元金の高は、銀元二億四千二百五十一萬〇二百三十三元。

(乙)確實なる擔保を有する國庫證券にして現に負債に屬せる純元金の數目は、銀元二千四百零八萬二千五百元。

(丙)確實なる擔保を有する外債にして現に負債に屬せる純元金の數目は、銀元四萬一千三百九十六萬二千〇十九元七十九錢。

(丁)確實なる擔保を有する各國部分の庚子賠款にして現に負債に屬せる純元金の數目は、銀元三億九千六百五十一萬八千七百八十六元五十三錢なり。以上確實なる擔保あるものに屬する者は合計四種あり。その總額銀元十億七千七百〇七萬三千六百三十九元三十二錢。

(戊)確實なる擔保無き國内公債にして現に負債に屬せる元利合計の總數は銀元一千九百十九萬六千四百六十八元十錢。

(己)確實なる擔保なき國庫證券にして現に負債に屬せる元利合計の總數は、銀元四千二百二十萬九千〇十五元七十八錢。

(庚)確實なる擔保なき鹽餘案内各項の借款にして現に負債に屬せる元利合計の總數は、銀元四千五百六十八萬八千三百三十二元二十九錢。

(辛)確實なる擔保なき内國銀行號の借款案内各項の借款にして現に負へる元利合計の總數は、銀元四千二百十六萬七千九百三十三元九十一錢。

(壬)確實なる擔保なき各銀行の立換金(墊款)は、銀元三千四百九十萬一千九百八十九元五十錢。

(癸)確實なる擔保なき外債にして現に負債に屬せる元利合計の總數は、銀元三萬五千四百〇一萬八千六百十一元五十五錢なり。

以上は確實なる擔保なきに屬するもの計六種にして計銀元五億三千八百十八萬二千四百三十元四十七錢に上り現下負債になれる總額は銀元十六億一千五百二十五萬六千〇六十九元七十九錢なり。

(一月五日―廣州共和報)

□郭松齡反奉の末路

奉天軍の大勝　十四年十二月二十一日、郭軍が新民屯を占領せしより後、奉天軍の前鋒隊は稍抵禦を試みたるも遂に巨流河なる豫定陣地に向ひて退きぬ。郭軍は連戰連勝の勢に乘じて奉天軍を輕視するの狀あり。然るに實は奉天側の計は前に戰を作せる軍隊を後方に退かしめ、前線は悉く吉林・黑龍江兩省の生鋭の軍隊を以て盈たしめたり。故に兩軍の兵力は已に奉天軍の四に對し郭軍は一の割合となれるが上に、郭軍は前後共に路を絶たれ一切の接濟に困難を生じ、防寒の衣を給するに暇あらざるに亦糧食の缺乏を告げたれば、軍中頻りに逃れ降る者を出し軍心漸く渙散の餘、連戰四日にして郭松齡夫婦は遂に擒となれり。初め郭軍が新民屯を占領するや、全隊を擧げて白旗堡より陸續新民屯に入り、奉天軍の防禦線に向ひて戰を作し、兩軍の接近せる箇所に至りては二キロメートルを過ぎず、遠き所も約十キロメートルのみ。時に奉天軍の左翼防備に稍遺漏の點あり。郭軍乃ち二萬の兵力と大砲百門とを以て卽時に河を渡り大民屯方面に向ひて前進し、前鋒隊三團が將に宿營せんとする時、忽ち奉天軍の騎兵に迎へ擊たれて支ふること能はず、遂に退却の已むを得ざるに至れり。二十二日朝、又再び前進を開始し、章士臺・一牛臺を占領せしより後、步兵一萬と大砲三十門とを以て大民屯を猛攻したれば、奉天軍の吳俊陞部の騎兵隊は其の勢に押されて巨流河の東南なる前沙河子に退きぬ。是に於て郭軍は遂に大民屯を占領したり。

二十二日亥の時、奉天軍の左側張作相の部下步兵十旅と闞朝璽の部兵より郭軍に向ひて反攻し、新民屯の北十支里なる東高臺子を占領し、更に西高臺子を包圍攻擊したれば、郭軍二團餘の兵は全く潰退せり。張作相は更に二大縱隊を編制して直ちに新民屯を取り、親しく第十五師等の部を率ゐて追擊し、又第十六師の于琛澂は郭軍の背後に迂回し、進んで柳河溝を占め將に來りて右翼を窺はんとする郭軍を完全に包圍しつゝ押し寄せたり。左翼の郭軍五團餘の兵は亦吳俊陞の部及張九卿の部に擊ち散らされ、其の軍械全部は分捕さる。又奉天軍の右翼なる公主屯方面の陣地には電網・地雷の設備ありて非常に堅固なれば、郭軍一萬七千の兵力と大砲七十門とを以てするも未だ其の功を奏する能はず、遂に正面なる郭軍と聯絡し巨流河に向ひて進攻し、二十二日夕巨流河村を占領したり。然るに二十三日拂曉に及び吉林軍俄に出で來りて側擊を加へたる結果、郭軍の左翼先づ敗れて新民屯に向ひて逃竄し、正面なる張學良部と韓麟春部とは河を渡りて激戰し砲擊尤も烈し。二十三日夜も陣地に進前し攻めて新民屯より三・四支里の地に至りしに、恰も好し左翼の汲金純・湯玉麟等の師が騎兵と張九卿の師を合せて前進し來りたれば、郭軍已に四面を包圍されて再び振ひ起つべきの勢なし。兩軍共に死力を出

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

して劇闘し砲戰最も烈し。漸くにして郭軍潰退を始め、遂に全線に奉動し皆新民屯に向ひて退き走る。奉天軍は是れより守勢を轉じて攻擊と爲り郭軍を追擊せんとす。而して郭軍は其の危きを支えんとて急に遼中・濟裕子・營口等の處に在るの全軍を呼び寄せて正面に加入せしむ。時に吳軍の團長は大隊をして老達子房を扼守せしめ、自ら穆春・萬福臨の騎兵を率ゐ、奇兵を出して白旗堡に進み、二十二日夕之を占領して其の糧秣大砲飛行機等を獲ること極めて多く、同時に二千人を俘虜とし、前後の鐵路を毀ち、一方戰利品を老達房に送るべく命じ、一方馬隊を派して東進せしめ直ちに新民屯の背面を拊ち、柳河溝に趨くの于琛澂の騎兵と會合せり。郭軍は已に背後の路を絶たれ前方の軍は潰え退きたれば遂に全く包圍の中に陷りぬ。二十四日奉天軍は已に徹底的の大勝を得、郭軍の再起は絶望となりたれば、遂に郭軍中の各軍長より新民府に駐剳せる日本領事分館に向ひ降伏の意を張作霖氏に轉達せんことを請ひ、並に郭及其の家族、並に各將領及其の家族の生命財產を保障せんことを懇願したり、該分館は此の旨を奉天なる吉田總領事に電達し、總領事は直ちに王永江省長に謁し之が轉達方を求めたる結果、張作霖氏は各將領及其の家族の安全を保障することを許したるも、郭松齡のみは保障する能はざる由を答へたり。新民府の日本領事分館に待ち居れる郭松齡代表は此の旨を郭氏に通知し亡命すべきの意を示せり。かくて郭部鄒作華等は盛京上將軍宛に大至急電報を送りて云く、茂辰(郭)は今朝逃亡したれば、已に各軍に命じ攻擊を停止せしめ新民屯に集りて解決を待たしめつゝあり云々と。是に於て双方已に停戰を行ひ局勢大に定れり。而して一方を顧るに郭松齡自身は新民屯を占領せる時其の司令部を白旗堡に移したるに、吳軍俄に進んで該堡に迫りたれば、郭之を奈何ともする能はず、尙ほ該停車場なる源茂棧に匿れ居りて其の代表の來るを待ち、已に張作霖氏が己を保障せざるの報を得るや、新民府日本領事分館に逃れんと欲したるも其の能はざるを見、遂に妻と共に農夫婦に改裝し、郭氏自ら大車を拖き遼中方面の田舍に向ひて逃走し、因りて奉天の附屬地に至らんと欲したるに、料らざりき竟に穆部王旅長永淸に跡を附けられ、二十四日夕方、老達房附近にて捕へられ、其の妻及隨員等も亦同時に獲らる。かくて二十五日正午阜姑屯にて銃殺せられ、郭夫婦の屍體は奉天東關外小河沿體操場に運ばれて、姜登選・裴春生及戰死者を祭るの用に備へられたり。聞く張督は人を用ふること明ならず、且つ人を信ずること甚だ過ぎたるを以て今回の如き郭氏の己に叛くを見るに至りたりと爲し、郭の已に誅に伏したる後は、それに誘迫せられたる將士の既往を咎めず、郭の父母も人を遣し之を保護して其の餘年を養はしむることゝしたりといふ。(十四年十二月二十六日―奉天通信)

郭松齡敗死の別報　郭軍の遼河に敗るゝや復た收拾すべからず。郭氏亦自ら挽回すべからざるを知り、遂に其の夫人と變裝して普通商人と爲り、逃れて遼中大房身地方に至りし時、穆春騎兵師團部下

の王永清連長に捕獲せられ、送りて興隆店なる張軍總司令部に至る。張學良親しく自ら本人身柄を驗明し、何故に反せしかを問へるに郭は答なかりき。學良乃ち謂ふ汝我に負くも我は斷じて汝に負くべからず。若し汝を省城に送らば尙ほ幾何の恥辱を受くるかを知らずと。言ひ終りて三發の銃丸の下に射殺し了れり。かくて更に張學良は部下に命じ郭の夫人を銃殺せしめ、兩人の死屍を最大麻袋に納れ省城に運送せしめ、小河沿なる體操場に陳列して人々の觀覽に任せ、二十七日姜登選・裴春生等を祭るの用に供しぬ。是に於て郭氏の倒戈劇の一幕は全く閉ぢられたるが、郭氏の死後、郭氏を圍繞したる政客及び幕僚にして林長民・殷汝耕・齊世英・崔多祥等の如き皆變化を生じ、林長民は張軍に捕獲せられて興隆店に銃殺せられ、殷汝耕・齊世英二人は現に新民屯の日本領事館に收容せらる。張學良より再三殷・齊の引渡を要求せるも該館にては承認せず、崔多祥は尙は日本に在り。郭の部下郭作華・參謀高之綬旅長は皆已に張軍に投降せるが、張學良は仍ほ之を旅長とすることを許したり。其の他郭の部下三萬餘人(中に逃亡者を含ます)は一律に武裝を解除し暫く北大營に收容して別に改編することゝなれり。現に山海關に駐れる郭部第四軍に對しては已に趙恩臻・汲金純等を派し該地に赴き降參者を收めしめ、又李景林の兵が敗れたる爲め、國民軍の出關を防ぐ目的にて、奉天に至りて二師團を選拔し、又吉黑軍中よりも同じく二師團を選取し、合計四師團として山海關に進駐し、張作相を總司令とすべしといふ。頻りに聞く所によるに、郭氏が今回是の如く早く失敗したるは、郭作華・高之綬等が、新民府に在りて又郭氏に背反せしが故なりといふ。(十四年十二月二十八日―奉天通信)

□郭軍殘部收拾と魏益三・李烈鈞

魏益三國民軍に投ず　張作霖氏は奉天大勝の後步兵一師・砲兵二旅・騎兵一旅・工兵一連を派遣して郭松齡軍の殘部を討伐せしむ。但し山海關方面には尙ほ魏益三の郭軍第五軍あり。軍資彈藥の供給を受くるを以て條件と爲し、馮玉祥の國民軍に加入し、山海關に據りて奉天軍に對抗することに決したれば、今正に郭軍敗餘の兵を收容しつゝあり。聞く張氏は今回の事變より大に反省を加へ、計を決して軍備を縮小し東三省人民の負擔を輕減し、善政を勵行して休養を圖り、中央政府に對しては多少の不滿足あるも今後は絕對不干涉主義を採り、郭軍の投降兵は目下正に張學良をして改編に着手せしめ、二十八日までに全く集中を了せしむべし。

(十二月二十七・八日―天津・奉天電)

李烈鈞の奉天對抗　李氏は國民軍の精鋭二千人を率ゐ十二月二十九日山海關に向ひて出發し、暫らく該地一帶警備の責に任じ、今後は特に郭松齡の後を繼ぎ直ちに奉天を搗かんとすといふ。蓋し李氏

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本と兵權を有せず。然るに今既に馮玉祥氏より軍旅を附與せられたれば誠に地盤を取得するの絶好機會とす。されば必ず勇を奮ひて猛進せん。李氏又善戰を以て名あり。奉天側の勝利に迷ひ居れるに、忽又此の慓悍の大敵を迎へざるべからざるに至りたれば、奉天の前途は尙ほ未だ樂觀を許されざるべし。(十二月三十一日―天津電)

馮の對奉策　馮玉祥氏は李烈鈞・方聲濤を派し、北京より唐山に赴き、唐之道部に會同して楡關を防守し以て郭軍の聲援を爲さしめ、又張之江・李鳴鐘を派し第三師の元旅を率ゐ第二軍に會同して郭軍を援けしめ唐之道を以て前鋒と爲し先づ楡關を取らしむ。(十二月二十八日―北京電)

□闞朝璽反奉の原因

奉張の郭松齡を殲滅してより後、郭部第四軍魏益三旅團は尙ほ山海關を扼守し、國民軍の接濟に因り更に奉天軍と一たび勝負を爭はんと欲しつゝあり。張作霖氏よりは已に張九卿・趙恩臻等を派して之を收撫せしめたるも、魏の態度は甚だ堅く嚴厲なる言調を以て拒絶したれば、張九卿之を張作霖氏に報告し遂に湯玉麟の第十二師團・萬福麟・穆春の騎兵二師團と汲金純師團の追擊砲團とを以て急に山海關に赴かしめて之を切り止むることゝしたり。又二十九日に至り闞朝璽が八面城に據りて張作霖反對の義旗を擧げたる報告に接せり。闞は郭氏の未だ敗れざる時に於て郭に通じ居るとの嫌疑を受け、張作霖は患を未然に防がんとて京奉鐵路局督辦常陰槐を派し執法軍二營を率ゐ、四平街・八面城各地に赴き闞軍の武器を押收せしめたるに、闞軍は服せずして、却りて執法軍の武裝を解除したるは、尙ほ奉・郭兩軍の酣戰中に在りて、奉天軍は之を咎むるに暇なかりし爲め、闞軍の勢力益々强大となり。目前は更に吉林なる于琛徵の軍及び收容せられたる郭氏の殘部と聯絡して已に二萬人以上に達せり。闞朝璽は通電を發して張作霖の下野を迫れるを以て、張氏は又已に吳俊陞・張作相等を召集して緊急會議を開き略ぼ下野の意を露はせるも、楊宇霆等仍ほ傍より之を諫止し居れり。然れども奉天の大局は尙ほ樂觀を許さゞるに似たり。(十二月三十日―奉天通信)

□五省銀行聯立の準備

孫傳芳氏は十二月八日に杭州へ到着、十三日直ちに南京に歸らんとす。孫氏は五省間の内部庶政の整理に對し、先づ財政整理より入手し、最近期間に五省聯立銀行を籌設して五省間最高の省庫とせんことを圖り、現に已に組織の大綱を草し了りたれば、孫氏が江寧に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

歸り次第準備に着手すべしといふ。(十二月二十日—新聞報)

□閩南局勢の變化

前月廣東の國民黨軍が潮・梅を克復し、陳炯明軍が閩の汀・漳各屬に敗竄するに當り、廣州の國民政府は直ちに周蔭人に打電して云く、陳部を解決せしめ、若し解決を爲さゞれば黨軍必ず福建に入りて追擊に出でんと。かく國民政府が直ちに手を下さゞる所以は、福建の周督は反奉派にして國民政府も亦反奉側なれば、奉天張作霖氏の未だ倒れざる以前には、自ら攻閩を實行するに便ならず。故に閩省が其の要求を容納せざる時を俟ち始めて口を進攻に籍るべきなり。然るに周氏は機を知るに敏なれば、右の電報に接するや否や、立ちどころに張毅に命じ陳軍に勸め江西に退かしめて黨軍の侵迫を免れしむ。陳軍の漳州を退出するや、張毅卽ち委員を派し蔣介石に向ひて報告し其の辭を誇大にして、已に陳軍の銃器二千餘挺を押收し其の殘部は江西に向ひ退却せりといふ。蔣側の代表葉醉生二十三日に漳州に到着したれば、張毅は二十五日許仁蔣を派して之を伴ひ汕頭に返らしめ、蔣に向ひ閩省を攻むることなく、轉じて江西省に入りて發展せんことを請ひ、若し請の如くするならば願はくは子彈餉項を以て相助けんとて詞を卑くして和を求めつゝあり。然るに閩籍の民黨は近頃又頻りに國民政府主席の汪兆銘及び蔣氏に援閩の請願をなしたるが、其の情詞迫切なれば汪氏は命を下さんことを許せり。然るに露國顧問鮑羅廷(ボロデン)は之に反對すること甚だ力む。乃ち云ふ、目前福建を攻むるは啻に奉天を助くるのみならず、且つ閩の當局は既に陳軍の引退を許したれば當然黨軍は諒解し終に援閩の命を下さゞりき。又福建中の民黨は蔣介石に向ひ出兵を乞ふこと一再ならざるを以てむげに之を謝絕し其の元氣を沮喪せしむる能はざれば、閩人より閩局を自決することゝし、蔣氏は之に對し相當軍隊を出し、閩中の民黨を助けて北軍を驅逐し、一切の軍餉子彈は皆國民政府より供給するも、蔣氏自ら出馬せざれば閩周督の詰問を避け得らるゝ譯なり。現に已に閩人張貞部をして虎門より出動して汕頭に至り蔣氏より派遣せる援閩軍隊を之に配して入閩の準備をなし二週間後には出發すべし。されば周蔭人・張毅・李鳳翔等も仍ほ未だ枕を高うする能はざるなり。

福建の民黨宋淵源・許卓然等は先後して汕頭に赴き蔣氏に入閩を請へり。而して湖南人黃國華(許崇智舊部)亦洪兆麟部謝文炳・劉志達等を代表し蔣氏に向ひて收容を求め、張貞の統べ居る國民革命第一軍第一獨立團は亦去月二十二日石龍に集中したれば、廣東當局は陳公博を派して檢閱慰勞せしめ、同時に莫大の軍資を給與したり。張貞は遂に二十三日所部を率ゐて汕頭に赴きたれば今や已に到着し

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

居らん。張員到着せば宋・許・黄等と會し共に入閩の計畫を相談せんとすといふ。尤も領袖難産なる爲軍事委員會を組織し合議制を行ひて競爭の弊を杜ぐと傳へらる。

陳炯明は江西に退かんと揚言せるも尚未だ閩省境上を離れず。僅に出て、龍巖の水潮道中の處に至れるのみ。江西方面にては曾て委員を廣東に派して陳部の退きて江西に入るを許さゞることを表示したれば、陳部は今や進退兩つながら困難の位置に在り。或は福建・江西の邊界に分屯せんとするならん。洪部第三獨立旅劉志達は浦南に在りて張毅の改編に歸し福建第一師支隊となりたるは一種の作用にて、之により漳州屬を離れて黨軍の入閩を待つを免かれたるなり。

（十二月三日―厦門通信）

□最近廣東政府職員錄

(A) 國民政府

（一）國民政府委員會　△印ハ常務委員

主席委員　△汪精衛

委員　△譚延闓　△伍朝樞　△林森
△古應芬　朱培德　孫科
程潛　戴天仇　張繼
張靜江　于右任　徐謙
宋子文　胡漢民　許崇智

（二）國民政府軍事委員會

主席委員　汪精衛

委員　譚延闓　朱培德　林森
伍朝樞　程潛　李濟琛
古應芬

（三）國民政府外交部　部長　胡漢民

（四）國民政府財政部　同　宋子文

（五）國民政府軍事部　同　譚延闓

（六）國民政府監察院
委員　甘乃光　林祖涵　黃昌穀

（七）國民政府懲吏院
委員　鄧澤如　李章達

（八）國民政府大理院
院長兼司法行政主任　徐謙
代理　林翔

(B) 廣東省政府

（一）省務委員會

主席委員　古應芬

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

委員　陳公博　宋子文　許崇清
孫科

(二) 廣東省政府民政廳々長　古應芬
(三) 同　財政廳々長　宋子文
(四) 同　軍事廳々長　軍事委員會代行
(五) 同　建設廳々長　孫科(吳尚鷹代理)
(六) 同　商務廳々長　宋子文
(七) 同　農工廳々長　陳公博

(C) 廣東市政府

(一) 市政委員會
主席委員　伍朝樞
委員　伍朝樞　吳鐵城　譚光槐
司徒朝　林逸民　伍大光
(二) 廣東市政府公安局長　吳鐵城
(三) 同　財政局長　譚光槐
(四) 同　衛生局長　司徒朝
(五) 同　工務局長　林逸民
(六) 同　教育局長　伍大光

(D) 其他

(一) 國民政府秘書長　陳樹人
同　參事　詹大悲　黃一歐　彭澤民

(二) 國民政府軍事委員會所屬機關　汪兆銘　[illegible]　[illegible]石
參謀團主任　ロカロフ(露人)
海軍局長　セミヨノフ(同)
航空局長　李　慶(同)
兵工廠長　鄧士章
軍需局長　范其務(名義ハ范ナルモ范ハ就職セス目下汕頭市長就任蔣介石ト交渉中ナリ)

(三) 國民政府豫算委員會
主席委員　譚延闓
委員　古應芬　伍朝樞　甘乃光
譚平山

(四) 粤海關監督兼交涉使　傅秉常
(五) 總檢察廳々長　盧興原
(六) 高等審判廳々長　陳　融
(七) 高等檢察廳々長　林雲核
(八) 地方審判廳々長　陸嗣曾
(九) 地方檢察廳々長　陳芝昌
(十) 兩廣鹽務稽核所々長　宋子文
(十一) 國立廣東大學校々長　顧孟餘
代理　陳公博
(十二) 國民政府財政部所屬機關

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

禁烟處長　陳策

（十三）廣東省政府建設廳所屬機關

治河處長　黃恩襄
公路局長　陳耀祖
航政局長　吳會憲
電報局長　陳孚木
電話處長　傅秉坤
無線電局長
粵漢鐵路管理局長　徐維中
廣三鐵路管理局長　李作榮
廣九鐵路管理局長　黎照寰

（十四）瓊海關監督兼交涉使　陳長樂

（十五）潮海善後督辦　何應欽
同　署參謀處長　蔣伯誠
同　秘書處長　李俠公

（十六）東江各屬行政委員　周恩來
南路各屬行政委員　甘乃光
廣州各屬行政委員　陳公博
西江各屬行政委員　古應芬

（E）國民黨

（一）國民黨中央執行委員

胡漢民　汪精衛　譚延闓　譚平山
李大釗　于樹德　王法勤　丁惟汾
于右任　恩克巴圖　李烈鈞　柏文蔚
林祖涵　鄒魯　林森　戴天仇
葉楚傖　居正　覃振　石瑛
石青陽　邵元冲　沈定一　熊克武

（附）同上候補

瞿秋伯　彭素民　于方舟　毛澤東
韓麟符　茅祖權　傅汝霖

（二）國民黨監察委員

鄧澤如　張繼　謝持　吳敬恒
李石曾

（附）同上候補

蔡元培　楊庶堪　許崇智　樊鍾秀

（三）國民黨中央執行委員會

農民部長　陳公博
工人部長　缺
商工部長　甘乃光
組織部長　譚平山
宣傳部長　毛澤東

（四）國民黨廣東省黨部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

組織部長　楊匏安
宣傳部長　甘乃光
農工部長　彭湃
工人部長　劉爾崧
商民部長　范其務
青年部長　陳孚木
婦人部長　何香凝

(F) 國民革命軍

(一) 第一軍々長　蔣介石
同　參謀長　胡謙
第一師々長　何應欽
第一團々長　劉峙
第二團々長　沈應時
第三團々長　錢大鈞
第二師々長　王懋功
第四團々長　劉堯宸
第五團々長　蔣鼎文
第三師々長　譚曙卿

(二) 第二軍々長　譚延闓
同　參謀長　岳森
第一團々長　朱耀華
第二團々長　[illegible]
第三團々長　成光耀
第四團々長　謝毅伯
第五團々長　廖新甲
第六團々長　周偉黃
第七團々長　朱剛偉
第八團々長　李蘊珩
砲工兵督練處長　鄒岳
南始警備司令　譚道源
獨立第一營長　劉泉
獨立第二營長　唐支廈

(三) 第三軍々長　朱培德
同　參謀長　黃實
第一師々長　王均
第二師々長　朱世貴
第四獨立旅々長　梁彥清
第一獨立營々長　甘芳

(四) 第四軍々長　李濟琛
第十師々長　陳銘樞
第十一師々長　陳濟棠
第十二師々長　陳可鈺

（五）第五軍々長　李福林

八箇團アリ内二箇團香山　二箇團南海　二箇團順德

二箇團河南ニ分駐

（六）第六軍（攻鄂軍ヲ改編準備中）

軍長　程潜

第一團々長　李國柱

第二團々長　王邦吉

第三團々長　王尹西

第四團々長　五廣泉

（七）國民革命軍獨立第一師々長　吳鐵城

（八）國民革命軍獨立第二師々長　馮軼裴

第一團々長　薛仰岳

第二團々長　徐恩宗

（九）第一陸軍々官學校長　蔣介石（黃埔）

第二同　同　譚延闓（城內）

第三同　同　朱培德（大沙頭）

第四同　同　李濟琛（籌備中）

（十）虎門要塞司令　陳肇英

（十一）海軍總司令　歐陽林

國民政府高等顧問　鮑羅廷（ボロージン）（露人）

國民黨政治委員會

委員　汪精衛

譚延闓

伍朝樞

古應芬

（十四年十二月二十六日—廣東通信）

□廣東海南島情報

一、廣東軍は本十八日迄に海南島「ポーチンベー」及び清蘭港・臨高の三箇所に揚陸占領し、海口に在る鄧本殷を包圍せる形勢に在り。兵力は詳ならず。

二、土民軍は鄧軍に反對す。

三、鄧軍部下は逃亡するもの多く、鄧は多分降參するものと推せらる。

四、戰爭迄は掠奪等の危險あり。茲一週間の內に形勢定まらん。

五、驅逐艦艇は警備の爲め十六日夕海口に向け出發の由。

（十五年一月二十日—海南島情報）

六、一月十九日午後一時より舖前方面に於て小衝突あり。

七、二十日早朝より市內に拉夫行はれ未だ掠奪行はれざるも人心恟々たり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

八、鄧軍幹部は家族を避難せしめつゝありしといふ。

九、事態稍々切迫せるも在留邦人は夫々十分なる保護を受けつゝあり。（以上一月二十日—海南島情報）

一〇、鄧軍幹部は二十一日香港に向け出港せる英汽船に乗船せんとせるも船長に拒絶せられ、行衛不明なり。又鄧軍部下の兵は昨夜白沙方面に逃亡し、海口兵營は全部空家となれり。

一一、行衛不明の軍隊は今朝以來歸來しつゝあり。已に首領を失ひし彼等は何時掠奪暴行に出づるやも知れずとて人心恟々たり。市内は目下無政府状態に在り。在留邦人は安全なり。

一二、廣東の赤軍は既に白沙方面に入りたりとの報あり。

（以上一月二十一日—海南島情報）

一三、廣東軍は二十一日午後二時半無抵抗にて海口を占領し、支那人家屋數箇所掠奪を受けたるも、市民は爆竹を鳴らして之を歡迎せり。邦人及外人は安全なり。

一四、瓊州府には廣東軍入りたる如きも平穩なり。

（以上一月二十二日—海南島情報）

□廣州市財政局の章程

第一條　財政局は廣州市暫行條例第十五條の規定に依りて之を組織し、廣州市政廳に隸屬し廣州市一切の財政事務を管理す。

第二條　財政局に左記の三課を分設す。

（一）徵收課　（二）會計課　（三）市金庫

第三條　徵收課は左記事項を掌理す。

（一）廣州市暫行條例第四十六條に列記せる各項の税捐を徵收し、及其他省政府より市政廳に移歸して徵收せしめたる各項の税捐を管理するに關す。

（二）市内公產の管理に關する事項

（三）市内公債の辦理に關する事項

（四）市内の有税敷地產業の價値を見積ることに關する事項

（五）各種の自動馬車・人力車・貨車・轎輿及その他車輛の管理に關する事項

（六）省河にある各種大小の船舶及蒸汽船の管理に關する事項

第四條　會計課は左記事項を掌理す。

（一）全市の總豫算及決算に關する事項

（二）各機關の豫算及決算の稽核に關する事項

（三）市債各種の豫算及決算に關する事項

（四）財政表册の作成報告及收支文件證憑の保管に關する事項

（五）簿記管理の登錄及その保存に關する事項

（六）特別會計の豫算及決算に關する事項

（七）各機關の簿記式樣の規定に關する事項

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(八) 本局經費收支の審査に關する事項
(九) 各種經濟事業の取締に關する事項
(十) 國の內外市場の金融狀況に關する事項
(十一) 各種開投(見積報告)の監視に關する事項
(十二) 其他會計一切の事項

第五條　市金庫は左記事項を管理す。
(一) 一切の收支の保管に關する事項
(二) 本局財員の管理に關する事項

第六條　財政局に左に列擧せる各職員を置く。
局長一人　秘書一人　課長二人
庫長一人　課員若干人

第七條　局長は局內に於ける一切の事務を綜理し、秘書は局長の命を承けて機要事務を掌理す。課長庫長は局長の命を承けて該管事務を辦理す。課員は長官の命を承けて各該課庫の事務を辦理す。

第八條　各課庫は事務の繁簡に因り事務を分掌するを得。その事務分掌の細則は別に之を定む。

第九條　財政局は局內の事務の進行を研究し或は改良を圖らんがために職員會議を召集するを得。
但局長・課長・庫長・秘書より之を組織す。
その會議細則は局長より之を定む。

第十條　本章程に未だ完備せざるの事宜あらば局長に由りて隨時に修正し市政委員會に提出して議決するを得。

第十一條　本章程は市政委員會議より議決し、市政委員長公布施行す。(十一月十三日―七十二行商報)

□桂軍舊將領の內爭終熄を願ふ通電

廣西大局は新系李宗仁・黃紹雄が勢を得てより後、舊系各人は各處に逃去り、林俊廷は南の方上思に走りて其の地を管轄し並に綏祿・三官・思州の一帶に及ぶ。又韓彩鳳は西の方河池に走り、蒙仁潜は北の方思恩に走り、沈鴻英の部屬は更に散處するの已むを得ざるに至り、沈榮光は東蘭に、葉青銭は桂江一帶に在り。張希栻は仍ほ平南鳳化に踞り、沈健飛は粤桂邊界に出沒し居れるが、中にも林俊廷と韓彩鳳とは性質忠耿にして最も早く覺悟を定め國事の日に非なるを悲み、已に成見を棄てゝ內訌を息め專ら對外に力めんとて、桂省の己が第二故鄉として之を糜爛せしむるに忍びず、軍策軍力を合して省憲を促成し自治を標明し、積極に兵を裁し匪を剿し、人民を休養し、一切皆衆意を以て斷と爲し、先づ桑梓を奠安し進んで國家を與衛せんとす云々といひ、韓彩鳳も大略右に類する通電を發したり。且按ずるに韓は勇敢にして戰を善くすれば軍中夙に老虎の目あり。且つ利の爲めに誘はれざれば多くの人は之を稱揚せり。林俊廷は士を

待つに適あり軍民分治を主張し居れり。現に李宗仁等も皆軍者（林字は蕭田）を以て之を稱す。二人共皆新戰術を解せざるを以て遂に失敗したる次第なり。（九月十五日—新聞報）

□廣西の内訌未だ息まず

廣西の軍隊は從來二種ありて新派舊派と謂ふべきなるが、舊派中亦分れて邊防系と柳州系との二となり、此の兩系は互に積んで平なる能はず、新派の乘ずる所と爲りて遂に今日の廣西局面を釀成せり。舊派失敗の後は二系復た相合し、遠く柳州慶遠の邊地に據りて隙を伺ひ土を捲き重れて來らんとす。此次新派が兵を出して廣東に入るや、舊派は遂に兵を擧げて思恩の役を現出せり。しかるに舊派は實力未だ充たざれば、擾亂は尙敢てするも占據するには十分ならず。然れども亦新派をして奔命に疲れしむるだけの功能はあり。邊防首領韓彩鳳は又宜北縣を攻むること再びなるも其の經過せる情形は徐啓明の報告に見ゆるが如く、韓彩鳳は慶遠を擾し、死灰の再び燃えんことを恐れ陸團長受祺に會同して進勦し、卽ち思恩を克復したるに。韓軍は思恩を退出し永安より古宜に走りぬ。啓明復命を奉じ各部を率ゐ二路に分れて追擊し、自ら三營を率ゐ安順圩より直ちに宜北縣に趨きて截擊し、又一營を派し永安圩より後を追ひ、十一月九日宜北縣を離れたる三十支里の中和店に至りぬ。査するに敵千餘人は亦此の日の朝宜北に至りしに、敵巳に我が追擊するを知るも決して退くの意なく嚴重に戒備し居れば我と決戰せんと欲するものに似たり。啓明遂に機に乘じて前進し、十日拂曉に攻擊を施せるに、敵は頑强に抵抗し、並に大隊を派し我に向ひて反攻せり。韓氏の兄弟は皆親しく自ら戰を督し我が軍は二回進んで復止り、未だ勝を制するに至らず。嗣いで預備隊を以て敵に向ひ猛烈に衝き進めるに敵遂に潰敗せり。然るに韓彩鳳は僅に四百餘人を率ゐ迂回して廣寧に向ひ逃走せり。此の役敵銃三十挺を押收し敵の官兵五十餘人を俘虜とし、敵の營長二人を斃したり。敵の死するもの六十餘人、我が軍の戰死者十餘人なり。敵の逃先は廣寧にして、これより苗山に進み沈鴻英の殘部と會合せんと欲するに似たりといふ。（十二月七日—新聞報）

□廣西督會辦行營新條例

第一條　廣西全省軍務督辦及會辦行營は督辦及會辦が地に就いて軍令•軍政を施行するの機關と爲す。

第二條　當行營の組織及人員は附表の定むる所に依る。

第三條　當行營には左記各處を置く。

(一)參謀處　(二)副官處　(三)軍械處　(四)軍需處　(五)軍法處　(六)軍醫處　(七)船務處　(八)秘書處

第四條　參謀處の掌理する事項は(一)梧州附近の攻守方略及各砲臺の防禦に關する事項さ、軍務署の命を承け梧州平樂の軍隊管轄に關する事項　(二)梧州附近各項交通路線の計劃配備に關する事項　(三)一切の輸運計劃及後方勤務に關する事宜　(四)動員計劃に關する事宜　(五)全國の軍政に關する事宜併せて各省軍隊情形の調査事項　(六)各國の政略及各處軍事上見聞の考察に關する事項　(七)當省境內の地理・民情・物力の各種調査に關する事項　(八)其の他一切特派の調査及軍事外交に關する事宜　(九)測量せる已成地圖を保管し竝に中外軍用地圖を保管するに關する事項　(十)機密の文書電報を繙譯するに關する事宜

第五條　副官處の掌理する事項は(一)機密及陸軍の文件に關する事項　(二)各種の報告に關する事項　(三)徵發せる物件表及徵發の報告に關する事項　(四)中外の頒布せる軍事上一切の法規命令に關する事項　(五)各國及本國各省軍事上の見聞及軍事上關係ある事件の記載に關する事項　(六)當省の陸軍官佐及軍用文官の任免に關する事項　(七)各兵科の人員調査に關する事項　(八)各軍官軍佐軍用文官の履歷書冊又兵籍名簿を保管し及編纂するに關する事項　(九)考績定勳賞資恩郵及休暇に關する事項　(十)廢兵の處置に關する事項　(十一)印信を典守するに關する事項　(十二)各項の公文公函公電を收發し及電稿保存するに關する事項　(十三)各雇員を指揮して一切の文牘函電を繙譯校理するに關する事項　(十四)命令を宣傳し及來賓を接待するに關する事項　(十五)當行營の風紀に關する事項　(十六)衞兵の勤務に關する事項　(十七)陸軍々旗に關する事項　(十八)各軍隊の軍紀風紀に關する事項　(十九)戒嚴及徵發に關する事項　(二十)徵募召集及解職退伍に關する事項　(二十一)軍隊の內務衞戍勤務及憲兵の服務に關する事項　(二十二)各兵科及軍樂隊に關する事項　(二十三)要塞建築及其の用地併せて要塞地帶事項　(二十四)要塞兵備に關する事宜　(二十五)當行營雇傭人員の指揮管理に關する事項　(二十六)當行營馬匹管理に關する事項　(二十七)當行營一切應用物品の登記保管及購備給與に關する事項　(二十八)當行營一切の庶務に關する事項　(二十九)整旅計劃の準備執行に關する事項　(三十)徵章に關する事項　(三十一)各兵科軍官軍士以下人員の調用及其の補充に關する事項　(三十二)運輸・通信・電氣・電信・電燈・輕氣球・飛行器に關する事項　(三十三)水陸交通に關する事項　(三十四)軍馬の籌備補充に關する事項

第六條　軍械處の掌管する事項は(一)軍用銃砲彈藥の製造・制式・籌劃・支給・交換及檢查事項　(二)軍火禁令事項　(三)軍用器具材料の製造・制式・籌劃・支給・交換事項　(四)要塞備砲事項・(五)軍隊通信用の材料・製造・支給・交換事項　(六)攻城守城交通に用ふる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

所の兵器々具材料の備辦事項（七）各項器具材料の經理及檢査事項（八）兵工廠・製彈廠・軍械局事項

第七條　軍需處の掌理する事項は（一）軍需運用事項　（二）各軍需處事項　（三）各軍需官勤務事項　（四）當軍需處の敎育考績及其補充事項　（五）軍政經費出納並に豫算決算一切の事項　（六）各種給與の審査事項　（七）軍服の經理及檢査事項　（八）軍服糧秣の製造購買事項　（九）平時戰時軍服裝具糧秣給與事項　（十）戰時の炊具製具等の事項　（十一）軍隊用具消耗品及埋葬用料物等の準備事項（十二）陸軍用地及建築事項　（十三）陸軍所屬の官產を管理する事項　（十四）軍人の廟宇及軍用墳地の事項　（十五）軍用金錢箱櫃及行李事項　（十六）當行營一切經費の收支豫算決算事項　（十七）軍務署の通先辦理事項　（十八）當行營各種會計稽核事項

第八條　軍醫處の掌理する事項は（一）軍醫獸醫各種診療機關事項（二）傷病等の診斷事項　（三）體格檢査事項　（四）戰時衞生勤務各種規則事項　（五）衞生材料事項　（六）防疫及衞生試驗事項　（七）衞生報告統計及調査事項　（八）軍醫・司藥・獸醫所屬の各項人員の勤務・敎育・考績及其補充事項　（九）赤十字會及恤兵團體事項

第九條　軍法處の掌理する事項は（一）陸軍々法事項　（二）陸軍監獄事項　（三）赦免及罪人の處置事項　（四）陸軍司法官及監獄職員の考績及其補充事項　（五）軍法會審事項

第十條　船務處の管理する事項は（一）各汽船薪餉燃料の核給事項（二）各種燃料及汽船物品の採辦及修理事項　（三）汽船の派遣輸送分配事項　（四）汽船出入に調査事項　（五）民船の封雇事項

第十一條　秘書處の掌理せる事項（一）特別文件譯稿事項　（二）民政に關する所の事項　（三）其他各處に屬せざる事項

第十二條　督辦會辦は全省の軍令軍政を總攬し共同して責を負ふ。

第十三條　主任は督辦會辦の意旨と參謀長の指導とを秉承して行營一切の事務を處理し、當行營各職員に對して直接に指導或は其服務を命令するを得、督辦會辦營に在らざる時、所有當行營一切の事務は代行代拆するを得。

第十四條　參謀副官軍需の三處には各主任一人を設け、督辦會辦或は主任の命を承け各該處の職員を督率し當處一切の公務を辦理す。其餘未だ主任或は處長を設けざる各處の職員は督辦會辦或は主任の命を承け、高級にして資格深きものより責を負ひ、各該處職員を指導して本處の事務を辦理す。

第十五條　本條例は公布の日より施行す。（十五年一月上旬）

□唐繼堯代表□中の唐氏

雲南唐繼堯氏代表齊榮北は十四日太古洋行安慶汽船にて漢口に赴けるに、中國社記者の訪問を受け、唐氏と吳佩孚氏との打合せ事項

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を語りて云く、余は河南人なれば今囘便路漢口を過ぎ個人關係を以て吳氏と相談を試みしのみにて、未だ唐氏の親書を携帶せす。雲南は五月三十日案の發生せしより後、軍事を收束し、國防・省防を除きて外は決して他に向ひ何れの方面へも釁を起さす。又唐氏は政局の混沌たる爲め、內政の整理と自治との勵行との外は、何れの方面にも拘はらす皆成見を固執することなし云々と。

（十二月二十日—新聞報）

□西部支那に於ける石油

山西・陝西・四川・甘肅及新疆等西部支那に於ける油田の探索は、此の重要なる鑛物の供給地を絶えず見付けてゐる西洋諸國の注意を自然引いてゐる。斯かる狀態であるに拘はらず、支那政府は從來石油の發見にも努力しなければ、發見せられた石油の採掘等にも努力しなかつた。一度は政府に於て石油局なるものを設立しようとの話が喧しかつたが、何等具體的に出現しなかつた。然るに、露西亞人はその國境なる新疆及甘肅に於て活動した。思ふに、山西や陝西に於ける支那の努力は、極めて幼稚なもので、開拓に至りてはあまり重要視されてゐない。

山西省に於ける石油

最近山西省當局は、大規模の下に省內石油精製工業の發展を計らんが爲めに一案を作成した、該案は十年の期限を設け、その間每年省庫より該企業に對して三十萬弗の經費を支出するといふのである。而して其の見積に依れば、山西當局は斯業に對する年々の割當費と、斯業から得る利益との兩方面よりの資金を以て十箇年に四十四の精油所を設立し得るであらう。山西當局の考へでは、該省は單に地方市場に對してばかりでなく、他の諸省否外國に對しても供給するに充分なる石油を產出し得る樣でなくてはならぬと。然るに現在山西は、外國から約一萬四千噸の燈用石油を輸入し、その總額三百萬弗餘に達してゐる。山西當局は廣大なる頁岩の埋藏地から石油を得んとの計畫を立て、又彼等現在の意見は、卽ち若し勞働及運送の方法が有效に出來たら、精油所は省內如何なる方面にでも有利に設立し得ると云ふにある。

山西當局者の發表せる趣意書に依れば、各精油所は一蒸溜所・一精製所及一機械修繕工場より成り、更に石炭酸や其他の如き副產物を集め或は之を製する工場を附屬するものである。而して一精油所建設に對する創業總支出は約二十萬弗と槪算され、その內譯左の如し。

（イ）蒸溜精油工場・機械修繕工場用機械及工場建物（土地を含ます）
九五、〇〇〇弗

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(ロ)	副生物製造用機械	三一、二三七弗
(ハ)	事務所其他の建物	一五、〇〇〇弗
(ニ)	地代(約五〇畝)	一、五〇〇弗
(ホ)	鑛區購入費(十平方里)	三〇、〇〇〇弗
(ヘ)	機械運搬及据附費	二〇、〇〇〇弗
	計	一九二、七三七弗

各精油所は一日六噸、一年の勞働日數三百日として、年に千八百噸の原油を生產し得る豫定である。而して此の内其の二十パーセント即ち三百六十噸の燈油及同率の揮發油が得られると云ふ事である。加之、二十パーセント即ち三百六十噸の機械油をも得る筈である。殘餘四十パーセントのコールタールよりは各種の副產物を作り得る。

販賣費及運送費を控除せる、各精油所に於ける生產品賣上年純收入の内譯を示せば左の如くである。

(イ)	燈油	三六〇噸(一噸に付き正味一五〇弗)	五四、〇〇〇弗
(ロ)	揮發油	三六〇噸(一噸に付き正味二三〇弗)	八二、八〇〇弗
(ハ)	機械油	三六〇噸(一噸に付き正味一三四弗)	四八、二四〇弗
(ニ)	コールタール	七二〇噸(一噸に付き正味三〇弗)	二一、六〇〇弗
(ホ)	骸炭	七、二〇〇噸(一噸に付き正味〇・五〇弗)	三、六〇〇弗
	計		二一〇、二四〇弗

一精油所毎年の經費は八六、五九五弗と見積られ、これに、創業費の十分の一に當る償還金二〇、〇〇〇弗(之には十箇年の年賦を以て償還すべきもの)と工場減價償却及其他臨時費としての三三、六四五弗を年々加算せねばならぬ。

營業收入二一〇、二四〇弗から上記項目を控除すれば、純利益は七萬弗となり、詳細は次の數字によりて示さる。

(イ)	一日六十噸、一年(但勞働日數三百日)一萬八千噸(一噸の見積價額一弗)の瀝青質石炭の價額	一八、〇〇〇弗
(ロ)	一年(但三百六十五日)の勞銀	三七、五九五弗
(ハ)	石油箱及ブリキ罐の代價	一三、五〇〇弗
(ニ)	事務員の俸給	一二、五〇〇弗
(ホ)	損失及修繕費	五、〇〇〇弗
(ヘ)	創業費年賦償還金	二〇、〇〇〇弗
(ト)	工場減價償却及其他の臨時費	三三、六四五弗
	計	一四〇、二四〇弗
	純益	七〇、〇〇〇弗

かくして十箇年間に精油所の數を四十四に增加するのであつて、該案は左の如く詳細に説明されてゐる。若し山西省庫が十箇年間、該企業に對して年三十萬弗宛を支出するならば、第一年に約二十萬弗を以て一精油所を創設し、而も將來の事業擴張のために、十萬弗の剩餘金を次年度に繰越す。

次年度には四十萬弗(三十萬弗は年經常費、十萬弗は前年度の繰

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

越)事業擴張に利用し得る故に、該年度には二箇所の精油所を設立し得る譯けである。第二年目の終り迄には第一年目に得た精油所よりの純益七萬弗は該計畫擴張に之を利用する事が出來、この額は更に多數の精油所建設のために第三年目に繰越される。如斯にして、精油所の數は第十年目には四十四箇所に增加すると云ふのである。

詳細に渉る數字は次の表によりて示さる。（價格單位弗）

年度	擴張費（毎年の資本支出、並びに剩餘金及利益金を含む）	建設さるべき精油所數	新設精油所建設に對する資金	純益	次年度繰越剩餘金	次年度繰越利益金
第一年目	三〇〇,〇〇〇	一	二〇〇,〇〇〇	—	一〇〇,〇〇〇	—
第二年目	四〇〇,〇〇〇	二	四〇〇,〇〇〇	七〇,〇〇〇	—	七〇,〇〇〇
第三年目	三七〇,〇〇〇	一	二〇〇,〇〇〇	二一〇,〇〇〇	一七〇,〇〇〇	二一〇,〇〇〇
第四年目	六八〇,〇〇〇	三	六〇〇,〇〇〇	二八〇,〇〇〇	八〇,〇〇〇	二八〇,〇〇〇
第五年目	六六〇,〇〇〇	三	六〇〇,〇〇〇	四九〇,〇〇〇	六〇,〇〇〇	四九〇,〇〇〇
第六年目	八五〇,〇〇〇	四	八〇〇,〇〇〇	七〇〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	七〇〇,〇〇〇
第七年目	一,〇五〇,〇〇〇	五	一,〇〇〇,〇〇〇	九八〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	九八〇,〇〇〇
第八年目	一,三三〇,〇〇〇	六	一,二〇〇,〇〇〇	一,三三〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇	一,三三〇,〇〇〇
第九年目	一,七六〇,〇〇〇	八	一,六〇〇,〇〇〇	一,七五〇,〇〇〇	一六〇,〇〇〇	一,七五〇,〇〇〇
第十年目	二,三一〇,〇〇〇	一一	二,二〇〇,〇〇〇	二,三一〇,〇〇〇	10,000	二,三一〇,〇〇〇

斯くて第十年目の終り迄には四十四箇所の精油所が作業する事になり、而も該計畫によれば一萬弗の剩餘金及二百三十一萬弗の純益を殘すことゝなる。

北陝西省に於ける石油

正定——太原鐵道の技師長ブローヤード氏は太原より西安府に至る豫定線の測量を行ふに當つて、北陝西省延安の石油含有地帶を踏査した。該石油滲出地は蒲河に沿ふた延安の東方と、延長の上部及び下部の峽谷に存在する。Likiawa に於ては、同河堤防に近く其の河床に二つの滲出地點がある。蒲河の右岸 Kiaokiachekow の前方にも別に滲出地があるが、石油は周圍をめぐる岩石を滲透して流失してゐる。蒲河の左岸、延長の下方に又豐富な滲出地がある。延長の西方の峽谷に於ても、石油は又沙岩の裂罅から滲出してゐる。Hukiachwang から三粁を去る延長の東方部落に於て、沙岩の裂け目に非常に有望な滲出地があり、其地方にて「石油陝谷」として知られてゐる。該村落附近の峽谷を流れる水は、その中に石油を含み、飲む事が出來ぬ。

其附近の土壤は、植物が黑く焦げた樣な外觀を呈してゐるのに依つて判斷するに、石油が滲透してゐるに違ひない。延長の東方十粁の Lochiameng の峽谷にも唯一つ小さい滲出地がある。延長の西門外に石油工場が建てられた。此處には十二馬力の機關が据附けてある。井戶は直徑七十五粍(約二寸五分)の二つの管を連結して二百六十呎の深さに掘り下げられ、抽油作業を始むるや、最初二日間は只水ばかりで、三日目・四日目と立つに從ひ、水中に漸次多くの石油が混入し、第五日目には石油ばかりを汲み揚げた。而して二日汲み揚げた後、機關は作業を再始する前に掃除される。該工場は約一年

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同操業したが、其同精製油千五百五十斤、石油エーテル千斤、ワセリン及パラフイン三千斤を市場に出した。精製油は、現場渡し一斤制錢十二文で小賣された。實際では、全生產物は西安に送られ、僅かに三十五斤のみが、地方市場に消費されてゐる。運送費は近年高くなつた。千九百八年には、驢馬一頭一日行程八十支里、二百三十斤の荷を運搬し僅かに七百文であつた。併し近時運送費は非常に高くなり、斯業の發達を阻止して居る。

北陝西の延長に於ける石油埋藏地は、或る日本人技師の見積によれば全面積六百萬平方呎以上を占めてゐるさ。延長は以前陝西省延安縣の管轄に屬し、黃河の右岸に臨んでゐる。油田は同市街から北部に延長し、黃河の一支流延水によりて二分されてゐる、而して大なる部分は、延水の北岸に存在する。

該地方に於ける採油作業は、古く明朝（西曆一三六八—一六六一年）時代に於て營まれたが、當時の採油法は至つて原始的であつたから、僅かに限られたる量の不純油を得たに過ぎなかつた。

此の貧弱なる產出高は、到底該地方の資本家に刺戟を與ふるに足らず、從つて油田の大部分は現在迄平氣でその儘にされてゐた。約三十年前、採油作業を營むため日本及び獨逸商會に依つて企劃されたが、何れの場合にも殆んご成功しなかつた。支那人の援助に依り、作業は約二十年前に再始された。其は同市東門外に、多量の原油を生產する油井が發見された後であつた。

千九百六年に、陝西省の役人さ地方民さによつて成る公私共同企業なる延長石油會社が設立され、同社は若干の日本人技師の指圖に基き採油作業に從事した。翌年の冬平均深度約二百五十呎のドリリングを行つて、漸く含油砂地に到達した。而して最初の原油は、多量の鹽分を含む事を發見した。

每日平均八千斤の原油を產出し、これから二千五百斤の精油を得た數年後二、三の新油井が鑽られた。同社は一九一一年の革命當時、續いて其の直後、浮沈定まりなき運命にあつた。而して愈々共和國さなつた最初の二年間は、作業に支障を來したが、千九百十四年には再び開始される事になつた。

スタンダード石油會社を代表する米國の關係會社が、該企業に參加することゝなつたが、油井の前途が貧弱なりしために支・米合同事業は成功しなかつた。而して同社は、今日では純然たる政府の出資事業である。

延長石油埋藏地の地質狀態は、四川省富順及び嘉定の夫れに類似し、後者は共に中生紀系統である。延長の油井より得る原油は、黑褐色で、分溜後、ベンヂン一六・五%、燈油六二%、重油一〇%、パラフイン二%、殘滓九五%を含有する事を發見した、同會社の設備は餘程貧弱なるものである。

共和國さなつた最初の二、三年間に、外國へ注文した數組の新式鑽孔機械は、現今陝西省の宜君に錆び附いたまゝ取殘され、聞く所に

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

よれば、地方軍閥主義者が他の仕事に使用する目的で、其等の部分品を他へ持ち去つたとの事である。斯くてポンプの數さへ油井作業に對して不足を告げ、餘儀なく手桶を以て石油を汲上げてゐる始末である。斯の如き貧弱なる設備が原因して、現在の生産量を僅少ならしめて居る。該會社は本社を延長に有し、營業所は陝西の首府西安にある。同社の最重要産物は燈油で、之は「延長」印として販賣されてゐる。地方で消費されるものは極く少量で、大部分は西安で賣られる。併し、運送費が高いため、更に西安以上の遠方へ之を賣出すことは一寸困難である。次に同社の副産物としては、パラフイン製蠟燭、ベンヂン、機械油、ガソリン、重油及びリゴリーンがあり、リゴリーンは外科用に供される。而して、蠟燭の商標は「白鳥と塔」印、「農夫」印の二種、ベンヂンは「馬」印、機械油は「二挺鐵砲」印として賣出されてゐる。

新彊省に於け石油

次に掲ぐるは W. Karamisheff 氏著「蒙古及西部支那」よりの拔萃である。

石油は新疆省内では二箇所で發見される。

第一の油田は瑪納斯河を去る三十粁の範圍にあり、南は Yren-Kaburgo 山により、北は沙山巴爾哈克山によつて境さるゝ地域である。石油含有地は廸化から Djarkent に至る道路の南に位置し、該區域は廣大で、西方 Hurgos 河と東方瑪納斯河の間にあり尙ほ南方には Uren-Kaburg 山脈、北には Shilo-Manas 山脈が横はる石油滲出地の數は多く、約七十八箇所位あると思ふ。所で茲では既に多少調査せられ、且つ夫に就て詳細なる報告のあるもののみにつき論ずる事とする。前記瑪納斯河から三十五粁を去る地域には七箇の滲出地より成る第一の集團があり、之等は夫々相接近して不規則なる圓形をなしてゐる。これら各滲出地の形状は小丘狀をなし、高さは約十四呎、幅は高さよりもずつと廣い。この小山の中央には一筋の壑溝が通り石油は常にそこから表面に湧出してゐる。露西亞の鑛山技師の說に依れば、之等の小山は次の如き作用によりて生じたものであると。卽ち地面に湧出した石油は、該地帶の地面は砂が多いから、強風によつて砂で被はれる。石油は砂と混じて漸次地殼を形成し、それが長期間中に小山の大きさとなつたのである。而して空氣との接觸により石油の揮發性部分は發散し、重き物質が殘留したのであると。尙ほこの集團地から十粁以内の地に於て石油一滲出地が發見され、更に此處から數キロメートル離れた外に十五箇所の滲出地がある。此等は凡て前述の七箇所と同じ形狀をなし且つ同じ起原に因るものである。而して此等の滲出地はどれ一つとして未だ正式に作業されてゐない。數年前、支那人＝回敎徒＝露西亞人の一合同會社が建設され、これと塞爾巴拉敦斯克に於ける南シベリア協會及

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Chugoutchak の交商 Ismailloff-Risseff 氏、其他と共同することゝなつた。而して Chugoutchak の Governor の息（在 Ilsuchow）は地化會軍から該油田の租借權を奪取したが、一方に於ては露西亞の政治的事變のため、他方に於ては Chugoutchak の Governor 罷免のため會社はこの租借地開發に蹉跌を生じ、油井は殆んど其儘で取殘された。而して、今日該地方では、採油作業と呼び得ざる程に原始的な採油法が行はれてをり、地方住民は表面に湧出する石油を採集し、車輪用の機械油として原油の儘で賣つてゐる。尙ほ同地石油の見本二種は、分析の目的で一九一九年南シベリヤ協會からトムスク大學の研究室に送られ、ポバルニン教授の手で分析され、次の如き結果を得た。

分　　析

一、物理的性質

上記二種見本の外觀は原油に類似せる黑青褐色の濃流動體である。

、攝氏十五度に於ける比重。

見本		
	一號	〇・九二四
	二號	〇・九二六

成分は二重の行程によりて決定される。

第一行程。卽ち二百度及三百度乃至三百五十度で分溜し殘滓を得。

第二の行程。第一行程で得た二種の分溜物を更に百五十度、百五十度乃至二百七十度、二百七十度乃至三百度、三百度乃至三百五十度の分溜を行ひ、殘滓を得。

同時に、三百度以上の溫度で沸騰する分溜物の沸騰點は平溫に降下し、燈油の產出量は增加した。三百度迄の分溜は强力なる Dephlegmator によりて行はれ、尙ほ他の分溜は過熱する事なしに行はれた。

該分溜では二號見本に於て十パーセント未滿の燈油を得た。

一號見本

ベンナン（百五十度迄）	二・九%	
燈油（百五十度乃至二百七十度）	三六・〇%	四八・五%
光輝油（二百七十度乃至三百度）	一二・五%	
燈油　計	四八・五%	
輕油（三百度乃至三百五十度）	一五・九%	
重油（三百度以上）	一二・〇%	四八・六%
タール	二〇・七%	
マヅート　計	四八・六%	

二號見本

ベンザン（百五十度迄）	六・〇%	
燈油（百五十度乃至二百七十度）	三三・六%	四五・八%
光輝油（二百七十度乃至三百度）	一二・二%	

燈油　計	四五・八%	
輕油（三百度乃至三百五十度）	一三・七%	
重油（三百五十度以上）	一一・一%	
タール	九・五%	二三・四%
骸炭其他	一三・九%	
マヅート　計	四八・二%	

此等液體の見本中、八〇度以下の溫度で沸騰するもの丶量は乏乃至一パーセント以下であつた。而して、見本が小量であつたから、此の量を正確に算定する事は困難であつた。ベンザンのパセンテーヂも亦、濃液中に含まれた水分が同時に計量されてゐるから正確ではない。二號見本に於けるベンザンの量を六%以上、燈油の量を三三・六%以上と見るのが、もつと正確であらう。

各分溜物は、硫酸・水・苛性曹達及び再び水を以て純化された。而して、三百五十度以上の溫度で沸騰するものを除いた分溜物は、凡て無色で、三百五十度以上の分溜物の色は綠黃色であつた。分溜せられざる燈油の比重は〇・八一五であつた。タールは若し石炭の沈澱物を生ずる時は、アルコールには不溶解で、エーテルに溶解する濃き粘着性の物質となる。自然の儘の分溜物は空氣に晒されると直ぐに褐色となる。硫酸を以て純化された分溜物は、之を水中に注ぐと、容易に水に乳化してサルフオン酸を生じ、石油乳劑を産出した。最も重い分溜物から得たサルフオン酸は、之を水中に注ぐと綠褐色の水より重き粉末を生ず。但し該粉末は精細なる試驗を經なかつた。

此等の一般性質は次の如く確定的に稱する事が出來る。

（一）兩見本共にその構成に付きては非常に類似してゐる。

（二）兩方とも最も劣等の種類のもので石油の量は貧弱であり、低溫度にて沸騰するが、燈油の百分率に於てはバクーの石油より優良である（バクーの石油は五十五パーセント迄のマヅートを含む）。

（三）兩見本に於て、分溜せられざる燈油の量は四十五パーセントより五十八パーセント迄に又機械油の量は二十五パーセントより二十八パーセント迄に至らしむる事を得。然るにベンザンは三パーセント以上である。

（四）若し適當なる運送設備を得ば、此等の油田は比較的有望なる地質狀態に於て石油を極めて豐富に含んでゐるから、其採掘は頗る價値あるものである。

廸化に於ける油田

第二の油田は、新彊省の首都廸化の西南方にあり、天山々脈の麓なる高地々方にて、該首都を去る約三十粁以内にある。湖水に接近して二箇所に油及水の湧出地があり、その周圍一帶には石油が強く浸み込んでゐる。該地方に於ては、中世期の沖積物埋藏及砂岩をはつきり認め得る地點が多數にある。此等地點の特殊の香は、直ちに此處に石油のある事を示すものである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

加之、石油及水を湧出する前記二箇所の地點に於ては、燃ゆる燐寸を近づけるさ、發火するさころの可燃性瓦斯を發生してゐる。而して該湧出地は作業を加へられてゐないから、幾何程の石腦油を産出し得るかは斷言出來ぬ。露西亞人鑛山技師等の説に依れば、該二箇所共極く少量の石油を産出するに過ぎぬだらうさ。故に、該湧出地の周圍の粘土から石油を抽出する方が、寧ろ有利な樣に思はれる。該地帶を去る五粁以內の地に、三基の堅立式汽罐を備付けた原始的工場がある。該地帶から得た粘土は此等の汽罐の中に入れられ、石油を抽出する過熱蒸氣が汽罐に通される迄、直接火を以て熱しられる。斯樣な原始的製油法では、極く少量の生産しか得られない。斯くして得られた石油は分溜されるのであるが、一日の生産高は燈油千封度以內である。而して此の量は、一日に生産する石油の量の半分である。該燈油は黃色を呈し、燃ゆる際非常に煤煙を發生する。これは、該工場にデフレグメーターなく、燈油は硫酸・水・苛性曹達及二度目の水を以て精製されてゐない事に依つて說明される。

新疆省油田の狀況

新疆の油田に就ては上記の如くであるが、之等油田に於て適當なる作業を營むさきは、獨り該省に對してのみならず、その重要價値は實に全支那に取つても大なるものがあるに相違ない。而して此等資源に關する以上の記述は、單なる機會に該油田地方を橫斷して、自然に此等に着目するこさゝなつた露西亞工業家の材料からさつたものである。規則正しく組織された地質學的探油の結果、將來新油田を發見し得ないかも知れぬが、前に引用せる分析表に依つて見るに、前記これらの油田は疑ひもなく大なる產業的利害關係を有するものに相違ない。因に新疆の油田に關する出版物には既に一種の光明が與へられてゐる。

甘肅省の油田、意外なる發見

甘肅省の油田に關しては何等の記述をも未だ曾て見た事がない。故に、玆に此の問題に關して述べればならぬ事は、讀者諸君の多くに取つては意外なる一發見であらうさ信ずるものである。併し甘肅の油田は其の面積及石油蓄積量に於て新疆の油田に劣らぬものである。此の油田は肅州市街の西南百粁以內、祁連山の北方約數十粁の小高地々方に位し、その一般的狀態は次ぎの如くである。

小川の右岸の砂質地帶に七箇の孔が穿たれ、此等各々の東側壁から石油が湧出してゐる。而して此等の孔は何れも同一直線上にあつて溪谷さ平行し約三呎半の深さがあり、各自の間隔は約三呎である。小川の溪谷は宛ら峽谷をなし、その廣さは二百八十呎、深さは三百五十呎である。而して右岸には砂及砂利の堆積があり、他方遙か河の下流には砂や岸さ粘土質石磐石の層があり、これは五十パーセントの角度を以て南に向つて傾斜してゐる。此等の層には裂隙があり、タール性固形石腦油の薄片を以て充たされてゐる(これは石腦油獨特の臭ひを持つてゐる)。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

七つ目の孔の南に於て、峽谷の右岸の砂利の堆積も同樣に砂岩及粘土質石盤石の層に變じ、東方へ傾斜し、此等の層も亦、タールの瀝片を以て充されてゐる。而して該油田は本式に採掘されてゐないが、該地方民は僅かに瀝靑油を採集してゐる。石腦油の抽出高は一日一孔より約千八百五拾圓である。此の油田も亦、產業的見地から見て極めて興味あるものである。(Far Eastern Review, Sept. '25.)

□中華民國十一・二年度各大礦の產額一覽表

第一　中華民國十一年度上半期各大礦月別產額表

炭礦

(單位噸)

會社名稱	一月分	二月分	三月分	四月分	五月分	六月分	總計
直隷開灤煤礦局	二四六、九一六・八七〇	二三九、八五五・〇〇〇	四〇四、一二三・九四〇	三九三、九二六・三九〇	二一八、五三二・八四〇	三三六、三五〇・七二〇	一、八三九、七〇五・七六〇
直隷柳江煤礦公司	一八、九九九・三〇〇	一一、六九八・〇一一	一四、五一九・七六一	一四、三二五・〇五四	一五、六三八・九九〇	七、六三三・六一九	八二、八〇三・七三五
直隷井陘礦務局	四七、八九三・九五〇	一五、二三五・六〇〇	六五、七九九・一〇〇	四四、三三三・六〇〇	三二、七八六・〇〇〇	三一、〇四〇・四〇〇	二四七、〇八七・六五〇
直隷正豐公司	二、三〇三・〇〇〇	四、三九一・〇〇〇	五、六九三・〇〇〇	四、七六三・〇〇〇	三、一一四・〇〇〇	五、三〇八・〇〇〇	二五、四七三・〇〇〇
直隷臨城礦務局	一九、三三〇・〇〇〇	一五、八〇七・〇〇〇	三三、〇六七・〇〇〇	二三、三五九・〇〇〇	一五、五三五・〇〇〇	一三、三三五・〇〇〇	一〇九、一一三・〇〇〇
直隷京綏路鷄鳴山煤礦	一、三七六・六〇〇	一、一一二・九六〇	九七〇・五九〇	五六九・三〇〇	九二九・五五〇	八〇八・九五〇	五、六六八・〇一〇
直隷磁縣怡立煤礦公司	二、六六五・七〇〇	二、四七四・五〇〇	三、五五三・八〇〇	二、三〇八・六〇〇	三、七六三・五〇〇	三、〇六五・九〇〇	一七、七三三・〇〇〇
直隷中和煤礦公司	四、六二〇・〇〇〇	六、四五〇・〇〇〇	八、一六五・〇〇〇	六、三三六・〇〇〇	七、八九五・〇〇〇	三、二八五・〇〇〇	三六、六五一・〇〇〇
奉天本溪湖煤礦公司	一八、八四四・六六〇	一五、三〇五・〇〇〇	二一、一三〇・九四〇	二九、一一四・九七〇	三一、〇二七・〇八〇	二五、六九八・三三〇	一四一、三九二・九八〇
奉天錦西煤礦公司	七〇五・四七〇	八九一・三二〇	一、〇九四・三〇四	七九五・六三〇	七六二・八四〇	七二七・六八〇	四、九七七・一三〇
奉天撫順煤礦竝煙臺煤礦	二三九、二四一・〇〇〇	三三一、〇四六・〇〇〇	三三八、一三六・〇〇〇	三三七、八〇六・〇〇〇	二二一、一八五・〇〇〇	二四七、九一〇・〇〇〇	一、七一五、三二四・〇〇〇
山東中興煤礦公司	五八、六四〇・四一〇	五九、六九九・八七〇	六九、〇六四・三六〇	六九、三〇九・五三〇	七九、七五三・八一〇	五八、六三三・〇四〇	三一九、五〇〇・〇一〇
山東坊子煤礦	三五、二八三・〇〇〇	一三、一〇四・〇〇〇	三、八七四・〇〇〇	一三、二九七・〇〇〇	一七、八五三・〇〇〇	六、七九五・〇〇〇	一〇八、三〇六・〇〇〇
山東費山煤礦	五〇、七三一・〇〇〇	三八、五四四・〇〇〇	七八、〇三八・〇〇〇	六四、一五八・〇〇〇	五六、六七四・〇〇〇	五三、三二一・〇〇〇	三四一、三六六・〇〇〇

會社名稱	一月分	二月分	三月分	四月分	五月分	六月分	總計
山東華豐煤礦公司	—	—	—	—	—	—	全年の產額 五〇、一六〇・五〇〇
河南六河溝煤礦公司	二四、〇九六・六五〇	二五、三九二・六一八	三六、七六五・一三〇	三〇、六二五・〇六九	二八、三二一・九五〇	二一、二九五・九四〇	一六六、四八七・五五七
河南福公司	四八、四三四・四五〇	三八、三二六・二五〇	三七、七五九・八八〇	三六、〇七四・六〇〇	五四、三七三・六三〇	二八、三一三・三四〇	二八三、二七二・〇五〇
江西漢冶萍公司	三七、八九五・〇〇〇	七〇、七八一・五〇〇	八二、四四七・五〇〇	八〇、二二七・〇〇〇	八〇、五七二・〇〇〇	七八、九一五・五五〇	四三〇、八二八・五〇〇
山西保晉公司	一五、三八二・八九〇	一四、一九一・二一〇	二五、六五七・三三〇	一八、八五九・二〇〇	一九、四五三・五四〇	二一、〇九九・一九〇	一三一、六二五・三三〇
江西昌明煤礦公司	一二四・〇〇〇	九六・〇〇〇	一七四・〇〇〇	一六八・〇〇〇	六〇・〇〇〇	無	六二二・〇〇〇
江西阜安煤礦公司	一二六・〇〇〇	九六・〇〇〇	一五〇・〇〇〇	一四四・〇〇〇	六〇・〇〇〇	無	五七六・〇〇〇
福建利木山煤礦公司	八九四・四〇〇	八三三・四〇〇	—	—	—	—	—
浙江長興公司	二、〇九五・〇〇〇	二、〇五八・〇〇〇	二、一〇九・〇〇〇	二、三三四・〇〇〇	三、〇七一・〇〇〇	三、一六七・〇〇〇	一四、八三四・〇〇〇
湖北炭山灣等處	一、六七九・五〇〇	一、七四二・八七五	一、九六四・三七五	二、四二九・五六三	一、七四六・二〇八	一、九三五・八六三	一一、四九八・三八四

鐵礦 （單位噸）

會社名稱	一月分	二月分	三月分	四月分	五月分	六月分	總計
山東金嶺鎮鐵礦	三、九一六・〇〇〇	一、九九九・〇〇〇	二、六三九・〇〇〇	二、七二二・〇〇〇	二、九九九・〇〇〇	一、四三五・〇〇〇	一六、六九〇・〇〇〇
安徽裕繁公司	一八、五九〇・〇〇〇	二四、六四〇・〇〇〇	一七、三八〇・〇〇〇	二六、六〇〇・〇〇〇	三三、七九〇・〇〇〇	一七、〇九〇・〇〇〇	一三八、〇九〇・〇〇〇
安徽寶興公司	一、九五〇・〇〇〇	一、三〇〇・〇〇〇	二、一〇〇・〇〇〇	三、〇〇〇・〇〇〇	三、四〇〇・〇〇〇	三、八五〇・〇〇〇	一五、六〇〇・〇〇〇
湖北漢冶萍公司	一五、七六八・三一八	一三、九〇六・七二五	二九、四三七・四八〇	四三、九六七・〇一三	四一、九四一・四一一	二七、八四三・九四〇	一七二、八六四・七八六
湖北象鼻山官礦	五、八一〇・四〇〇	五、七四七・八〇〇	一三、八四九・二〇〇	一一、八〇七・一〇〇	無	三、五一八・一〇〇	四〇、七八二・六〇〇

金礦 （單位兩）

會社名稱	一月分	二月分	三月分	四月分	五月分	六月分	總計
吉林三姓金礦局	七・七〇〇	五・二〇〇	一四・〇〇九	七・八六四	八・七一九	九・四四六	五二・九三八

會社名稱	一月分	二月分	三月分	四月分	五月分	六月分	總計
黑龍江庫瑪爾河金鑛	二一〇・九八四	一六六・二六二	二〇三・四三二	四二七・一六〇	五一四・九五二	二四三・一九八	一、七六五・九八八
黑龍江觀都金鑛局	三六四・八〇〇	三七二・八〇〇	二三七・〇〇〇	一八七・〇〇〇	一四一・〇〇〇	一二六・六〇〇	一、四二九・二〇〇
黑龍江廣信公司金鑛	九三・五〇〇	六五・四九〇	八二・五〇〇	一〇三・三三〇	一二七・九〇〇	一七七・八〇〇	六五〇・五二〇

其他各鑛

會社名稱	一月分	二月分	三月分	四月分	五月分	六月分	總計
直隸天津石棉製造公司	無	一一、四〇〇・〇〇斤	無	一五、一九五・〇〇	二九、一八七・〇〇	七六、七八六・〇〇	一三二、五六八・〇〇
湖北漢冶萍公司(白雲石)	四九五・三七二噸	一三四・〇五七	四四四・四六六	無	無	無	一、〇七三・八九五
湖南裕甡錳礦公司	一〇五・〇〇〇噸	一〇七・〇〇〇	八二七・〇〇〇	九七一・〇〇〇	一一七・〇〇〇	九四五・〇〇〇	三、〇七二・〇〇〇
陝西延長石油官廠	二、〇〇〇・〇〇斤	二、〇〇〇・〇〇	二、〇〇〇・〇〇	二、〇〇〇・〇〇	一〇、〇〇〇・〇〇	一〇、〇〇〇・〇〇	二八、〇〇〇・〇〇
四川彭縣銅礦局(精銅)	三・二九三噸	三・八三一	三・〇四九	無	五・二四〇	無	一五・四一三
雲南個舊錫務公司	—	—	—	—	—	—	全年の產額 一、九六四・二九〇噸

第二 中華民國十一年度下半期各大礦月別產額表

炭礦

(單位噸)

會社名稱	七月分	八月分	九月分	十月分	十一月分	十二月分	總計
直隸開灤礦務總局	三三八、二七九・〇〇〇	三三六、七九四・〇〇〇	三〇三、六四八・〇〇〇	二五六、二〇三・〇〇〇	一八二、八五一・〇〇〇	四二二、六一〇・〇〇〇	一、八二〇、三八五・〇〇〇
直隸井陘礦務局	三六、〇四四・四五〇	三七、三七九・五五〇	五五、〇六四・二五〇	三八、四九八・三〇〇	四九、六七〇・四〇〇	三八、九九六・八五〇	二三五、五二三・八〇〇
直隸臨城礦務局	一四、三三八・〇〇〇	一四、四八五・〇〇〇	一一、二六〇・〇〇〇	一一、九六三・〇〇〇	一一、七九九・〇〇〇	一五、〇三八・〇〇〇	七八、八八三・〇〇〇
直隸磁縣怡立煤礦公司	三、一五六・九二〇	三、一九一・五〇〇	三、七二一・七〇〇	四、一八六・七〇〇	四、六八一・二〇〇	四、五六四・五〇〇	二三、五〇二・五〇〇
直隸中和煤礦公司	一、二二三・〇〇〇	一、二一〇・五〇〇	一、二一五・〇〇〇	二、九七五・〇〇〇	四、三二五・〇〇〇	四、四三〇・〇〇〇	一五、三七八・〇〇〇

會社名稱	七月分	八月分	九月分	十月分	十一月分	十二月分	總計
直隸柳江煤礦公司	八、一三〇・四六六	九、七六四・八八二	一二、八二五・四七二	一〇、九二〇・一八七	無	無	四一、六四一・〇〇七
直隸井陘正豐煤礦公司	四、七七〇・〇〇〇	八、四〇八・〇〇〇	一三、三八四・〇〇〇	一〇、八五四・〇〇〇	一〇、〇一一・〇〇〇	一一、三九三・〇〇〇	五七、八一九・〇〇〇
直隸京綏路鷄鳴山煤礦	四一二・九〇五	一、七〇〇・八三〇	一、四六九・九三〇	二、六七六・六三〇	三、三七二・九五〇	三、四八八・四三〇	一三、〇二一・七一〇
奉天撫順煤礦並烟臺煤礦	二七〇、六〇九・〇〇〇	二五七、三九〇・〇〇〇	三三七、八三五・〇〇〇	三四四、四〇〇・〇〇〇	三八〇、六〇〇・〇〇〇	三八五、三三〇・〇〇〇	一、九六六、〇五四・〇〇〇
奉天本溪湖煤礦公司	二六、三三九・一〇〇	二四、一九五・九九〇	二三、九六八・四四〇	二〇、三五九・一七〇	二一、五八九・四四〇	二三、五五五・四九〇	一四〇、〇〇七・六三〇
奉天錦西煤礦公司	六六八・八一〇	五七七・〇〇〇	六五一・〇六〇	七三六・三三〇	六七三・七二〇	五六一・一九〇	三、八六八・一一〇
山東中興煤礦公司	六〇、九九三・六四〇	五七、〇一五・二六〇	五九、六二八・九五〇	五八、七五一・二四〇	五九、八五四・一七〇	六六、九七四・四〇〇	三六三、三三七・六六〇
山東黌山煤礦	四九、五五一・〇〇〇	五〇、二七四・〇〇〇	四九、五九七・〇〇〇	五三、二四六・〇〇〇	七五、一〇九・〇〇〇	六〇、九五三・〇〇〇	三三七、七〇九・〇〇〇
山東坊子煤礦	一〇、〇〇七・〇〇〇	七、八〇九・〇〇〇	八、三三七・〇〇〇	一四、九九四・〇〇〇	一四、四三三・〇〇〇	一六、五二七・〇〇〇	七二、九九六・〇〇〇
山東華豐煤礦公司	—	—	—	—	—	—	全年の產額 五〇、一六〇・五〇〇
河南六河溝煤礦公司	二四、八〇七・五三三	二一、四七八・七五〇	一六、三三七・二五〇	一九、八四九・〇五〇	一七、三三七・七〇〇	一六、七六〇・九〇〇	一二六、四五一・一七二
河南福公司	三三、一三七・一〇〇	三三、三三三・〇七〇	二九、一八七・一九〇	四三、七〇三・六五〇	四八、一七九・八四〇	五六、二九七・〇八〇	三二一、八三七・九三〇
山西保晉公司	一九、二六五・九九〇	一八、五〇四・一七〇	一九、一九一・三六〇	一六、四八七・三六〇	一六、七三三・〇〇〇	一五、二四三・〇〇〇	一〇五、四三三・八八〇
江西漢冶萍公司	七四、六九四・五〇〇	六七、七一〇・五〇〇	五三、二五九・五〇〇	六一、四〇九・五〇〇	五九、八〇二・五〇〇	六〇、一六五・五〇〇	三七七、〇四二・〇〇〇
江西昌明煤礦公司	停止	停止	一三八・〇〇〇	一六二・〇〇〇	一六八・〇〇〇	一七四・〇〇〇	六四二・〇〇〇
江西阜安煤礦公司	停止	停止	二一四・〇〇〇	一五〇・〇〇〇	一四四・〇〇〇	一六二・〇〇〇	五七〇・〇〇〇
浙江長興公司	二、七〇四・〇〇〇	二、二五四・〇〇〇	一、九〇九・〇〇〇	二、四四三・〇〇〇	三、五九六・〇〇〇	四、四三一・〇〇〇	一七、三三七・〇〇〇

鐵礦（單位噸）

會社名稱	七月分	八月分	九月分	十月分	十一月分	十二月分	總計
山東金嶺鎮鐵礦	二、〇九〇・〇〇〇	一、三三一・〇〇〇	一、〇三三・〇〇〇	一、八二八・〇〇〇	一、七八八・〇〇〇	二、一七五・〇〇〇	一〇、一四五・〇〇〇
安徽裕繁公司	一七、二六〇・〇〇〇	二一、六〇〇・〇〇〇	一八、三八〇・〇〇〇	一四、八八〇・〇〇〇	一四、一五〇・〇〇〇	四三、〇四〇・〇〇〇	一三九、三一〇・〇〇〇
安徽寶興公司	三、九〇〇・〇〇〇	三、七五〇・〇〇〇	三、二八三・〇〇〇	二、四五〇・〇〇〇	二、九〇〇・〇〇〇	二、七〇〇・〇〇〇	一八、九八三・〇〇〇

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

湖北漢冶萍公司	二六,九〇三·四〇一	二六,七三九·八一四	三四,三四七·三〇九	三六,二四〇·〇四〇	二九,七九六·〇〇九	一六,七四二·八九六	一七二,七七八·三六九
湖北象鼻山官礦	三,一三五·〇〇〇	一,五二一·〇〇〇	無	無	無	—	四,六四六·六〇〇

金礦

（單位兩）

會社名稱	七月分	八月分	九月分	十月分	十一月分	十二月分	總計
吉林三姓金礦局	一一·六八〇	五·二五〇	一一·八七五	一三·二七五	一一·八〇〇	一〇·五〇〇	六四·三八〇
黑龍江庫瑪爾河金礦	二七五·八八四	二九〇·五一六	二六一·四三〇	二三五·三八〇	二一五·六四六	二二一·五四〇	一,三一〇·三九〇
黑龍江觀都金礦局	一六〇·八〇〇	三四一·〇〇〇	—	—	—	—	—
黑龍江廣信公司金礦	二三九·二七〇	一七〇·〇八〇	二三五·九八〇	二〇九·〇八〇	六〇·九九〇	一〇〇·三三〇	一,〇一五·七三〇

其他各礦

會社名稱	七月分	八月分	九月分	十月分	十一月分	十二月分	總計
直隸天津石棉製造公司	斤 七,二五九·〇〇	一四,六六九·〇〇	無	無	無	三四,一七〇·〇〇	五五,九九八·〇〇
湖南裕甡錳礦公司	噸 九八六·〇〇	七三九·〇〇	七〇八·〇〇	八四三·〇〇	五六八·〇〇	七六一·〇〇	四,六〇五·〇〇
陝西延長石油官廠	斤 一〇,〇〇〇·〇〇	一三,〇〇〇·〇〇	一二,〇〇〇·〇〇	一三,〇〇〇·〇〇	一三,〇〇〇·〇〇	—	—
四川彭縣銅礦局（精銅）	噸 六·三八二	無	無	四·九三一	無	無	一〇·七三三
雲南箇舊錫務公司	—	—	—	—	—	—	全年の產額 噸 一,九六四·二九

第三　中華民國十二年度上半期各大礦月別產額表

炭礦

（單位噸）

會社名稱	一月分	二月分	三月分	四月分	五月分	六月分	總計
直隷開灤礦務總局	四二四、五一三・〇〇	一二九、八九一・〇〇	三三六、九八七・〇〇	三八六、六一六・〇〇	四二八、三〇六・〇〇	三五一、〇二三・〇〇	二、〇五七、三三六・〇〇
直隷井陘礦務局	四三、七七六・八五	一九、五九八・一五	三三、七六八・四〇	五〇、四二二・四五	六四、一〇五・六〇	二九、〇五三・一五	二四〇、七一四・六〇
直隷臨城礦務局	一五、三八四・〇〇	八、八七二・〇〇	一九、四六五・〇〇	二三、四五二・〇〇	二五、三九七・〇〇	二四、八九〇・〇〇	一一六、四六〇・〇〇
直隷磁縣怡立公司	四、八六二・三〇	二、一〇六・〇〇	二、六四三・四〇	三、六七五・二〇	四、二七九・二〇	四、七〇八・二〇	二二、二七四・三〇
直隷正豐公司	六、一〇六・〇〇	三、一〇五・〇〇	五、〇〇五・〇〇	四、七六五・〇〇	五、二八五・〇〇	五、七四五・〇〇	三〇、〇一一・〇〇
直隷中和煤礦公司	三、六一五・〇〇	一、七七〇・〇〇	一、五二五・〇〇	三、三七〇・〇〇	五、〇三〇・〇〇	五、一二〇・〇〇	二〇、四三〇・〇〇
直隷鷄鳴山煤礦	三、一六八・〇八	一、八〇七・六〇	二、九八〇・一三	二、九六八・七六	三、〇二一・〇八	二、九五九・六三	一六、九〇五・二七
奉天撫順煤礦並烟臺煤礦	四〇七、五〇〇・〇〇	四五九、四〇〇・〇〇	三〇八、三〇〇・〇〇	三八七、七〇〇・〇〇	四〇五、一〇〇・〇〇	三七八、二〇〇・〇〇	二、三四六、二〇〇・〇〇
奉天本溪湖煤礦公司	二六、八六一・四八	三、〇〇九・六二	二三、五一八・二一	三三、〇七七・四五	三六、五五四・七四	三三、八九〇・四七	一七五、九一一・九七
山東中興煤礦公司	六九、四四〇・〇〇	五四、四三九・二〇	六四、一一二・〇〇	六六、〇〇八・四〇	六九、〇〇九・六〇	五四、三七九・二〇	三七七、三八八・四〇
山東魯山煤礦	五六、二八六・〇〇	二七、三二六・〇〇	三五、八二三・〇〇	三九、四三〇・〇〇	四四、二二五・五〇	三八、九一七・五〇	二四一、九八七・〇〇
山東坊子煤礦	一六、〇三九・〇〇	一〇、五八六・〇〇	一七、五五〇・〇〇	一一、八六七・〇〇	一八、二五三・〇〇	一二、七六四・〇〇	八七、〇五八・〇〇
山東華豐煤礦公司	―	―	―	―	―	―	全年の產額 四三、四〇四・〇〇
河南福公司	七四、〇〇九・一六	五四、六四八・三六	五六、二四四・二五	六五、六六九・八八	六二、三七五・三七	四九、二二九・九六	三六二、一六七・二〇
河南中原公司	產額は四月分に入れ計算す	〃	〃	一三五、三五一・六八	四〇、二九五・八四	四一、九〇二・五一	二〇七、五五〇・〇三
河南六河溝煤礦公司	一七、七一九・七六	一〇、八六一・五〇	一四、五六五・八三	二七、五六四・三六	三五、二九七・五七	三七、七四一・〇七	一五三、七四九・九八
山西保晉公司	一六、二四九・〇〇	一三、六三九・〇〇	一五、八五一・〇〇	一五、七五五・〇〇	一五、三一六・〇〇	一六、一六一・〇〇	八二、九七一・〇〇
江西漢冶萍公司	五六、六八二・五〇	四〇、九九二・五〇	五八、六九八・〇〇	五六、六九四・五〇	五八、七三二・〇〇	五一、三九八・五〇	三二五、三九八・〇〇
江西昌明煤礦公司	一六八・〇〇	四八・〇〇	一六二・〇〇	一六八・〇〇	一七四・〇〇	一五〇・〇〇	八七〇・〇〇
江西阜安煤礦公司	一四四・〇〇	四八・〇〇	一三八・〇〇	一五六・〇〇	一四四・〇〇	一三六・〇〇	七六六・〇〇
浙江長興公司	三、八三三・〇〇	一、九四八・〇〇	六、〇三三・〇〇	八、二六九・〇〇	―	―	―

(單位噸)

鐵礦

會社名稱	一月分	二月分	三月分	四月分	五月分	六月分	總計
山東金嶺鎮鐵鑛	一、八七八・〇〇	四九三・〇〇	一、八七七・〇〇	一、三〇〇・〇〇	一、〇三三・〇〇	六八一・〇〇	七、一三三・〇〇
安徽裕繁公司	二九、一〇〇・〇〇	三五、一九〇・〇〇	二五、〇三〇・〇〇	一五、五〇〇・〇〇	二七、九五〇・〇〇	二五、〇〇〇・〇〇	一五七、七七〇・〇〇
湖北漢冶萍公司	七、四八一・九六	一三、一三六・四八	二六、二八五・〇四	四四、五四五・一〇	四七、八九五・二八	三四、四四六・八五	一七三、七九〇・七一
湖北象鼻山官鑛	無	無	一〇、七九〇・七二	一五、七六七・五五	二〇、〇五四・二二	一六、七〇一・二四	六三、三一三・七一

金鑛 （單位兩）

會社名稱	一月分	二月分	三月分	四月分	五月分	六月分	總計
吉林三姓金鑛局	一〇・九〇〇	八・〇五〇	九・〇八五	三・六七五	五・三五〇	四・二二〇	四一・二八〇
黑龍江庫瑪河金鑛局	一四一・〇一〇	一三九・五九四	一八四・一九八	二〇一・五四四	一〇六・〇八二	七七・一七二	八四九・六〇〇

其他各鑛

會社名稱	一月分	二月分	三月分	四月分	五月分	六月分	總計
直隸天津石棉製造公司	五、八九八・〇〇斤	三三、一〇一・〇〇	一九、二三五・〇〇	二、九五五・〇〇	無	四三、一八八・〇〇	一〇四、三七七・〇〇
湖南裕甡錳鑛公司	七三二・〇〇噸	五九九・〇〇	一、九六七・〇〇	二、四六六・〇〇	三、一〇三・〇〇	四、六一〇・〇〇	一三、四七七・〇〇
四川彭縣銅鑛局（精銅）	二・七四噸	二・三六	無	無	無	無	五・一〇
雲南個舊錫務公司	—	—	—	—	—	—	全年總噸數一六四七一

第四　中華民國十二年度下半期各大鑛月分產額表

炭鑛 （單位噸）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

會社名稱	七月分	八月分	九月分	十月分	十一月分	十二月分	總計
直隸開灤礦務總局	四一三,九五七.〇〇	三七八,六三五.〇〇	三三二,八九八.〇〇	三九四,九一六.〇〇	四四〇,七二一.〇〇	四七七,五〇九.〇〇	二,四四八,六六六.〇〇
直隸井陘礦務局	五一,〇二八.二五	三四,四八九.〇〇	四七,三四九.二五	五二,〇二六.二五	六六,五九九.六五	七八,〇三五.一〇	三三九,三一七.五〇
直隸臨城礦務局	二三,九七〇.〇〇	一六,六五四.〇〇	一三,三九〇.〇〇	一一,七八九.〇〇	一六,三五九.〇〇	二〇,〇三〇.〇〇	一〇一,一九二.〇〇
直隸磁縣怡立公司	五,一七六.〇〇	四,八六六.〇〇	五,〇五二.五〇	五,〇四四.八〇	五,四二五.九〇	三,六四六.〇〇	二九,三二一.〇〇
直隸正豐公司	七,四〇七.〇〇	六,九一〇.〇〇	八,二七二.〇〇	九,二四一.〇〇	一〇,八三三.〇〇	一一,二九七.〇〇	五三,九四九.〇〇
直隸中和煤礦公司	二,六九五.〇〇	一,〇四〇.〇〇	一,七〇五.〇〇	二,四七五.〇〇	四,五九〇.〇〇	二三,〇一〇.〇〇	二四,五二五.〇〇
直隸雞鳴山煤礦	二,四五九.五五	三,八七三.〇四	一,八二四.八四	二,七九四.九三	二,九〇四.三五	二,一八八.五八	一七,〇四四.二九
奉天撫順礦並煙臺煤礦	三七八,五〇〇.〇〇	三八五,九〇〇.〇〇	三九二,九〇〇.〇〇	四一九,七〇〇.〇〇	四三二,八〇〇.〇〇	四三七,二〇〇.〇〇	二,四四六,〇〇〇.〇〇
奉天本溪湖煤礦公司	三三,〇三八.六八	二六,二〇九.四〇	二九,一七三.三一	二八,一四八.二四	四二,五六八.一五	四四,〇六二.〇一	二〇三,一九九.七九
山東中興煤礦公司	六二,一五〇.八〇	五〇,七三五.六〇	五五,五一四.〇〇	六一,八〇七.二〇	六三,三八三.二〇	六七,九八一.二〇	三五〇,五七二.〇〇
山東博山煤礦	四一,五六九.五〇	五一,四九四.〇〇	四三,八八六.〇〇	五三,三七一.〇〇	六一,一九三.〇〇	六五,五四三.〇〇	三二六,〇五六.五〇
山東坊子煤礦	一四,六二六.〇〇	一三,一六〇.〇〇	九,九二六.〇〇	九,六三九.〇〇	一七,四五一.〇〇	一四,二六一.〇〇	七九,〇六五.〇〇
山東華豐煤礦公司	—	—	—	—	—	—	—
河南福公司	五五,一八五.三三	五二,一四六.七四	五二,五九二.三五	五五,七八九.二四	五六,〇〇一.一七	六〇,三六一.九七	三三二,九七六.七九
河南中原公司	四五,五九八.三三	四七,三五〇.八〇	五〇,六六五.八〇	六四,九二八.三三	六六,四四二.五〇	八五,九一八.三三	三六〇,八五四.〇八
河南六河溝煤礦公司	五八,八四七.〇二	三五,四四七.七四	三八,七五七.一九	三八,八二三.一八	五二,一四六.七六	六六,六八一.二四	二九〇,六九九.三三
山西保晉公司	一九,五七二.〇〇	一五,六二六.〇〇	一五,六六六.〇〇	一七,四七〇.〇〇	三三,九三三.〇〇	二五,六九八.〇〇	一二六,九四一.〇〇
[illegible]漢冶萍公司	五六,五四五.〇〇	五八,八一〇.〇〇	五四,七一四.〇〇	五六,九六四.五〇	五五,五三九.五〇	五九,一六八.五〇	三四一,三四一.五〇
[illegible]河[illegible]礦公司	一五〇.〇〇	一四四.〇〇	一三二.〇〇	一六八.〇〇	一六八.〇〇	一五六.〇〇	九一八.〇〇
[illegible]礦公司	一七四.〇〇	一二六.〇〇	一三〇.〇〇	一五〇.〇〇	一四四.〇〇	一五八.〇〇	九二二.〇〇
總計							

（單位噸）

會社名稱	七月分	八月分	九月分	十月分	十一月分	十二月分	總計
奉天本溪湖公司	本月より起る 3,245.57	3,819.20	4,025.70	4,186.25	5,191.25	5,059.25	25,527.22
山東金嶺鐵礦	486.00	無	無	無	無	無	486.00
安徽裕繁公司	23,430.00	21,300.00	24,300.00	27,100.00	24,850.00	23,000.00	143,880.00
湖北漢冶萍公司	53,347.56	57,134.35	57,662.93	63,568.15	46,030.46	35,117.14	313,850.56
湖北象鼻山官礦	17,949.66	15,593.26	19,323.29	15,129.00	11,061.19	9,036.20	86,091.60

金礦

（單位兩）

會社名稱	七月分	八月分	九月分	十月分	十一月分	十二月分	總計
吉林三姓金礦局	5.650	4.600	4.425	5.250	5.700	4.850	30.475

其他各礦

會社名稱	七月分	八月分	九月分	十月分	十一月分	十二月分	總計
直隷天津石棉製造公司	2,105.00斤	52,523.00	23,563.00	無	19,276.00	無	97,467.00
湖南裕甡錳礦公司	3,498.00噸	2,898.00	2,105.00	2,766.00	2,632.00	1,637.00	15,536.00
雲南箇舊錫務公司	—	—	—	—	—	—	全年總噸數 16,471

比律賓

比島の石炭（上）

石炭と骸炭とは、比島に於ては蒸汽製造、臺所及鍛冶工場用、其他臺所用瓦斯及製作用瓦斯製造等に必要缺くべからざるものである。而して石炭の島内年産額は約九萬噸で、年々夫れよりも更に多量を海外から輸入してゐる。一九二〇年に於て、比島に對する石炭の主要輸出國たる日本、濠洲及支那よりの同輸入總額は五三一、五五〇噸であつた。曩に合衆國が歐洲大戰に參加する迄は、比島の石炭産出は、隨分久しい間成功を見なかつた。然るに、彼の歐洲戰爭に伴ふ諸情は、比島石炭礦業に大なる刺戟を與へ、且つ比島は種々の有利條件を具備してゐるから、石炭礦業は比島の確固たる一產業として存在するであらう。尙ほ、比島には大なる鐵の埋藏が存在するものとされており、之が開發は間も無く着手されるであらうから、其の曉には、鐵及鋼の製造に連れて、石炭礦業は更に大なる刺戟を受けることゝならう。

同群島に於ては、大きな島なら事實どれにでも多少の石炭が埋藏されてゐるが、就中左記六箇所は其の最も重要なる地方である。

バターン島。ミンダナオ島ツマンキラス灣のゴータス・プトン。

セブー島。ポリロー島。ミンドロー島。マスバテ島。

バターン島

バターン島はアルバイ縣レガスピの略々正北方十五粁の地點に在る。而してアルバイ縣は形狀より見ると、南東部呂宋の不規則なる長腕の一部を成してゐる。バターン島の廣袤は、長さ十五乃至二十粁、中八乃至十粁で、不規則なる海岸線を有し、形の小なる割に極めて山が多く、而も一峯の高さ約五百米突に達するものがある。

同島の地質系統は、閃綠岩より成る火成岩基系統、蛇紋化質入岩系統、鐵系統の跡、頁岩・砂岩及炭層を含む夾炭層及び少く共二層の石灰岩層位より成り、而して上記二層の石灰岩層位の內、上層は下層に比して更に珊瑚質（マラムバン鮮新期の）を帶び、從つて太古に於て全島一帶が珊瑚性石灰岩を以て被はれてゐたといふことは、實際肯定に難くない。而して炭層は種々の角度を以て傾斜し、多くは最も海岸に接近せる地點に於て、不幸にも海中に降下してゐるから、板狀をなしてゐるが、時としては直立したのもある。此等の炭層は、海水の汲上げ等を必要とする。東部バターンに於ては、部分的の下向褶曲炭塊が存在し、之れ亦多少海に向つて傾斜してゐる。彼の比島炭坑會社が採掘してゐるのは卽ち此の炭塊である。此所には厚さ一・五米突以上の美事な層が少く共二つあり、尙ほ厚みの知れぬ層は此外一、二あり、之等は略々海面の高さに於て容易に到達される

嘗て一九〇四—一〇年の間に、合衆國陸軍は同島の西端リガンに於て炭坑の開發及び操業を企劃したが、一つは地質上、一つは業務上の障害の爲めに成功に至らず、其後一九一〇年に、時の陸軍卿ナヤコブ・エム・ディックスン氏は該炭坑を閉止した。然し、最近私人企業として同地方の炭坑業は操業を再始した。リガンの石炭は、最上の比島炭に比して優秀である。同炭坑が其の當初の事業計畫に於て成功しなかつた事は如何にも殘念である。

同島北東部(カラナガ灣)の舊ミナス・デ・バターン坑區は數年前に採掘を中止した。數年間、西班牙の一會社は日本人坑夫を雇傭し、粗放、不經濟なる方法に依つて之等坑區に於て操業したが、其の産額は多量に至らなかつた。

同島の東端、バターンの古村附近に於て、一九〇七年以來數度炭坑企業が企てられ、多少の成功を見た。而して今日では、七轉八起の後に、彼の比律賓炭坑會社は、彼地に於て操業に成功し、目下一日二百乃至四百噸を生産しつゝあり、這は比島炭坑史に於ける最大生産量であるが、之は需要の増減に由り、決して確定せるものではない。

今日迄の處、該炭坑に於ては瓦斯よりの事故は餘り發生せず、石炭には概して瓦斯發生事件が附物なるにも拘はらず、此處では裸燈を使用することが出來る。多くの地に於て、殊に東部バターンに於ては石炭は多量の樹脂と硫黄とを含んでゐる。又丁度炭層の上下部に在る頁岩中には若干の鐵鑛が含まれ、之れは、石炭の選礦が充分でなかつたり、或は永く貯炭場に放置さるゝ場合、石炭の發火を招來せしめる。一九〇五年に、余はバターン島の北方なる舊ビルバオ坑區を訪れたが、當時、現場に於ける自然爆發の爲めに坑道は廢棄の狀態にあつた。此等の點は詳細に述べられてゐるが、さほど其の前途に失望を與へるものではなく、只過大の期待を持つて當ると、反つて失敗するから、投資家及び技術家は餘り大なる期待を持たずに該地へ臨むべきことを說いてゐる。

バターン島は良好なる位置を占めてゐる。即ち、グアムへの途次、桑港より來航する船舶の航路内に直接介在し、這は馬尼拉への最直航路である。此地の給炭所は、今日遠く北方日本へ長途の航海をして、石炭積入れをなしつゝある米國陸軍運送船に取り大なる助けとなるであらう。然し他方に於て、島内間の商船の多數及びセブー、イロイロ、馬尼拉へ寄航する大きな非定期船の航路には這入つてゐない。

セ　ブ　ー

比島の石炭は、元一八二七年にセブーに於て發見された。而してセブーは、石炭業に於て第二に重要なる地方である。同島に所在する諸炭坑は最大なるものではないが、其の大部分が同島に在り、而も其の埋藏量はバターン島よりも多量である。セブーは細長い山岳

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に富む島で、航行し得る河川とては更に無く、港灣も殆んど無く、只可なりに廣い沿岸平野があるのみである。

地質的には、其の系統の多くはバターン島の夫れに似てゐるが、又外に結晶質片岩、火山流岩、古代石盤岩等があり、而も之等は何れもバターン島では未だ見當らない。二箇の點に於てセブーはバターン島と大いに異つてゐる。同島はバターン島に比して著しく濫伐せられ、又同島の大部分は珊瑚性石灰岩の厚い包被を以て覆はれ、而も之れは浸蝕作用に依つて諸所切斷され、其の下部に石炭系統を露はしてゐる。而して同島の夾炭層はバターン島の夫れと同年代のものである。地質構成上から云へば、同島は酷く斷層し、且つ其處には多少強度な岩石の褶曲があり、石炭の採掘を困難ならしめてゐる。露頭の數は少く共十五箇所と云はれ、夫等は同島の一端から他端へと配置されてゐる。西班牙人が注意を拂つてゐる主なる地方は、今日米國人の注意を集めつゝある。而して之等の内一箇所を除く他の凡ては、中央山系の東側に所在してゐる。

當初に於ては、該坑區地方に於て盛に宛行地（アテガヒチ）の杭打をやつたが、今迄に特許を得たものは僅か二、三にしか過ぎなかつた。今日では、最早や無期借地權の特許は許されぬから、政府より有期借地權を獲得せねばならぬ。

セブー島は彼のナショナル石炭會社の本陣で、同社は、嘗て西班牙領當時に更に廣大なる坑區であつた彼のコムポステラの西方十五杆、リコス山の附近に作業地を持つてゐる。而して今日迄の處、該炭坑は特別の成功をなしてゐない。實際に於て、有望らしい唯一の坑區は、ウーリンゲ山炭坑會社の坑區で、之れはナガの西方約十二杆の地點に位置してゐる。

セブー島は、ミンダナオ島と共に餅炭を埋藏する島としての榮名をも有してゐる。マナンガ河の畔、セブー市の北方約五杆なるギラ・ギラに於て、ユーザーン・ミッキエヴイクス氏の地所で、厚み約半米突の炭層が發見され、亦、トレドー河畔のウーリン山では若干の餅炭も發見されてゐる。

多少の變化はあるが、數箇所の地方に於て同一と認められる四箇の主要炭層が、同島及びリコス山を走ることが知られてをり、之等は西班牙領時代に、左の如く銘名されてゐた。

四、ヒラリカ＝層厚一・四米突、層向北二三度東、傾斜南東三〇度、間隔四十米突

三、エンリケ・アベラ＝層厚一・二乃至一・五米突、層向北二三度東、傾斜南東四〇度、間隔九米突。

二、エスペランサ＝層厚五〇糎、層向及傾斜は一と同樣、間隔四〇米突。

一、カルメン＝層厚一・六米突、層向北東及び南西、傾斜南東三〇度。最下層なり。

ウーリン山、リコス山及びカマンシの石炭採掘に對して、嘗て・

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

八九八年迄には若干小企業の進捗を見、又政府の後援に基く一大計畫も畫策されたが、恰も其の組織の道程に於て、一八九六年の叛亂が勃發した。該計畫は、當時西班牙政廳の鑛山監督官で、比島に於ける最も有能なる西班牙人技師の一人であり、又確かに當時最も權威ある地質學者であつたアベラ氏の監督の下に營まるべき筈であつた。

ダナオ炭坑株式會社の坑區は、セブー島カマンシに在り、一九二〇年には數千噸を採掘してゐるが、最近在支外人より成る一大シンヂケートが之を繼承することゝなり、作業を更に大規模に擴張するとの由である。同地の炭層は凡て、リコス及び北方へ走るものとの連續である。

同島北方寄りの、カフメイ・フーマヤンと呼ばるゝ炭田に於て、一九〇七年に米國の有名なる石炭技師、故ベンヂヤミン・スミス・ライマン氏は之を調査し、其の可能石炭埋藏量は少く共七千萬噸との査定を與へてゐる。該炭田の炭層は向斜狀態であるが、同島の炭層は到る處概して單斜狀態である。

ミンダナオ島シブゲイ半島

シブゲイ半島の炭田は、恐らく凡ての炭田中、最も大なる發達を遂げつゝあるものである。卽ち、同半島には、彼のナシヨナル石炭會社の所有する主要坑區が多數存在するからである。而して其の主要なる地方としては、シレイ河の上流で、ブートンの西方四粁のゴータス、マランガスの町から約十二粁を去るブートン、及びブトンとマランガスとの中間に在り、デユマンキラス灣に臨むキヤムプ・ウイルモトとである。尙ほマランガスよりシブゲイ灣に向つて同半島を橫ぎる線上には多數の石炭露頭が認められる。

該地方に關する最も大仕掛の報告としては、ダルバーグ氏の稿本がある。余は曩にはハリスン前總督の、最近ではウツド總督の需めに應じて同半島坑區の調査を行つたが、余の調査は主として營業方面に屬するものであつた。故に左に揭ぐる記述は、一部は前記ダルバーグ氏の報告に基き、其れを余の最近視察せし所に由つて補足したものである。

最も重要なる地方はブートンとゴータスとである。而してブートンは、彼地への鐵路が殆んど完成せんとしてゐるから、這は輸送の便を保證し、ゴータスに勝つてゐる。ゴータスには可なり大きな餅炭の集團があつて、第二位に重要である。炭田の最も優秀な部分が、ゴータスとブートンとの正北に在ると云ふ可能性があり、這は地下開發に依つてのみ保證さるゝ所である。

而して炭層の切斷面は、充分採掘するに足る厚みの炭層が、少く共三層あることを示してゐる。ブートンに於ける主要炭層（半無煙炭）の厚みは二米突以上である。斯くてブートンの主要層は半無煙炭であるが、其の顯著なる固定炭素の成分は、彼の安山岩及玄武岩の岩床・岩脈に依る變質作用に由るものである。該炭の外見上の特

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

微は、圓柱狀の節理を成せる結晶である。

次に該炭の物理的及化學的性質は、卽ち之を燃料として使用し得る程のもので、外國炭の代用として使用することが出來、且つ外國炭と尤に競爭し得るものである。ブートン炭層よりの石炭は、强壓通風の設備がないと、堅過ぎて單獨使用に堪へず、他の石炭と混合せねばならぬ。

地質的諸情は、多少採掘に困難を來さしむるものであるが、併し此等炭層の或ものは、充分なる範圍に亘り、採掘の成功を多分に物語つてゐる。昨年試みられたダイヤモンド・ドリ・ングは、ブートンの附近に立派な石炭の集團が在ることを保證した。

之等すべての鑛區に通ずる主要竪坑は、ブートンに於て現在穿鑿されてゐる、竪坑の東方に位置する炭層上に開鑿される豫定である。本鑛山の開發に就ては今迄に相當の過失も伴ひ、且つ各鑛區の有望なることを確證する迄には若干の入費を要してゐるが、現在著々行はれてゐる採鑛作業も、將來は益々進歩すると共により良き結果を齎すであらうことを豫期されてゐる。

余の最後の本鑛山訪問は一九二一年十一月なるが、その頃ブートン鑛區の作業は著々良好に進歩の實を擧げつゝありしのみならず、二米突といふ素晴らしい炭層の厚みも亦依然として維持されてゐたのである。ゴメ鑛區の開發作業は、鐵道の便なき故未だに進捗しないが後日に至り再び作業を開始するに至るであらう。キャンプ・ウィルモットに於ては、少量の產額を擧げつゝ、開發作業を續けてゐる。ンプゲイ鑛區一帶の採鑛作業は英人技師カルドウエル氏の指揮下に行はれてゐる、同氏は比律賓渡來前、英領ボルネオのシロンボパム鑛山に五箇年間採炭事業に携りし經驗家である。

ポリロー島

ポリロー島はルソンの東海岸沖、殆んどマニラの眞東の處に位する縱約五十基米突、横二十五基米突許りの島にして、幅三基米突許りの水道によりルソン本島より分離してゐる。因みにルソンの本海岸地方は人口頗る稀薄である。

主要炭田は本島の東中央部に在るパアドゥ市より數基米突海邊に寄りし所、卽ちパアドゥ及アロエオン・クリーク間に所在す。

層位學上より見れば、本島の中央部は火成質にして、閃緑岩に類似せる黑雲母花崗岩より成り、その側面部は第三紀の水成岩にして、下から上へ順次礫岩・砂岩・頁岩・石灰岩の層を爲す。事實此地の地質系統は比律賓諸島に於ける炭田と同じ系統である。構造學上より言へば、非常にはつきりした背斜及二種の單斜を持つ向斜を成し、大體に軸は北二十度西に傾いてゐる。可成り大なる、恐らく大きなものであらうと思はれる斷層が明かにあるが、この炭層の年代は中新期の中頃のものにして、此處には開發に適する良好なる三炭層所在し、各々一・五米突、〇・六米突、一・二米突の厚みを有するも、その他の炭層は何れも採掘するにはあまりに少である。主要なる炭層は、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

レイ炭層であるがこの炭層名は、昔時比律賓偵察隊のウレイ大佐の發見に因み同大佐の名を附したものである。現在（一九二一年七月）ボリローの鑛業としては何等開發されてゐないが、嘗てギスバウアン、クリークの所謂ウレイ鑛山に於て二三の試驗的作業があつた。以下述ぶる所のものは一九一〇年余の最後の訪問の際、此の地に於て作つた覺書の寫しである。以後實際に此地に於ては何等の作業も行はれないから、事實この覺書は最も新しいものと見て差支へないのである。

ウレイ鑛山に於ける石炭の品質　上層は光澤強き黒色及粉狀黒色、下層は光澤なく、褐色を帶びた黒色を呈し、細かい、角張つた、光澤ある岩粒が石炭質構成の下に固着す。粘土若しくは砂土には全く關係なく、層間には厚さ二乃至二•五糎の煤黒色粘土介在し兩者を分離す。硫黄は之を見出すことが出來ないが石膏は若干所在してゐる。

炭層の露出部は可成り硬く、下層部は又頗る硬質にして且つ報告に據れば本炭層は何等風化されて居ないと云ふことである。嘗てこの一大炭塊を五箇年間放置し置きたるに何等の分解をも見なかつた。（現在これは七•八年を經過するにも不拘尙硬固である）クリート限定せず且つ鏡肌若しくは碎面が本炭の特徵を爲す。而して本炭はコークスには出來ない、立派な汽罐用石炭である。炭田の西方は火山岩によりて明確に境され、鑛床は南及北方向には連脈なく、又クリークの北東方面には露出所在の確證なし。間層は海邊に近づくに隨ひて一樣に平坦となり、西部の稍々高き傾斜層を爲す地方は殆んど下等炭質の樣である。

この地方の褶曲は本島の中央部を構成する頑强なる火山岩帶に、衝突したる横壓力作用の結果にして、何等岩脈迸入の徵は見えない。

而して或一定の連脈は尙穿鑿すると共に之を發見し得るであらう。蓋し地質學上之を拒否する理由はないのであるが、しかし又一方工業家の作業としては決して簡單なるものではない樣である。

而して本炭は良質のものと言ひ得る。商業上本炭の大に與つて力ある主要素は、本島とルソン本島との間に於ける汽船航路が頗る都合のよいといふ本島の地理的位置の惠まれてゐることである。數年前、ルソンの東海岸即ちボリロー島の反對側海岸に於て馬尼拉に對抗さる海港開發問題に於て論議されたる事あるも、これは全くボリロー炭に對する人氣の煽なりし事は勿論である。けれども本計畫は其儘立消えになつてしまつた。炭田に就ては數年前政府のジエー•ピー•デイルウオース氏が亞米利加の有名なる石炭家インビリヤン氏に雇はれて本炭田の調査を爲し、一九〇八年比律賓炭田なる記事中、本ボリロー島の石炭に就て下の如く記してゐる。

本炭はその實地試驗或は化學的試驗の結果比律賓に於ける最優良品種たり得るものにして、化學上西部バターンのものと同質なるも、現今市場に於ける日本向石炭よりも品質稍劣等である。然れ共、本

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

炭田は西部パターンにおけるが如く、地質の變動は本炭層組織なしてその經濟的採掘を非常に困難ならしめてゐる云々。(未完)

(The Far Eastern Review, No. 8, '25.)

□比島の銅

米國の領有に歸してより、比律賓銅に付ては舊マンカヤン(Mankayan)鑛區にて開發事業繼續して行はれてゐると云はれて居るが、實際に於て一件の銅をへ生產されてゐない。該區の鑛床に付ては屢々調査が行はれた結果、可成の廣袤に低級の硫砒銅鑛脈の存することが明瞭となつた。この原鑛を處理する唯一の經濟的方法は之を熔鑛設備のある近隣の國に輸出するにある。でなければ銅の市場は頗る不安定であり而も運輸の不便、木材の不足、熔鑛費及勞働賃銀の高價等の地方的障害が甚だ大であつて到底堪え得られないのである。

最も早く世に知られたる記錄中には、現今マウンテイン縣と稱せられて居る、往時のテユーイ縣に銅の存在してゐた事が擧げられてゐる。スペイン人が最初比島に上陸した際、彼等は山岳地方民によつてウゴーロテス(Ugolotes)と稱せられた方法によつて銅鑛の熔解せし事を耳にした。多分、比島を侵しラチア・イロコス・ノルテ縣に上陸した有名な支那人の海賊リマホン(Limahong)の時代に支那人か日本人かが此技術を傳授したものと思はれる。

此銅鑛床はアブラ河畔のセルバンテ(Cervante)の南方約十六粁、北部ルソンの中心、山脈中の小高原に位するマンカヤンの近傍に在る。マンカヤンはマニラの正北二六四粁、カンドンの東南六十四粁の位置に在つて、マニラからは立派な等級付の馬道があり其より有名なティエラ峠を越えて牛車も通ひ得る良道が通じてゐる。マンカヤンは海拔約一、一四〇米の標高を有し、メグテインといふ海岸町より約三十六粁の距離にある。この高原は事實何等の樹影を認めないが、近隣の山には多少松材が散在してゐる。

原鑛は大部分銅の砒酸鹽よりなり、石英石脈中の第二期に屬する黝銅鑛をも幾分か含んでゐる。第二期層の豐富なることとマンカヤンの鑛床を見れば明かである。主要なる鑛塊は二パセントにも達せざる下級品であるが、五パセント又は最と採れるものもあり非常に豐富に產する地點も數箇所ある。左記の銅鑛はこの鑛床中に發見せられるものである。

硫砒銅鑛　呂宋鑛(硫砒銅鑛の特種なる結晶形態)　黝銅鑛

黄銅鑛　硫銅鑛　膽礬　藍銅鑛　孔雀石

主要なる岩塊は閃綠岩であつて、俗に云ふ粗面岩、實は石英斑岩に依つて被はれてゐる。西方に向つてバガン花崗岩として知られてゐる石英閃綠岩の大岩塊が延び、其の少し先及東方にかけて大部分

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第三紀安山岩の集塊岩で形成されてゐるダタ山が横はつてゐる。

一、九〇四年 該地方唯一の地質調査を行つたイーヴランド氏は此鑛床に就て次の如く述べてゐる。

以前にもマンカヤン鑛床を説明しようと試みたが其都度支障を生じた。然し未だ考へられた事もなく、是等鑛床の種類は最も進歩した採掘が行はれて初めて單に分ることであるが、現在に於ては假説的なものに過ぎない。

『粗面岩の流が未だ達せざる中に、スヨックの堆積層と同じ様式の鑛脈が形成された。卽ち石英脈が黃金の價値ある金屬硫化物を齎らしたと見做して今日迄擧げられてゐる地質學上の證明の孰れに照すも何等撞着する所がない。閃綠岩に蔽はれ而もその脈石が火成に依るものであることは化學作用を頗る速進せしめた。分解變質し易き粗面岩は閃綠岩と接觸するに當り變質して硬き燧石樣の硅質石英斑岩に化し、石英は其他の要素の殆ど全部を置換したのである。其冷却し次で收縮せる間に激震等の力學的活動の助に依り本諸島の地勢の如き亀裂を生じた。粗面岩を蔽へる熱は脈石洪積の進捗に原動力を與へ、熱湯は外らんとして下層或は周圍の富源より硅素又は鑛物を齎してこの間隙を充した。硫砒銅鑛はこの第二期的作用に依り形成せられた鑛物の中著明なるものであつて、調査によれば他の鑛物より後れて形成せられたものである。故に他の富源より得たる銅鑛と接觸せる或部分に第二期層の豐富なることは、マンカヤンに於て特に著しく證明せられる所である。可能なる方面には凡て洪積作用行はれ、マンカヤン鑛山の脈石の如き不規則なる岩塊を殘してゐる。』

當の閃綠岩を切裂いて迸入した花崗岩の影響に付て、イーヴランドはこの鑛床の創生に何等考慮してゐないようであるが、自分の意見では―未だ決定した譯ではないが―該地方の鑛化作用に大いに盡す所があつたと思ふ。

一、八六〇年代、カンタブロ・ヒリピノ會社を監理してゐた著名なスペインの技師サントス氏は、此地方の採掘及鎔鑛法に付て次の如く述べてゐる。

『鑛山より採掘した鑛は先づ煆燒に附するか又は粗雜に鎔解せしむるを可とする。其の爲土民は土地に二指或は三指の深さを有し直徑一キュアタ(我が約二尺に當る)の孔を開け、細枝で蔽ふた熔器を作り、其上に隙間なく小山に盛り木切か板かを以て之を仰へ、板上の穴のみを殘して全體を細い松の木で蔽ふ。直に之に點火し二、三時間の後木質部が盡き、鑛物中の硫黃が完全に熱せられる迄其儘に燒き盡すのである。かうして出來た物は土塊、石炭片、石英滓を混じた不純なる銅塊であつて、幾分が聯繫場を失ひ有氣孔塊に變じた角礫岩狀を呈してゐる。此銅は黑銅の一鎔解工程を受けたものであつて、之には更に次の如き處理を行ふ。六乃至八指幅の穴を掘り、圓筒形鞴に通じた管を置く場所を殘して周壁を石で築き一種の爐又は坩堝を作る。此鞴はくり抜いた松の幹で作つた二つの圓筒よりなり、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其中に木製喞子を通じてゐる。この喞子は周圍に枯草又は鶏の羽子をつけてあり、唯鞴のみで支へられてゐる爲め圓筒の内面でバネの働をしてゐる。下部に穴を開け其に甘蔗等の莖を挿入し使用の初めにヴァルヴを閉ぢさせる。

斯して窯を作つたならば、松薪木、銅其他の物を詰め、燃燒につれて薪を加へ、混合を避けなければならない物質に交らないやうに銅を底に落す爲枝を以て少しづゝ掻き交ぜ乍ら鞴を使ふ。十分乃至十五分の後、銅が一塊に結合された頃を見計つて鞴を止め、液盤に溢れてゐる炭や鑛滓を除き稍々固まり持運び出來る固さになる迄蓋を取つた儘放置する。出來た物は粗面の土又は薪木を混じた一塊の黒銅である。

之を直に焚火に竊して二三時間放置し一種の假燒工程に附して今少し純化せしめる。後之を同じ爐で鎔解し一種の坩堝又は鎔解し難い粘土の型に入れる。更に坩堝を穴に入れ其上に石蓋を置き周圍に薪を積んで強く吹き銅の鎔解するのを待つて蓋を除き不純物を取去るのである。

坩堝を取出し銅塊が固化し初めるさ圓材を以て之を壓搾する。最後に坩堝よりこの塊を取出し冷却する迄灰の中に埋め石で叩いて多少表面を滑かにする。

斯る方法に依り採取した銅の一部分は、塊の儘平地に住める基督教土人に賣り又其一部はイゴロッテ人が石で鍛へる鍋釜類の製造所に納め其他、同種の金屬棒・火箸・煙草を喫ふ小管等に製作する。

カンタブロ・フィリピノ會社は約一、八六〇年頃スペイン人サントス氏を事業の管理者さして組織せられた。該會社は今少し進歩した工作法に依り經營しやうさ企て、或程度迄成功して居る。一、八六〇年より向ふ十五箇年間に二百五十萬封度の銅を採掘してゐるが、一、八七五年鑛山に於てサントス氏永眠し總て之等の事業は總て中絶した。爾後支那人やイゴロッテ人に依つて雜然たる鎔鑛法行はれ而も該會社の活躍舞臺たるサンタ・バルバラ (Santa Barbara) 鑛山一帶の豐富な竪坑口より非常に莫大な利潤をあげた。

現今(一、九二一年六月)に於て、ピー・シー・ホイッテーカー一味がヴイクター・レドニッキー氏を鑛山技師さして舊スペイン人の排水隧道の下層に三二・七米及六五・四米の兩隧道を竪ち該鑛區の開發を續けてゐる。今日第一隧道は長さ一七〇米、第二隧道二二五米而も四〇米の横道を有してゐる。この下層隧道中の脈岩は幅員約一七米、走向北・四十五度・西、傾斜東北六十五度にて約二パセントの銅を採取し得るさ云はれてゐる。

この埋藏量は數人の技師に依つて調査されたが、平均二パセントに近き重要なる鑛脈の眼に見えてゐるこさ及非常に豐量なる地點の幾箇所も存するこさを否定する者はない。而して主要なる難關は運輸の不便、コークスの不足(之を輸入しなければ鑛石を積み出すこさが出來ない)、媒鎔劑の近所になきこさ、材木・勞力の缺乏等であ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る。

本問題解決の經濟的所論は原鑛を一箇所に蒐集し之を日本に輸出して鎔鑛することである。

其他の銅鑛脈

注目に値する銅の產額を有する地方は比律賓群島中、少くとも二箇所あるが、孰れも其產額未だ重要視する程度に達してゐない。

マスバテの西南方海岸のミラグロスに於ては、數年前安山岩中に天然銅が採掘されたが產出に付ては今日迄何等記錄がない。

パタンガス縣のロブー山に於て自分は金と銅を含有する石英脈岩を調査した結果、不有望な報告をした爲め、一、九〇五年採掘は中止せられた。

パンガシナンのスアル附近に黃銅鑛の堆積層が時々採掘されて來たが、決して重要のものではない。

呂宋のザンバル山にあるアグラオの支流たるブラ川の水源に於て含銅硅質脈岩を一、九一三年及一四年に試掘したが、何等重要視すべき收穫を得なかつた。

銅市場の不確實、原鑛取扱上の困難、日本製銅業者の近接せる等の諸理由に依り、比島に於ける銅鑛業は將來如何はしき投機となり、唯經驗深き人々のみが企畫しなければならなくなるだらう。

(The Far Eastern Review. No. 9, '25.)

佛領印度支那

□鑛業彙報

老開(Lao-kay)の黑鉛鑛山　印度支那黑鉛採鑛會社支配人ドユモンド氏(Du-mond)の努力により、老開門のナムシ(Nam-si)鑛山に於ける黑鉛はその產額從來の八三—八八%を增加するに至り、一月の生產高は四十噸に及んでゐる。然してその採掘されたるものは頗る良質の黑鉛にして、佛本國に於ても非常なる好評を博し、タマターブ(Tama-tave)港、甲板渡値段、噸當り一、八〇〇法のマダガスカル產のものと同等價値あるものと言はれてゐる。

東京の黑鉛業未だ幼稚なりし頃より、余は既に幾度となく、新黑鉛鑛脈の發見される毎に之が注意を喚起し、その重要すべき事を一般に報告してゐたが、本鑛山の如きは鐵道沿線に近く加之勞力不足勝なるマダガスカル植民地に比し、勞力の供給頗る豐富なる地位に在り、以てその地利を占據せることは何より重要視すべき事であらう。東京に於ける斯業開發に就ては、一に黑鉛採鑛會社設立發起人の功績に歸すと言ひ得る。因に本會社は單なる一黑鉛處理工場であつたものから芽生え、今日に至つたのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

上東京錫採鑛會社 (Société des Mines d' étain du Haut-Tonkin)

本會社は資本金五十三萬五千法にして、一株五十圓の株一千七十株より成る。（此外發起人持株四百五十株）本社は巴里ジャムマープ(Jeumapes)海岸通り二〇六番地に所在す。

本會社はピアクワ (Pia-Quac) 地方に於て、Beausite, Juellis, Ariane, Phébé, Ganymède, 及び Saint-Galmier の諸鑛山を所有す。而してこの大部分のものは山脈の南傾斜面に位置してゐる。

現在採掘の實際に行はれてゐるのは、ボウシト (Beausite) アリアーヌ (Ariane) の二鑛山であるが、此等鑛山の鑛脈は主として山の中腹に位置を占め、何れも下層岩の分解に依る構成土より成り、頗る柔軟性のものである。この土は錫石 (Cassiterite) 及オルフラムの鑛化石英層に依つて切られたる白雲母花崗岩粒 (Granulites) なるを以て、之より採鑛するには、最も近き小河の一部より小運河を引き、之に注水するの方法を行つてゐる。斯して水により洗淨されたる土は、次に木樋を通過せしむるのであるが、此際容易に分解された錫物含有を採取することが出來る。然してこの鑛物は混合物である。換言せば、錫及タングステンを共に含有するものにして、現在噸當り約七五〇ピアストルのものと評價されてゐるものである。オルフラムより錫石を分解するに必要なる設備無き故、採掘されたる鑛物はその儘、佛蘭西へ輸送される。

最近六箇年の生產高は次の如きものである。

一九一九年	六一（噸）	一九二二年	一三九
一九二〇年	九五	一九二三年	一六五
一九二一年	一三三	一九二四年	一七三

次に經濟上より見るとき、本會社が今迄に收得したる結果は實に素晴らしいものがある。一九一八年度に於ても利益配當の中止さるゝことなく、又現在に於ける純利益は、少くとも資本額に等しいが、さもなくばこれを超過するの有樣である。ボウシト鑛山の如きは生產能率頗る高く、東京に於てはホンガイに次ぎ、高生產能率の鑛山たる位置を占めてゐる。

この立派な成績は、本會社の事業方針が經濟的なること、その方針を出來るだけ利用したる、ゲネイ(Geney)氏の巧みなる管理的手腕によるものであるといふことが出來るのである。

尚上東京錫採鑛會社は、最近入札の結果マリイ (Marie) 鑛山を取得したるが、本鑛山はベンデュオン (Binh-Duong) に在りてボウシト鑛山の北西約三基米突を去る處に所在す。本鑛山には豐富なる沖積土の包藏されあるを以て、併せて近き將來には著しき產額の增加を見るに至るであらう。

本會社に所屬する鑛山の一つガニイメード鑛山にも莫大なる鑛脈を包有し居るも、現在に於ては未だ採掘の緒に就いてゐない。若しこの鑛山が採掘されるに至るならば、是又必ずや莫大なる埋藏富源の暴露されるに至るべき事は些の疑を挾む餘地がない。事實本鑛脈

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に於ける鑛物一噸中の成分は、亞鉛一〇%、錫四基瓦・銀九百瓦・金三瓦と言はれ、貴重金屬の含有量に於ても、亞米利加、殊にメキシコに於て採掘されるものよりも、ずつと素晴らしいものであることが首肯される。

如上の次第なるを以て、本會社所屬鑛山は、東京に於て、最も有望視せられてゐるものなることは明かであるが、一般の採掘狀況を茲に發表することが出來ないのは誠に遺憾である。

鑛業上刮目すべき地方　茲に刮目すべき地方といふは、東京の西部諸州、即ちソンラ(Sonla)、レイショウ(Laichau)及その隣國老撾のトユナン(Tranninh)、ヒユアパン(Hua-Panh)(Sam-Neua地方)諸州の謂である。

此等地方には幾多の鑛脈包藏され、その幾らかは何れも嘗つて土人に依り採掘されてゐたことがある、我佛領となりし以來何れもその場所の分明なるにも不拘、交通路より著しく隔て居るが故に、實際上之等の鑛脈に就ての研究は等閑に附せられ、又その利益ある採掘のあらゆる機會を失つてしまつてゐたのである。

今余は之等の鑛脈に就て、簡單ながら調査の歩を進めんとするものである。

先づ此等地方のずつと北邊に寄る、フォント(Phong-to)地方には夥多の古坑所在し、殊にシャンカイ(Shin-kay)に於ては、鑛物處理の遺物たる鎔滓の堆積されあるを見る。又此地方の諸鑛脈は石灰石を含有せる關係上、地表近くには白色カラミン多量に存し、地下には亞鉛を主とし、方鉛鑛、銅黄を從とする硫化物の包藏されあるを知る。尚復此等の鑛脈は同樣に少からざる錫鑛をも含有してゐるのである。

次に眼を南方に轉ずれば、タハン(Ta Phin)(Clapa地方)高地に數多銅鑛の露出を見るであらう。この銅鑛は頗る有望視すべきもので、その厚さ一米突を越え、その表面は酸化銅及炭酸鹽より成る。

レイショウ(Lai Chau)州下は亦幾多の鉛脈により知られ、殊にバンタム(Ban-tham)地方を以てその最たるものとす。又ディアン・ピアンフ(Dien Bien Phu)地方には數多き鑛脈を包藏す。これは主として含銀鉛脈にして、昔時ミョンユア(Muong Hua)郡のソッコ(Sop-cop)及トユアンジャオ(Tuan Giao)地方に於けるミョンマン(Muong Men)、ミョンムーヌ(Muong Moun)、ミョンタン(Thuon-gteng)及フーフア(Pho-kha)等には何れも昔時採掘が行はれゐた處である。又ミョンミヤン(Muong Muen)及ソッコ附近には銅鑛脈の所在するを見るであらう。

ソンラ州の南方モルー(Molou)地方に於ては、既知の通り金鑛の沖積土豐富なる所である。然してこの沖積層は石灰石により圍繞せられたる圓谷の底部を占め、その成分頗る高率なることによりて著名である。けれども茲に一つの難關はこの谿谷に水の流れてゐない

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ことで、爲めにこの地の金採取は頗る困難なる立場に在る。土人は含金土の採掘後之れを籠に入れて峽岨なる石灰山を越え、小河の邊りまで運び茲にて處理作業を行つてゐた。

目下歐風採掘法を採用して、此處に石灰層を突き拔いてこの沖積土の在る場所に至る長隧道（トンネル）を穿ち水を此地に引く計畫がある。

サムノウ（Sam-neua）州下に於ては、ミヨンプーン（Muong-poun）バンタン、ベンモン（Ban Mon）、オンニヤン（Hong-ngan）シヨンエオ（Muong Heo）及ミヨンフア（Muong Pha）等の各所に含銀鉛鑛山の古坑所在す。又コウマ（Co-mat）及ナテイオ（Ka-tioc）には銅山がある。然して之等の鑛脈は何れもタンホア（Than-hoa）との州境近くに所在するものである。

要之此等地方の交通路敷設を以て最緊要なるものとしなければならない。卽各交通路の開設される曉は、此等地方の鑛物埋藏狀態に就ても完全なる調査を遂ぐることが出來るのみならず、その幾分かは直ちに採掘の緒に就くに至るべきは疑ふの餘地なしといふも過言ではあるまい。殊に、道路としては、ヲオカイよりシヤパを經てリユアンプラバンへ通ずる路、及レイシヨウよりテイアンピヤンフへの通路の開通を以て最も必要と見るべきである、實地に就て詳細に踏査せるならば、確かに莫大なる鑛脈の埋藏されあることは各種の狀況より容易に之を推斷することが出來るのである。

要之我等は之等の富源をして出來るだけ早く且最も簡單なる方法にてその眞價を發揮せしむることが肝要である。

印度支那鑛業の將來に就て、我印度支那が將來の開發を俟つ數多の各種鑛脈を包藏してゐることは今更贅言の要はない。以下は之等各種鑛物及その各發達の可能性に就て略說せんとするものである。

亞鉛　最近數年間の亞鉛鑛產額を列記するに、一九二二年一一〇、九三六噸、一九二三年三〇、五〇〇噸、一九二四年四二、四五一噸を數え、その進步度合も頗る順調にして尙將來に於ても永くこの割合を持續するの可能性を有してゐる。既に發見されたる鑛脈はその數頗る多數なるに不拘、現在實際に採掘されてゐるのは僅々四鑛山に過ぎない。亞鉛鑛山として有名なるものは東京の紅河以北の大石灰群山地帶の大部分である。就中地質學者ブウーレ（Bourret）氏に依りアヂヤン（Ha-giang）石灰層と稱えられてゐる地帶が最も有望なるものとされてゐる。然して此等の石灰地層はソンガム河によつて二分され、その中にはシヨデイアン、シヨドン、及パツクバン等の著名なる鑛脈其他未だ採掘されない幾多の鑛脈を包有してゐるのである。

鉛鑛　印度支那に於ける鉛鑛の產出は頗る微弱にして、一九二二年一五五噸、一九二三年一一八噸、一九二四年八七噸といふ數字を示してゐる。この鉛鑛は亞鉛鑛と共に採掘されるのである。一九二四年末タンホア州下に於ける小露出鑛より幾らか採掘される樣になつた。印度支那に於ける鉛鑛の採掘は方鉛鑛の利用範圍の擴大すると

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

共に益々その多きを加ふべきでなければならない。印度支那の北半(東京、上老撾及北部安南)に於ける古鉛鑛はその數百を以て數ふるも、ニヤンソン(Ngan-son)を除く他古鑛山は事實上何れも之を活用せんとするの價値なきものとされてゐる。

昔時の鑛山主は地表に所在する鑛物(概してカラミン鑛)は再び之を採掘するのは至極容易なる所から、之等を採鑛せず、反之鉛鑛及方鉛鑛は之等鑛物が銀を含有するが故に先を爭つてこれを捜し求め、當時の彼等の採掘方法により出來るだけ深く之を採掘したものである。故に此等鑛物を再び採掘せんとするには相當の期間及費用を必要とする。之一般踏査者の逡巡する所以である。故に昔時採掘されてゐた古鑛山の再掘は事實上之を困難なるものとするも、一方に於て未採掘の鑛山もその數少くないのである。殊に銀を含有しない方鉛鑛(Alquifoux)及硫化物の混入せる鉛鑛脈は頗る豐富に所在してゐる。余等はその中でも殊に有望なる或若干の方鉛鑛脈及僅少なる勞苦によつて採掘され、又それが將來相當の價値を有するに至るであらうと考へられる幾多の鑛脈を知つてゐる。惟ふに鉛鑛の將來は決して之を閑却すべきものに非るものと余は信ずるのである。

錫　錫鑛の產額は一九二二年七〇八噸、一九二三年六七七噸、一九二四年八五二噸に及ぶ。この錫鑛の產額も漸次增加しつゝある。殊にパクハンプーン(Pak-Hin-Boun)鑛山はその價値を益々高めつゝある鑛山である。尙錫鑛の所在場所は概して、白粒岩(Granite)層の附近に限られてゐる。印度支那に於ては今後益々新錫山の發見される可能性を有してゐる。蓋し此國は實に白粒岩層脈の豐富なる所であるからである。

然して、ピアクワ(Pia Quac)及パツフハンプーン鑛山附近の白粒岩層踏査の結果、頗る驚異に價する結果を齎してゐる。最近に於ては、ナムパテーヌ(Nam-patène)低地のボナン(Bo-neng)新鑛山の發見されたるものゝ如きは、實に本踏査の收穫物である。

銅　印度支那は實の處所謂銅產國ではない。けれども著名なる銅山の數は決して少くないのである。殊に老撾及東京の西部及其他數箇所に於ては銅の含有高率なる鑛物の大露出すら存在してゐる。豐富なる地方は何れも接近困難なる地方に位置し、從つて調査の見るべきものがない。現今最も有望なりと認められてゐる地方は、レイシロウ、ソンラ、及サムノウの各州下である。

デイアンビヤンフよりシヤパに達せる道路完成の曉には、確實なる數多の銅山及含銀鉛鑛の採掘を見るに至るであらうと思惟される。

クローム鐵鑛　タンホアのクローム鐵鑛脈が始めて有望なるものとして著名になつたのは一九二五年のことである。本鑛山はその採掘時期及その可能性問題に於ても非常に價値あるものとされてゐる。右以外此に類似する有望なる鑛脈又少からず存在することは確實なるも、今の處その場所頗る不便なる所に位置するが故に採掘さ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れる曉には相當の年月を要するものとされてゐる。

アンチモニー鑛　このアンチモニー鑛脈も頗る多量に所在す。その內の二、三鑛脈は特別に良好の地位を占め居るが故に採掘も頗る容易である。

黑鉛鑛　次に黑鉛であるが、本鑛產物の將來は異常なる發達を期待されてゐる。カンニヤイ(Quang-ngai)(安南)地方の非晶黑鉛及廣汎なる鑛脈を包有する東京の薄片黑鉛等はマダカスカル產のものに匹敵する頗る良質のものである。然して中東京地方のものは老開、河內間の鐵道沿線より三乃至四基米突の處に位置し居るが故に採掘上何より有利な地位に在る。

老開に於ける新設立の黑鉛採鑛會社の採掘は、既に滿足すべき良結果を收め始めてゐるのを徵しても東京に於て良質黑鉛の採掘されることが明かであらう。

金鑛　印度支那に於ける金鑛採掘の將來に就ては屢巷間に論議さるゝ處である。余はこれが採鑛の將來は益々多望なりといふ意見に贊意を表するものである。聞知する所に據ればボンマン(Bong Min)及プウラン(Pou-Lang)地方に包藏する金鑛脈に就ては再び二金鑛山會社に於て採掘を開始するに至りたるとの事である。尙含金沖積土の處理も等しく舊に復せりとの事故早晚新式の處理方法の下に素晴らしい發展を見るに至るだらう。

又我々は土人が嘗て採掘してゐた沖積土をも見逃してはならない。彼等が採掘せし量は極く僅かにしてその大部分はそのまゝに放置され在るを以て、彼等に依つて採掘され盡してゐると見るは大なる誤りである。之に就ては土人達が此方地方の深い谿谷中に依然として豐富なる含金沖積土の包藏されあることを認めてゐる所より見るも容易に了解し得る所である。尙此等の場所は水量頗る多き爲、土人式の採掘法にては如何とも手の下し樣なく、その儘阻止さるゝの止むなき狀態に在つたのである。

次にソンナン(Song-nang)河流域附近の沖積土はメントユ(Tinh-tuc)鑛山の子會社たる關係に在るバンマン(Ban-man)採鑛會社の手に依つて採掘されつゝあるを以て、近く此地方の消息に於ては詳細なる報導の在るものと信ぜらる。

銀　印度支那に於ては所謂純銀鑛山なるものなきも含銀鉛鑛の頗る多量に存することは前述の通りである。今日に於てはニヤンソン(Ngan-son)の如き各鑛山に於て銀の採掘開始されつゝある故、今後我植民地も銀の採鑛に於ては急速なる進步を見ることゝ信ず。

水銀　クワンバ(Quan-ba)州下(主としてアジヤン地方)には幾多の水銀鑛床埋藏されてゐる。此に關する調査は可成り長年月に亘りたるも、此等の鑛床は十分なる注意を以て最も詳細に研究するの價値あるものなることが分明した。其の中數箇の鑛脈は辰砂三乃至五[illegible]の厚附を有してゐる。この事實は本鑛物としては頗る滿足すべき結果を齎す性質のものである。蓋し、金屬としての實價も良く、又

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

工業上の處理作業も頗る容易なるが故にである。

トユエンカンよりハシヤンへの自動車通路開通するに至れば、この鑛脈への接近は何等の困難をも伴はずして行はれる。從つて此のクワンバ地方の豊富なる鑛物をして價値づけるに重要なる試驗的採掘も直ちに之を望み得ることが出來るのである。要は本交通路の速かなる敷設に在る。

結論　次に簡單乍ら、如上を結ぶに、あらゆる種類の鑛脈が印度支那の北半部には豊富に埋蔵され、然もその大部分は未採掘の儘に在る。然して之等をして眞價を發揮せしむるには何よりも次々にせ交通路の完成を期し之を進捗せしむるに在ることは既に屢述べた通りであるが尚余は之と共に、母國及北部亞弗利加に於ける我鑛業會社の多くのものが我印度支那鑛業に參與し、彼等の豊富なる經驗に依り、普く助力あらんことを切望するものである。又一方我々に於ても彼等會社の株主が之に就て何等不平を發せしめぬ樣彼等を說服するの努力を惜んではならない。

(L' eveil Economique de l' Indochine. Nov. 15, 20 & Dec. 27, '25.)

馬來半島

□護謨園の賣買に關するオプション・アグリーメントに就て

當地方にて護謨園を賣買するには、商習慣として普通オプション・アグリーメントなる契約を締結するを常とする。其契約は一方の當事者は賣手たる護謨園にして、相手方は買手又は仲買(ブローカー)である。オプションを與へる者をグランター(Grantor)、受くる者をグランテイ(Grantee)、と稱し護謨園は勿論グランターである。グランターがグランテイにオプションを與へたる場合には、其約束の期間中は、更に他人と賣買の契約を締結し又は他人にオプションを與へる事は出來ない。其の期間中は束縛せらるゝのである。此の期間中にグランテイは其の園を買收するや否やを決定するのである。オプションを受けたる場合にオプション・マネーと稱する保證金類似のものを提供する場合があるが、普通これは單に形式に止め金錢の受授をせざる場合が多い。この金は手附金とは異るのである。賣買の手附金はグランテイが愈々買收を決定したる時に提供するので、普通買收金の一割位である。此の手附金はグランテイが違約したる時には沒收されるものであるが、勿論之れと異なる契約をする事は妨げない。オプション・アグリーメントに書き入れる條項は概略次の樣な事である。

一、グランターはグランテイにオプションの權利を附與する。グランテイは或一定の期間内に幾何の値段を以て護謨園を買收するや否やを決定する權利を有する。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、オプション期間中に愈々買收を決定したる場合には、グランテイはグランターに宛て一定の住所に對し其旨を書面を以て通知し、且つグランター又は辯護士(指定)の許に手附金を供托するを要する。

一、グランターは、地劵をグランテイに提供しグランテイ又は其の代理人に護謨園の踏査、評價を許可すべし。

一、本契約(オプション・アグリーメント)が實行さるゝ場合には、グランターは護謨園を賣り、グランテイは之を買ふ義務を生ず。

一、一定の期間内にオプションを實行せずさ(則ち買收せずに)決定したる場合には、本契約は無效さなる。オプション・マネーの定めある時には此の金はグランターに歸屬す。

一、買收は何月何日迄に完了せしむ。權利の移轉につきてはグランターは其の權利を完了せるものさして則ち故障なく移轉せしむる義務を負ふ。

一、護謨園引渡しまでに要する費用は、グランター之を負擔す。同時にそれ迄に生じたる生産物はグランターのものさす。

一、護謨園引渡しまでに、グランターは平素に變りなく園の管理をなし樹木を損傷する等の事なかる可し。

一、護謨園の面積其他の詳細は地劵面による。若し實測等に於て不足あるも賠償せず。

一、地劵面記載の事項につきグランテイが抗議をなし、グランターは其抗議に應ずるを欲せざる時は、グランターは、此の契約を取り消しオプション・マネーをグランテイに返還する事を得。

一、買收決定後契約を履行せざる時は、グランターは、契約を取消したる上手附金を沒收する事を得。

一、地劵面記載事項の大略を記載す。

(新嘉坡商品陳列館報第百六十七號)

□一九二五年十一・十二月度英領馬來護謨輸出高

(十一月)

仕向地	一九二五年十一月	一九二四年十一月	一九二五年一月―十一月に至る累計	一九二四年一月―十一月に至る累計
英合衆王國	六、〇三〇・〇五	三、五三九・〇七	三九、九〇九・〇九	三一、一六一・九七
北米合衆國	二一、六四四・五〇	一五、七二九・〇五	二〇五、七六七・四七	一六八、三六二・七七
歐大陸	一、九六七・三三	一、六五一・〇三	二六、〇七二・四一	一六、四三八・七一
英屬領地	五六三・二二	一八七・八二	四、二三三・六四	四、七五六・二九
日本	一、四三三・一九	一、三四六・〇三	一〇、七六五・六三	一四、五七四・三七
其他	一九・〇〇	三九・一三	二一五・六〇	二〇六・一三
合計	三一、六四七・九八	二二、四八八・一〇	二八六、九六二・七四	二三五、五〇〇・二四

前表（數量單位噸）は、各年十一月末迄に於ける英領馬來各港から輸出した護謨の數量を云ふけれども、必ずしも同月中に積出したものとは限つて居ない。

一九二五年十一月中英領馬來以外の各地を經て輸入されたパラ護謨の數量は一四、九〇四・二七噸に上つて居る。之れが前年は九、六一六・九六噸であつた。

又同年十一月末に至る輸入パラ護謨の累計は、一四四、〇五八・〇五噸で前年度は九五、六二二・一四噸に過ぎないのである。

同期間迄の輸出價額は、六三九、五二七・〇〇〇弗、昨年は二二三、八八二、〇〇〇弗を擧げ、數量は五一、四六二・六〇噸の純增加を示して居る。

輸入護謨の內譯は次の樣である。

スモークド・シート	一七五・四一
クレープ	六八〇・〇一
アンスモークド・シート	一〇、一五三・八九
スクラップ（ウエツト）	一、一七八・八八
ラムプ（ウエツト）	一、一一七・〇八
計	一四、九〇四・二七

（十二月）

仕向地	一九二五年十二月	一九二四年十二月	一九二五年一—十二月に至る累計	一九二四年一—十二月に至る累計
英合衆王國	五、七八九・七四	二、三四〇・九九	四五、六九八・八三	三三、五〇二・九二
北米合衆國	二〇、七六〇・六〇	一八、三三七・九二	二二六、五二八・〇七	一八六、七〇〇・六九
歐大陸	一、九九二・八九	二、三九七・五〇	二八、〇六五・三〇	一八、八三六・二一
英屬領地	五三五・八一	三一三・七二	四、七五八・四五	五、〇七〇・〇〇
日本	七六六・一八	七六三・二〇	一一、五三一・八一	一五、三三七・四七
其他諸國	二七・四五	五一・二四	二四二・九五	二五七・二七
合計	二九、八六二・六七	二四、二〇四・四三	三二六、八二五・四一	二五九、七〇四・五六

前表記載の他、同年十二月中英領馬來以外の國々から輸入されたパラ護謨の數量は一三、九六四・四九噸（前年同月一一、七九七・二六噸）である。又同年一月—十二月に至る期間の累計額は一五八、〇二二・五四噸（前年同期間一〇七、四一九・四〇噸）に達して居る。

斯くて同年中に於て英領馬來より輸出した輸出護謨の總額は、七四六、二三〇・〇〇〇弗（前年度は二六四、九四三・〇〇〇弗なるにより）なるが故に前年に對比すれば五七、一二〇・八五噸の增加となる。

前記英領馬來以外の國々より輸入したパラ護謨の數量を種類別にすれば次の樣である。（單位噸）

スモークド・シート（乾）	一、六二四・二〇
クレープ（乾）	六六八・四九
アンスモークド・シート（ウエツト）	九、一五三・七八
スクラップ（ウエツト）	一、一六六・一〇
ラムプ（ウエツト）	一、三五一・九二
計	一三、九六四・四九

（新嘉坡フリー・プレス、十二月三日及一月六日）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□馬來聯邦州一九二五年一月—十月錫輸出高

コーランポより倫敦 Malay States Information Agency への公報に據れば、去る十月中馬來聯邦州より輸出せる錫は三、八七二噸で、之に對する前月は三、九八三噸、更に昨年十月は三、九四九噸であつた。而して本年十月迄の累計は三八、八五八噸となり、之に對し昨年同期は三六、〇九五噸、一昨年は三〇、九八九噸であつた。

次は其の比較表である。（單位噸）

月次	一九二五年	一九二四年	一九二三年
一月	四、〇八一	三、九三四	三、一八八
二月	三、三六二	三、二四六	三、〇一〇
三月	四、〇三一	三、三六四	二、七〇四
四月	三、七六二	三、五三七	二、七九五
五月	三、八一〇	三、八五二	三、一〇八
六月	三、九九五	三、四九三	三、〇五三
七月	四、二四二	三、七五五	三、二六九
八月	三、七一五	三、五三九	三、三八一
九月	三、九八八	三、六五六	三、〇三六
十月	三、八七二	三、九四九	三、四四七
計	三八、八五八	三六、〇九五	三〇、九八九

（The Board fo Trade Journal, Nov. 19, '25.）

蘭領東印度

□蘭領東印度の新立法・行政制度（上）

第一章　總督及蘭領印度評議院

第一條

（一）憲法第六十條第二項に依り、皇帝の名代として總督に委任せらるゝ蘭領印度統治權の執行は、本法の規定竝に皇帝の指令に準據して行はる。

（二）總督は官務執行上皇帝に責任を有し、且つ要求せられたる時は、總ての說明書を植民大臣に提出す。

（三）蘭領印度內に住居する者は、總督を皇帝の名代として認め、相當の敬意を表すると共に其命令に服從すべし。

第二條

（一）總督は、和蘭國臣民にして、年齢三十歳以上の者たるを要す。

（二）總督は、皇帝に依り任免せられ、皇帝の許可無くして退位又は蘭領印度より立去るを得す。

第三條

（一）總督は、直接又は間接に蘭領印度又は其一部と契約を爲す收益を目的とする企業に關係するを得ず。又之が保證人たるを得す。

（二）總督は、公債以外の蘭領印度負債の責務を有せす。

（三）總督は、直接又は間接に蘭領印度内に設立せられたる又は當領に營業を爲す如何なる性質を有する農場、其他租借地(Concessie)に關係するを得す。又當領に於ける地主並に土地賃貸者たるを得す。

（四）第一項並に第三項規定は、免官後五箇年間拘束力を有す。

第四條

（一）皇帝は、總督に、彼の地位を一時繼承せしむる爲、副總督を從屬せしめ、皇帝並に總督の指令を以つて直に該職務に服せしむ。

（二）第二條第一項並に第三條規定は、副總督にも適用す。

第五條

（一）總督は、皇帝に對し又は皇帝の許可を以つて、國民參議院の公開集會に於て次の如き宣誓を爲す。

吾、蘭領印度總督に任命せられたるに付ては、直接又は間接に、當該人の統治下住民たると否とを問はず、又如何なる名義、口實を以つてするも、贈物を爲し又は之を爲すを約せざるを宣言す。

吾、本職執行に際し、直接又は間接に絶對に他人より贈物を受け又は受くるを約せざるを宣言す。

吾、皇帝に從順に且つ忠實ならんことを宣言す。

吾、蘭領印度の福利増進の爲め、全力を傾注せんことを宣言す。

吾、憲法を忠實に遵守し、蘭領印度立法・行政法並に其他蘭領印度に適用せらるゝ總ての法令を念頭に置き、善良にして且つ正直なる總督として吾身を支持せんことを宣言す。

神よ吾を加護し給へ。

（二）總督は、國民參議院公開集會に於て始めて彼の地位に就任す。

第六條

副總督は、皇帝又は總督に對し次の如き宣誓を爲す。

吾、蘭領印度副總督に任命せられたるに付ては、直接又は間接に當該人の統治下住民たると否とを問はず、又如何なる名義、口實を以つてするも、贈物を爲し又は之を爲すを約せざるを宣言す。

吾、本職執行に際し、直接又は間接に絶對に他人より贈物を受け又は受くるを約せざるを宣言す。

吾、皇帝並に總督に從順に且つ忠實ならんことを宣言す。

吾、蘭領印度の福利増進の爲め全力を傾注せんことを宣言す。

吾、周到なる注意と勤勉とを以つて、皇帝並に總督に依り課せられたる任務を完了し、蘭領印度立法・行政法並に其他蘭領印度に適用せらるゝ總ての法令を忠實に遵守し、善良にして且つ正直なる副總

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

督として吾身を支持せんことを宣言す。

神よ吾を加護し給へ。

第七條

(一) 蘭領印度評議院は、一人の副議長並に四人の議員より構成せらる。

(二) 蘭領印度評議院は、一人の秘書官に依り補佐せらる。

(三) 總督は、議長の權限を副總督に委任するを得、又必要と思考する時は何時にても自ら議長となるを得。

評議員は顧問たるに過ぎず。

(四) 總督は、特殊の場合、他の官吏又は陸海軍武官をして説明せしめん爲、會議に列席せしむるを得。

(五) 評議院議事進行規定は、皇帝之を定む。本規定は、一般利益の必要と認むる場合、秘密維持の義務を規定する條項を含む。

第八條

(一) 中央行政各部々長は、蘭領印度評議院會議に召集せられ、特殊理由の下に他に何等決定せざる時は、總督は本會議の議長となる。

(二) 前記各部長は、各部管掌事務に關する總督の議長たらざる評議院提案會議に列席するを得、且つ所定期間内に副議長に其希望を申出する時は、該會議の座長となることを得。

(三) 前二項に掲ぐる場合に於ては、各部長は單に諮問員たるに過ぎず。

第九條

(一) 副議長並に蘭領印度評議院議員は和蘭國臣民にして、年齡三十歳以上の者たるを要す。

(二) 議員は、皇帝に依り任免せらる。

(三) 總督、副總督及副議長又は評議院議員間、並に副議長及議員間に四親等以内の血族並に親族關係者あるを得ず。

(四) 任命後、禁止親等内に入りたる者は、皇帝の許可なくして其地位に留任するを得ず。

(五) 親族關係は、本關係を成立せしめたる妻の死亡に依り消滅す。

第十條

(一) 副議長並に蘭領印度評議院議員は、彼等の官職以外の有給官職に就任するを得ず。

(二) 本法第三條は蘭領印度評議院議員にも適用するを得。

第十一條

(一) 蘭領印度評議院議員の空席補充に際し、總督は評議院と討議したる後三十日以内に二人以上を推薦し、其理由を植民大臣に通告す。

(二) 國家の利益上該空席を直に補充する必要ある時は、總督は被推薦者の一人をして評議院議員を臨時代理せしむ。

(三) 本臨時代理は、評議院現任議員數の、副議長を加入し三人以下なる場合は、何時にても之を行ふを得。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第十二條

(一) 蘭領印度評議院副議長並に議員は、就任に先だち、皇帝又は總督に次の如き宣誓を爲す。

吾、蘭領印度評議院副議長(又は議員)に任命せられたるに付ては、直接又は間接に、當該人の統治下住民たると否とを問はず、又は如何なる名義、口實を以つてするも、贈物を爲し又は之を爲すを約せざるを宣言す。

吾、本職執行に際し、直接又は間接に絶對に他人より贈物を受け、又は受くるを約せざるを宣言す。

吾、皇帝に忠節を盡し、皇帝の名代たる總督を尊敬し、其命に服せんことを宣言す。

吾、本職を以つて蘭領印度の福利増進の爲め、共に全力を傾注せんことを宣言す。

吾、蘭領印度立法・行政法並に其他蘭領印度に適用せらる、總ての法令を忠實に遵守し、善良にして且つ正直なる副議長(又は議員)として吾身を支持せんことを宣言す。

神よ吾を加護し給へ。

(二) 前記宣誓は、蘭領印度評議院代理副議長並に臨時議員と雖も、之を行ふものとす。

第十三條

蘭領印度評議院副議長席空席の場合、後繼者任命せられざるか又は蘭領印度内に適材無きか、又は拜命者の直に當該職務に就任するを得ざる場合に於ては、現任中の最年長者をして代理せしむるを得。

第十四條

總督の病氣又は不在の場合に於て、總督は必要と認むる時は、日常の政務を一時副總督に委任するを得。又副總督不在の場合に於ては、之を副議長に、副議長不在の場合に於ては、蘭領印度評議院議員の最年長者に委任す。

第十五條

總督の位置空席となり、臨時又は正式後繼者任命せられざるか又は蘭領印度内に適材無きか、又は拜命者にして直に當該職に就任するを得ざる場合に於ては、皇帝に依り任命せられたる蘭領印度評議院副議長代理總督となる。

第十六條

(一) 前條に掲ぐる場合に於て、皇帝に依り任命せられたる蘭領印度評議院副議長無き場合に於ては、次に掲ぐる人員の集會に依り選定せられたる評議院議員、總督の職を臨時代理す。

現任評議院議員

國民參議院議長

海軍司令官

陸軍司令官

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

高等法院長
高等法院檢事總長
中央政府各部長
會計檢査院長

（二）集會は、四十八時間以内に召集せられ、現任評議院議員の最年長者座長となる。

（三）座長竝に集會員は、蘭領印度評議院議員中臨時代理總督として最適と思考する人物に投票せんことを宣誓す。

（四）書記翰長竝に政府書記官は、集會に參列するものとす。内一人は記錄を司り、他は投票紙を蒐集す。

（五）任命は、無記名投票に依り絶對多數者を以つて爲す。

（六）投票は、投票者に依り投票箱に投入せられたる後、投票蒐集者に依り聲高く朗讀せらる。

（七）全く記入せられざる又は不完全に記入せられたる投票は、絶對多數者決定上集會參列員數より減算す。

（八）第一回投票に依り、絶對多數者決定せられざる場合に於ては、第二回自由投票を行ふものとす。

（九）若し本投票に於ても、絶對多數者無き場合は、第二回投票に於ける最高得票者二人に對し、第三回の投票を行ふ。被投票人は投票するを得ず。

（十）第二回投票に於て、二人以上の同等得票者ありたる場合に於ては、前項所揭の二人以外の第一回投票に於ける二人に對し之を行ふ。

（十一）投票中止の場合に於ては、現任中の最年長者を以て被選擧者とす。投票紙は、投票完了後、議員立合の上燒却す。

（十二）集會擧行に際し、二通の精細なる調書を作成し、全集會員竝に書記官は之に署名す。内一通は植民大臣に送付す。

第十七條

第十六條の規定は、皇帝に依り任命せられたる蘭領印度評議院副議長印度に在住し、代理總督の地位に直に就任するを得ざる狀態にある場合に於ても適用せらる。然れども故障撤回せらるゝと共に、法律上代理總督となるを得。

第十八條

（一）總督、精神錯亂の結果彼の地位を支持し能はざるが如き疑ある時は、彼の代理者たるべき者又は是る者無く、若しくは不在の場合に於ては、蘭領印度評議院議員中の最年長者は前記疑に根柢あるや否やを明確にせん爲、評議院會議を開催す。

（二）日常總督と接觸する各官吏は、該會議に於て説明を與へん爲召集せらる。

（三）疑に對し根本理由存する時は、總督の容態を評議院に報告する爲委員を任命す。

（四）前記委員は醫務局長、該地駐在衞生士官及バタビヤ市醫より

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

成る。
（五）委員は總督の囑託醫を召致する權限を有す。
（六）其後の調査の結果、疑點著となりたる場合に於ては、第十六條所掲の會議を開く。
（七）本會議は、保證人として本事件を闡明に說明し得る者を招致し、更に多數決投票を以つて勅許を得、總督を辭職せしむるや否やを決定す。
（八）總督を辭職せしむるに決定したる場合に於ては、總督は該聲明に依り彼の地位を退き、事情如何に依りては、第十五條、第十六條所掲の規定に準據し、臨時代理者を補任す。
（九）本調査の全般は、精密に二通の調書に記錄せられ、全議員竝に各書記官に依り署名せらる。
（十）內一通を植民大臣に送付す。

第十九條

（一）總督竝に政府書記官間又は書記官相互間に四親等以內の血族竝に親族關係あるを得す。
（二）第九條最後の二項は此處に適用するを得。

第二十條

本法中總督に關する諸規定條項は、第十九條の規定を除く外、臨時代理總督にも適用するを得。

第二十一條

（一）總督は一般法令を施行し、且つ其に必要なる訓令を發す。
（二）一般法令は、土侯竝に土人に自治權附與せられ居る蘭領印度の一部分に於ては、其施行し得る範圍內に於て適用せらる。

第二十二條

（一）總督は、必要と認むる時は、一般竝に特別事項を蘭領印度評議院に諮問す。
（二）總督は、左の事項に關し諮問する義務を有す。
a. 一般竝に地方行政に關し彼の發布すべき訓令及規定。
b. 本法第三十四條竝に一般に對印度土侯及土民政治關係諸法規の適用。
c. 開戰狀態又は暴動勃發の場合、民事當局の取るべき一般處置方針。
d. 重要事件に關する特別處置方針。
e. 法令の指定する重要官吏の任命。
f. 國民參議院に懸案とすべき提案竝に國民參議院に爲すべき重要なる報告。
g. 國民參議院の總督に爲したる提案。
h. 第九十條第一項所掲法令の可決。
i. 總督令案。
（三）總督のみ之が決裁を爲し、評議院に其旨通告す。
（四）蘭領印度評議院の總督の諮問を受けたる場合は、決裁文の當

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

初に其旨を掲ぐ

第二十三條

(一) 總督の蘭領印度評議院の同意を要する場合に於て、意見の合致せざる時は、總督は皇帝の決裁を仰ぐ。

(二) 總督は、長期間の猶豫が、蘭領印度の安寧秩序又は他の重要なる一般利益を危險に陷らしむるならんと思考する時は、前記決裁を待たず、自己の職權竝に責任を以つて必要と認むる方法を講ずるを得。

(三) 本方法講ぜらるゝに先だち、副議長竝に評議院議員は、總督に彼等の意見を書翰を以つて通告す。然る後、問題は再び總督議長の下に開催さるゝ評議院會議に付せらる。此場合總督は投票權を有し、投票拒絕されたる場合に於ては、彼の決裁權を以つて之を決定す。

(四) 本法第二十六條に依る不在議員は、本會議列席の爲召還せられ、議員は直に本召還に應ずる義務を有す。

第二十四條

官吏は、總て蘭領印度評議院に其要求せられたる時は、總督の諮問に對する應答に必要なる事實に關する說明報告を提出する義務を有す。

第二十五條

(一) 蘭領印度評議院は、總督に提案する權限を有す。

(二) 總督は、研究の結果、評議院の提案を却下すべきものと思考する時は、反對の理由を付し此を植民大臣に通告す。

(三) 總督は、同時に彼の處置を評議院に通牒す。

第二十六條

總督は、蘭領印度評議院議員を特別委員に任命し、或任務を帶ばしめて蘭領印度各方面に派遣す。但し、副議長竝に二議員は首都に殘留するを要す。

第二十七條

次の如き行爲を爲したる時は、總督は、法律上の規定に依り行はるゝ選擧の選擧權竝に被選擧權停止せらるゝと共に、又は停止せられず最高三箇年以下の懲役に處せらる。

a. 一般行政規定、勅令又は勅命に各省大臣中必要なる一人の副署なきを知り乍ら、之れを施行したる場合。

b. 植民大臣に依り、委任せられざる一般行政規定、勅令又は勅命を施行したる場合。

c. 植民大臣に依り、委任せられたる本法規定、一般命令竝に勅令又は勅命、及條約竝に其他協定の實施を故意に怠りたる場合。

d. 是る處置又は命令は、本法規定、蘭領印度に行はるゝ法規竝に一般命令、又は既成條約及其他協定を侵害するを知りつゝ、又は知らざるべからざるに之を爲したる場合。

第二十八條

前條に所揭の執行怠慢の責、主として彼に存する時は、總督は六箇月以下の禁錮に處せらる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第二十九條
　第二十七條竝に第二十八條所掲の事實は犯罪を構成す。
第三十條
　憲法第百六十五條規定に基く、又は其他の犯罪竝に違反事件に依り後繼せらるゝ場合、總督は皇帝の命を受くると同時に、皇帝の任命せる又は、本法に基き指定せられたる後繼者に、彼の地位を讓渡す。
第三十一條
　總督は、海軍部軍政關係を除く蘭領印度駐剳艦隊の司令長官にして、皇帝の命に從ひ、蘭領印度利益の爲め最も適當と思考する所に依り、艦船竝に乘組員を配置す。
第三十二條
（一）總督は、蘭領印度陸軍の司令長官なり。
（二）陸軍々司令官は皇帝に依り任命せられ、司令官の席空席にして、後繼者任命せられざるか、又は蘭領印度に適當なる人物無きか將又、拜命者の直に該官務に就任するを得ざる場合に於ては、總督は臨時代理者を任命す。
（三）將校は總督に依り任命せらる。
（四）一般行政規定に基き高級武官の階級は皇帝に依り授與せられ、其他士官の進級は總督令に準據し總督に依り行はる。
（五）高級武官は皇帝に依り免官せられ、其他士官は總督令に準據し、總て總督に依り免官せらる。又高級武官と雖も、一般行政規定に基き總督に依り免官せらるゝ事あるべし。
（六）恩給竝に俸給規定は總督令を以て定む。
第三十三條
（一）內外の安寧維持の爲、總督は自身又は指令を以つて、蘭領印度の各部を開戰狀態にありと宣言し、又は戒嚴令を施行するを得。而して、第九十一條に基き、一般規定を以つて之が實施方法竝に如何なる場合に之を行ふやを決定すると共に、又引續き行ふ可き事項を規定す。
（二）前記決定を爲すに當り、開戰狀態及戒嚴令施行宣言の結果、一般規定の全部、又は一部の效力を一時停止すべきものを指定す。
第三十四條
（一）總督は、土侯竝に土民と條約を締結す。
（二）皇帝は、國家竝に蘭領印度の利益及安寧秩序維持に反せずと判斷する時は、直に前記條約の內容を國會兩院に報告す。
（三）總督は、同樣の報告を國民參議院に報告す。
第三十五條
（一）蘭領印度領內に出生せざる者にして、社會の安寧秩序に危險なりと思考せらるゝ者は、蘭領印度評議院の同意を得たる後、總督に依り退去を命ぜらる。
（二）當該人の和蘭國民なる時は、其理由を付し之が決定を爲す。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

（三）前記決定は、當該人の身邊整理に必要な相當期間を規定す。

（四）總督は、署名せる訓令を以つて、追放期日到來する迄當該人を逮捕するを得。

（五）退去命令又は逮捕命令は、裁判所令狀を執行したる後行はる。

（六）總督は、退去命令竝に之に關する書類を直に植民大臣に移牒す。

（七）退去命令は國民參議院に報告せられ、若し當該人の和蘭人なる時は皇帝は之を議會に報告す。

第三十六條

（一）蘭領印度領内に出生せざる者は、蘭領印度評議院の同意を得たる後、總督に依り社會の安寧秩序維持上、蘭領印度の一定區域内に住居するを禁ぜらるゝ事あり。

（二）非土民に、是る處分行はれたる時は、直に該訓令竝に之に關する書類を植民大臣に移牒す。

（三）本處分は、國民參議院に報告せられ、本人の和蘭人なる時は、皇帝は之を議會に報告す。

第三十七條

（一）總督は、蘭領印度評議院の贊同を得たる後、蘭領印度領内に出生せる者を社會の安寧秩序維持上、當領内指定區域に居住せしめ、又は一定區域内に住居するを禁ずるを得。

（二）總督は、彼の署名せる訓令を以つて追放期日到來する迄、當該人を逮捕せしむるを得。

（三）追放命令竝に逮捕命令は、裁判所令狀を執行したる後行はる。

（四）本條所揭處分の非土民に行はれたる場合に於ては、前條第二項さ同樣の手續を行ふ。

（五）前條末項の規定は本條に適用するを得。

第三十八條

第三十五條、三十六條及三十七條所揭の場合に於ては、總督は當該人をして辯護せしむるか、又は辯護せしむる爲適當なる所置を爲したる後に非ざれば、決定するを得ず。訊問に際しては訴訟を起すものとす。

第三十九條

（一）官吏は、本法又は其他の法律に依り除外せられ居るもの丶外、總督令に準據し總督に依り任免せらる。

（二）總督は本條第一項所揭の權限を他に委任するを得。

（三）恩給々與に關する規定は總督令を以つて定む。

第四十條

總督は、皇帝に依り爲さるゝ以外の俸給額、竝に兵士の俸給を定む。

第四十一條

（一）官吏の俸給は、支給年額以外、明白に官職に與へられ居る利益以外のものを含むを得ず。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(二) 前記利益は任命に當り、明確に許與せられたる官吏のみ享有するものとす。

(三) 剩餘金は、官衙の利益と見做さず、官吏の責任外にある損失賠償金と見做さる。

(四) 本法第三條規定は、總督令を以つて、其全部又は一部を官吏に適用するを得。

第四十二條

(一) 總督は、高等法院の意見を聽取したる後、被宣告者の蘭領印度滯在中、裁判上の宣告に依る刑罰を酌量輕減する權限を有す。

(二) 死刑の宣告を受けたる場合に於ては、總督は總督令の定むる所に依り之れを免除するや否やを審査したる後に非ざれば、執行するを得ず。

(三) 土侯竝に土民首領に關しても、總督は蘭領印度評議院の同意を得たる後、大赦竝に中止する權限を有す。

第四十三條

(一) 總督は、一般規定に掲ぐる裁判規定に關し、高等法院の意見を聽取したる後、之を宥免する權限を有す。

(二) 總督は蘭領印度評議院の贊同を得たる後、一般規定に掲載しあらざる場合に於ては、一般規定の適用を宥免するを得。

第四十四條

蘭領印度に於ける航海免狀竝に旅券附與に關し必要なる部分は、一般行政規定を以つて、他は總督令を以つて定む。

第四十五條

(一) 土民の對歐政保護は、總督の重大任務なり。

(二) 總督は、行政官吏の、服務規定竝に將來施行さる可き規定を嚴格に遵守するやう、且つ又土人をして自由に不滿の點を告白せしむべく到る處に其機會を作る樣留意す可し。

第四十六條

(一) 各地方は土民兵役義務の性質、期間、場合及彼の召集せらる可き方法竝に條件を、現今の習慣、組織、缺陷等に應じ、法令を以つて之を定む。

(二) 兵役義務に關する法令は、利害關係の許す限り縮少せん爲、各地方は五箇年毎に改正すべきものとす。

(三) 本兵役義務規定施行區域所在地方政廳は、憲法第六十條第三項所揭年度報告書中に年々其狀況を報告すべきものとす。

第四十七條

總督は第百二十五條、百二十八條及百八十六條規定を除き、一般規定の定むるもの以外の税金を賦課せられざる樣留意すべし。

第四十八條

(一) 總督は、市税又は村税として地租賦課せられ居る地方に、臨時此方法を以つて行はるゝ樣留意すべし。

(二) 地租賦課に對する標準は總督令を以つて定む。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

（三）憲法第六十條第三項所掲年度報告書中には、年々本條に基き採用せる方法を記載するものとす。

第四十九條

（一）總督は、有益事業に不必要なる妨害を加へざる樣、又は之無き樣留意す可し。

（二）市場（Pasars）に於ては、權利に對する以外の稅金賦課せられず。

第五十條

總督はチーク林に特別注意を拂ひ、是る森林地域占有權の賣却又は其他の方法に依り特別人に讓渡せられず、保留せらるゝ樣留意すべし。又該森林の維持、擴張、伐採等は、適宜の方法に依り定むべし。

第五十一條

（一）總督は、土地を賣却するを得ず。

（二）本禁制は、市、町、村の擴張又は工業工場設立敷地とせらるゝ小面積の土地を含まず。

（三）總督は、總督令に準據し土地を貸與するを得。但し、本土地は、土民の開拓せる、又は市有牧場竝に其他の事由を以つて、村落の所有に屬する土地を含まず。

（四）土地は、總督令の定むる所に依り、七十五箇年以下の永借地として讓渡せらる。

（五）總督は、土地の讓渡に際し、土民の權利を侵害せざる樣留意すべし。

（六）總督は、土民の自己使用の目的を以つて開拓せる土地又は公共牧場及其他の事由に依り村落の所有に屬する土地を、第百三十二條に基く一般利益の爲に非ざれば、之を處分するを得ず。又本土地に官營栽培業開拓せらるゝ場合に於ては、之に關する法令に準據し、相當の損害賠償を爲すものとす。

（七）土民の各自世襲的に使用し居る土地は、合法的所有者の要求に依り、總督令の定むる必要なる制限を付し、且つ占有權證書に國家竝に都市に對する義務事項及非土民に對する賣却權等に關し明記したる後、本人の占有に移す。

（八）土民の非土民に對する土地の貸付又は使用許可は、總督令の定むる規定に依りて行はる。

第五十二條

東印度群島の各島には、皇帝の許可なくして、新國有砲臺を設置するを得ず。

（一九二五年蘭領印度官報第四四七號）

□蘭領東印度の選擧法

右は蘭領東印度選擧法中、選擧權に關するものゝみを抄譯せるものなり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九〇八年一月十九日付總督令

本法令は市會議員の選擧竝に之に關聯する事項を規定す。

蘭領印度政府統治令第二〇、二九、三一、三二及六八c.第二項の各條項に從ひ之を作成す。

第一章　選擧權に關する法律

第一條（一九〇八年官報第四六〇號及一九一七年官報第五八六號に依り變更）

市會議員は選擧に依りて指名せられ、選擧は本令第二一條に規定する選擧人名簿に依り選擧權を附與せられ、且つ該選擧權の行使を停止せられ居らざる者に依りて行はる。

第二條（一九〇八年官報第五四一號、一九一五年第六四一號及一九一七年第五八六號に依り變更）

第一項

本法第六條に規定せる名簿中に、選擧權行使停止せられざる選擧權所有者として記載せらるゝ蘭國臣民の男子は、左の如き條件を具備する者に限る。

a. 年齢二十三歳に達せる者。

b. 市會の管轄區域内に最近三箇月間住居を有せし者。

c. 前年度に於て、年收入に從ひ直接所得稅を賦課せられたる者にして、歐洲人及是と同一級にある者は年收入額、九〇〇盾、土人及之と同一級にある者は年收入額、六〇〇盾以上の納稅を爲す者にして、第六條所掲の名簿作成せらるべき年の三月一日迄に納稅の義務を完了したる者又は法律の定むる所に依り所得稅納入免除され居る者。

d. 法律第十條所掲委員に依り蘭語に精通せる者と見做さるゝ者。

第二項

前記委員に依り、蘭語に精通せる者と見做さるゝ者は左記證明書所有者に限る。

第一目

一九一三年八月二十七日付勅令第六四號（印度官報第六五八號）所掲第三條即ち一九一四年十一月三十日付勅令第三四號（一九一五年印度官報第一四九號）を以て變更せられたる所謂低級官吏試驗に替ふべき試驗合格證明書竝に低級官吏試驗合格證明書。

第二目

公立竝に補助金の交付を受くる歐洲人小學校、蘭・支人小學校、蘭・土人小學校を優秀なる成績を以て卒業したるを立證するに足る證明書。

第三目

低級官吏試驗受驗を免除せる旨記入しある證明書。

第三條（一九〇八年官報第五四一號及一九一七年官報第五八六號を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

以て變更)

第一項

適法の結婚を爲せる妻に對する直接所得税の賦課は、夫に賦課せられたるものと見做すを得。

第二項

不正申告を爲したる者は選擧權を享有するを得ず。

第四條

左の者は選擧權の行使を停止せらる。

即ち投獄、監禁又は被保護狀態にある者。

第五條(一九一八年官報第三三八號を以て變更)

撤回し難き法律上の宣告に依り、一般條令に定むる選擧に對する選擧權剝奪せられたる者の外、撤回し難き民法上の宣告に依り自己所有物の自由處分又は管理權を喪失せる者も選擧權を喪失す。

備考　本令は州會議員、分州會議員の選擧にも適用せらる。

(一九二四年蘭領東印度政府年鑑)

英領印度

□印度棉花の輸出激增

四月乃至九月の第一・六箇月間に於ける印度棉花の輸出は量に於て一、九四一、〇〇〇梱、價格に於て四億八千萬留比に及び、之を前年の同期と比較すれば六九五、〇〇〇梱、一億二千萬留比の增加を見たのである。が其前々年には一時一、五三〇、〇〇〇梱に及んだ事がある。同期に於ける印度棉花の最大購買者は、通常の如く日本にして一五九、〇〇〇噸を買込んだのである。之を昨年の同期に比べると七二、〇〇〇噸の增加である。次に位するのは伊太利で四〇、〇〇〇噸を購買し、同じく前年より二〇、〇〇〇噸の增加を見たのである。支那は三九、〇〇〇噸を以て之に次いでゐる。英本國及獨逸の輸入は双方共一二、〇〇〇噸より二四、〇〇〇噸に增加してゐる。茲に注目すべきは輸出の大部分は孟買を經由したのであるが、同期に於てのカラチ經由輸出は非常なる增加を見た事である。

(The Times Trade and Engineering Supplement, Dec. 12, '25.)

其他

□錫蘭の護謨生產狀況

生產制限の拘束を受け居るに拘らず、一九二五年九月末迄の通計によれば錫蘭の護謨輸出量は七〇、五四二、四七八封度に昇り、前年の同期五九、三二三、七四五封度に比すれば大增加を示せるものと云ふ事が出來る。而して其仕向國米國に於ては約五百萬封度、英本國に於ては三百萬封度、獨逸百八十萬封度、ヴィクトリヤ州百萬封度の輸入增加を見たのである。然し伊太利、ニウ・サウス・ウェイルス、加奈陀及ニウ・ファウンドランドの場合には僅少なる增加を見たるのみで又白耳義、佛蘭西、和蘭、西班牙、日本、西部濠洲、タイーンスランド、埃及及マダカスカルは輸入の減少を見たのである。

主なる輸入國側の確實なる買込は、其地方の在荷が充分でないといふ事を示すものである。其故に若し生產制限が本年末に至つて全然撤廢せられ、無制限なる護謨の在庫品が市場に溢れ出るものとすれば、長期間に亘る暴落の惹起せらるゝは明らかなる事である。製造業者及仲立人は貴放たれたる商品を買ふ事に熱中するであらふ。加之、大農園は勞働力が發展せる狀勢に副ふに至ると認めらるゝ迄、全能力を發揮する事は出來まい。

錫蘭に於て十英反を超ゆる護謨園は四、二五〇を數ふるのみで、生產全面積は四一五、一五五英反である。十英反以下の土人所有地數は二四、四三二で、面積は唯四五、八七〇英反である。奧地々方に於て護謨生產に適する地域は、英反當り一五〇留比で之れ亦利用し得るものである。而して之等の地方は自動車運輸の發展により距離の接近をなし得るのである。

(The Times Trade and Engineering Supplement. Nov. 21, '25.)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□廈門臺灣人々口統計表

（大正十四年十二月分）

（各欄の數字は「旅券登錄 / 無旅券登錄」、本月中歸臺は「旅券歸臺 / 證明歸臺」）

州廳別	前月末現在 男	前月末現在 女	本月中登錄 男	本月中登錄 女	出生 男	出生 女	婚姻 入	婚姻 出	死亡 男	死亡 女	本月中歸臺 男	本月中歸臺 女	本月末現在 男	本月末現在 女	未登錄 男	未登錄 女
臺北州	一,八四〇 / 四六九	一,三五七 / 四八九	三〇 / 二	二〇 / 二	一	五	—	一	一	三	四六 / 三	三 / 一	一,八二三 / 四六九	一,三四三 / 四九五	二〇六	八三
新竹州	一三三 / 一一	三八 / 一一	五 / —	— / —	—	—	—	—	—	—	四 / 一	— / —	一三四 / 一〇	三八 / 一一	一五	—
臺中州	二六六 / 三九	八七 / 三〇	九 / —	— / —	—	—	—	—	—	一	八 / —	四 / —	二七五 / 三九	八七 / 二九	一三	五
臺南州	六六九 / 一三八	三八七 / 七七	四 / 二	四 / 三	—	—	—	—	—	—	一六 / —	— / —	六五七 / 一三九	三九一 / 八〇	八五	一五
高雄州	一二七 / 三一	一三四 / 二〇	五 / —	一 / —	—	—	—	—	—	—	九 / —	四 / —	一二三 / 三一	一三一 / 二〇	—	—
臺東廳	一四 / 一	— / —	— / —	— / —	—	—	—	—	—	—	— / —	— / —	一四 / 一	— / —	—	—
花蓮港廳	二 / —	二 / —	— / —	— / —	—	—	—	—	—	—	— / —	— / —	二 / —	二 / —	—	—
計	三,七二〇	二,五三二	五六	三〇	一	五	—	一	一	四	八三	四〇	三,六九七	二,五二六	三一九	一〇三
合計	入 六,三四四										出 一二九		現在 六,六四五			

備考 一、現在未登錄者は臺灣より旅券を受け渡來しながら登錄の手續を爲さいるものなり。

二、臺南州無旅券登錄男女十四名は臺南州知事の戶口編入承認したるものを含む（吳克明吳德三ノ二家）。

（廈門日本帝國領事館報告）

新刊廣告

臺灣總督府編纂

臺灣現勢要覽 十四年版

定價金五十錢（送料共）

本書は曩に　東宮殿下行啓に際し獻上の爲め臺灣總督府に於て編輯し當時御嘉納の光榮を得たるもの、**ポケツト**型百七十頁の小册子にして內容は左記の如く一讀本島の事情と其地位とを瞭然たらしむ

位置、面積、山嶽、河川、土地の利用、氣溫、雨量、人口、本籍別內地人、在外臺灣人、在留外國人、臺灣語を話す內地人、國語を解する本島人、婚姻、離婚、出生、死亡、出生率、死亡率、人口の增加、蕃人、行政區劃州及廳の面積、州廳の人口、主要都市、農業戶數、耕地面積、水利、農產、畜產、林產、鑛產、水產、工產、糖業、貿易、對手國別外國貿易、支那香港及南洋貿易、重要品別外國貿易、重要品內地貿易、港別貿易、財政、專賣、銀行、物價、敎育、衛生機關、水道、**ペスト**と**マラリア**、阿片吸食特許者、鐵道、郵便、電信、電話、警察官署及職員、最近十一年間の進步等諸項目に亘り外に臺灣及內地府縣竝各植民地に於ける出生率及死亡率累年比較描書圖等

右當所に於て翻刻發賣の認可を得今回印刷製本出來せり、御希望の向は至急前金御申込ありたし

大正十五年二月

臺灣總督府內

臺灣時報發行所

振替口座臺灣二〇七〇番

最初八箇月に於ける墨西哥貿易
Eight Months' Trade in Mexico. (Com. R. No. 48, Nov. 30, '25. P. 543.)

南　亞　米　利　加

一九二四年智利外國貿易
Foreign Trade of Chile During 1924, (Com. R. No. 48, Nov. 30, '25. P. 542.)

アマゾン溪谷に於ける護謨の生產
Rubber Production in the Amazon Valley. (Com. R. No. 49, Dec. 7, '25. P. 574.)

工業機具市場としての伯剌西爾
Brazil As A Market for Industrial Machinery. (Com. R. No. 50, Dec. 14, '25. P. 633.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

米國輸入原料品の高價に對する理由の究明
Foreign Combinations to Fix Prices in Imported Raw Materials. (Com. R. No. 46, Nov. 16, '25. P. 378.)

米國と世界の鋼鐵地位
The U. S. and World Steel Situation. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 12, '25. P. 277.)

護謨生產制限に對する亞米利加側の意見
Rubber Restriction—An American View. (E. No. 4291, Nov. 21, '25. P. 836.)

米國皮革輸出の增加
United States Leather Exports Increasing. (Com. R. No. 47, Nov. 23, '25. P. 461.)

對外硝子貿易の增加
Developments in the Foreign Glass Trade. (Com. R. No. 47, Nov. 23, '25. P. 452.)

護謨製帶輸出貿易上昇の氣味あり
Upward Trend of Rubber Belting Export Trade. (Com. R. No. 47, Nov. 23, '25. P. 469.)

保險會社の株券所有高.
Stock Holdings of Insurance Companies. By A. Motelle. (A. No. 671, Nov. 27, '25. P. 667.)

十月の機械器具類輸出狀況
Implement Exports in October. (Com. R. No. 48, Nov. 30, '25. P. 519.)

海外護謨製品市場の傾向
Trend of Foreign Rubber-Goods Trade. (Com. R. No. 48, Nov. 30, '25. P. 515.)

本年度電氣器具輸出の傾向
The Trend of This Year's Electrical Exports. (Com. R. No. 48, Nov. 30, '25. P. 530.)

米國に於ける支那の桐油
Chinese Tung Oil in the United States. By Julean Arnold. (C. W. R. Vol. XXXV. No. 2, Dec. 12, '25. P. 40.)

米國鐵・鋼海外貿易
United States Foreign Trade in Iron and Steel. (Com. R. No. 49, Dec. 7, '25. P. 587.)

米國一般商貨の消費狀況
Consumption of Commodities in the U. S. By Dr. W. R. Ingalls. (A. No. 672, Dec. 11, '25. P. 731.)

米國の石炭輸出狀況
The Coal Export Situation. (Com. R. No. 50, Dec. 14, '25. P. 638.)

米國の護謨栽培試驗
Amerikaansche Proefnemingen Met Rubbercultuur. (S. Hb. Dec. 16, '25.)

一九二四/一九二五年に於ける米國の棉工業
De Amerikaansche Katoen-industrië Gedurende het Seizoen 1924/25. (L. N. e. H. No. 52, Dec. 18, '25. P. 304.)

原料品專賣主義に對する米國の警告
America Solemnly Warens Foreign Monopalists of Raw Materials. By H. Hoover. (C. H. Vol. XXIII. No. 3, Dec. '25. P. 307.)

米國黑人の差別撤廢運動
Negros in New Abolition Movement. By the Rev. R. W. Bagnall. (C. H. No. 3, Dec. '25. P. 378.)

米國の煙草工業
De Amerikaansche Tabaksnijverheid. (L. N. e. H. No. 1, Jan. 2, '26. P. 6.)

加　奈　陀

加奈陀に於ける歐洲品賣込の增加
European Sales in Canadian Market Increase. (Com. R. No. 48, Nov. 30, '25. P. 504.)

西　印　度　諸　島

最近ハイチ島々情
The Dawn of Haiti's New Era, By E. E. Sorensen. (C. H. No. 3, Dec. '25. P. 371.)

墨　西　哥

墨西哥石油業
The Mexican Petroleum Industry. (Com. R. No. 46, Nov. 16, '25. P. 385.)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

維也納の國際市
The Vienna International Fair. (N. C. D. N. Vol. CXIII. No. 17950, Nov. 21, '25. P. 2.)

露國及其他

露西亞人は双方今に戦へり
Russians Now Fighting on Both Sides. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 12, Nov. 21, '25. P. 278.)

ソビエツト・ロシヤに於ける石油生產狀況
Oil Properties in the U. S. S. R.—I. (S. Nov. 21, '25. P. 920.)

ソビエツト・ロシヤに於ける石油業
Oil Properties in the U. S. S. R.—II. (S. Nov. 28, '25. P. 960.)

芬蘭靴製造工業及貿易の進步
Progress in the Shoe Industry and Trade of Finland. (Com. R. No. 48, Nov. 30, '25. P. 523.)

芬蘭パルプ及製紙業
The Pulp and Paper Industry of Finland. (Com. R. No. 48, Nov. 30, '25. P. 320.)

一九二四/二五年に於ける勞農治下の露國砂糖工業
De Russche Suikerindustrië Onder De Sovjets Gedurende 1924—25. (S. Hb. Dec. 17, '25.)

伊太利人絹製造業
Italian Artificial Silk Industry. (S. Nov. 21, '25. P. 935.)

伊太利羊毛製品輸出の增加
Italian Exports of Wool Manufactures Increase. (Com. R. No. 47, Nov. 23, '25. P. 462.)

伊國產業より見たる銀行管理の缺點
Eviles of Bank Control of Italian Industry, By Irving Fisher. (A. No. 699, Dec. 13, '25. P. 607.)

伊太利に於ける砂糖工業
De Suikerindustrie in Italië. (S. i. N. I. No. 51, Dec. '25. P. 1407.)

西班牙銀行業發展
Spanish Banking Development. (Com. R. No. 47, Nov. 23, '25. P. 470.)

西班牙新內外政策
Spain's New Domestic and Fereign Policies. By R. E. G. George. (C. H. No. 3, Dec. '25. P. 345.)

諾威パルプ及製紙業
The pulp and Paper Industry of Norway. (Com. R. No. 50, Dec. 14, '25. P. 641.)

瑞西織物界
Swisse Textile Industry. (Com. R. No. 456, Nov. 16, '25. P. 396.)

白國石油の消費
Belgian Petroleum Consumption. (Com. R. No. 456, Nov. 16, '25. P. 386.)

■ 近　　東 ■

リトアニヤ財政經濟概勢
Lithuania. A Review of the Financial and Economic Position. (S. Nov. 14, '25.)

■ 南 米 大 陸 ■

米　　國

亞米利加及其債務者
America and Her Debtors. (E. No. 4290, Nov. 14, '25. P. 792.)

亞米利加自動車業
The American Motor Industry. (E. No. 4290. Nov. 14, '25. P. 791.)

米國の石炭輸出狀況
The Coal Export Situation. (Com. R. No. 46, Nov. 16, '25. P. 392.)

一九二五年米國軟木輸出の好況維持
United States Softwood Export Trade Well Maintained in 1925. (Com. R. No. 46, Nov. 16, '25. P. 390.)

米國自動車の外國に於ける地位
American Motor Cycles Find Leading Market Abroad. (Com. R. No. 46, Nov. 16, '25. P. 388.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

佛蘭西鐵・鋼業
French Iron and Steel Industry. (Com. R. No. 47, Nov. 23, '25. P. 451.)

佛國財政の危急
French Finance Crisis. (N. C. D. N. Vol. CXIII. No. 17951, Nov. 23, '25. P. 15.)

佛蘭西「法」及政治的危機
The French Franc and the Political Crisis. (E. No. 4292, Nov. 28, '25. P. 879.)

ポンプ及ポンプ機械の佛國對外貿易
French Foreign Trade in Pumps and Pumping Machinery. (Com. R. No. 48, Nov. 30, '25. P. 514.)

佛國輸入貿易上に嶄然頭角を表せる亞米利加商品
American Goods Predominate in French Import Trade. (Com. R. No. 48, Nov. 30, '25. P. 546.)

佛財政問題
Financial Problem in France. (E. No. 4293, Dec. 5, '25. P. 933.)

亞米利加電氣材料市場としての佛蘭西
French Market for American Electrical Material. (Com. R. No. 49, Dec. 7, '25. P. 577.)

佛蘭西の機械器具類外國貿易
French Foreign Trade in Machine Tools. (Com. R. No. 49, Dec. 7, '25. P. 582.)

佛蘭西の危機
The French Crisis. (E. No. 4294, Dec. 12, '25. P. 981.)

獨　逸

獨逸財政一般産業諸狀
Germany An Appreciation of the Financial and Industrial Situation. By Director H. M. Gutmann. (S. Nov. 7, '25.)

獨逸の對外機械貿易
Germany's Foreign Trade in Machinery. (Com. R. No. 47, Nov. 23, '25. P. 447.)

一九二五年獨逸皮革業の要約
Resmué of German Leather Industry During 1925. (Com. R. No. 48, Nov. 30, '25. P. 522.)

獨逸肥料貿易回復の緒に就く
The German Fertilizer Trade Recovering. (Com. R. No. 48, Nov. 30, '25. P. 510.)

獨逸對外鋼貿易上昇を續く
German Foreign Steel Trade Coutinues Upward Trend. (Com. R. No. 48, Nov. 30, '25. P. 526.)

獨逸の造船界近狀
Germany's Ship Building. (S. F. P. Dec. 2, '25.)

獨逸産業の將來は必ずしも悲觀すべきに非ず
Pessimism Over German Industry Unwarranted. By J. Hirsch. (A. No. 672, Dec. 4, '25. P. 703.)

獨逸商業用航空運送に就て
Commercial Aviation in Germany. (Com. R. No. 50, Dec. 14, '25. P. 622.)

獨逸に於ける護謨工業及貿易
The Rubber Industry and Trade of Germany. (Com. R. No. 50, Dec. 14, '25. P. 625.)

和　蘭　及　墺　太　利

護謨製品市場としての和蘭
Netherland As A Market for Rubber Goods. (Com. R. No. 46, Nov. 16, '25. P. 406.)

一九二六年度蘭國豫算
De Nederlandsche Staats-begrooting voor 1926. (S. Hb. Nov. 28, '25.)

內閣の危機
De Kabinets-Crisis. (H. N. v. d. D. Nov. 25, '25. P. 1.)

蘭獨通商條約
Handelsverdrag Nederland-Duitschland. (H. N. v. d. D. Nov. 25, '25. P. 2.)

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

英國

羊毛の高値と取引の進展
The Wool Trade. Higher Prices and Trade Improvement. (S. Oct. 31, '25.)

資本市場に於ける英國の競爭
British Competition in the Capital Market. By H. P. Willis. (A. No. 669. Nov. 13, '25. P. 603.)

十月度對外貿易
Overseas Trade in October. (S. Nov. 14, '25.)

十月に於ける資本の流出移動狀況
Capital Issues in October. (S. Nov. 14, '25.)

石炭輸出貿易
Coal Export Trade. (S. Nov. 14, '25.)

アングロ・ペルシヤン石油會社定期總會
Meetings of Public Companies. Anglo-Persian Oil Co., Ltd. (S. Nov. 14, '25. P. 904.)

ロイド・ジョージ氏の土地政策
Mr. Lloyd George's Land Policy. (E. No. 4290, Nov. 14, '25. P. 784.)

ロカルノ會議と關稅問題
Locarno and Tariffs. (E. No. 4290, Nov. 14, '25. P. 783.)

十月對外爲替狀勢
The Foreign Exchanges in October. (S. Nov. 14, '25.)

英國工業の標準
British Engineering Standards. (N. C. D. N. Vol. CXIII. No. 17950, Nov. 21, '25. P. 2.)

ロイド・ジョージ氏の土地政策
Mr. Lloyd George's Land Policy. (E. No. 4291, Nov. 21, '25. P. 834.)

アレキサンドラ皇后
Queen Alexandra. (N. C. D. N. Vol. CXIII. Nov. 23, '25. P. 6.)

英國染料株式會社の現況
British Dyestuffs Corporation Limited. (S. Nov. 28, '25. P. 983.)

英國石炭確固なる基礎に充つ
British Coal Situation Remains Firm. (Com. R. No. 48, Nov. 30, '25. P. 527.)

對支貿易の將來
Our Future Trade With China. (S. F. P. Dec. 5, '25.)

最初九箇月間に於ける英國石油貿易
British Petroleum Trade for Nine Months. (Com. R. No. 49, Dec. 7, '25. P. 579.)

英國の化學藥品貿易
British Foreign Trade in Chemicals. (Com. R. No. 49, Dec. 7, '25. P. 580.)

英國勞働組合及露西亞
British Trade Union and Russia. (E. No. 4294, Dec. 12, '25. P. 982.)

英帝國領土內に於ける科學的硏究機關の設置
Research in the Empire. Lessons of the War. (S. F. P. Dec. 15, '25.)

英國外交の祕密
Secrets of British Diplomacy. Earl Grey's Revelations. By C. Seymour. (C. H. No. 3. Dec. '25. P. 328.)

佛國

佛蘭西陶器業
The French Pottery Industry. (Com. R. No. 49, Dec. 7, '25. P. 570.)

亞米利加に負へる佛國債務
France's War Debt to America. (E. No. 4290, Nov. 14, '25. P. 787.)

佛蘭西農業機具對外貿易
French Foreign Trade in Agricultural Machinery. (Com. R. No. 46, Nov. 16, '25. P. 387.)

佛蘭西石油輸入
French Petroleum Imports. (Com. R. No. 456, Nov. 16, '25. P. 387.)

佛商況の異變
Unusual Activity in French Bussiness. (Com. R. No. 46, Nov. 16, '25. P. 374.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二五年に於ける印度の財政狀況
De Finansieele Toestand van Indië. (S. Hb. Dec. 31, '25.)

黃麻及黃麻栽培
Jute en de Jute-Cultuur. (S. i. N. I. No. 51, Dec. '25. P. 1424.)

蘭領印度に於ける米の輸入
De Rijstinvoer in Ned-Indië. (S. i. N. I. No. 51, Dec. '25. P. 1393.)

一九二六年度に於ける爪哇糖業試驗所事業計劃
Werkplan van het Proefstation voor de Java-Suiker-Industrië voor het Jaar 1926. (S. i. N. I. No. 51, Dec. '25. P. 1381.)

印度に於ける農事試驗場に關する講義
Lezing over Proefstations in Ned-Indië. (S. Hb. Jan. 2, '25.)

濠洲及新西蘭其他

濠洲總選擧
The Australian Election. (E. No. 4291, Nov. 21, '25. P. 838.)

旺盛なる機械市場としてのニウ・ジーランド
Growing Market for Implements in New Zealand. (Com. R. No. 47, Nov. 23, '25. P. 450.)

一九二四/一九二五年に於ける濠洲の對外貿易
De Buitenlandsche Handel van Australië Gedurende 1924—1925. (L. N. e. H. No. 48, Nov. 27, '25. P. 380.)

濠洲に於ける亞米利加商品
American Goods in Austrialia. (Com. R. No. 48, Nov. 30, '25. P. 545.)

濠洲と移民問題
Australia and Migration. (S. F. P. Dec. 17, '25.)

濠洲に於ける運輸問題
Transport Problems in Australia. (S. F. P. Dec. '25.)

米人のニウ・ギニア飛行探險計劃
Exploring By Air. American Expedition to Visit New Guinea Interior. (S. F. P. Dec. 31, '25.)

■阿 弗 利 加■

一　　般

十月に於けるトランスバールの產出高
Transvaal Output in October. (E. No. 4290, Nov. 14, '25. P. 797.)

印刷機械の市場としての南阿
The South African Market for Printing Machinery and Supplies. (Com. R. No. 47, Nov. 23, '25. P. 457.)

西阿石油製品輸入
West African Imports of Petroleum Products. (Com. R. No. 48, Nov. 30, '25. P. 508.)

東部阿弗利加の發展
Development of Tropical Africa. (S. F. P. Dec. 14, '25.)

農具市場としての英領東阿
The Implement Market in British East Africa. (Com. R. No. 50, Dec. 14, '25. P. 647.)

■歐　　羅　　巴■

一　　般

洪牙利に於ける農工商業、財政、金融及資本の移動狀勢
Hungary. A Review of the Production, Commerce, State Finance, Banking & Capital Outlay. (S. Nov. 7, '25.)

芬蘭の經濟發達狀況
Finland. A Record of Economic Progress. (S. Nov. 14, '25.)

ロカルノ會議
The Conference at Locarno. By W. Macdonald. (C. H. No. 3, Dec. '25. P. 321.)

ロカルノ保障條約と歐米
The Locarno Pacts. Their Meaning to Europe and to America. By N. H. Davis. (C. H. No. 3, Dec. '25. P. 316.)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Het Japansche Vlootbezoek. (H. N. v. d. D. Dec. 19, '25. P. 2.)

マヅラを視察して(四)
Door Madoera. (S. Hb. Dec. 19, '25.)

巖手艦の歡迎
Ontvangst van de "Iwate". (H. N. v. d. D. Dec. 21, '25. P. 1.)

護謨の不規則栽培
De Rubber-roofbouw. (H. N. v. d. D. Dec. 21, '25. P. 1.)

ボルネオ島の金剛石
Diamanten in Borneo. (H. N. v. d. D. Dec. 21. '25. P. 4.)

經濟及社會問題(國庫及砂糖)
Economische en Sociale Aangelegenheden (De Fiscus en Suiker). (S. Hb. Dec. 21, '25.)

印度及支那
Indië en China. (S. Hb. Dec. 21, '25.)

主要農產地に於ける收穫竝に植付
Oogst en Aanplant der Voornaamstenlandsehe Landbouwgewassen. (S. Hb. Dec. 21, '25.)

東部爪哇に於ける鹽の分配
Het Zoutdebiet in Oost Java. (S. Hb. Dec. 21, '25.)

爪哇の山火事豫防
De Brandbestrijding in de Bergbosschen van Java. (S. Hb. Dec. 22, '25.)

茶市場に於ける競爭(一)
De Strijd op de Theemarkt. (S. Hb. Dec. 22, '25.)

第七回印度農業技術會議
Zevende Congres voor Indische Landbouw-technici. (H. N. v. d. D. Dec. 23, '25. P. 3.)

爪哇の山火事豫防
De Brandbestrijding in de Bergbosschen van Java. (S. Hb. Dec. 23, '25.)

日本の對蘭印新航路
Een Nieuwe Japansche Lijn op Ned-Indië. (H. N. v. d. D. Dec. 24, '25. P. 4.)

ボルネオの土人護謨栽培業
De inl. Rubbercultuur op Borneo. (H. N. v. d. D. Dec. 26, '25. P. 2.)

蘭國植民地石油會社の新協定
De Niuwe Overeenkomsten der Ned. Koloniale Petroleum Mij. (H. N. v. d. D. Dec. 26, '25. P. 1.)

少年勞働竝に婦人夜間勞働の制限
Beperking van Kinderarbeid en Nachtarbeid voor Vrouwen. (H. N. v. d. D. Dec. 28, '25. P. 3.)

印度の經濟
Indische Economië. (S. Hb. Dec. 28, '25.)

石油採掘の新協定
De Nieuwe Overeenkomsten voor Petroleum-ontginning. (S. Hb. Dec. 29, '25.)

大スンダ群島に於ける土地の變化
Grondvariatie op de Groote Soenba-eilanden. (S. Hb. Dec. 30, '25.)

土人農業に於ける施肥奬勵
Toepassing van Bemesting bij den Inlandschen Landbouw. (S. Hb. Dec. 31, '25.)

ベスキ州に於ける煙草栽培
De Tabakscutluur in Besoeki. (S. Hb. Dec. 31, '25.)

護謨栽培業の推移
Rubbercultuur. (S. Hb. Dec. 31, '25.)

一九二五年に於ける珈琲及護謨
Koffie en Rubber in 1925. (S. Hb. Dec. 31, '25.)

一九二五年度の砂糖栽培業
De Suikercultuur in 1925. (S. Hb. Dec. 31, '25.)

一九二五年に於ける農業及農業者の共同事業
Samenwerking van Landbouw en Landbouwers in Indië. (S. Hb. Dec. 31, '25.)

一九二五年に於ける土人間の動靜
De Inlandsche Beweging. (S. Hb. Dec. 31, '25.)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

スラバヤに於ける日本の漁業會社
De Japansche Visscherij. (S. Hb. Nov. 25, '25.)

國債の償還並に換算(二)
Aflossingen Conversië van Staatsschuld. (S. Hb. Nov. 26, '25.)

官營鑛山業
's Lands Mijnbedrijven. (S. Hb. Nov. 27, '25.)

日本の漁業者
De Japansche Visscher. (H. N. v. d. D. Nov. 28, '25. P. 4.)

市會の新選擧法
Het Nieuwe Kiesrecht voor den Gemeenteraad. (S. Hb. Nov. 28, '25.)

對支通商貿易の發達
De Ontwikkeling van het Handelsverkeer met China. (S. Hb. Nov. 28, '25.)

蘭印防禦上より見たる陸海軍
Marine en Leger, by de defensie van N. I. (H. N. v. d. D. Dec. 1, '25. P. 1.)

印度の防備
Indische Defensie. (H. N. v. d. D. Dec. 4, '25. P. 2.)

官營茶業
De Gouvernements Theecondernening. (H. N. v. d. D. Dec. 10, '25. P. 1.)

爪哇に於ける黄麻工業
De Jute-fabricatie op Java. (H. N. v. d. D. Dec. 10, '25. P. 2.)

官營茶業
De Gouvernements Theeondernening. (S. Hb. Dec. 11, '25. P. 1.)

蘭印に於ける護謨栽培業の發達
De Ontwikkeling der Rubbercultuur in Ned-Indië. (S. Hb. Dec. 11, '25.)

中部爪哇
Midden Java. (S. Hb. Dec. 11, '25.)

印度の砂糖栽培業
De Indisch Suikercultuur. (H. N. v. d. D. Dec. 12, '25. P. 4.)

熔鑛爐業の想像
De Hoogoven-fantasieën. (H. N. v. d. D. Dec. 15, '25. P. 1.)

マヅラを視察して(一)
Door Madoera. (S. Hb. Dec. 15, '25.)

阿片の密入量
Hoeveel Opium er Wordt Gesmokkeld. (S. Hb. Dec. 16, '25.)

マヅラを視察して(二)
Door Madoera. (S. Hb. Dec. 16, '25.)

護謨問題
Met Rubbervraagstuk. (S. Hb. Dec. 16, '25.)

東部爪哇に於ける統治組織の改正
De Bestuurshervorming in Oost-Java. (S. Hb. Dec. 17, '25.)

爪哇に於ける家庭生活費
Gezins-uitgaven op Java. (S. Hb. Dec. 17, '25.)

爪哇の家庭生活費
De Gezins-uitgaven op Java. (H. N. v. d. D. Dec. 17, '25. P. 4.)

ジョクジャの行政組織改正
De Administratieve Hervorming voor Djokja. (S. Hb. Dec. 17, '25.)

氣候及製糖業
Weer en Bedrijf in de Suiker. (S. Hb. Dec. 18, '25.)

マヅラを視察して(三)
Door Madoera. (S. Hb. Dec. 18, '25.)

政府の海軍計畫
De Marine-Plannen der Regeering. (H. N. v. d. D. Dec. 18, '25. P. 2.)

蘭領印度及支那
Indië en China. (H. N. v. d. D. Dec. 18, '25. P. 1.)

日本軍艦の訪問

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

The Matter of Confidence. H. C's Explanation. (S. F. P. Dec. 16, '25.)

海峽植民地產護謨輸出税改訂
Legislative Council. New Duty on Straits Rubber. (S. F. P. Dec. 16, '25.)

馬來聯邦州行政制度改革案說明：地方分權竝に政治的發達
The Federal Change's Full Statement. Decentralisation and Political Development of F. M. S. (S. F. P. Dec. 16, '25.)

英領馬來に於ける護謨生產制限第三年度統計
Statistick Omtrent Het Derde Rubberrestrictiejaar in British Malaya. (L. N. e. H. No. 52, Dec. 18, '25. P, 409.)

馬來聯邦州に於ける電信電話事業
F. M. S. Posts and Telegraphs. (S. F. P. Dec. 19, '25.)

英領馬來に於ける皮膚病
The "Purn" of Malaya. (S. F. P. Dec. 19, '25. P. 14.)

我實庫たるココス島探險
Our Treasure Island, By Kathleen Ussher. (S. F. P. Dec. 21, '25.)

地方制度改正に關する總監察使の政策
The H. C's Policy. (S. F. P. Dec. 21, '25.)

新嘉坡及彼南に於ける結核病
Singapore and Peneng. (S. F. P. Dec. 28, '25.)

農園代理店の責任問題
Responsibility of Estate Agents. Malaya Case in Appeal. (S. F. P. Dec. 28, '25.)

英領馬來に於ける綿製反物類と日本の競爭
Cotton Piece Goods in Malaya. Growth of Japanese Competition. (S. F. P. Dec. 29, '25.)

■南　洋　諸　島■

比　律　賓

比律賓外國貿易異常な進捗を示す
Philippine Foreign Trade Shows Marked Advance. (Com. R. No. 47, Nov. 23, '25. P. 480.)

比島馬尼拉に於ける鐵道
The Manila Railroads. (F. E. R. No. 12, Dec. '25. P. 763.)

比島の鐵
Iron in the P. I., By W. D. Smith. (F. E. R. No. 12, Dec. '25. P. 769.)

一九二一／二四年に至る比島の對外竝に對蘭印貿易
De Buitenlandsche Handel van de Philippijen en de Handel net Ned-Indië Gedurende 1921—24. (L. N. e. H. No. 1, Jan. 2, '26. P. 3.)

蘭　領　東　印　度

蘭印豫算歲入增加を豫期さる
Surplus Anticipated in Netherland Indies Budget. (Com. R. No. 48, Nov. 30, '25. P. 536.)

蘭領東印度の財政
Dutch East Indies Finance. (C. E. T. No. 3253, Dec. 10, '25. P. 919.)

蘭領東印度國營鐵道の沿革
The State Railways of the N. E. I. By "Djembatam". (F. E. R. No. 12, Dec. '25. P. 753.)

蘭領印度に於ける護謨生產狀況
Rubber Growing in N. I. (S. F. P. Dec. 28, '25.)

地方廳に對する信用銀行
Een Credietbank voor Locale Ressorten. (S. Hb. Nov. 25, '25.)

步兵の教育竝に教練
Opleiding en Oefeningen der Infanterie. (H. N. v. d. D. Nov. 25, '25.)

國債の償還竝に換算(一)
Aflossingen Conversie van Staatsschuld. (S. Hb. Nov. 25, '25.)

土民農產物
Inlandsche Landbouw-gewassen. (S. Hb. Nov. 25, '25.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

印度支那弗(ピアストル)に就ての二考察
Deux Opinions sur le Piastre Indochinoise. (E. E. I. No. 446, Dec. 27, '25. P. 5.)

鑛業彙報
Chronique des Mines. (E. E. I. No. 446, Dec. 27, '25. P. 14.)

佛印支に於ける經濟
Economic Development of F. I. C., By E. Roume. (F. E. R. No. 12, Dec. '25. P. 759.)

植民地高等評議員會の開會
L'ouverture de la Session du Conseil Superieur des Colonies. (Le. C. H. Jan. 1, '26. P. 1.)

有望視せらる、カムラン港の將來
Camranh, Port D'avenir. (E. E. I. No. 447, Jan. 3, '26. P. 3.)

萬國經濟會議と印度支那
L' Indochine à la Conférence économique Internationale. (Le. C. H. Jan. 15, '26. P. 1.)

印度支那の灌漑法
Les Irrigations en Indochine. (Le. C. H. Jan. 13, '26. P. 1.)

暹羅・印度・錫蘭

印度通貨委員會
Indian Currency Commission. (S. Nov. 21, '25. P. 926.)

本年印度の移民十箇月間統計
Indian Immigration Figures for Ten Months. (S. F. P. Dec. 1, '25.)

印度新總督と印度問題
The New Viceroy and His Problems. Critical Years in India. (S. F. P. Dec. 3, '25.)

緬甸石油業
The Petroleum Industry of Burma. (Com. R. No. 50, Dec. 14, '25. P. 655.)

一九二四年に於ける錫蘭島の經濟狀況
Economische Toestand Van Ceylon Gedurende 1924. (L. N. e. H. No. 52, Dec. 18, '25. P. 406.)

馬來半島

馬來護謨輸出近勢
Malayan Rubber Exports. (S. Nov. 14, '25.)

護謨輸出制限第三年目統計
Rubber Restriction Statistics Third Restriction Year. (S. F. P. Nov. 21, '25.)

護謨と海軍根據地
Rubber en de Marine-basis. (H. N. v. d. D. Nov. 25, '25. P. 2.)

ココス島探險新計劃
New Cocos Island Expedition. (S. F. P. Nov. 27, '25.)

馬來護謨園の活況
Malayan Rubber Flourish Activity in the Plantations. (S. F. P. Nov. 28, '25.)

護謨液汁凝固に關する蟻酸試驗
Coagulation of Rubber Latex Formic Acid to Replace Acetic Acid. (S. F. P. Nov. 28, '25.)

英領馬來護謨十一月度輸出狀況
British Malaya Rubber November Exports. (S. F. P. Dec. 3, '25.)

馬來栽培業者協會とスティル氏の所見
P. A. M. and Mr. Still. (S. F. P. Dec. 8, '25. P. 16.)

政府勞働者募集に對する馬來栽培業者協會の批評
The P. A. M. Planters Criticise Gov.'s Recruitment of Labour. (S. F. P. Dec. 8, '25, P. 9.)

聯邦會議に於てなせる總監察使の演說
Federal Council. H. E., the High Commissioner's Annual Address. (S. F. P. Dec. 15, '25.)

聯邦會議組織改革案提示
Federal Council Changes Proposed. The High Commissioner's Statement. (S. F. P. Dec. 15, '25.)

馬來聯邦州統計
F. M. S. Statistics. (S. F. P. Dec. 15, '25.)

聯邦制度改革案に對する總監察使の聲明

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

動亂中の支那
China in Convulsion. By Rev. A. W. Lochead. (S. F. P. Dec. 23, '25.)

評判よき飲料
The Popular Beverage. (C. E. T. No. 3255, Dec. 24, '25. P. 964.)

支那の鐵道の缺點
Chinese Railway Defaults. (C. E. T. No. 3255, Dec. 24, '25. P. 966.)

支那關稅率改訂
Chinese Tariff Revision. (S. F. P. Dec. 28, '25.)

港灣·埠頭管理及貿易上より見たる青島
The Port of Tsingtao : Its Harbor and Wharf Administration and Trade. By J. G. Wong. (F. E. R. No. 12, Dec. '25. P. 734.)

治外法權問題委員會
Extraterritoriality Commission. (F. E. R. No. 12, Dec. '25. P. 729.)

香港の非賣同盟
The Hongkong Boycott. (C. E. T. No. 3251, Nov. 26, '25. P. 863.)

香港の窮迫
Hongkong's Difficulties. (C. E. T. No. 3251, Nov. 26, '25. P. 875.)

香港の貿易
Hongkong's Trade. (C. E. T. No. 3254, Dec. 17, '25. P. 939.)

香港の過去、現在及將來
Hongkong-Past, Present and Future. (C. E. T. No. 3254, Dec. 17, '25. P. 945.)

香港の將來·總督の樂觀說
Hongkong Future. Governor's Optimism Faith in Kwantung. (S. F. P. Dec. 17, '25.)

佛 領 印 度 支 那

鑛業彙報
Chronique des Mines. (E. E. I. No. 442, Nov. 29, '25. P. 15.)

印度支那の護謨
Le Caoutchouc en Indochine (Le Fontaine) (E. E. I. No. 443, Dec. 6, '25. P. 6.)

バレンヌ氏の演說
Le Discours de M. Varenne. (Le C. H. Dec. 12, '25. P. 1.)

バレンヌ氏の演說
Le Discours de M. Varenne. (Le. C. H. Dec. 12, '25. P. 1.)

交趾支那集會に於ける知事演說
Le discours du trône en Cochinchin. (E. E. I. No. 444, Dec. 13, '25. P. 6.)

鑛業彙報
Chronique des Mines. (E. E. I. No. 444, Dec. 13, '25. P. 14.)

カムラン港
Le Port de Camranh. (E. E. I. No. 444, Dec. 13, '25. P. 5.)

印度支那に於ける漁港とその國防問題に就て
En Indochine Ports de Pêche et défense Nationale. (Le. C. H. Dec. 15. '25. P. 1.)

我印度支那の鐵路敷設計畫(大海岸線及橫斷鐵道に就て)
Nos Chemins de Far : Le Grand Côtier et le Transindochine. (E. E. I. No. 445, Dec. 20, '25. P. 1.)

一九二五年度通常總督府會議召集
Conseil de Gouvernement de L' Indochine. Session Ordinaire de L' année 1925. (Le. C. H. Dec. 23, '25. P. 3.)

バレンヌ氏の演說
Le discours de M. Varenne. (Le. C. C. H. Dec. 23, '25. P. 1.)

我印度支那の鐵路敷設計畫(大海岸線及橫斷鐵道に就て)
Nos Chemins de Far : Le Grand Côtier et le Transindochine. (E. E. I. No. 446, Dec. 27, '25. P. 1.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

關稅自主の政治經濟上に於ける重要問題
Political-Economical Importance of Tariff Autonomy. By H. C. Li. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 13, Nov. 28, '25. P. 302.)

外國品を支那に賣るには特許狀の必要あり
The Importance of the "Chop" in Selling Foreign Goods in China. By Charles K. Moser. (C. W. R. Vol.XXXIV. No. 13, Nov. 28, '25. P. 303.)

一九二五年十月支那の對米輸出
China's Total Exports to U. S. for Month of Oct., 1925. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 13, Nov. 28, '25. P. 304.)

唐保謙小傳
Mr. Tang Pao-chia. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 13, Nov. 28, '25. P. 308.)

張作霖王國を治むるものは誰ぞ
Who Rules the Realm of Chang Tso-lin? By C. Huldschiner. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 13, Nov. 28, '25. P. 310.)

治外法權
Extraterritoriality. (C. E. T. No. 3252, Dec. 3, '25. P. 887.)

支那の硬玉
Chinese Jade. (C. E. T. No. 3252, Dec. 3, '25. P. 893.)

支那の工業及礦業會社
The Chinese Engineering and Mining Company. (C. E. T. No. 3252, Dec. 3, '25. P. 900.)

廣東に於ける愛國運動と基督教の事業
The Patriotic Movement and Christian Work in Canton. By Y. L. Lee. (C. W. R. Vol. XXXV. No. 1, Dec. 5, '25. P. 10.)

一九二五年の山東洪水は黃河堤防の決潰に因る
Shantung Floods of 1925 due to Breaks in Yellow River Dykes. By O. J. Todd. (C. W. R. Vol. XXXV. No. 1, Dec. 5, '25. P. 15.)

中支の絹工業の觀測
A Survey of the Silk Industry of Central China. (C. W. R. Vol. XXXV. No. 2, Dec. 12, '25. P. 48.)

釐金の廢止
The Abolition of Likin. By C. J. Tox. (C. W. R. Vol. XXXV. No. 2, Dec. 5, '25. P. 42.)

鐵と鋼鐵との市場となりつゝある支那
China, a Growing Market for Iron and Steel. (C. W. R. Vol. XXXV. No. 2, Dec. 12, '25. P. 50.)

若くて野心ある官人としての張作霖氏
Marshal Chang Tso-lin As A Young and Ambitious Officer. (C. W. R. Vol. XXXV. No. 2, Dec. 12, '25. P. 58.)

亞米利加皮革市場としての支那
China, a Growing Market for American Leather. (Com. R. No. 49, Dec. 7, '25. P. 486.)

張作霖の挫折
Chang Tso-lin's Defeat. (C. E. T. No. 3253, Dec. 10, '25. P. 911.)

支那に於ける政治上の五色眼鏡
The Political Kaleidoscope in China. By G. Zay Wood. (C. W. R. Vol. XXXV. No. 2, Dec. 12, '25. P. 36.)

耶蘇教會と支那の政策
Christian Missionaries and Chinese Politics. (C. W. R. Vol. XXXV. No. 2, Dec. 12, '25. P. 33.)

支那水運上に於ける上海の重要程度
Shanghai Importance in the Shipping of China. (Com. R. No. 50, Dec. 14, '25. P. 623.)

支那の債務と關稅率
China's Debt and Tariffs. (C. E. T. No. 3254, Dec. 17, '25. P. 940.)

支那關稅
Chinese Customs. (C. E. T. No. 3254, Dec. 17, '25. P. 943.)

英國側より見たる米國の對支政策
La Politique Américaine en Chine Jugée Par Un Anglais. (Le. C. H. Dec. 22, '25. P. 1.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本の財政貿易近情
Japanese Finance and Trade. By T. Aoki. (F. E. R. No. 12, Dec. '25. P. 733.)

日本の機械類製造業
Machinery Manufacturing Industry in Japan. By E. Kusano. (F. E. R. No. 12, Dec. '25. P. 748.)

支　那

反奉軍逐の爲め廣東人の呉佩孚支持
Cantonese Support for Wu Pei-fu in Anti-Fengtien Drive. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 11, Nov. 14, '25. P. 252.)

上海罷工の經濟上の結果
Economic Effect of the Shanghai Strikes. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 11, Nov. 14, '25. P. 253.)

水源保存の一計
A Plan for the Conservation of Water Resources. By W. C. Lowder-Milk. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 11, Nov. 14, '25. P. 257.)

支那產業の進展
Industrial Progress in China. (Com. R. No. 46, Nov. 16, '25. P. 381.)

支那の關稅と條件との最近報告
Latest Informaton on the Tariff and Conditions in China. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 12, Nov. 21, '25. P. 271.)

支那に於ける公衆圖書館
The Public Library in China. By Dr. Arthur. B. Bostwick. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 12, Nov. 21, '25. P. 273.)

一九二五年十月の米國向支那輸出
China's Exports to U. S. for Month of October, 1925. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 12, Nov. 21, '25. P. 280.)

北部江蘇に於ける好ましからぬ情態
Unfavorable Condition in Northern Kiangsu. By Shem Tseu-wan. C. W. R. Vol. XXXIV. No. 12, Nov. 21, '25. P. 284.)

支那に於ける封建制度
Feudalism in China. By George E. Sokolsky. (N. C. D. N. Vol. CXIII. No. 17951, Nov. 23, '25. P. 7.)

學生孫最高司令官の保護を約束す
Students Promised Protection by Marshal Sun. (N. C. D. N. Vol. CXIII. No. 17951, Nov. 23, '25. P. 15.)

外國公債の停止
The Embargo on Foreign Loans. (N. C. D. N. Vol. CXIII. No. 17952, Nov. 24, '25. P. 2.)

支那の棉產
China's Cotton Production. (N. C. D. N. Vol. CXIII. No. 17952, Nov. 24, '25. P. 2.)

南支那に於ける赤軍戰
The Red War in South China. (N. C. D. N. Vol. CXIII. No. 17952, Nov. 24, '25. P. 6.)

支那の病根
The Foundation of China's Ills. (N. C. D. N. Vol. CXIII. No. 17953, Nov. 25, '25. P. 15.)

財政々策の經驗
Experiences of Monetary Policy. By Professor Gustave Cassel. (N. C. D. N. Vol. CXIII. No. 17953, Nov. 25, '25. P. 2.)

財政々策の經驗(續)
Experiences of Monetary Policy (Continued). By Prof. Gustave Cassel. (N. C. D. N. Vol. CXIII. No. 17954, Nov. 26, '25. P. 2.)

支那の工業及鑛業會社
Chinese Engineering and Mining Co. (C. E. T. No. 3251, Nov. 26, '25. P. 872.)

支那關稅自主權問題
Chinese Tariff Autonomy. (Com. R. No. 48, Nov. 30, '25. P. 502.)

支那の今日と國際管理
China To-day, Foreign Control. (S. F. P. Nov. 27, '25.)

支那の轉換と治外法權
Chinese Converts and Extraterritoriality. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 13, Nov. 28, '25. P. 299.)

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

甘蔗糖對甜菜糖の競爭
De Concurrentie Tusschen Rietsuiker en Bietsuiker. (L. N. e. H. No. 48, Nov. 27, '25. P. 383.)

國際貸借支拂問題 共二
The Effect of International Debt Payments—II. (S. Nov. 28, '25. P. 951.)

世界糖蜜供給及貿易
World Molasses Supply and Trade. (Com. R. No. 48, Nov. 30, '25. P. 516.)

世界商業さ英國輸出額變更
World Commerce Change in British Exports. (S. F. P. Dec. 17, '25.)

世界護謨一般狀勢
The Rubber World, the Situation Reviewed. (S. F. P. Dec. 17, '25.)

戰爭絕滅運動
"No More War" Doctrine for the Next Generation. (S. F. P. Dec. 28, '25.)

黃・白兩色人種問題の危機
Perils Yellow and White. By White Inge. (S. F. P. Dec. 2, '25.)

世界各島嶼に於ける手工刺繡
Hand Embroidery Industry in the Islands of the World. (Com. R. No. 49, Dec. 7, '25. P. 575.)

肉及動物性油國際貿易
International Trade in Meats and Animal Fat. (Com. R. No. 49, Dec. 7, '25. P. 572.)

海運界の現狀竝に將來
De Toestand en Toekomst der Scheepvaart. (S. Hb. Dec. 30, '25.)

護謨市場狀況
De Positie der Rubber Markt. (S. Hb. Dec. 31, '25.)

近年に於ける人造絹絲工業の擴張
De Verbreiding der Kunstzijde-industrie Gedurende de Laatste Jaren. (L. N. e. H. No. 52, Dec. 18, '25. P. 409.)

世界石油產額
De Wereldpetroleumproductie. (L. N. e. H. No. 1, Jan. 2, '25. P. 6.)

亞　細　亞

一　般

遠東に於ける政治上の地位
The Political Situation in the Far East. By Lawrence Impey. (C. W. R. Vol. XXXV. No. 1, Dec. 5, '25. P. 3.)

東亞を中心させる鐵・石炭及石油資源
Iron, Coal and Mineral Oil on the Asiatic Coast of the Pacific Ocean. By B. P. Torgasheff. (F. E. R. No. 12, Dec. '25. P. 789.)

亞細亞波瀾の中心地たる滿洲
Manchuria—the Danger Spot of Asia. (F. E. R. No. 12, Dec. '25. P. 727.)

日　本

日本が不平等條約より脫せし所由
How Japan Got Rid of "Unequal Treaties"? By H. F. MacNair. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 11, Nov. 14, '25. P. 248.)

日本さ北京關稅會議
Japan and the Tariff Conference in Peking. (C. W. R. Vol. XXXIV. No. 11, Nov. 14, '25. P. 247.)

日本の護謨工業竝に貿易
Japansche Rubber Nijverheid en Handel. (L. N. e. H. No. 48, Nov. 27, '25. P. 383.)

日本の海軍擴張
Japan's Vlootuitbreiding. (S. Hb. Dec. 7, '25.)

日本の對支政策
Japan's Politiek Tegenouer China. (H. N. v. d. D. Dec. 7, '25. P. 4.)

日本組合制度に就いて
The Japanese Gild System. (Com. R. No. 49, Dec. 7, '25. P. 567.)

太平洋に於ける日本の海運
De Japansche Scheepvaart in den Pacific. (S. Hb. Dec. 21, '25.)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那及南洋其他
海外重要記事索引

臺灣總督官房調查課

■ 新聞雜誌略號一覽表 ■

A.	Annalist. (Nov. 13—Dec. 11.)
C. E. T.	China Express and Telegraph. (No. 3250—3255.)
C. W. R.	China Weekly Review. (Nov. 14—Dec. 5.)
Com. R.	Commerce Reports. (Nov. 16—Dec. 14.)
E.	Economist. (Nov. 14—Dec. 12.)
E. E. I.	L' Éveil Économique de L' Indochine. (Nov. 19—Jan. 3.)
F. E. R.	Far Eastern Review. (No. 12, Dec.)
H. N. v. d. D.	Het Nieuws van den Dag. (Nov. 17—Dec. 28.)
L. C. H.	Le Courrier d' Haiphong. (Nov. 29—Jan. 8.)
L. N. e. H.	Landbouw Nijverheid en Handel. (Nov. 27—Jan. 2.)
N. C. D. N.	North China Daily News. (Nov. 21—Nov. 26.)
S.	Statist. (Nov. 7—Dec. 12.)
S. F. P.	Singapore Free Press, Daily. (Nov. 21—Dec. 31.)
S. Hb.	Soerabajasch Handelsblad. (Nov. 18—Jan. 2.)
S. i. N. I.	Suikerindustrie in Ned.-Indië. (Dec, No. 51.)

■ 世　界 ■

一　般

世界的事業の一たる白熱電燈事業
The Electric Incandescent Lamp Business of the World. By F. W. Wilcox. (F. E. R. No. 12, Dec. '25. P. 766.)

財政上より見たる公債
The Stabilized Bond—A New Idea in Finance. By Irving Fisher. (A. Nov. 13, '25. P. 603.)

保險會社投資政策の一研究
A Study of Investment Policies of Insurance Companies. By A. Motelle. (A. No. 600, Nov. 13, '25. P. 605.)

一九二四年世界貿易
World Trade in 1924. (E. No. 4290, Nov. 14, '25. P. 786.)

護謨豫見
Rubber Prospects. (E. No. 4290, Nov. 14, '25 P. 789.)

潜水艇問題
The Question of Submarine. (E. No. 4291, Nov. 21, '25. P. 837.)

國際貸借支拂問題　其一
The Effect of International Debt Payments—I. (S. Nov. 21, '25. P. 911.)

戰前狀態に復歸せる世界貿易
World Trade at Pre-war Level. (Com. R. No. 47, Nov. 23, '25. P. 445.)

所得對報酬漸減の法則
Income vs. the Law of Diminishing Returns. By Willford I. King. (A. No. 671, Nov. 27, '25. P. 670.)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN